

ブラジル日系人の意識調査

1992年2月

サンパウロ人文科学研究所

笹川平和財団 平成2, 3年度 研究費助成による

ブラジル日系人調査

1991~1992

CENTRO DE ESTUDOS NIPO - BRASILEIROS

RUA SÃO JOAQUIM 381 - 3° ANDAR
CEP 01508, SÃO PAULO
BRASIL

目 次

第1部 調査の構想と計画と実施

1. 研究目的
2. 研究計画立案の経緯
3. 研究の特色
4. 調査の計画
5. 調査の実施
6. 分析のための準備

第2部 データ分析の結果

- 第1章 基本的事項
- 第2章 質問別にみた日系ブラジル人の意識
- 第3章 ブラジル日系人の心の構図
- 第4章 特種地域トメアスーとマリンカ在住者の意識
- 第5章 在日日系ブラジル人の意識

第3部 付 録

1. 調査票（日本語へ翻訳）及び、ウェイトの有無による単純集計,
トメアスー・マリंगा・在日日系ブラジル人の意見分布
2. 日本人、ブラジル日系人、ハワイ日系人、アメリカ人(北米)の質問別単純集計比較表
3. 自由回答の内容
4. ブラジル日系人の属性(性、年齢、世代、日本スケールによる)別集計表

研 究 組 織

代 表 者	山本 勝造	ブラジル日系人意識調査研究会会長 サンパウロ人文科学研究所理事長
	河合 武夫	ブラジル日系人意識調査研究会委員 サンパウロ人文科学研究所顧問
	脇坂 勝則	ブラジル日系人意識調査研究会委員 サンパウロ人文科学研究所理事
	宮尾 進	ブラジル日系人意識調査研究会委員 サンパウロ人文科学研究所理事
	森 幸一	ブラジル日系人意識調査研究会委員 サンパウロ人文科学研究所研究員
	林 知己夫	ブラジル日系人意識調査研究会委員 統計数理研究所 名誉教授
	水野 坦	ブラジル日系人意識調査研究会委員
	鈴木 達三	ブラジル日系人意識調査研究会委員 統計数理研究所 教授
	林 文	ブラジル日系人意識調査研究会委員 東洋英和女学院大学 助教授
	吉野 諒三	ブラジル日系人意識調査研究会委員 統計数理研究所 助手

第 1 部

調査の構想と計画と実施

1. 研究の目的

ブラジル日系人の意識について、主として価値観を中心に調査を行い、その個人歴、属性による差異を明らかにすると共に、日本人・ハワイの日系人の時系列調査等との比較も行い、ブラジル日系人意識の特色を明らかにすることを目的とする。

本研究は、ブラジル日系人の移住そして異文化との接触・融合による変容・不変の姿を日本人・ハワイの日系人との比較を行いつつ明らかにし、さらに諸外国との比較を行って、日本人・ブラジル日系人の位置付けの下に、世代交代に基づく展開期にあるブラジル日系人が、今後のブラジル文化の発展への寄与の展望、そのアイデンティティの形成、そしてブラジル日系人の社会構造、さらにその教育を考える上での基礎資料を提供する。また、いわゆる日本の文化摩擦、外国との接触トラブルの回避、海外勤務者（含家族）、移住者のマニュアル、国際相互理解の一般レベルでの問題などを考える際の参考資料ともなることを期待している。

全伯日系人の厳密なランダムサンプル（後述する）を対象にして面接調査を行う。調査内容は、日本側共同研究者によって開発された連鎖的比較調査方法論の考えかたに基づいて、ブラジル固有の意識に関する質問、日本に固有の質問、ハワイの日系人・日本人調査に共通する質問、国際比較のための近代社会に共通する事項に関する質問を含めて決定する。調査のための質問票は、日伯両方の協議により策定、調査実施はブラジル側、データ分析は日本側、報告書作成は日伯共同して行う。

2. 研究計画立案の経緯

ブラジル日系人の意識調査の計画は古く、移民50周年における基礎調査（サンパウロ大学、日本文化研究所 鈴木梯一氏を中心とする）の折、日伯共同して研究会を作り、意識調査を実施する予定で予算を得たが、ブラジル国内事情により調査が許されなかった。

それ以来、双方において調査の機会をうかがい、山本を中心とするサンパウロ人文科学研究所と林を中心とする統計数理研究所の間に交流が屢々あった。しかし、基礎サンプルの作成が極めて困難かつ多大の予算を必要とするところから、実現に到らなかった。

移住80周年記念事業としてブラジル日系人実態調査の話が持ち上がり、日系人のエニューメレーションの要請があった。人文研は日本側の水野 坦（発展途上国の標本調査の日本唯一の専門家）の協力を得て、ブラジル統計局の全面的協力のもと調査区資料を借用し、全伯での実査を行い標本調査企画を練り上げて調査を完了した。こうして1000地点4000人の日系人のリスト（履歴、基礎属性なども含む）を全国規模で作成できた。

そこで、意識調査を正しいサンプルで行い得る唯一のこの機会に、実態調査に補充して世代交代による日系移住者の転換期の意識をとらえておくことが極めて重要であるので、日伯両国の適材で調査研究会を組織し、調査を計画実施することにした。

3. 研究の特色

- 1) 厳格に代表性のある日系人の標本を土台としていること。日系人の定義の明確なこと
この種の調査では、一般に標本が便宜的であり、全体の代表性に欠ける。この調査は厳密な全国規模の層別ランダムエリアサンプリングで作成された正しいサンプル（居住地域地図とサンプルの諸属性がある）を下に意識調査が実施できる点が大きな特色である。発展途上国における移民の厳格な大規模調査の初めてのものと考えられる。その意義は大きい。
- 2) それぞれに特色を持つ人々を集めていること
 - i) ブラジルに長く在住し、ブラジル社会、日系人社会について熟知している人々
 - ii) ブラジル在住の社会学者
 - iii) 日系人調査、国際比較調査の統計学、社会調査、行動計量学、コンピュータ分析の専門家、発展途上国の標本調査のエキスパート
- 3) 日本側共同研究者による最新の国際比較方法論たる連鎖的比較調査分析法を用い、ブラジル日系人、ハワイ日系人（1971-1988の4回の継続調査）、日本人（35年間の8回の国民性継続調査）、国際比較調査（1987、1988、日本、ハワイ、アメリカ本土、イギリス、ドイツ、フランス）との比較検討の上、ブラジル日系人の姿を明らかにできること

4. 調査の計画

4. 1 調査の仕組み

このブラジル日系人意識調査は、全国調査、特種地域調査、在日日系人調査の三つに大別される。

在ブラジル日系人調査がその中核をなすものであり、全国からのランダムサンプルに対するものである。これにより在ブラジルの日系人の全貌を把握することができる。

つぎに、特種地域調査を計画した。これは、その地域で日系ブラジル人がマイノリティでなく、むしろマジョリティをなしているところという観点から選出した。アマゾン地区のトメアスーと南部のマリングである。マイノリティでないという点から、その意識がどう異なるか、あるいは同じか、また日本とも異なり、マイノリティのブラジル日系人とも異なる新しい意識が生じている—社会と環境と日本人意識との関連性において—ののではないか、という点を見るために計画された。これは、ブラジル日系人意識の多様性・同一性を探るためのよりきめの細かい計画ということができよう。これは、必ずしもマイノリティでないハワイ日系人との鎖をなすのではないかという観点もある。

もう一つは在日・ブラジル日系人調査である。全国調査において出稼ぎは8%（54/665、1991年2月）あり、トメアスーで20%（38/186）、マリングで11%（37/326）であるため、無視できないものがある。そこで在日ブラジル日系人調査を行うことにした。これには3種類ある。

- ア. トメアスー、マリングにおける出稼ぎの人の日本での住所の判明したものへの郵送調査
- イ. いすゞ自動車栃木工場で働いているブラジル日系人に対する自記式調査
- ウ. 海外日系人協会の把握している名簿のうち、首都圏に在住するものに対する自記式調査

これにより、本国調査の偏りがどの程度になるか、また、在日により意識は変化するものかを探る手掛りとすることを目的としたものである。

4. 2 全国調査における標本抽出計画

第1次日系人調査（エニュメレーションのための調査－87/88年実施）の台帳をもとにして、次のような調査計画をたてた。

- (ア) 予め18歳未満の日系人と非日系人をQ-C（世帯調査票－87年度実施調査）から消去し、18歳以上の日系人のみのリストを作成し（18歳以上日系人が母集団となる）そこから等間隔でサンプリングするというのが、基本的な方法である。但し、この方法は地域ごとに若干の相違がある。
- (イ) まず、サンプリングのもとになる、使用サンプル集団であるが（87/88年の調査では、全体サンプルがA/B 2つのサブ・サンプルに区分され、どちらか一方のサンプルでも日系人口の推計が可能ないように配慮されている）東北部(NORDESTE)、サンパウロ市内(MUNICIPIO DE SAO PAULO)、サンパウロ州内のうちの大サンパウロ圏(GRANDE SAO PAULO)ではサンプル(母集団)としてA+Bの両集団を用いることとした。これ以外の地域、即ち、中西部(CENTRO-OESTE)、北部(NORTE)、サンパウロ州(RJ/MG両州を含む)、南部(SUL)はAグループのみを用いることとした。
- (ウ) (ア)に示したような、リストによるサンプリングを実施したのは、北部、サンパウロ市内、サンパウロ州内(RJ/MGを含む)、南部であり、東北部、中西部に関しては各世帯より、18歳以上日系人から1名づつを無作為に抽出した。
- (エ) リストによるサンプリングを行った地域において、母集団が小さいことに起因して、予め予定されたサンプル数を取った場合に、同一の世帯から複数の世帯員が選ばれるケースも多くみられた。そこで、このような場合には、同一世帯からの複数サンプルから、更に1サンプルを無作為に抽出した。この場合、例えば、3人から1人が選ばれた場合には集計の際のウエイトは3倍となる。
- (オ) 以上のような作業から、抽出されたサンプル数と調査地点数を地域ごとに示したのが下表である。

地 域	調査地点数	サンプル数	使用サンプル集団	サンプリング方法
北部	1 2	3 3	A	リストによる
東北部	3	4	A + B	各世帯1名
サンパウロ市内	1 5 7	4 0 9	A + B	リストによる
サンパウロ州内	7 1	1 4 3		リストによる
大サンパウロ圏			A + B	
その他のサンパウロ州(RJ/MG)			A	

地 域	調査地点数	サンプル数	使用サンプル集団	サンプリング方法
南部	28	60	A	リストによる
中西部	7	16	A	各世帯1名
合 計	278	665	—	—

4. 3 調査票の決定

調査の内容としては、ブラジルに固有の質問、国際比較に用いられた質問、ハワイの日系人調査のために用いられた質問を集め、これをもとに調査票の第1次案を作成した。

これをポルトガル語に翻訳し、更にこれを日本語に再翻訳し、検討を重ね、調査実施上の妥当性を考え、調査票を決定した。調査に用いた調査票（ポルトガル語）のもとになっている日本語の調査票は付録に示してある。

4. 4. 特種地域の標本抽出と標本の性格

トメアスーにおいては、日系人リストから等間隔抽出法により、186人を抽出したが、同一世帯から2人以上調査することは実施上困難なので、2人以上抽出された場合は無作為に1人を抽出した。

マリングも同様なランダム抽出の方法によったが、日系人の数が多いため、抽出間隔が大きく、トメアスーのように同一世帯から2人以上抽出されるようなことはなかった。

在日・ブラジル日系人調査の場合は、トメアスー、マリングの在日日系人の場合を除き、特種な性格を持つサンプルとなった。これは、調査実施の制約上止むを得なかった。在日・日系ブラジル人調査が、日本人研究者により数多く実施され、いわゆるフィールド荒らしの感を持った。現場においては、官庁、民間を問わず、調査に対しアレルギー反応を示し、調査拒絶の構えが強く、調査協力が得られなかった。このため、特に我々と関係の深い団体に依頼するのが最適との判断を持ち、いすゞ自動車の栃木工場の従業員中の日系ブラジル人、海外日系人協会の所有する名簿にのっている日系ブラジル人（全国規模のものである）を対象に、調査を依頼することにした。諸特性を持つサンプルの比較という点では大きな意義を示すものであるが、それらの合計は必ずしも明確な意味を示さないものと考えられる。

5. 調査の実施

4. で述べた計画にしたがって調査が実施された。その結果、ランダムサンプルに対する回収率はかなり高く、全国調査で74%、トメアスーで77%、マリングで61%である。

その結果を以下の表に示す。

全 国 調 査

調査不能

地 域	調査予定数	調査完了数	引越し	出稼ぎ	拒 否	病/死	旅行中
北部	33	25	0	7	0	1	0
東北部	4	3	1	0	0	0	0
サンパウロ市内	409	289	39	31	21	8	21
サンパウロ州 (GSP、MG、RJを含む)	143	115	5	7	6	7	3
南部	60	49	1	8	0	1	1
中西部	16	11	3	1	0	1	0
合 計	665	492	49	54	27	18	25

ト メ ア ス ー

	世帯数	サンプル	出稼ぎ	調査不能	調査可能
1. 全く抽出なしの世帯	19	0	0	0	0
2. 1人	98	98	21	2	75
1人から1人	9	9	4	1 (拒否)	4
2人から1人	38	38	7	—	31
3人から1人	22	22	9	1 (精薄)	12
4人から1人	22	22	1	—	21
5人から1人	5	5	—	—	5
6人から1人	7	7	—	—	7
3. 2人	31	31 (62)	7	1	23
4人から2人		7 (14)	—	—	7
5人から2人		13 (26)	4	—	9
6人から2人		7 (14)	1	1 (不在)	5
7人から2人		4 (8)	2	—	2
4. 3人	6	6 (18)	1	—	5
7人から3人		2 (6)	—	—	2
8人から3人		1 (3)	—	—	1
9人から3人		3 (9)	1	—	2
4. 4人	2	2 (8)	—	—	2
10人から4人		1 (4)	—	—	1
11人から4人		1 (4)	—	—	1
合 計	149	137 (186)	30	3	105

*同一世帯から複数のサンプルが選ばれたケースでは更に無作為に一つのサンプルだけを選び出した。従って、2人のケースでは62サンプル、3人-18、4人-8つつサンプルがあった。つまり、全体では186サンプルが選ばれ、調査サンプルは137となる。

マリンガ

	調査完了	未調査	引越し	出稼ぎ	拒否	その他
1	20	17	3	2	1	0
2	20	10	10	6	0	0
3	18	12	6	2	1	0
4	19	9	10	2	4	0
5	17	12	5	0	2	1
6	19	13	6	2	3	0
7	20	14	6	4	2	0
8	22	11	11	5	4	0
9	18	8	10	6	2	0
10	19	8	11	5	3	1
11	19	10	9	2	1	1
12	19	14	5	1	4	0
13	18	11	7	3	1	0
14	21	14	7	1	2	0
15	22	16	6	3	2	0
16	16	9				0
17	19	12	7	1	2	0
合計	326	200	126	48	37	3

いずれの場合も、引越し・病/死・出稼ぎという止むを得ない理由が多く、調査努力の不足に帰因するような不能率（拒否、旅行中など）は多くないことが読みとれるので、一応信頼できるサンプルが得られたと見てよい。

在日ブラジル日系人調査の回収数は郵送調査によるもの

トメアスーの分 5

マリンガの分 5

このほか、白紙返送1、住所不明返送5であった。

これにより、トメアスーの回収数110、マリンガの回収数205となる。

（住所の判明したもの45名に対し、2回督促した結果）

自記式のよるもの

海外日系人協会の分 118（有効数）

いすず栃木工場の分 85（有効数）

である。

6. 分析のための準備

回収された調査票をチェックし、コード化し、データシートに記入し、フロッピー、MTに記録することは通常の通りで特に言うことはない。しかし、今回全国調査では、第1次日系人調査において調査されている項目については除外してあるので、あらためて前回調査の情報をサンプルの固有番号を手掛りとして結合し、新しいフロッピー、MTを作

るというドッキングの作業が必要になった。特種地域調査においては全く通常の作業の通りであった。

全国調査においては、サンプルに乗ずるウエイト*—一定の日時・予算の下で実施可能な最適標本企画を考えたので、標本に乗ずるウエイトはさまざまであるが、これに乗じて推定値を作らないと理論的に偏りのあるものとなる—は2桁から5桁にわたり大きくバラツキている。分析の結果がウエイトを乗じないのと乗じたものとを比較し、検討することは今後の参考となる。4種類の集計を比較したものを資料番号6に示す。

集計は、ウエイトを乗じた正規のもの、全くウエイトなしで単純に集計したもの（理論的には偏りのある推定となる）、特にウエイトの大きいもの（10,000以上、7サンプル）を除いたウエイトつき集計、除外した以外のサンプルの単純な集計を付録1に示してあるが、4種類の数字は特別の項目を除けば大きな違いはない（大きいものでも数%程度）という驚くべき結果が得られた。ウエイトの大小と回答との間に一定の強い相関がないことを暗示しているものと言えよう。

*地点抽出のウエイト、世帯から1人を抽出するためのウエイトがあり、これらに乗じたものが用いる総合ウエイトとなる。

第 2 部

データ分析の結果

- 第 1 章 基本的事項
- 第 2 章 質問別にみたブラジル日系人の意識
- 第 3 章 ブラジル日系人の心の構図
- 第 4 章 特種地域トメアスーとマリंगा在住者の意識
- 第 5 章 在日日系ブラジル人の意識

第1章 基本的事項

1. この調査の対象となっている日系人の諸特性（数字は%）

ア. 性	男	55.3
	女	44.7

イ. 年令	19~29	19.9
	30~39	20.1
	40~49	19.8
	50~59	19.7
	60~*	20.4

*1987のJICA調査では、60~は17.4%で、その内訳は

60~69	10.1
70~79	4.2
80~	3.1

となっている。

ウ. 世代	1世	19.0
	2世純	46.5
	2世混血	1.3
	3世純	24.7
	3世混血	5.6
	4世純	0.5
	4世混血	1.8
	不明	0.6

1世と2、3、4世の純を加えると90.7%となる。混血は2世の中で3%、3世の中で23%となっている。

エ. 職業	専門技術職	9.1
	管理職・事務職	17.3
	農・牧畜・水産業	9.6
	製造・加工・土木	
	建築業	7.8
	商業・販売従事	9.5
	運輸・通信	3.2
	サービス	7.0
	なし・その他	36.5

オ. 職業上の地位	雇用者	16.6
	自 営	13.8
	被雇用者	27.5
	家族従業員	6.8
	その他・なし	35.3

カ. 学歴 (ブラジルでの)	小中卒	40.6
	高 卒	24.1
	大学・専門	18.6
	非該当	16.7

非該当の内訳

(日本での学歴)	小中卒	38.9
	旧高小新制中	33.8
	旧中・新高	13.0
	専門・大学	14.3

ブラジル・日本での最終学歴をあわせてまとめてみると、

初等教育	52.3
中等教育	27.7
高等教育	19.2
不 明	0.8

となる。

キ. ブラジル出世者の出生地

日本生れは19.0%で、ブラジル生れは79.4%ある。このうち

農村部生れ 49.1%

都市部生れ 50.9%

となり、丁度半々になっている。

[後 注]

ホノルル市民 (有権者) サンプルのうちに占める日系人の比率は、1978、1983、1988で42%、38%、36%となっている。

ハワイ (ホノルル) の日系人構成をみると世代構成は次のようになる (%)

	1971	1978	1983	1988
1世	3	5	3	2
2世	55	50	41	46
3世	35	37	35	40
4世以上	1	2	4	4
混合*	6	4	17	6
わからない	0	2	0	2

*混合1世+2世、2+3、3+4
という形のもの

ブラジルは1世が多く3世が少ないという形になり、2世は同じ程度となっている。
 年齢構成は、1988で

18～19	1.7
20～29	6.6
30～39	14.5
40～49	17.2
50～59	16.2
60～69	24.4
70～	19.4

ハワイの方が高年齢層が遥かに多い。性比は男48.1、女51.9となっている。学歴は初等教育8.4%、中等教育39.5%、高等教育51.6%、わからない0.6%となり、ハワイの方が学歴は高い。

2. 日本・日本語の係り合いからみたブラジル日系人—ハワイの日系人との対比を含めて

ア. 日本語について

i) 会話と読み書き

まず日本語での会話・読み書きの程度をみよう。

会 話	全くできない	28.2 (1.6)
	少しはできる	22.3 (6.6)
	十分できる	48.4 (90.6)
	その他	1.2 (1.2)
読み書き	全くできない	54.1 (8.4)
	少しはできる	16.2 (7.4)
	十分できる	28.6 (83.0)
	その他	1.2 (1.2)

括弧内はポルトガル語についての数字である。会話で約半分、読み書きでは約1/4という実状で、かなり高いのではないかと考えられる。

年齢別にみると、会話が十分できるが20才から60才まで10才刻みで、10%、24%、57%、62%、89%と40才以上と未満で段落があり、読み書きでは3%、7%、16%、45%、72%と50才未満と50才以上で段落がある。性別では、男の方が10%あまり日本語が、会話・読み書きともよくできる。1、2、3世では会話は92%、56%、12%、読み書きでは82%、25%、4%がよくできるということである。1世でも読み書きは別として会話の全くできないもの1%、少しはできるというもの7%である。女より男の方がいくらか日本語の力があるようにみえる。

ハワイの日系人についてみると質問は違うが次の通りになる(1988)。

日本語をどの位うまくつかえるか

1	流暢に (Fluently)	14%
2	まあまあやれる (Passably)	32%
3	理解できるが話せない	26%
4	殆どできない	21%
5	全くできない	7%

一世がブラジルに多い事を考慮に入れても会話・読み書きともブラジルの方がよくできると見てよい。しかし、ハワイでもかなり、日本語ができているのは注目に値しよう。1971年から全体的状況は少しづつ日本語の力は落ちているが、1983年からはあまり変化はない。

ii) 手紙

手紙を書くときポルトガル語で書く方が簡単か、日本語で書く方が簡単かの質問では、日本語の方が簡単23.7%、ポルトガル語の方が簡単71%、両方とも大きな違いはない3.4%、その他2.0%となっている。ハワイの日系人では、その順に3.3%、93.3%、1.7%、1.7%となり、1世の比率を考慮に入れる（ブラジル19%、ハワイ2%）と著しい違いはない。

iii) 新聞

新聞を全く読まない、時々読む、定期購読している、とわけ、つぎに日本語、ポルトガル語をたずねてあるのでその比率をみよう。新聞を全く読まない12.8%、時々読む45.7%（日本語5.4%、ポルトガル語27.4%）、定期購読39.4%（日本語9.4%、ポルトガル語20.2%）である。

ハワイではどの位の頻度で日本語新聞を読むかの質問で、全く読まない80%、時々読む6.7%、定期購読8.9%、あとはその他DKでこれは読まない方に傾いた回答と言えよう。

iv) 暗算

暗算を日本語にするか、母国語にするかの質問で、ハワイとの対比は次のようになる（%）。この質問は語学力、日常での日本語への接近程度をあらわすものと考えられる。

回 答	ブラジル	ハ ワ イ			
		1988	1983	1978	1971
日本語	19.1	2.2	4.0	6.0	2.0
ブラジル語	72.3	-	-	-	-
英語	-	92.2	95.0	91.0	96.0
混合	8.0	3.9	1.0	2.0	2.0
その他 わからない	0.6	1.7	0	1.0	0

となり、読み書きと同傾向で、1世を除外すると似た傾向となろう。年齢別にみると暗算は日本語というもの20台0.5%、30台0%、40台5%、50台24%、60才以上65

％と、～49、50台、60～と2つの大きな断層が見出される。1世で72%、2世で11%、3世で1.2%となっている。

v) 日本語学校への通学年数

ブラジルとハワイの日系人の比較は次のようになる(%)。

回 答	ブラジル	ハ ワ イ			
		1988	1983	1978	1971
0	49.2	17.3	19.0	13.0	17.0
1・2年	15.9	11.7	10.0	8.0	7.0
3・4・5年	17.1	19.4	19.0	19.0	16.0
6～10年	9.6	35.0	38.0	42.0	44.0
10年以上	4.1	15.0	14.0	17.0	16.0
わからない	0	1.6	0	1.0	1.0

1世の問題があり単純に比較はできない。日本語学校へ通学という観点からはブラジルの方が少ないが、家庭での教育という点もあり、一概に結論付けるわけにはいかない。

イ. 日本の音楽やビデオ

i) 音楽

日本音楽が好きか、ブラジル音楽が好きかの質問である。同じような質問がハワイでもあるので比較しておこう(%)。

回 答	ブラジル	ハ ワ イ		
		1988	1983	1978
両方ともすき	63.5	73.9	74.0	72.0
日本音楽	17.2	3.9	6.0	3.0
ブラジル音楽	16.8			
アメリカ音楽		5.6	11.0	13.0
日本音楽きらい } どちらもきらい }	2.2	12.2	7.0	10.0
その他	0.3	4.4	2.0	2.0

この点については「両方とも好む」が多数意見として似た形が出ている。

ii) ビデオ

日本のビデオをみるかでは、いつも見ている15.5%、時々見ている45.9%、見ない38.0%、その他・わからない0.6%という形で約60%が何等かの形でみていることがわかる。

ウ. 友人関係

i) 友人関係

日本人・日系人の友人がどの位あるかの質問である。ハワイでは多少質問が異なるが同じようにまとめてみた(%)。

回 答	ブラジル	ハ ワ イ			
		1988	1983	1978	1971
大多数が日本人か 日系人	15.7	35.0	43.0	54.0	59.0
両方いる	65.0	60.0	52.0	28.0	37.0
大多数が非日系	15.6	2.8	4.0	14.0	3.0
日本人・日系人は いない	2.7	0.6	1.0	3.0	1.0
その他・わからない	1.0	1.7	0	1.0	0

ハワイは日系人が濃密に住んでいる関係で、ブラジルより日系人の付き合いが多くなっていることがわかる。ハワイでは大多数が日系人より両方いる方に次第に移りつつあることがわかる。

ii) 職場の同僚

同僚に日本人・日系人が多いかどうかの質問である (%)。

回 答	ブラジル	ハワイ
		1988
大多数が日本人か 日系人	5.6	12.8
両方いる	17.6	47.2
大多数が非日系	18.0	16.1
日本人・日系人は いない	18.2	3.3
その他・わからない	40.6	20.5

非該当者がいるために差が出ており、その他・わからないを除外して比率を出してみると、次のようになる。

回 答	ブラジル	ハワイ
		1988
大多数が日本人か 日系人	9.4	16.1
両方いる	29.6	59.4
大多数が非日系	30.3	20.3
全くいない	30.7	4.2

日系人の多くいるハワイとの差が見られる。

エ. 日系団体への加入

世帯としての日系人団体加入は35.9%、個人としての日系団体加入は10.4%となっている。

オ. 日本との交流

日本へ行ったことのあるもの15%、ないもの85%である。行った理由で多いのは観光（6%）、親戚訪問（6%）が主なものである。

行きたいものは逆に86%ある。その理由は、観光45%、親戚訪問16%、留学5%出張2%、出稼ぎ14%、その他4%となっている。出稼ぎが現状は、やや多い程度の14%というのは、現在の出稼ぎとあわせ約25%となるが、これが限度を意味するのか、あるいは出稼ぎでなく日本へ行きたいということなのか、このままでは何とも言えないが注目してよい数字であろう。

第2章 質問別にみたデータの分析

一般的な立場から質問群を分類して、その各領域別に各質問の回答を示し、全貌を述べていくことにする。

この時、日本、ハワイの日系人、アメリカ人との比較をしつつ分析を行うこととする。

I 一般的事象に対する社会的態度

- 質問20 生活に満足か
- 8 健康に満足か
- 19 生活諸領域の重要性
- 16 暮らし方
- 9 将来への希望
- 10 諸種の不安感

II 仕事観

- 質問13 一生働くか
- 14 お金と仕事
- 15 就職の条件

III 身近な社会事象

(i) 一般的なこと

- 質問F7 「もったいない」感
- 22 金は大切なものの一つと教える
- 23 自由か規律か
- 25 しきたりに従うか

(ii) 人間関係

- 質問17 アリとキリギリス
- 30 先生が悪いことをした
- 31 故郷と会議：恩人がキトクするとき
- 32 故郷と会議：親がキトクするとき
- 35 大切な道徳
- 36 好ましい友人
- 37 スジかまるるか
- 38 入社試験：1番と親戚
- 39 " : 1番と恩人の子
- 40 めんどうをみる課長

(iii) 信頼感

- 質問41 他人のためか自分のためか
- 42 スキがあれば利用されるか
- 43 人は信頼できるか

- IV 家庭
質問27 家庭は唯一のくつろげる場所か
28 離婚
29 女の仕事

- V 先祖・家
質問11 先祖を尊ぶか
12 他人の子供を養子にするか

- VI 宗教
質問48 宗教を信じるか
49 「宗教的な心」は大切か
50 宗教の説く事は同じか

- VII 科学文明観
質問21 人間らしさはへるか
26 心の豊かさはへらないか
33 自然と人間との関係
44 コンピュータ化
45 環境保護

- VIII 政治的態度
質問24 政治家にまかせるか
34 国と個人の幸福
51 主義はよいか
52 国家目標

IX 自由回答

なお、一般的な回答の比較については、諸グループの回答分布比較表（付録2）を、自由回答の回答については付録3を参照されたい。さらに、J Bの性別、年齢別、世代別、日本人スケール（後述）別の回答分布表は付録4にのせてある。

1. 一般的事象に対する社会的態度…… I

以下の節も同様であるが、まず質問を示しその後で比較のデータのあるものについては

J 日本 (1988) JB ブラジル日系人 (1992)
 JA₄ ハワイの日系人 (1988) A アメリカ本土のアメリカ人 (1988)

のグラフを示してある。JBは×印をつけ見易くしてある。本文の記述も簡略化のため、J, JB, JA (JA₄の4を落とす), Aを用いることにする。

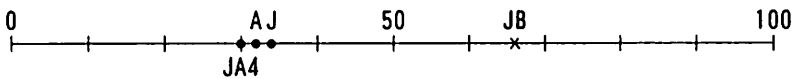
JAを用いたのは、JBとJAの比較のためであり、Aを入れたのは、JAとAとの比較の文脈において、JBとの比較を考えたからである。このほか、フランスとの比較を随時交えたが、これはラテン系ということであり、他にラテン系のグループの調査がないため仮りに用いたものである。表に出すにはあまりにも比較鎖というのには遠いので文中で論ずるにとどめた。

問20 あなたの生活についてお伺いします。一口に言ってあなたは今の生活に満足していますか。

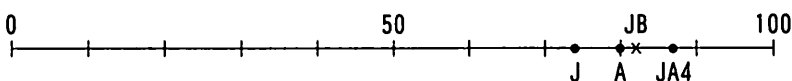
- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 満足している | 5. 満足していない (不満) |
| 2. 少しは満足している | 6. その他 (記入) |
| 3. どちらともいえない | 7. わからない |
| 4. 少し不満である | |

Q20 満足

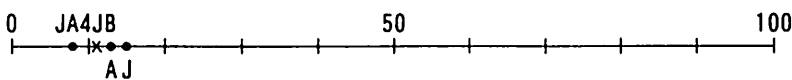
<1>



<1 + 2>



Q20 どちらともいえない



JBは満足感が高く、日本はやや低目の傾向にある。特に、非常に満足という極端な表現がJBに極端に多いのは注目される。満足していると非常に満足を加えるとJA、JB、Aは近くなり、Jはやや離れている。JAとJBとをくらべると同じ位の数字になるが、極端な表現はJBの方に多い。

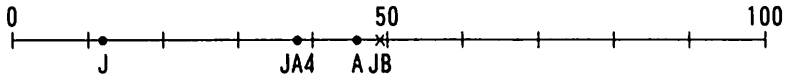
これを年齢別にみると高年齢ほど満足度の高いのはJと同様であるが、非常にという表現も高年齢層ほど高く、60才以上で83%にのぼる。非常に満足 (括弧内はこれに満足を加えたもの) を1世、2世、3世の順にみると71%、74%、43%、非常に満足と満足を加えると90%、89%、と1、2世に差はなく3世で64%となる。世代より年齢の要因の方が優勢である。男女差は大きくはない。

問8 あなたと同じ年の人と比べて、あなたの健康状態はいかがですか。

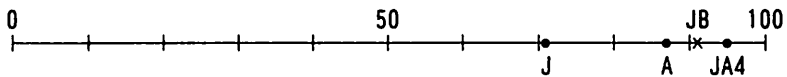
- | | |
|---------------|------------|
| 1. 非常に満足している | 4. 満足していない |
| 2. 満足している | 5. その他（記入） |
| 3. あまり満足していない | 6. わからない |

Q 8

〈1〉非常に満足している

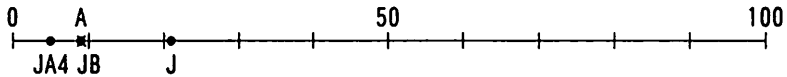


〈1 + 2〉

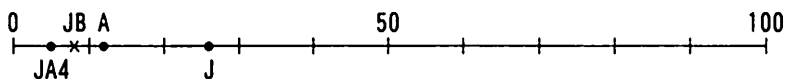


Q 8

〈3〉あまり満足していない



〈3 + 4〉



非常に満足はJ BとAが近く、日本は低い。満足を加えると差はちぢまるが、日本は低目である。J BとJ Aは同じ位になるが、J Aに比べてJ Bは極端な表現が多いのは興味深い。

年齢別にみると、非常に満足が20代～60以上で28%、42%、60%、59%、54%と高年齢層に高いという傾向は注目される。ただ、非常に満足と満足を加えると97%、90%、90%、93%、84%となり差は縮まり、60才以上がやや低い。あとは同じになる。1、2、3世別にみると、61%、52%、36%が非常に満足、これに満足を加えると89%、92%、92%と差はなくなる。

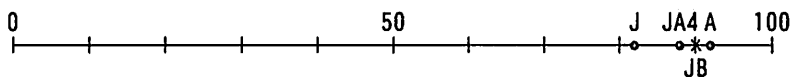
問19 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って

1～7の評価をつけてください。

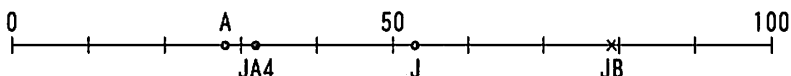
	で重 は な い 要							重 わ か ら な い 要
a. まず、「家族や子供」についてはどうですか	1	2	3	4	5	6	7	0
b. では、「職業や仕事」についてはどうですか	1	2	3	4	5	6	7	0
c. では、「自由になる時間とくつろぎ」については	1	2	3	4	5	6	7	0
d. では、「友人・知人」については	1	2	3	4	5	6	7	0
e. では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」については	1	2	3	4	5	6	7	0
f. では、「宗教」については	1	2	3	4	5	6	7	0
g. では、「政治」については	1	2	3	5	4	6	7	0

重要度の7についてのみ比較表を示す。

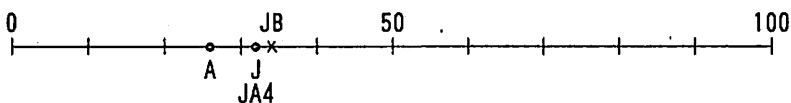
Q19 a 重要



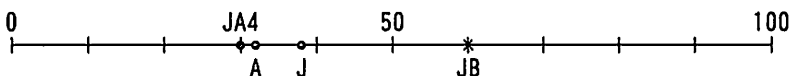
Q19 b 重要



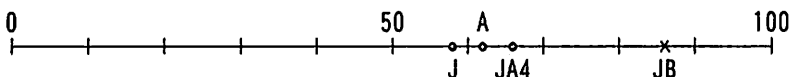
Q19 c 重要



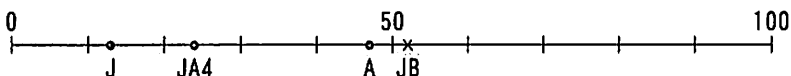
Q19 d 重要



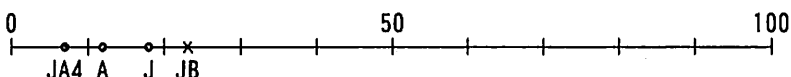
Q19 e 重要



Q19 f 重要



Q19 g 重要



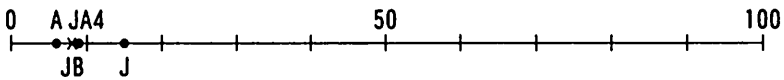
a, c項目であまり差はないが、あとはJBは重要という意見がずい分多い。宗教ではAと近いが、一般的に言って、重要という極端な反応を示すものが多いことがよみとれる。JBで特に多いのは、a, b, eであり、ついでdである。政治より宗教を大事とするのはJB、A、JAでJは同じ位で低い。

JAはJよりAの方により近いと言う形がよみとれる。JBは必ずしもJに近くはない。年齢別については、特に言うことはなく、付録の表を参照されたい。世代についてみると、差のやや大きいものはc, d, fで、a, b, e, gでは差はないか少ないかである。

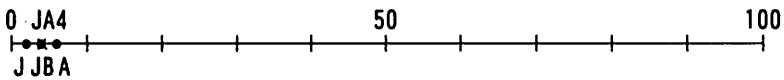
問16 人のくらし方には、いろいろあるでしょうが、つぎにあげるもののうちで、どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか。

1. 一生けんめい働き、金持ちになること
2. まじめに勉強して、名をあげること
3. 金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をすること
4. その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと
5. 世の中の正しくないことを押しつけて、どこまでも清く正しくくらすこと
6. 自分の一身のことを考えずに、社会のためにすべてを捧げてくらすこと
7. その他（記入 _____）
8. わからない

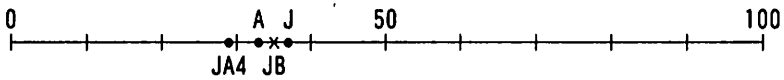
Q16 金持ちになる



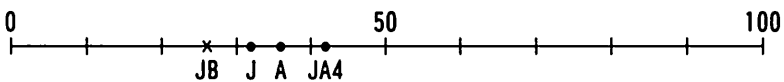
Q16 名をあげる



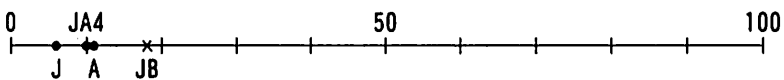
Q16 趣味にあった生活



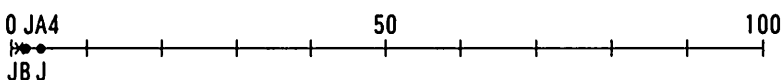
Q16 のんきに



Q16 清く正しく



Q16 社会につくす



各国とも大きな違いはなく、趣味にあったくらし（JB 36%）、のんきにくらす（JB 26%、JA は 43% で最も多い）が多く、社会につくすは最も少ない。清く正しくが JB で 19% あるのは注目される。清く正しくは高年令層に高い傾向がみられる。世代別に著しい差はないが、傾向的には 3 世に金持ち、趣味にあったくらしがやや多く、のんきには 2 世、清く正しくは 1 世にやや多くみられると言う程度である。

問9 自分自身が将来について期待や希望を持っていることがあると思います。あなたは、次のようなことについてどの程度の期待や希望を持っていますか。

1. 非常に希望を持つ 2. かなり希望を持つ 3. 少し希望を持つ
4. 全く希望を持たない 5. その他 6. わからない 7. 非該当

a. 社会的・経済的成功	1	2	3	4	5	6	7
b. 結婚や家庭生活	1	2	3	4	5	6	7
c. 子供の将来	1	2	3	4	5	6	7
d. 世の中がよくなる	1	2	3	4	5	6	7
e. 国の政治・経済	1	2	3	4	5	6	7
f. 世界の平和	1	2	3	4	5	6	7
g. 地球環境の保全	1	2	3	4	5	6	7

質問は、いわば修身、齐家、治国、平天下という順で次第に大きな問題にしての希望をたずねてある。この質問はJBに対してのみ行われている。

領域	非常に希望を持つ	順位	非常に+かなり希望を持つ	順位
a	48	3	75	3
b	54	2	78	2
c	63	1	80	1
d	42	5	71	4
e	23	7	49	7
f	43	4	67	5
g	36	6	60	6

全体的に全く希望を持たないというのは最高13% (e. 国の政治・経済) で、全体的に明るい見通しとみてよい。

明るい希望の多いのは、個人的なこと (c, b, a) であり、次が世の中、世界の平和 (d, f)、次が地球環境 (g)、最後が国のこと (e) になっている。

年齢別にみると、a, bでは若い方が多い傾向にあり、c, fでは年齢の中位の所が多く山形となるが、d, e, fでは高年齢層ほど非常に希望を持つものが多い傾向が出てくる。

問10 ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることがあると思います。

あなたは次のような危険について不安を感じることがありますか。

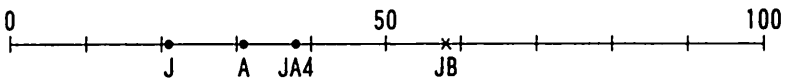
1. 非常に感じる 2. かなり感じる 3. 少しは感じる
4. 全く感じない 5. わからない 6. その他 7. わからない

a. まず、「重い病気」の不安はどの程度でしょうか	1	2	3	4	5	6	7
b. では、「交通事故」についてはどうでしょうか	1	2	3	4	5	6	7
c. では、「失業」についてはどうでしょうか	1	2	3	4	5	6	7

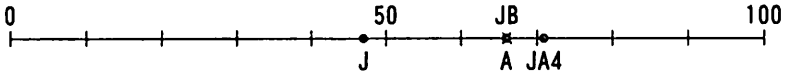
- d. では、「戦争」についてはどうでしょうか 1 2 3 4 5 6 7
- e. では、「原子力施設の事故」についてはどうでしょうか 1 2 3 4 5 6 7
- 話題は変わりますが、次のことはどうですか。
- f. まず、「おどし・暴力」についてはどうでしょうか 1 2 3 4 5 6 7
- g. では、「麻薬」についてはどうでしょうか 1 2 3 4 5 6 7
- h. では、「環境問題」についてはどうでしょうか 1 2 3 4 5 6 7
- i. では、「国の政治や経済」についてはどうでしょうか 1 2 3 4 5 6 7

a, b, c, d, eまでは国際比較のデータがある。

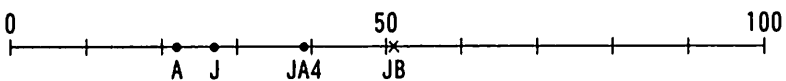
Q10 非常に感じる 病気



<1 + 2>



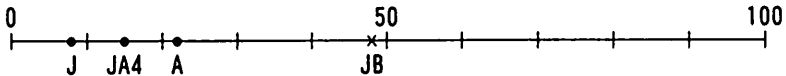
Q10 非常に感じる 交通事故



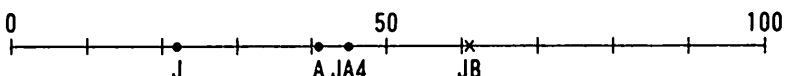
<1 + 2>



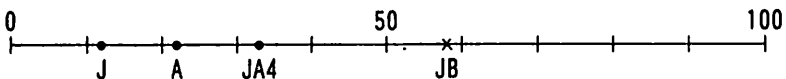
Q10 非常に感じる 失業



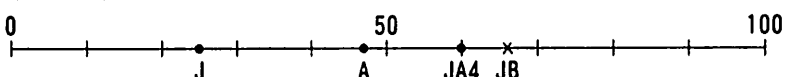
<1 + 2>



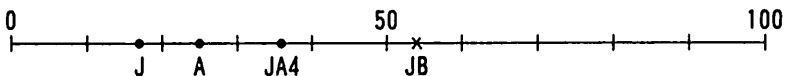
Q10 非常に感じる 戦争



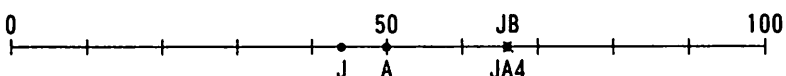
<1 + 2>



Q10 非常に感じる 原子力の事故



<1 + 2>



まず非常に感じるをみると、常にJ Bが飛びぬけて大きい数字を示しており、非常にとかなりを加えると、差は縮まる。一般的に言って日系人（J B、J A）はA、Jにくらべて不安を感じるようであり、特にJ Bは非常に感じると表明しているのである。日本は不安感が少ないと言ってよい。少しは感じるというのをみると、日本が多い傾向にある。これをまとめて、どの国が領域別で不安が多いかを順位の形でまとめてみると次のようになる。

	J	J B	J A	A
a	4	1	2	3
b	3	1	2	4
c	4	1	3	2
d	4	1	2	3
e	4	1	2	3
順位の計	19	5	11	15

J B、J A、A、Jの順となり、上述したことが一層はっきり示される。

不安の多い順位を国別にまとめてみると次の表のようになる。

	J	J B	J A	A
a	2	1	1	1
b	1	4	1	3
c	5	5	5	3
d	4	1	4	3
e	3	3	1	2

これは国別の相対的評価で、重い病気はどこの国でもトップにある。失業はどこの国でも不安の順位の少ない方であるが、交通事故、戦争、原子力発電の不安はバラつくことがわかる。JとJ Aでは失業と戦争、J Bでは交通事故と失業が少なく、Aでは交通事故、失業、戦争が少ない。戦争をみると、戦争を行いうるAが少なく、行い得ないJ Bが多いのは注目される。

世代別に不安を非常に感じる順をみると次のようになる。

	1世	2世	3世
a	3	2	1
b	2	1	2
c	3	1	2
d	2	1	2
e	2	1	1

1世は不安を感じるのが少なく、2世に多い傾向に見える。

ブラジルのみ調査のあるf, g, h, iを加えて、「非常に不安を感じる」の多い順にまとめてみると、

1. f 76.7%
2. g 67.3%
3. d 56.5%
4. i 56.2%

- 5. a 56.0%
- 6. e 53.8%
- 7. f 50.7%
- 8. h 48.3%
- 8. c 48.0%

となり、新しく加わった「おどし・暴力」「麻薬」「国の政治や経済」が上位に入りこみ、とくに前2者 f と g とは、国際比較の項目に対する不安よりかなり多いことが注目される。

新たにつけ加わった項目に関し、世代別に非常に不安を感じるのをみると次のようにまとめられる。

	1世	2世	3世
f	3	1	2
g	3	1	2
h	2	1	2
i	3	1	2

傾向的にみると、2世に不安が最も多く、1世に少ない傾向がある。

こうした意味で、ブラジルの中では相対的に1世はよりオプティミスティックで2世がよりペンシスティックな傾向にあると言えそうである。

〔IにおけるJBまとめ〕

生活、健康に対する満足度が高く、生活領域の重要性でも最も高い重要度を表明するものが多く、また、不安でも非常に感じるものが多い。これは一見矛盾するように思われるが、一つの見方に立てば、「質問されたことに対して極端なものに過度に反応する傾向が強い」のではないか、つまり、少なくともポルトガル語で調査される場合、大げさな（過度な）反応を示すものが多いのではないか、と言う仮説を見出すことができそうである。さらにまた、将来の希望においても明るい希望を表明するものが多くあるということも一つの傾向ではないかと思われる。くらし方（生きがい）については、各国とも特色はそれほど見出されない。

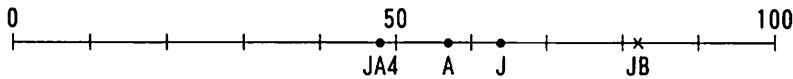
なお、不安を非常に感じるのはフランスと似ているが、生活満足はJBが高く明るい感じである点はフランスと異なっている。

2. 仕事観……Ⅱ

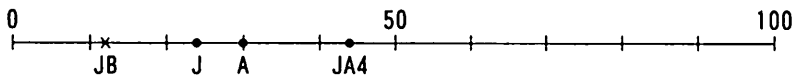
問13 もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. ずっと働く | 3. その他 (記入) |
| 2. 働くのをやめる | 4. わからない |

Q13 ずっと働く



Q13 働くのをやめる

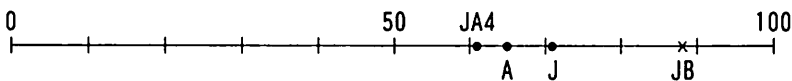


ブラジル日系人はずっと働くのが日本よりはるかに多い。日本も多い方であるが、それよりもJ Bが多いのは注目される。J Aが一番少ない。年齢別にみると50才台までずっと働くが極めて多いのである。20台から10才刻みで60才以上まで94%、84%、90%、86%、63%となっている。働くのをやめないものは1世で72%、2世で83%、3世で90%ある。働くのをやめるものは1世で24%、2世で11%、3世で7%である。年齢の問題、世代の問題ともに利いているようである。

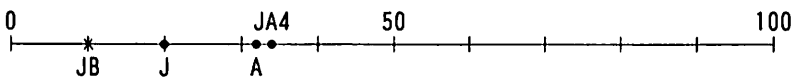
問14 仕事について、次の2つの意見があります。どちらがあなたの意見に近いですか

1. いくらお金があっても、仕事がなければ、人生はつまらない
2. お金があれば、仕事がなくとも、人生がつまらないとは思わない
3. わからない

Q14 仕事がなければつまらない



Q14 仕事がなくともよい



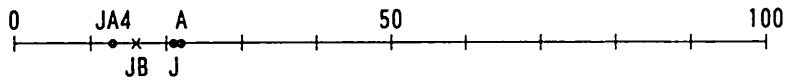
前問同様仕事志向の傾向がJ Bに多く、次がJ、J AはAと共に少ない。年齢別にみても若い方に仕事志向が少ないわけではなく、20台から順に88%、95%、92%、89%、76%となり、60才以上を除けば90%近い仕事志向が出ている。

問15 ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。

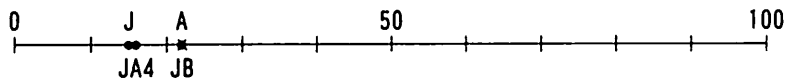
あなたは、どれに一番関心がありますか。

1. お金のことを気にしないですむ程よい給料
2. 倒産や失業の恐れがない仕事
3. 気の合った人たちと働くこと
4. やりとげたという感じがもてる仕事
5. その他（記入）
6. わからない

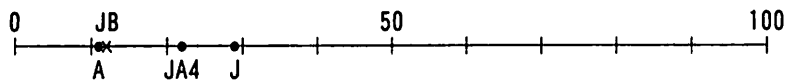
Q15 よい給料



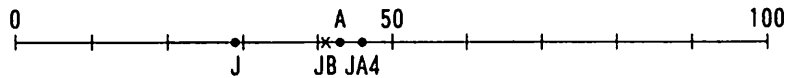
Q15 倒産・失業なし



Q15 気の合う仲間と



Q15 やりがいのある仕事



J Bも特に異なった傾向を示していない。Jの特色は、気の合う仲間と働きたいというものが多く、J Aはこれに次ぐが、J BはAに近いのである。世代別にみても、気の合う仲間は1世で15%、2世で15%、3世で7%となって、1世でも多くはない。世代別に、やりとげたという感じのある仕事は、1世で30%、2世で35%、3世で55%となっている。これはJ A、Aとも近くJは少ない。

〔IIにおけるJ Bのまとめ〕

仕事志向が他のグループにくらべてより多く、仕事志向の強い日本よりもさらに多い。しかし就職の条件では日本と異なり、気の合う仲間と働くというのはAと共に少ない。前にフランスについて言及したが、仕事志向の弱いフランスと大いに異なっている。

3. 身近な社会事象……Ⅲの(i) 一般的なこと

「もったいない」感

質問はF7にある。「もったいない」という感じ方は昔の日本ではよく言われた(教えられた)ものである。今日でこそこういう感じは少なくなったが、日本人の心の底のどこかであるのかも知れない。残念ながら日本での調査はない。

食べ切れなかった食べ物を捨てたり、また使える物を捨てたりした時に、「もったいない」と感じるか？

たびたび感じる	70.0%
ときどき感じる	25.6%
まったく感じない	4.1%
その他・わからない	0.3%

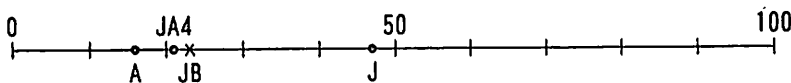
今日のブラジル日系人はこの感じがかなり強く残っているものと考えられる。おそらく日本では、「使い捨て」文化にとりかこまれているために、高年齢層のものを除き、遥かに少ないのではないかと思われる。JBでも20才台から10才刻みで60才以上までみると50%、57%、78%、80%、85%と年齢と共に上昇するが、特に40才以上で大きく異なるのが興味深い。

1世で88%、2世で76%であるが、3世となると50%と落差が大きい。男女別には全く差がない(ともに70%前後)。

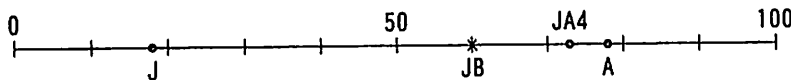
問22 小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります「小さいときから、お金は人にとって、最も大切なものの1つだと教えるのがよい」というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

1. 賛成
2. 反対
3. いちがいにはいえない
4. その他(記入)
5. わからない

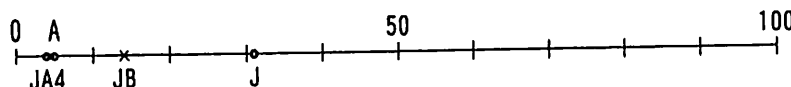
Q22 賛成



Q22 反対



Q22 いちがいにはいえない



Jは賛成といちがいにいえないが多いが、JBはJAと似ている。JAはAに近く日本と異なっている。

年齢別にみると、賛成は50才以上に多い。世代別には、賛成は1世33%、2世24%、3世15%（反対は34%、64%、70%）となっている。1世は日本とJB一般との中間となっている。性別には全く差がない。

問23 それでは、やはり小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、小さいときから、自由の尊さを教えるのと、規律の尊さを教えるのとでは、どちらが大切だと思いますか。

1. 自由の尊さを教える
2. 規律の尊さを教える
3. その他（記入）
4. わからない

この質問はハワイでは1971、日本では1953、1968、1973にあるので比較しておこう（%）。

	自由	規律	その他	わからない
JB	21	69	10	0
JA ₁	14	70	14	2
J53	16	63	15	6
J68	20	68	7	5
J73	22	66	7	5

とりあげた諸グループの間に著しい差は見られない。但し、日本、ハワイのデータは古いものしかなく、今日の状況は不明である。JBは年齢別にも大きな差はない。

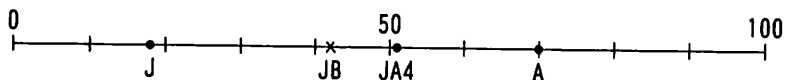
世代別には、自由は23%、25%、14%と3世に必ずしも多くなく、規律は73%、67%、70%とあまり差はない。

性別では男に自由が多く（31%、女10%）、規律は男63%、女77%とやや多い。

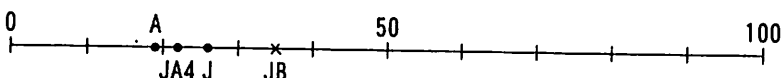
問25 あなたは、自分が正しいと思えば世間の慣習に反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世間の慣習に、従った方がまちがいないと思いますか。

1. おし通せ
2. 従え
3. 場合による
4. その他（記入）
5. わからない

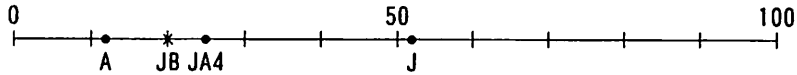
Q25 おし通せ



Q25 従う



Q25 場合による



J Bは、おし通せの低い点、従えの多い点はJ寄りの傾向であるが、場合によるではJ Aに近く日本よりずっと少ない。J Bでもおし通せは従うよりも多い目である。年齢別におし通せをみると20才から60才以上10才刻みで75%、49%、55%、21%、15%と50才以上で大きく異なっている。従うでは逆に16%、30%、27%、55%、48%となり50才以上では従うがおし通せより大きくなる。前の問題を含め50才前後に断層があるのではないかとと思われる。

おし通せは1、2、3世の順に19%、39%、43%と増大し、従うは34%、43%、35%となっている。時と場合によるは40%、17%、20%であり、中間的回答は1世に多く日本型を示している。

おし通せは男で40%、女で46%、従うは男36%、女35%と大きな差はない。

フランスとの関係を見ると、フランスはおし通せが他の国より多く75%あり、J Bと大いに異なる傾向がある。

4. 身近な社会事象……Ⅲの(ii) 人間関係

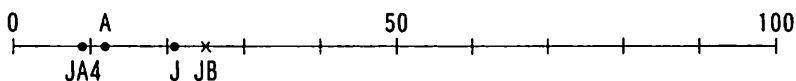
問17 イソップの童話の中に、怠け者のキリギリスと、働き者のアリの話があります。夏の間歌をうたっていたキリギリスが、冬になって、食べる物がなくなり困ってしまい、夏の間働いていたアリのところにやって来ました。この時のアリの答えには次のような2つの型があります。

あなたは、このお話のむすびとして、この中のどちらがご自分の気持ちにじっくりしますか。

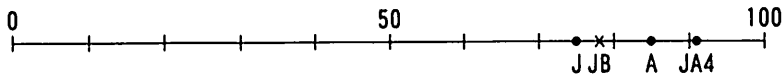
1. 夏の間怠けていたのだから、困るのが当然だといって追い返してしまう
2. 怠けていたのはいけないけれども、これからはちゃんと働くのですよ、といさめた上で、食べ物わけてあげる
3. その他（記入 _____）
4. わからない

この質問が人間関係の質問であるか否かは問題のある点であるが一このことは後述の分析により詳しく論じられる一、日本においては、人間関係の一つの変形と見られているので、上述の注意のもとで、日本語の報告書ではここに入れておく。

問17 追いかえず



問17 食べものを分けてやる



各グループとも大きな違いはなく、食べ物を与えていさめるが大きな比率で支持されているが、比較的にはJ BはJに近くJ Aにはより遠くなる。年齢別にみるとカップ形、釣鐘形で、若い方と高年令層に追いかえず回答が多く、食物を与えるのは30～49才の中年令層に多い。若い方と高年令層の「追いかえず」意味が、あるいは異なっているのではないかと予想される（但し、このデータ分析だけでは明確ではない）。

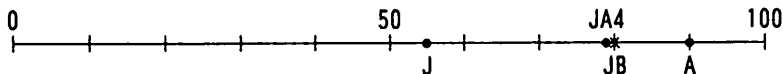
追いかえずは、1世、2世、3世の順に21%、21%、18%と差はなく、食べ物を与えていさめるも78%、76%、81%と差はない。

性別にも大きな差はない（追いかえず男18%、女22%で差は大きくはない）。

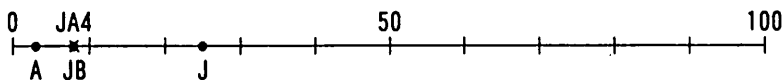
問30 「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、親はそれが本当であることを知っている場合、子供には、「そんなことはない」といった方がよいと思いますか、それとも「それはほうとうだ」といった方がよいと思いますか。

1. ほうとうだという
2. そんなことはないという
3. その他
4. わからない

Q30 真実をいう



Q30 そんなことはないという



日本のみ異なり、J BとJ Aは近く、Aは日本の対極にある。J Bでは60才以上のみ、そんなことはないが17%とやや高い程度である。

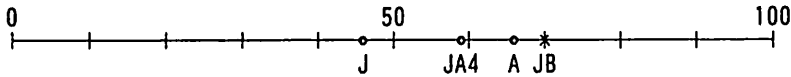
否定するは1世で15%、2、3世で6%、5%で1世にやや日本的傾向はあるものの大きな差ではない。性別にも差はないと言ってよい。

問31 南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させていただきました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。ところが故郷の、育ててくれた西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受け取ったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。あなた

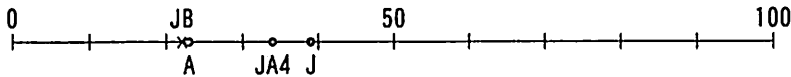
はつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。よいと思う方を1つだけえらんで下さい。

1. 何をおいても、すぐに故郷に帰る
2. 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
3. その他（記入）
4. わからない

Q31 すぐ故郷へ帰る



Q31 大事な会議に出席する

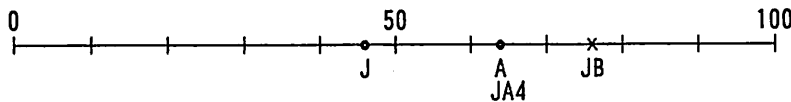


J BはAに近く、J AはややJ寄りである。年齢別に一定の傾向はない。世代別には、すぐ故郷へ帰るが52%、71%、77%となり、1世がむしろ低目である。

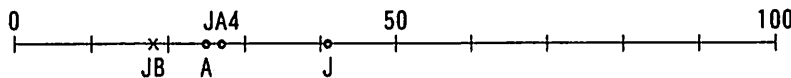
問32 いまの質問では、恩人が死にそうなときを、うかがいましたが、もしキトクなのが恩人ではなくて、南山さんの親だったら、どうしたらよいと思いますか。どちらかえらんで下さい。

1. なにをおいても、すぐに故郷に帰る
2. 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
3. その他（記入）
4. わからない

Q32 すぐ故郷に帰る



Q32 大事な会議に出席する



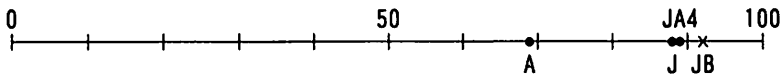
J Bは故郷へ帰るが多い。日本のみ他のグループと異なっている。年齢別に差はない。世代別にも前問と同傾向である。

問35 つぎのうち、大切なものを2つあげてくれといわれたら、どれにしますか。

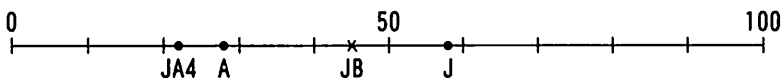
- a. 親孝行、親に対する愛情と尊敬
- b. 助けてくれた人に感謝し、必要があれば援助する

- c. 個人の権利を尊重すること
- d. 個人の自由を尊重すること
- e. その他（記入）

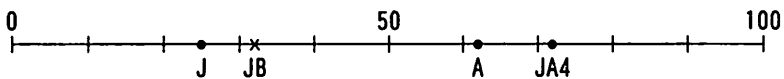
Q35 親孝行



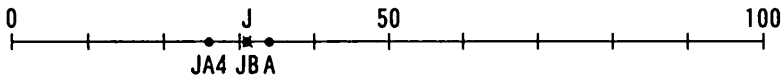
Q35 恩返し



Q35 権利尊重



Q35 自由尊重



親孝行は J B、J A、J が近く、A は離れる。

恩返しは J A と A は近くて低く、J B は J 寄りが高い方になる。

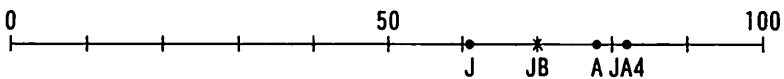
権利尊重は、J A が A に近く高い。J B は J に近く低い。

自由尊重は、各グループとも差はない。J は J B に傾向的に近い形が出ていると言ってよい。

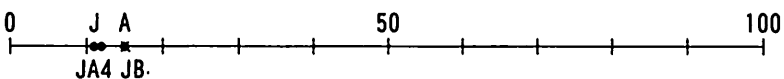
問36 つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか。

- 1. 他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事はあまりできない人
- 2. 仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人
- 3. その他（記入）
- 4. わからない

Q36 他人との仲をよく



Q36 仕事

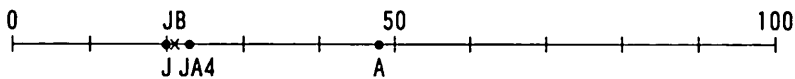


各グループとも1のタイプの人が好きいとされることに違いはないが、JBはJ寄り、JAはA寄りとなっている。2のタイプが好きい人という人は少なく各グループとも差はない。

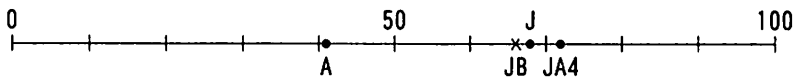
問37 物事を決定する時に「一定の原則に従うこと」に重点をおく人と、「他人との調和をはかること」に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな“ひとがら”ですか。

1. 物事を決定するときに一定の原則に従うことに重点をおく人
2. 物事を決定するときに他人との調和をはかることに重点をおく人
3. その他（記入 _____）
4. わからない

Q37 スジを通す



Q37 まるく



Aのみ異なって1のひとがらが好まれ、JB、JA、Jは2のひとがらが好まれ、その差がないのは興味深い。

年齢別をみても、2のひとがらの支持は、20代から60才以上まで10才刻みで62%、75%、77%、59%、63%となり（1のひとがらは24%、12%、18%、25%、27%）、釣鐘形（カップ形）である点は注目してよい。この傾向は、問17のイソップ物語の時と同様で、若い方と高年齢層にともに厳しい姿勢が見られている。

世代別には2のひとがらの人は、1世75%、2世61%、3世72%となり、2世に厳しい姿勢がやや多い傾向が見える。

性別では女の方がやや厳しい傾向がある（1のタイプ男17%、女27%、2のタイプ男72%、女61%である）。

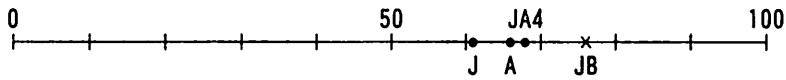
問38 あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を1人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」と社長のあなたに報告しました。

あなたはどちらをとれ（採用しろ）といますか。

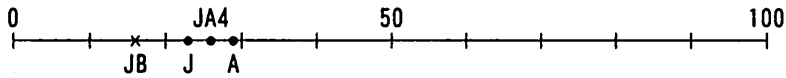
1. 1番の人を採用するようという
2. 親戚を採用するようという
3. その他（記入 _____）

4. わからない

Q38 一番の人



Q38 親戚

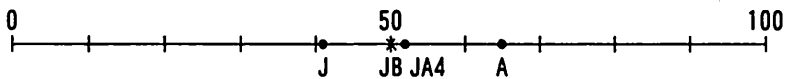


J Bは一番の人の採用が多く、親戚が少なく、厳しい態度が出ている。J AとAとは近い。年齢別にみると、1番の人が59%、75%、86%、85%、74%と中高であり、親戚の方は23%、15%、5%、15%、23%と少数意見ではあるがカップ形となっている。前に述べた厳しい姿勢の傾向が多数意見は同一でも私情を重んずる傾向と一致しているのは注目してよい。

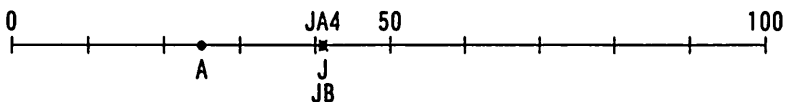
問39 それでは、この場合2番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたが昔世話になった人の子供だったとしたら、あなたはどうしますか。(どちらをとれといえますか)

1. 1番の人を採用するよういいう
2. 昔世話になった人の子供を採用するよういいう
3. その他(記入)
4. わからない

Q39 一番の人



Q39 恩人の子供

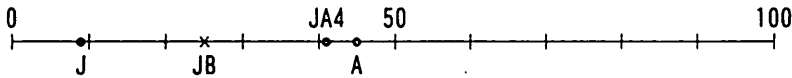


Aは異なるがJ B、J A、Jは近い傾向にある。一番と恩人の子ではAが一番が多いが、J、J A、J Bでは一番と恩人との差は小さくなっている。恩人の子の採用を年齢別にみると41%、39%、35%、48%、49%と50才以上に境があり、60才以上では1番の人より恩人の子の方がやや多目になる。この場合はカップ形で、私情を重んずる回答はカップ形になっている。

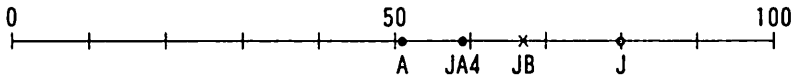
世代別にみると、恩人の子の方は38%、47%、38%という形で、1世はこの場合日本人型ではない。性別には差はない。

- 問40 ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長に使われる方がよいと思いますか。どちらか1つあげてください。
1. 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことでは面倒を見ません。
 2. 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもありますが、仕事以外でも人の面倒をよく見ます。
 3. その他（記入 _____）
 4. わからない

Q40 仕事のみ

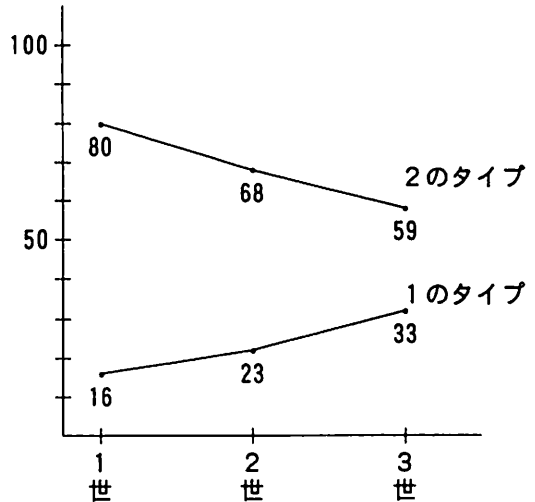
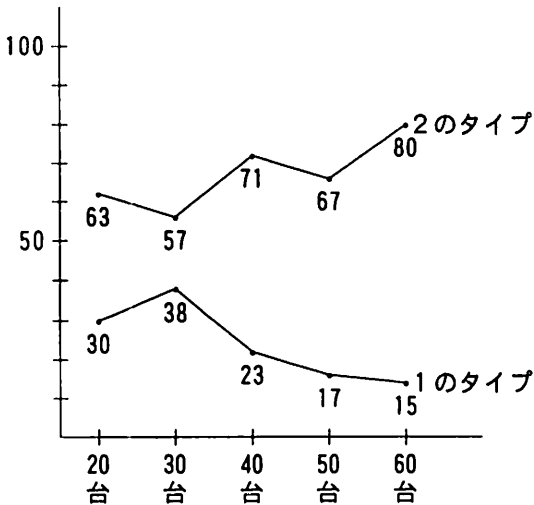


Q40 仕事以外も面倒を見る



この質問は2のタイプが日本で圧倒に好まれ続けている特色あるものである。J、JB、JA、Aの順である。JAは日本寄りでAに近く、JBは日本寄りでJに近いのである。

年齢別にみると高年齢の方に2タイプの好みが多く、1のタイプは40才未満に多い。60才以上だと日本のデータに近くなる。世代別にみると下の表のようになり、傾向的なものが見られ、1世は日本型である。



3世はJA型に近い。

なお、性別の間には全く差がない。

〔人間関係におけるJBのまとめ〕

JBはJと近い関係にあつて、それを重んずる方とみてよい。JAもJ寄りであるが、JBの方がより日本寄りである。

また、タテマエを重んずることと私情を重んずることが呼応する屈折した心情が—おそらく日本の昔気質におけるように—あらわれているところが見受けられるように思われる。このことについては後に分析されることになる。

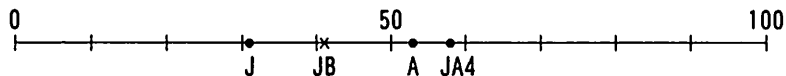
5. 身近な社会事象……Ⅲの (iii) 信頼感

これからの3問は、アメリカのミシガン大学のSRの調査で用いられている人間の信頼感に対する質問で、アメリカの特色をよくあらわしているものであることが過去のデータ分析で示されている。アメリカでは、信頼感が高く表明されているのである。

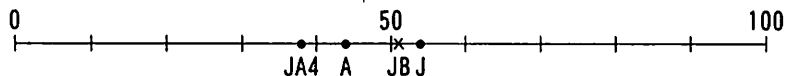
問41 たいていの方は、他人の役にたとうとしていると思いますか、それとも自分のことだけ考えていると思いますか。

1. 他人の役にたとうとしている
2. 自分のことだけ考えている
3. その他 (記入)
4. わからない

Q41 他人の役にたつ



Q41 自分のことだけ考える

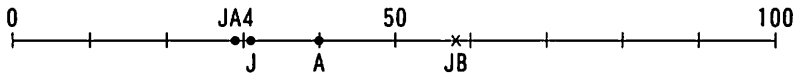


JBとJ、JAとAとが近く、他人の役に立とうとしていることは前者に少なく後者に多い。他人の役に立とうとしているのは世代別に39%、51%、28%、と2世に多いが、自分のことだけは41%、43%、67%と3世に不信感が強い。

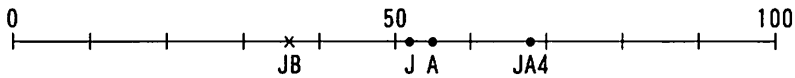
問42 他人は、機会があれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それともそんなことはないと思いますか。

1. 他人は機会があれば利用しようとしていると思う
2. そんなことはないと思う
3. その他 (記入)
4. わからない

Q42 機会があれば利用



Q42 そんなことはない

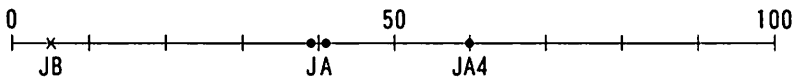


J Bは不信感が強く、日本はJ Aと共に低い。年齢が高くなるにつれて、そんなことはないというのが多くなる傾向が出ている。利用されるは若い方に多い。利用の方は、世代別にみると1世44%、2世52%、3世75%と3世に不信感が強い。1世ではそんなことはないが多数意見で、日本型であるが、2世、3世となると不信感が増大し、特に3世に著しい。

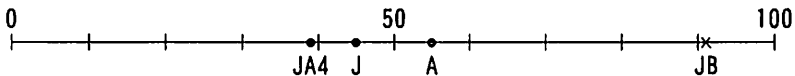
問43 たいていの人は信頼できると思いますか、それとも、常に用心した方がよいと思いますか。

1. 信頼できると思う
2. 常に用心した方がよい
3. その他（記入 _____）
4. わからない

Q43 信頼できる



Q43 信頼できない



J Bは他のグループにくらべ極めて不信感が強い。J Aは最も信頼感が高く、JとAとは近い。日系人がハワイとブラジルで両極にある形になっている。年齢による大きな差はない。1世、2世、3世とも信頼ができる人が多いが1世ではやや少ない（80%）。

ない

〔人間の信頼感に対するJ Bのまとめ〕

J Bは人間に対する信頼感が他のグループにくらべて低いとすることができる。日系人でもJ AとJ Bとは非常に異なっている点は注意すべきところである。とくに3世に不信感が強い点は注目される。男にくらべ女にやや不信感が強い。

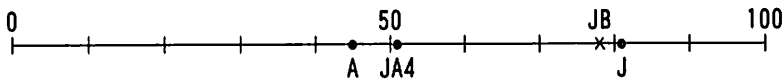
6. 家庭……IV

問27 つぎのような考え方があります。

「家庭は、ここちよく、くつろげる、ただ1つの場所である」
 というのですが、あなたはそう思いますか、そうは思いませんか。

1. そう思う
2. そうは思わない
3. その他（記入）
4. わからない

Q27 そう思う

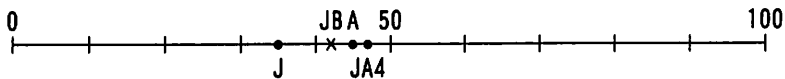


JとJBは近く、家庭をそう感じている。AとJAは近い。

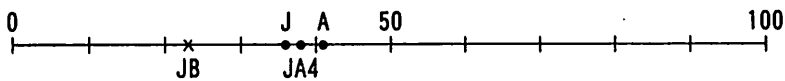
問28 つぎの3つの意見の中で、どれが一番あなたの意見に近いですか。

1. 離婚はすべきではない
2. ひどい場合には、いつ離婚してもよい
3. 二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい
4. その他（記入）
5. わからない

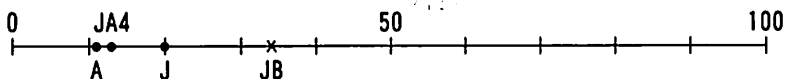
Q28 離婚すべきでない



Q28 ひどい場合には可



Q28 合意で離婚



JとJAとAとはあまり差はないが、JBは二人の合意さえあればいつ離婚してもよいが多く出ている。

三つの回答の順位をまとめてみると、つぎの表のようになる。各の特色ははっきりしている。

回 答	J	J B	J A	A
1	1	1	1	1
2	1	3	2	2
3	3	2	3	3

年齢別は明らかで、40才以上、とくに50才以上で大きく異なっている。「二人の合意」をみると51%、48%、29%、19%、20%となっており、若い方に50%位ある点は注目してよい。

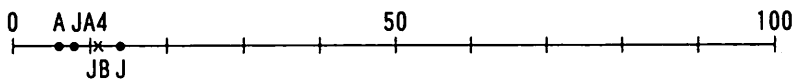
離婚すべきではないは12%、33%、55%、53%、62%と40才以上と大きな開きがある。若い層の離婚に対する考え方は自由で年齢によるギャップは大きい。

世代別には、二人の合意は1世で19%、2世で30%、3世で48%あり、3世の多数意見は二人で合意である（離婚すべきでない23%、ひどい場合はよい28%）。

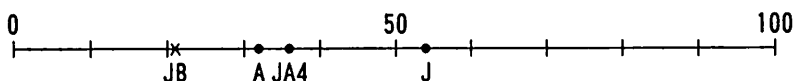
問29 家事や子供の世話について、どうお考えですか。

1. すべてが女性の仕事である
2. いくつかは女性の仕事である
3. すべての仕事は、男性、女性の区別なくやるべきだ
4. その他（記入)
5. わからない

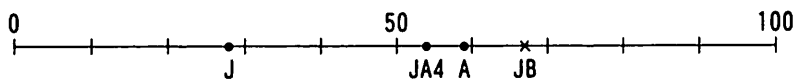
Q29 すべてが女性の仕事



Q29 いくつかは女性の仕事



Q29 男性・女性 公平に分担



すべては女の仕事は各グループとも少数意見であるが、日本はいくつかは女の仕事という考えが多いが、J B、J A、Aとも公平に分担が多数意見となっている。年齢別をみると、60才以上はすべては女の仕事が35%（50台までは1%、9%、2%、7%）で60才以上のところに大きな断層がある。公平に分担は73%、43%、78%、78%、43%と多いが、やはり60才以上のところに断層がある。

世代別ではすべては女の仕事は1世28%、2、3世でともに7%、いくつかは女の仕事は1世で26%、2、3世でそれぞれ17%、27%、公平に分担は1世で44%、2世で77%、3世で66%となっている。1世と2、3世の間の差は大きい。性別に大きな差はない。

〔家庭観に対するJBのまとめ〕

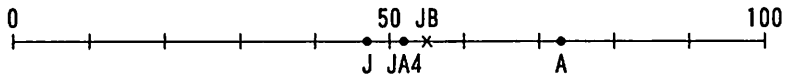
JBは、家庭はくつろげる唯一の場所というのがJと共に多いが、離婚・女の仕事ではきわめて近代的でJA、A以上という形である。フランスとくらべるとくつろげる唯一の場所（65%、アメリカ45%の差に注意）の多いこと、他のモダンな点も似ているところは注目される。

7. 先祖・家……V

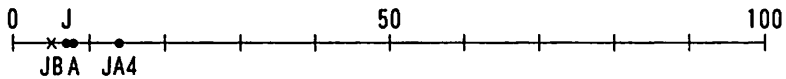
問11 あなたはどちらかといえば、普通より先祖を尊ぶ方ですか、それとも普通より尊ばない方ですか。

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 普通より尊ぶ方 | 4. その他（記入） |
| 2. 普通より尊ばない方 | 5. わからない |
| 3. 普通 | |

Q11 尊ぶ



Q11 尊ばない



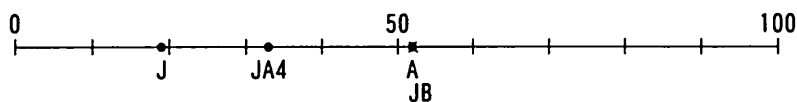
JBとJとは近く普通というのが34%、43%と多く、この傾向はJA（32%）に近い。年齢別にみると、尊ぶ方が10台から60才以上まで10才刻みで38%、47%、57%、73%、61%と増大する。男に尊ぶ方が多く（65%、女は43%）、普通というものは女に多い（女49%、男23%）。男女で多数意見が逆転している。

世代別には尊ぶ方が1世、2世3世の順に69%、59%、42%と減少し、普通は25%、33%、42%と増大するが尊ばないは3世でも11%程度である。

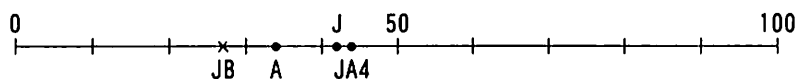
問12 子供がないときは、たとえ血のつながりがない他人の子供でも、養子にもらって家をつがせた方がよいと思いますか、それとも、つがせる必要はないと思いますか。

- | | |
|--------------|---|
| 1. つがせた方がよい | |
| 2. つがせる必要はない | |
| 3. 場合による | |
| 4. その他（記入） |) |
| 5. わからない | |

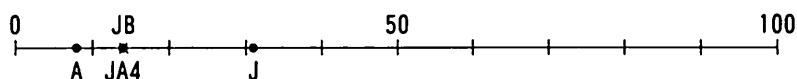
Q12 つがせる



Q12 つがせないでもよい



Q12 場合による



J BはAと共につがせるが高く50%あまりあり、日本は20%程度で低い。J Aは30%あまりある。Jは場合によるが多い。J Aはこの場合はJに近く、J AとJ Bは異なっている。つがせた方がよいは年齢にあまり傾向的な差はなく（56%、45%、58%、58%、42%）、場合によるは16%、29%、21%、31%、31%と高年齢層ほど高い。性別に差はない。

世代別には、つがせるは1世50%、2世56%、3世47%と著しい差はない。どの世代でもつがせるが多数意見となっている。

〔家・先祖に対するJ Bのまとめ〕

家庭の場合と異なり、特にモダンというわけではなく、先祖を普通より尊ぶ方、養子に家をつがせるというのが多数意見となっている。日本よりアメリカ型により近いのである。

8. 宗教……VI

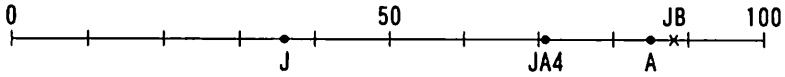
問48 宗教についておききたいのですが、たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかをもっていますか。

1. もっている（信じている） 2. いいえ（もっていない、信じていない）

1. もっている、と回答した方にお伺いいたします。それは何という宗教ですか。

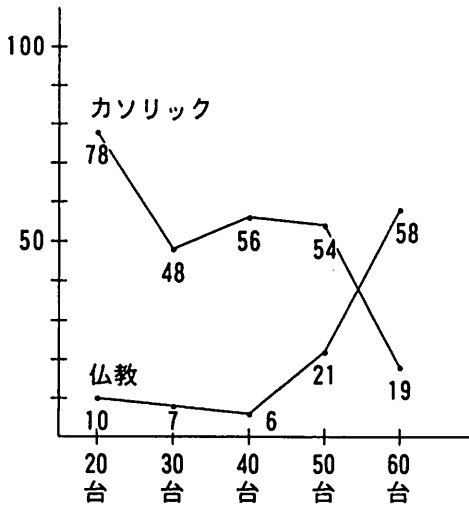
- | | |
|-----------------------------|--------------------------------|
| 1. 神道 | 5. プロテスタント |
| 2. 仏教 | 6. カトリック |
| 3. 創価学会（日蓮正宗） | 7. その他（記入) |
| 4. その他の日系宗教（記入) | 8. わからない |

Q48 信じる



信じるは、J BはAと共に高く90%に近い。性別に差はなく、年齢別にも92%、83%、87%、92%、92%となり、日本のように宗教を信じるものが年齢と共に高まって行くというのとは異なり、J以外のグループと同様な傾向を示しているのは興味深い。カソリックが51%（プロテスタント3%）、仏教20%が多いところである。

年齢別にカソリックと仏教をみるとつぎのグラフのようになり、年齢による差が著しい。60才以上というところに断層が見られる。



世代別に信じるということに全く差はない（1、2、3世の順に92%、88%、91%）。

1世は仏教54%、カソリック22%

2世は仏教16%、カソリック52%

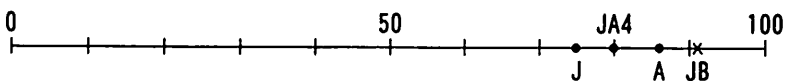
3世は仏教8%、カソリック65%

となり、1世と2、3世の間の差は大きい。

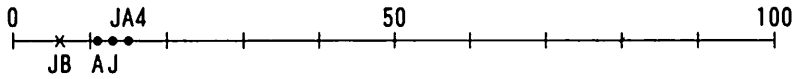
問49 それでは、いままでの宗教にはかかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切だと思いますか。

1. 大切
2. 大切ではない
3. その他（記入)
4. わからない

Q49 大切



Q49 大切にない



大切にというのがどのグループでも極めて高く、大切にないというのが10%前後となって低い。

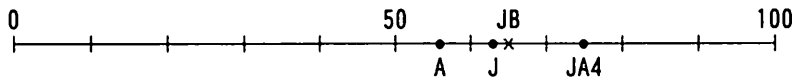
問50 宗教について、こんな意見があります。

「宗教にはいろいろあり、それぞれ独自の教えを説いているが、そうした教えは、けっきょく同じものだ」

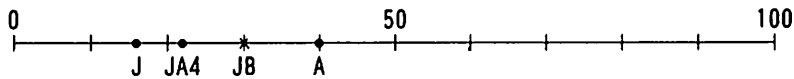
というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- 1. 賛成
- 2. 反対
- 3. その他（記入）
- 4. わからない

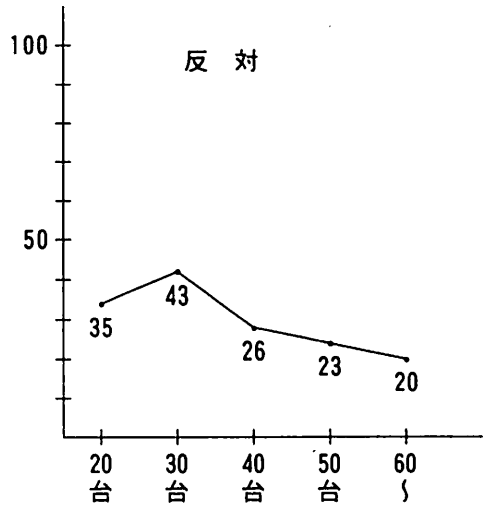
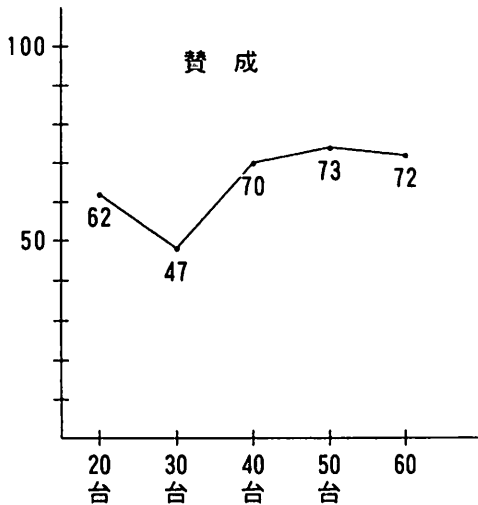
Q50 賛成



Q50 反対



J Aは賛成が多く、JとJBは賛成が同じであるが反対というのはJBはJより大でAに近くなる。反対はAに多い。年齢別には高い年齢層の方に賛成が多く反対が少ない。



〔宗教に対するJBのまとめ〕

JBは宗教を信ずるものが極めて多く、これは年齢に差がない。但し、カソリックと仏教では年齢別、世代別にみる逆傾向にある。宗教的な心も大切にというのが多く、宗教は同じことを説いているというのも多い意見である。

9. 科学文明観……VII

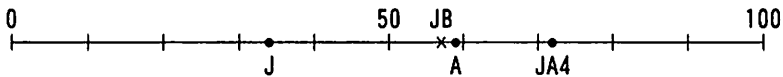
問21 こういう意見があります。

「世の中は、だんだん科学や技術が発展して、便利になって来るが、それにつれて人間らしさがなくなって行く」

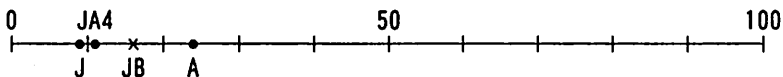
というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

1. 賛成 (人間らしさはへる)
2. 反対 (人間らしさ、不変、ふえる)
3. いちがいにはいえない
4. その他 (記入)
5. わからない

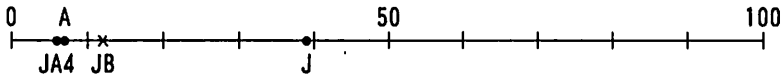
Q21 へる 賛成



Q21 ふえる 反対



Q21 いちがいにはいえない



J BはAと近い。J Aもこれに近い。Jはいちがいに言えないが多いという形である。多数意見は、人間らしさがへるということである。日本のみへるといちがいに言えないが同じ位ある。

問26 こういう意見があります。

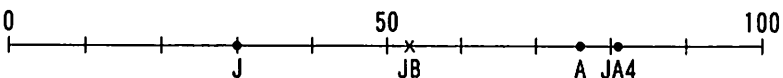
「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ (人間らしさ) はへりほしない」

というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか。それとも反対ですか。

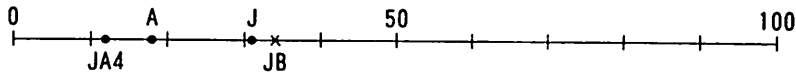
1. 賛成 (へらない)
2. 反対 (へる)
3. いちがいにはいえない
4. その他 (記入)
5. わからない

前問の裏返しの質問である。

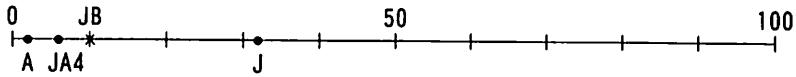
Q26 へらない



Q26 へる



Q26 いちがいにいえない

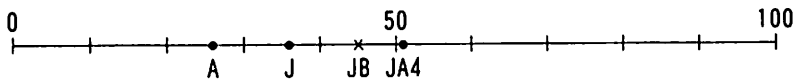


このきき方をする、J AとAは楽観的な回答が多く、日本は少なくなる。J Bはその中間となる。へる方は日本とJ Bは近くなる。AとJ Aとは低い。この点J AはAに近く、J BはJ寄りである。いちがいにいえないはJの特色となっている。

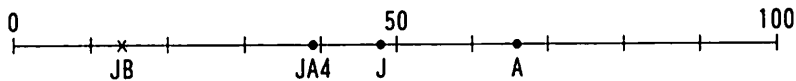
問33 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い（ほんとうのことに近い）と思うものを、1つだけ選んで下さい。

1. 人間が幸福になるためには、自然に従わなくてはならない
2. 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
3. 人間が幸福になるためには、自然を征服していかなければならない
4. その他（記入 _____）
5. わからない

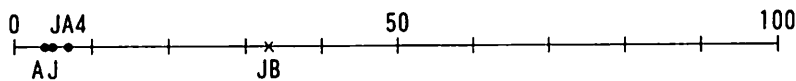
Q33 自然に従う



Q33 自然を利用



Q33 自然を征服



自然に従うは、J BとJ Aは近く、Aが最も少ない。自然を利用はAに多く、JとJ Aとは近く、J Bはきわめて少ないのが特徴的である。自然の征服はJ Bのみが高い数字を示している。

年齢別にみても、自然に従うは若い方と高年令層にやや多く、自然を征服は中年層に多く、若い層、高年令層に少ない傾向が出ている。利用は高年令層のみ30%近くある。

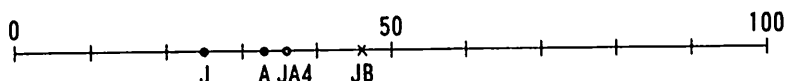
性別をみると、男に従うが多く、女に征服が多いという特徴的なことが出ている。

世代別には、従うは1世で51%、2世で50%、3世で45%、征服するは順に16%、38%、37%で1世は日本型である。3世は従う、征服が同じ位にある。

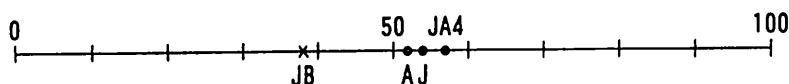
問44 コンピュータがいろいろなところに使われるようになり、情報化社会などということが言われています。このような傾向が進むにつれて、日常生活の上で変わっていく面があると思います。あなたは、このような変化をどう思いますか。

1. 望ましいことである
2. 望ましいことではないが、避けられないことである
3. 困ったことであり、危険なことでもある
4. その他（記入）
5. わからない

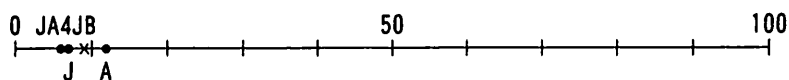
Q44 望ましい



Q44 望ましくないが避けられない



Q44 望ましくない



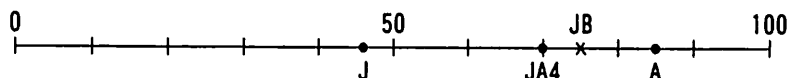
J Bは望ましいが多く、望ましくないが避けられないというのはJ、J A、Aが同じ位でJ Bが少ない。性別では望ましいというものは男に多く（54%、女は35%）、年齢別では若い方に望ましいというものが多目である。

世代別には差は少ない。

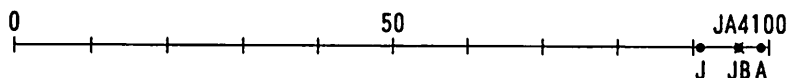
問45 環境の保護は、あなたにとってどのくらい重要な問題ですか。

1. 非常に重要である
2. 重要である
3. あまり重要ではない
4. 重要ではない
5. その他（記入）
6. わからない

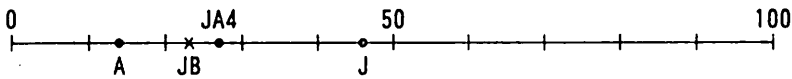
Q45 非常に重要



< 1 + 2 >



Q45 重要



J B、A、J Aは非常に重要な表現が多く、重要を加えると各グループ殆ど同じになる。J以外は極端な表現が多い様に思われる。

[科学文明観に対するJ Bのまとめ]

科学文明と人間らしさについては、J A、Aにくらべてより悲観的である。しかし、コンピュータに関しては望ましいと望ましくないが避けられないという意見に分極し、自然と人間の関係では、自然に従うと征服するとに分極する。

環境保護の大事さについては、A、J Aと共に非常にという表現が多く見受けられる。

10. 政治的態度……VIII

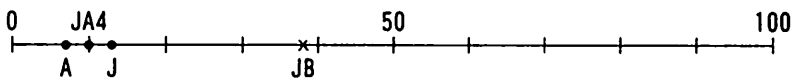
問24 こういう意見があります。

「国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたたかわせるよりはその人達にまかせる方がよい」

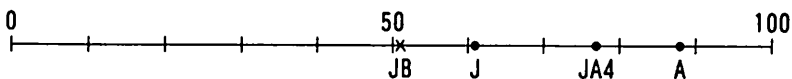
というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか。

1. 賛成 (まかせる)
2. 反対 (まかせっきりはいけない)
3. いちがいにはいけない
4. その他 (記入)
5. わからない

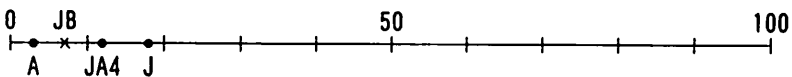
Q24 まかせる



Q24 反対



Q24 いちがいにはいけない



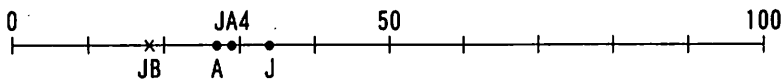
J Bでまかせるとというのが飛びぬけて多いことに気がつく。反対は日本と共に低く、J AはJと同じである。いちがいに言えないはJに多い。各国の比較でみると、フランスが他の国にくらべて飛びぬけて多く38%（ドイツ8%、イギリス13%、アメリカ7%、日本13%）、J Bと近いのは偶然の一致かどうか検討に値しよう（ラテン系という点かどうかという問題である）。

年齢別には、高年齢層にまかせる意見が多目であるが、1、2、3世の間では全く差のないことは注目される。

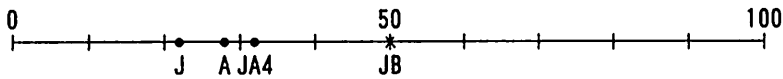
問34 あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか、1つだけあげて下さい。

1. 個人が幸福になって、はじめて国全体がよくなる
2. 国がよくなって、はじめて個人が幸福になる
3. 国がよくなることも、個人が幸福になることも同じである
4. その他（記入）
5. わからない

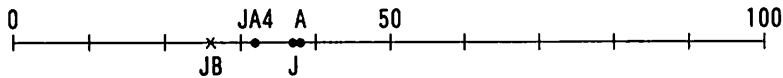
Q34 個人→国



Q34 国→個人



Q34 個人=国



J Bは特徴的に異なっている。国がよくなって個人が幸福になるというのが多数意見として約半数ある。Jはこの意見が最も少なく、むしろ同じだという意見が多くなる。J、J A、Aはあまり差がない。なおフランスでは、国→個人が23%と少なく前問との傾向と逆になっている。この多数意見は1、2、3世の順にみると、38%、47%、60%と1世に少なく3世に多いのは注目してよい。個人がよくなって国がよくなるというのは22%、17%、15%とあまり差はないが、1世にやや多い。同じだというのは1世に多い。年齢別にも多数意見は若い方により多い傾向を示している。

問51 a あなたは『民主主義』についてどう思いますか。

このうち、あなたの意見に一番近いのはどれですか。

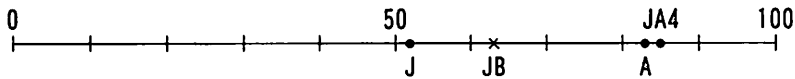
1. よい
2. 時と場合による
3. よくない
4. その他（記入）
5. わからない

- b では『資本主義』についてはどうですか。
- | | | |
|------------|-----------|---|
| 1. よい | 4. その他（記入 |) |
| 2. 時と場合による | 5. わからない | |
| 3. よくない | | |

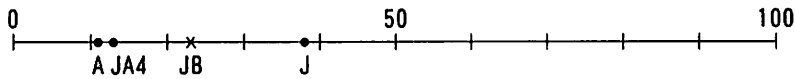
- c では『社会主義』についてはどうですか。
- | | | |
|------------|-----------|---|
| 1. よい | 4. その他（記入 |) |
| 2. 時と場合による | 5. わからない | |
| 3. よくない | | |

- d では『自由主義』についてはどうですか。
- | | | |
|------------|-----------|---|
| 1. よい | 4. その他（記入 |) |
| 2. 時と場合による | 5. わからない | |
| 3. よくない | | |

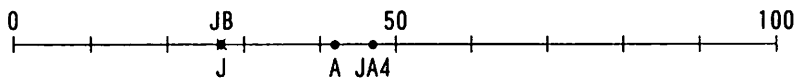
Q51 よい 民主主義



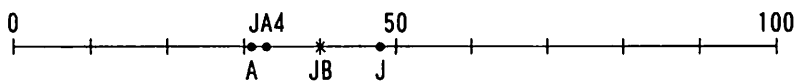
Q51 時と場合による 民主



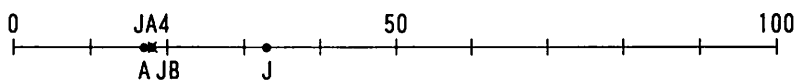
Q51 よい 資本主義



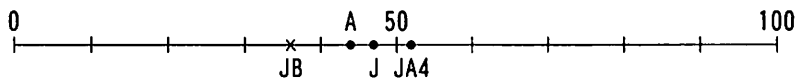
Q51 時と場合による 資本



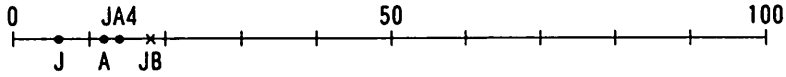
Q51 よい 自由主義



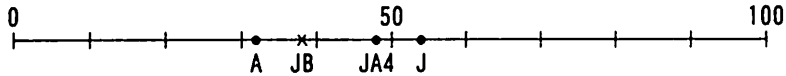
Q51 時と場合による 自由



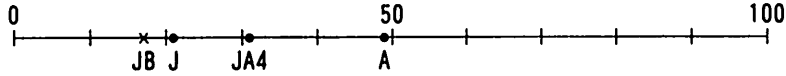
Q51 よい 社会主義



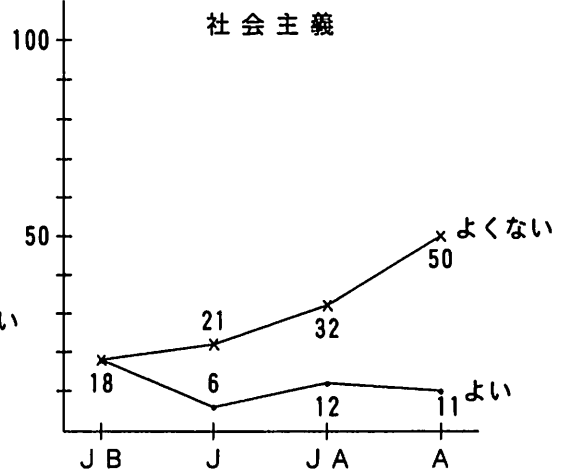
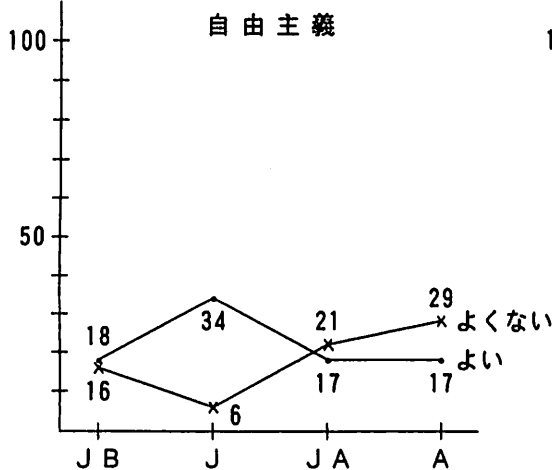
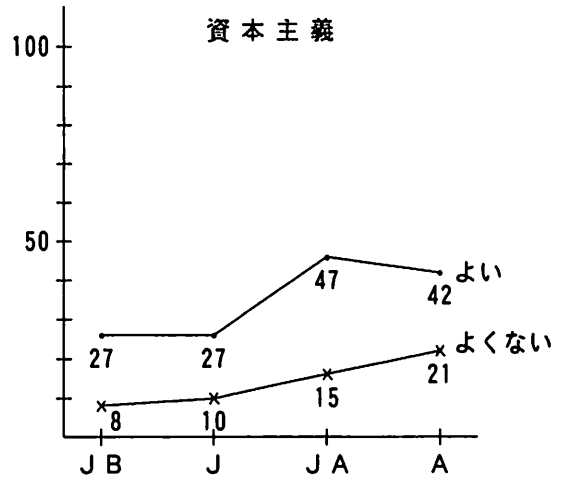
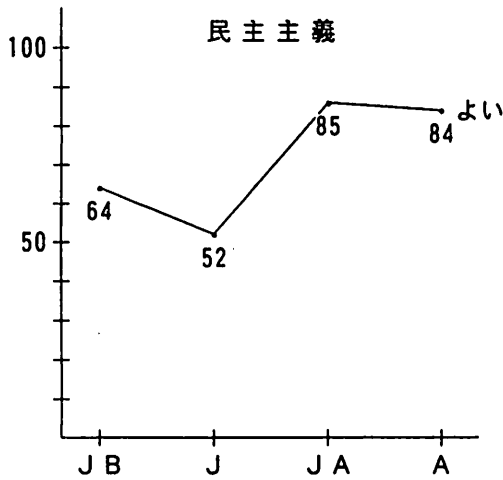
Q51 時と場合による 社会



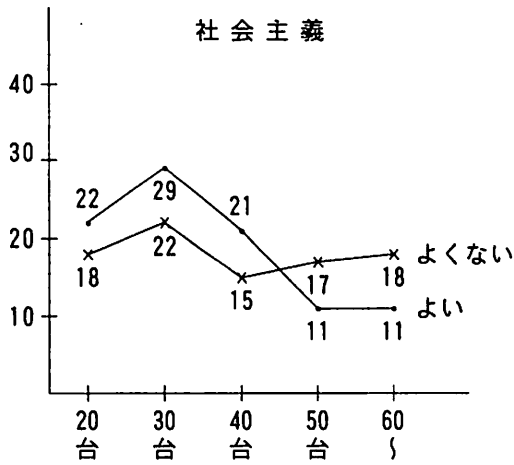
Q51 よくない 社会



日本が全般をとおして「時と場合による」が多く、政治的主義を時と場合により使いわけるという形で、政治的主義に固執しない態度が出ている。AとJ Aとは民主主義への固執がきわめて強い。資本主義に対してもかなり強い支持がある。社会主義はよくないという形である。JBはどれに強い支持を示すかという点、民主主義のほか特に強いものはない。比較的に社会主義をよいとする傾向はある。この点もフランスに似ている。自由主義はアメリカ圏でリベラルとして特殊の意味があると考えられ、Jとは異なった内容があるため差が出ている。Jでは自由主義という言葉はかなり好意的に迎えられている。全体の形をつぎの形にまとめてみるとかなり見易くなる。



年齢別にみると、50才以上と50才未満とで傾向が異なり、若い方にやや社会主義好みが見受けられる。

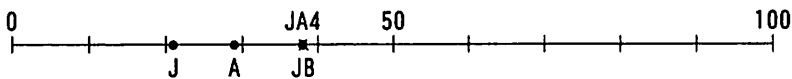


世代でみると、1世は好ましくないと思う方、2世は好ましいと思う方、3世はその中間という形が出ていると見てよからう。

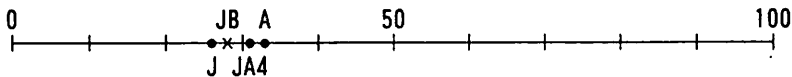
問52 わが国の向こう10年から15年間の国家目標をどう設定したらよいかについて、最近盛んに議論されています。ここにいろいろな人が最も重視する目標がいくつかあげてあります。あなたはこれらの中で何がもっとも重要だと思いますか。

1. 国家の秩序を維持すること
2. 重要な政策を決める時、人々にもっと発言されること
3. 物価の上昇をくいとめること
4. 言論の自由を守ること
5. その他 (記入)
6. わからない

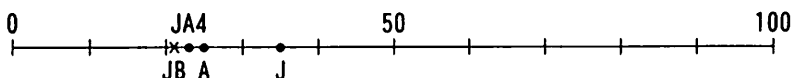
Q52 国の秩序



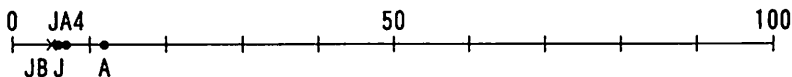
Q52 発言権



Q52 物価の抑制



Q52 言論の自由



国の秩序はJAとJB、発言権はJAとA、物価の抑制はJ、言論の自由はAというのが特徴的に多いと考えてよい。国別にそれぞれの順位をみるとつぎのようになる。

	秩 序	発 言 権	物 価	言 論
JB	1	2	3	4
J	3	2	1	4
JA	1	2	3	4
A	2	1	3	4

JBとJAは同じ形で、Aとは秩序と発言権とが入れかわる。Jは他と異なり物価で、そのあとの順位はAと近い。世代別にみると次の通りになり、3世はアメリカ型となる。

世 代	秩 序	発 言 権	物 価	言 論
1	1	3	2	4
2	1	2	2	4
3	2	1	3	4

年齢別の順位の形にまとめかえると面白い移り変わりがわかる。

	秩 序	発 言 権	物 価	言 論
20台	2	1	3	3
30台	1	2	3	4
40台	1	2	3	4
50台	1	3	2	4
60台	1	3	2	4

20台はアメリカ型、30～49が全国と同じ、50以上は1世型となっている。

〔政治的態度に対するJBのまとめ〕

すぐれたリーダーに政治をまかせるというのが他のグループにくらべより多く、政治的主義では他のグループより少し社会主義好みである。

国がよくなって初めて個人がよくなるというものが多い。これらについてJBは特徴的であり、JともJAとも異なっている。

国家目標ではJBとJAは近く、日本は特徴的でJBとJAとも異なっている。JBは、政治的な態度はJと異なっているとみてよからう。国家目標を別にすれば、JAとも異なっている。

11. 自由回答

自由回答として次のものを付録3の表としてかかげておく。これは集計するより、自由回答を読む方が情報が多いので、強いてまとめることをしなかった。

12. 日系ブラジル人の集団像としての意識

特 性

まず、日系ブラジル人の得られたサンプルの特性をいくつかまとめてみよう。

1世 19%、2世 47.8%、3世以上 32.6%。学歴は初等教育 52.3%、中等教育 27.7%、高等教育 19.2%。年齢構成は20台 19.4%（19才を含む）、30台 20.1%、40台 19.8%、50台 19.7%、60才以上 20.4%である。男55%、女45%である。

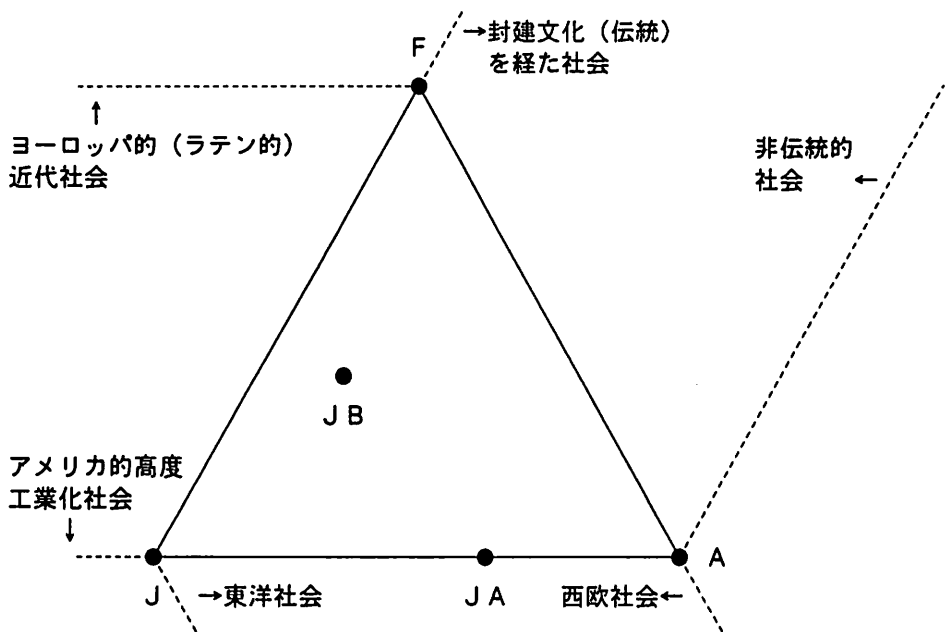
日本語能力は、会話十分できる 48.4%（全くできない28.2%）、読み書き十分できる 28.6%（全くできない54.1%）となっている。

つぎに、意識の単純集計からみた集団像としての特色を、JとJAとの関係を含めてまとめてみよう。さきに個別の項目で少しく言及したフランスとの関係は、似ているところもあり似ていない所もあるという形で簡単なものではない。

領 域	J B	Jとの関係	J Aとの関係
一般的 事象	生活満足、生活領域で重要性をあげるものが多く、将来の希望でも明るい感じであるが、不安感は強い。極端な反応が多い。	不安感で異なる。Jと近くはない。	不安感はJ Bよりは少ないが近い。他の質問では必ずしも近くはない。
仕事 観	仕事志向は強い。	Jの仕事志向を上まわる。就職の条件では、気の合う仲間の項がJより少ない。	J Aと大きく異なっている。
社身 会近 (i)な	金は大切と教えるは多くはない。もったいない感じは強い。しきたりでは従うとおし通せが同じ位である。	自由と規律は似ている。おし通せと従うの支持率が近い点では似ている。	自由と規律は似ている。しきたりでは全体的に差は大きくはない。
(ii) 人間 関係	人間関係ではそれを大事にし、私情を重んずる感じが強い。	Jに近い	J AよりもJに近い。しかしJ AとJ Bは近い。
(iii) 信 頼 感	人間に対する不信感は強い。	Jとも異なる。	大いに異なる
家 庭	家庭はくつろげる唯一の場所の回答は多く、家庭に対する感じ方はきわめてモダン。これはフランスに近い。	家庭は唯一の場所の点では似ているがあとは大いに異なる。	J A以上にモダン。JよりはJ Aにやや近い。

領域	J B	Jとの関係	J Aとの関係
先祖・宗教	先祖を尊ぶ方。養子に家をつがせるが多数意見。	Jよりアメリカに近い。	J AよりAに近い。
宗教	宗教を信じるものは極めて多く、宗教的な心は大切。宗教は同じ事を説いているという意見が多い。	信じるものがJより遥かに多いが、同じ事を説いているはJに近い。	J Aと傾向は似ている。
科学文明観	科学文明観はJ A、Aにくらべより悲観的。コンピュータ、自然と人間の関係では意見が両極に分極する。自然を利用するが極度に少ない。	Jと似ているところもあるが似ていないところもある。	J Aと似ていない。
政治的態度	優れたリーダーに政治をまかせるが多く、政治的主義では少し社会主義好みである。国→個人が多く、国家目標では国の秩序、発言権、物価の抑制が上位三つになる。	Jと異なる。	Aと共に大いに異なる。但し国家目標ではJ Aに近い。

以上見てきたデータに基づく情報及びこれまでの比較調査で得られた知見をもとにして、J、J B、J A、A、F（フランス）の関係を示す概念図を描いてみると次のようになる。この図で距離の近いのが似ていることを示している。



これは、予想図 (conjecture) に過ぎないが、データに基づいて多次元データ分析の「ある方法」を用いれば、客観的に描くことができる。今は余裕がないので概念図にとどめるが、近い機会にそれを明らかにするつもりである。

第3章 ブラジル日系人の心の構図

これまで、各質問ごとに日系人集団の特性を分析してきた。それはそれとしてもう少し、個人の心に立ち入ったところを明らかにしたいと思うのが自然である。そこで、いくつかの質問を「組」としてとりあげ、個人がそれにどう答えているか、という回答パターンをもとに、個人の心をつかみ、それを通しての集団構造を描いてみることにする。一歩進んだ方法であって、こうして描かれたものを心の構図をいうことにする。これは、個人の回答パターンを通して、個人のものの考え方、感じ方や考えの筋道を明らかにしようとするもので、統計学的にはスケールによる分析、関連分析、考えの筋道を明らかにするパターン分類による計量化の方法によって可能となるものである。

ここでは、これまでの国際比較を行った結果として、J Aとの関連で興味あると思われるものをとりあげることにした。

1. 義理人情好みという人間関係

これはいわばニックネームであり、日本的人間関係を表わす一つの特色である。これまでの分析で日本の特色をよくあらわしているものの一つである。まず、とりあげる質問の番号をあげておこう。

- Q30 先生が悪いことをしたという話
- Q31 会議と恩人のキトク
- Q32 会議と親のキトク
- Q38 入社試験：一番か親戚か
- Q39 入社試験：一番か恩人の子か
- Q40 めんどうをみる課長
- Q35 大切な道徳

これらの質問を用いて「義理人情らしさ」の程度をはかる「ものさし」（スケール）をつくることにした。スケールの作り方は次の通りである。

義理人情の尺度のつくり方

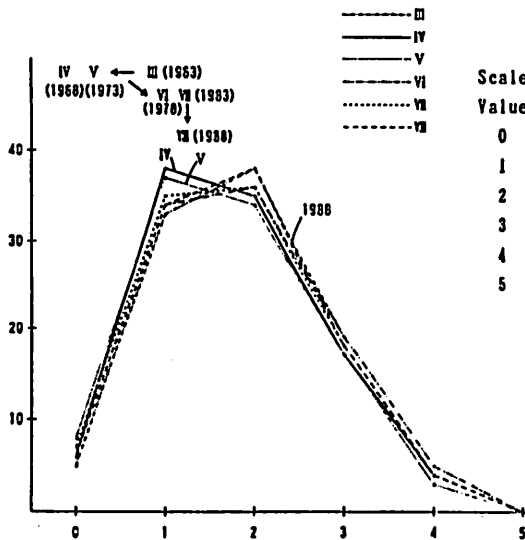
質 問		「義理人情的回答」	尺度値*
Q30 (先生の悪事)	2	(否定)	.1
Q31とQ32 (恩人・親の危篤)	1×2	(恩人のとき帰る) (親のとき会議)	1
Q38とQ39 (入社試験)	1×2	(親戚より一番) (一番より恩人の子)	1
Q40 (人情課長)	2	(めんどうをみる課長)	1
Q35 (大切な道徳)	1×2	(親孝行・恩返し)	1

*各項の尺度値の個人別合計をもって、義理人情を測る尺度とする。

尺度の作り方からみるとスケールの値が多いほど義理人情的ということになる。2以上だと相当義理人情的で3以上になると強い義理人情好み（志向）とすることができる。

このスケールを用いて各グループの比較をしてみるが、このスケールの本来の意味を持つのは日本人に対してだけであるが、日系人に対しても通用する。—このことは後述の分析により明らかにする。しかし、他の諸国に対しては、本来の意味はないが、強いて当てはめた結果を見るべきものである。ただし、0のところは、そうした考え方の全くないものであるから比較上の意味を持つものと言えよう。

まず、日本の分布をみると1963～1988の25年間殆ど変化のないことが解る（日本人の国民性調査より）。



Distribution of giri-ninjo scale value (in percent)

Scale Value	J'63	J'68	J'73	J'78	J'83	J'88
0	7.1	6.1	8.4	5.8	4.6	6.1
1	34.6	37.8	37.0	33.5	33.1	34.5
2	35.7	34.8	33.7	36.4	37.9	37.6
3	18.2	17.1	17.4	19.0	18.8	17.9
4	4.0	3.8	3.2	4.9	5.0	3.6
5	0.4	0.4	0.3	0.4	0.6	0.3

Distribution of Giri-ninjo Scale Value in Japan

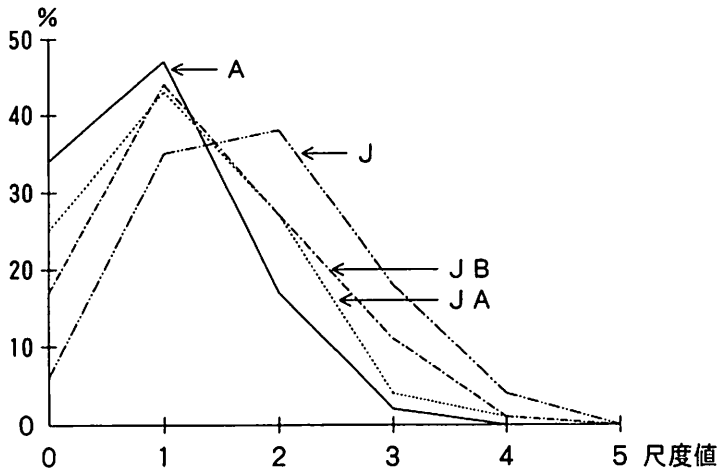
山はスケール値1、2のところにあり、スケール値2以上が常に過半数を占めている。相当日本的意味の義理人情であるということが出来る。これを土台にJA、JB、A等を比較してみよう。

義理人情スケール (%)

	J	JA*	JB	JB 1世	2世	3世	2+3世
0	6	25	17	5	12	31	20
1	3.5	43	44	37	46	47	46
2	38	27	27	33	30	17	25
3	18	4	11	23	11	5	9
4	4	1	1	2	1	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0
0のみ	6	25	17	5	12	31	20
3以上	22	5	12	25	12	5	9

*JAの1971、78、83年では0の比率はそれぞれ30%、30%、31%、3以上の比率は5%、4%、3%となっている。

義理人情スケール上の分布



J BはJ Aよりも日本に近い形をしていることがわかる。そこで世代別にみると1世は日本全体よりも義理人情的ということが出来る。高年令層の多い1世よりも、日本の高年令層の方がやや、より義理人情的である。

ここで、日本の年令別の集計をみると下記の表のようになる。

義理人情スケールの分布(2) [第VIII次日本人の国民性調査 (1988年), 年齢別]

年 齢	スケール値						サンプル数
	0	1	2	3	4	5	
20～24歳	8	45	33	11	3	0	173
25～29	10	39	40	9	3	0	150
30～34	11	45	30	13	1	0	180
35～39	4	40	36	18	2	0	245
40～44	8	35	37	17	2	1	188
45～49	3	35	41	18	2	1	177
50～54	4	29	41	22	5	0	153
55～59	5	26	43	23	4	0	167
60～64	3	29	39	25	4	0	153
65～69	4	26	42	22	6	1	110
70歳以上	6	24	36	23	11	0	162

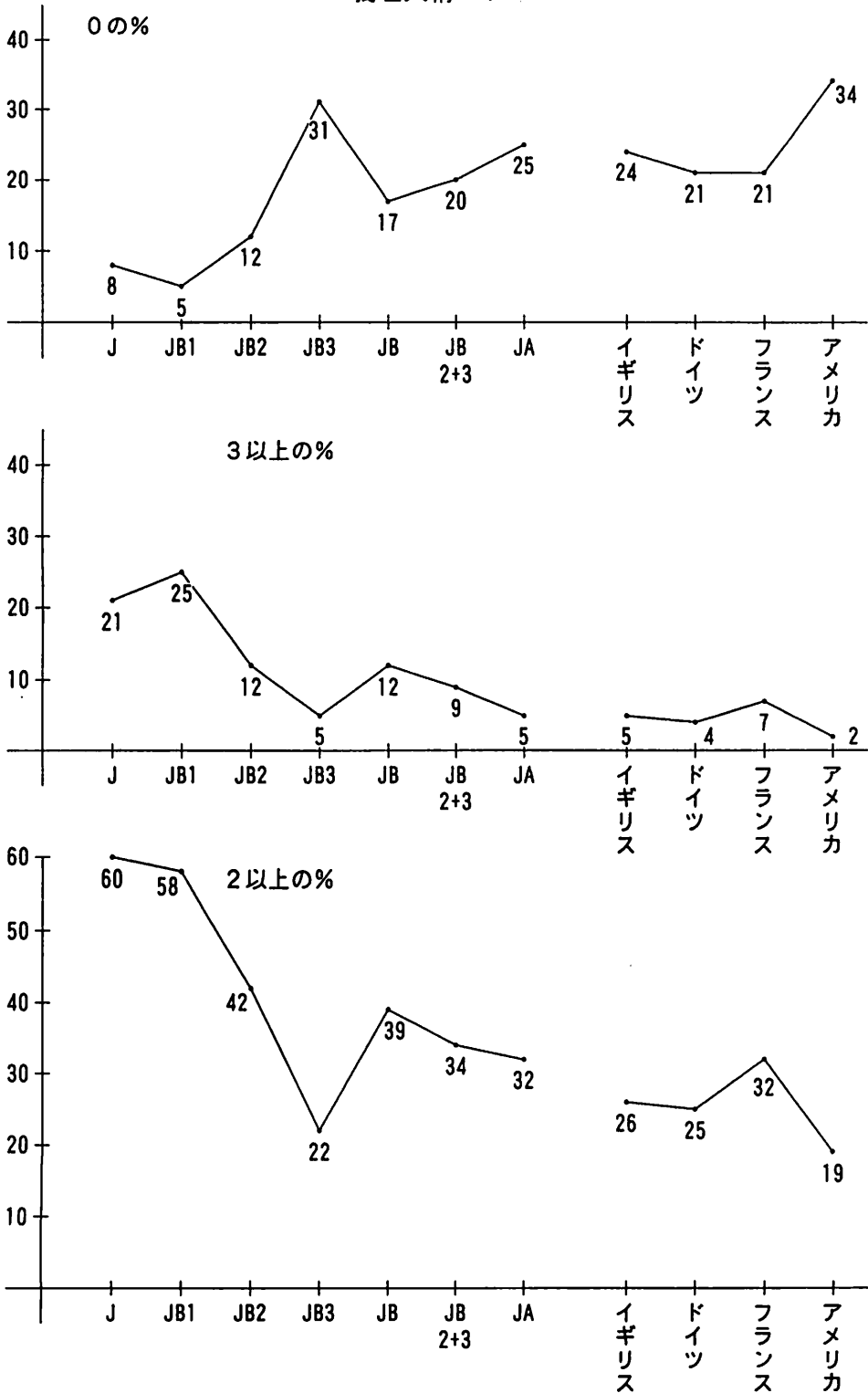
今度は年齢別にみると次の表のようになり年齢による差は大きく、日本における年齢差よりも大きい。

義理人情スケール

	～20台	30台	40台	50台	60以上	男	女
0	3 0	2 7	1 4	7	4	1 4	2 0
1	5 3	5 0	4 3	4 7	2 8	4 7	4 0
2	1 7	1 3	2 1	3 7	4 7	2 5	3 0
3	0	1 0	2 1	5	2 1	1 4	8
4	0	0	1	3	0	0	2
5	0	0	0	0	0	0	0

以上をまとめて、0の比率、3以上の比率をグラフにしてみるとその傾向は明らかになる。あえて説明するまでもなく、JB内部の構造や他の国との比較がはっきり読みとれる。

義理人情スケール



いずれにせよ、前述のように他の国々に対しては全く意味のないスケールであるが、J A、J Bの姿を通して、スケール分布上でその移り変わる様相がよく読みとれる。日系人には、こうした人間関係が残って、他の国とも異なる構図を示していること、義理人情好みは日本人に根強く残っている点は興味深い。J Bの3世はやはり異なった様相を示し始めていることは注目してよい。

2. 人情重視の人間関係 (affection scale)

義理人情スケールを作ったときの質問を用い、人間関係で私的心情(人情)を重視するいわば温かい心の傾向をみるスケールを作ってみた。これをaffectionスケールという。このスケールの作り方は次のようになる。

Affection(warm-heartedness, humaneness
and personal feeling)-oriented scale
in interpersonal relations(0-8)

Scale construction(Use of Giri-ninjo questions)

質問番号	カテゴリー	尺度値
Q 3 0	(2)	1
Q 3 1	(1)	1
Q 3 2	(1)	1
Q 3 8	(2)	1
Q 3 9	(2)	1
Q 4 0	(2)	1
Q 3 5	(1)	1
	(2)	1
total		0 - 8

この尺度値の大きいほど私情を重んずる(温情的、個人感情重視)傾向とみることができる。なお、義理人情には温かいばかりでなく、何か厳しい自己犠牲を心情的に強いるものがあり、この点温かいばかりのaffectionと異なるものがある。

これまでの調査で、この0から8にまで及ぶスケールにおいて半分以上の5以上の値をとる比率(温かい、私情を重んずる態度を示すものの割合)を多い順にみると日本(38%)、フランス(35%)、ドイツ(33%)、イギリス(27%)、アメリカ(23%)となる。ハワイの非日系(19%)、ハワイの日系人(29%)をみると非日系はアメリカ側、ハワイの日系人は日本人とアメリカ人の中間にくるのも面白い。

さてJ Bはどうか。34%である。ハワイの日系人よりも多く日本の38%に近くなるのは、義理人情の時と同様に、注目してよい。こうした人間関係もJ AよりJ Bに近いのである。世代別、性別、年齢別にみたのが次の表に示され、J B 3世はJ Aに近くなる。年齢では60才以上に私情を重んずる傾向が強い。

人情スケール

5以上の比率 (%)

比較		JBについて	
J	38	男	32
JB	34	女	38
JB ₁	42	~20台	32
JB ₂	35	30台	28
JB ₃	28	40台	24
JA	29	50台	30
A	23	~60	57

3. イソップ物語りと人間関係

イソップ物語りの中のキリギリスと蟻（蟻とセミというのものもある）の話についての回答である。このことについては、詳しく述べたものがあるのでそれに譲る（林、米沢、「日本人の深層意識」日本放送出版協会、1982）とし、質問文は、Q17の通りである。まずキリギリスと蟻の話を質問し、回答として「1. 夏の間怠けていたのだから、困るのが当然だと追い返してしまう」「2. 怠けていたのはいけないけれども、これからはちゃんと働くのですよ、といさめた上で、食べ物をわけてあげる」を示し、この話の結びとして、この中のどちらが自分の気持ちにじっくりしますかという形で回答をとるのである。回答は以下の通りである。

	ドイツ	フランス	イギリス	A	JA	J	JB
1の型	13%	14%	13%	12%	9%	15%	20%
2の型	78	79	83	85	91	75	78

日本人は心がやさしいから2の型が多いという意見が文献に基づく考察で論じられているがむしろ少なめであることに注目したい。これはこれとして、この1、2の回答と心のやさしさとの関係のみよう。ここでは、人間関係における温かさ、柔かさ、人情好みとも言うべきものとの関係を取りあげてみる。そのため、義理人情スケールの時用いた質問から、前述のように人間関係における温かさ、柔さのaffectionスケールを作った。

ここで、1の型の回答（S1と示す）2の型の回答（S2と示す）との関係をみると以下のように、JBは別として、ハワイ、日本以外では5以上のスケール値とS1、S2回答の間の差は全くない。しかし、ハワイになるとS2の回答の方に人間関係の温かさ、柔さ好みが多くなるのである。日本では勿論高いのである。この関連性は注目してよい。S2の方の回答を人間関係の温かさ、柔さと関係付けること、そのことが日本的考え方なのではないか、ということである。

percentage of more than 5 values in 8 point

	S 1	S 2	Total*
German	36	34	33
French	40	36	35
English	28	28	27
American	24	23	23
non-JA in Hawaii	10	20**	19
JA in Hawaii	18	31**	29
Japanese	32	40**	38
JB	60	27**	34

note) * including others besides S1 and S2

** significant (confidence level 0.95)

J Bは全体では、5以上のスケール値を示すものが34%と高く、J AよりJに近い（ドイツ、フランス並み）。ところが、S 1とS 2との関係でJ、J Aと全く異なる関係が見られているのである。S 1では60%とaffectionスケール5以上のものが多く、S 2では27%と少ないのである。問題は、S 1と回答したものがどうしてJ Bのみ高いかということを考えなくてはならない。

この比率の出るところをもう少し詳しく見てみよう。S 1、S 2と答えるもののaffectionスケール、心の分布の状況をみよう（%）。

スケール値	0	1	2	3	4	5	6	7	8
S 1	2	1	7	14	17	30	22	8	0
S 2	1	3	8	25	36	16	7	4	0

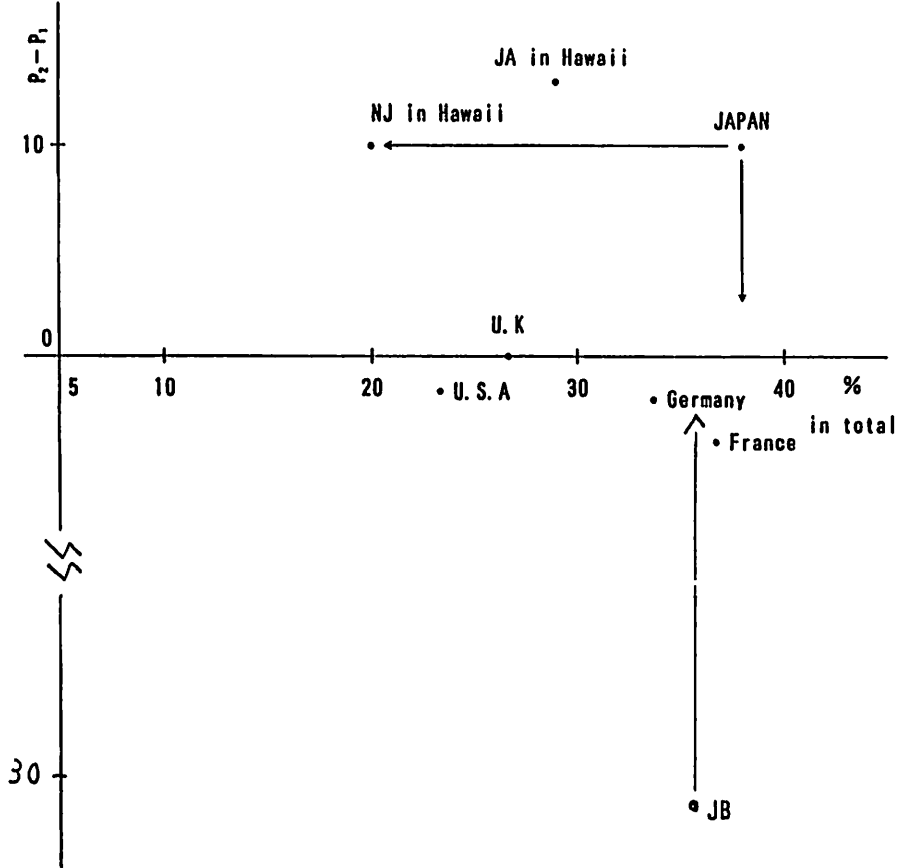
きれいに分布が入れ替わっているのが解り、分析の結果がシステマティックである。

日本・ハワイにおける私情を信ずる心の温かさとイソップの結末とのダイレクトな結び付きと、異なる考えの筋道がJ Bに見られているわけである。

イソップ物語りの「食べ物を与えぬ」というのは怠惰に対する戒めの教訓として共感を表明するということは、厳格な建前に同感する気持ちである。こういう建前をとる人の心が、私的信義（私情を重んずる温かい心）にかたむく、ということではないかと思われる。怠惰には、明確にけじめをつけることと私情を信ずる・人情の温かさの好みと呼応する形と見れば理解できる。いわゆる「古い」型の考えの筋道を含むものが現出しているように考えられる。一方、食べ物を与える方の回答は、心の温かさとあまり関係がない欧米タイプの考え方と思われるのである。

このことについては、後述する日本スケールによる分析のときあらためて検討することにするが、日本人スケールの少ないものはS 1（S 2）に回答するものがより少なく（多く）、日本人スケールの多いものはS 1に回答するものがより多いことを考慮に入れてよいことをここに言及しておく。ここでは、J Bが、今日の日本で見られないような昔流とも見える考えの筋道が見られるというところ、日本やハワイに見られるようなダイレクトな関連ではなく、屈折した結び付きが出ているということを、ここで指摘するにとどめよう。なお、以下の図にこの関連性を図示しておく。

横軸に、スケール値5以上の全体での比率、縦軸に‘S2におけるスケール値5以上の比率’から‘S1におけるスケール値5以上の比率’を減じたものを目盛っている。ハワイと日本は縦軸で上方にあり、日本人、ハワイ日系人、ハワイ非日系の順に横軸で少なくなりアメリカに寄って行く。日本、ドイツ、フランス、ブラジル日系人は全体での比率は近いが縦軸の意味で差が出ている。日本は上方、ドイツ、フランスは軸付近、JBは大きく離れて下方に位置している。こういう意味において、日系人は日本人と外国人の鎖になっているということがわかる。



4. 人間関係 (interpersonal relations) における日系人

人間関係の affection scale について述べてきたが、さらにこれを拡大して同種のものをつめてみよう。この一部をなしている Q40 めんどうをみる課長、Q15 就職の条件のうちの「3. 気のあった人達と働くこと」、Q37で「2. 物事を決定するとき他人との調和をはかることに重点をおく人」をより好むか、Q19d「友人、知人を非常に大事にする(6あるいは7(最大)程度)」をとりあげてみた。この比率(%)を示すと次のようになる。

	J	J B	J A	ハワイ 非日系	A	ドイツ	フランス	イギリス
affection Scale	38	34	29	19	23	33	35	27
5以上の比率								
Q40 めんどうを みる課長	80	68	59	57	51	69	64	57
Q37 まるくおさめる 人を好む	68	67	72	67	47	62	66	52
Q15 気のあう人	29	12	22	13	11	20	7	15
Q19 友人・知人 非常に大事 (コード6、7)	67	78	65	58	63	63	49	57

見やすくするため順位をつけてみると

	J	J B	J A	ハワイ 非日系	A	ドイツ	フランス	イギリス
affection Scale	1	2	5	8	7	2	2	6
5以上の比率								
Q40 めんどうを みる課長	1	2	5	6	8	2	4	6
Q37 まるくおさめる 人を好む	2	2	1	2	8	6	2	7
Q15 気のあう人	1	5	2	5	5	3	8	4
Q19 友人・知人 非常に大事	2	1	3	6	4	4	8	6
ランクの和	7	12	16	27	32	17	24	29

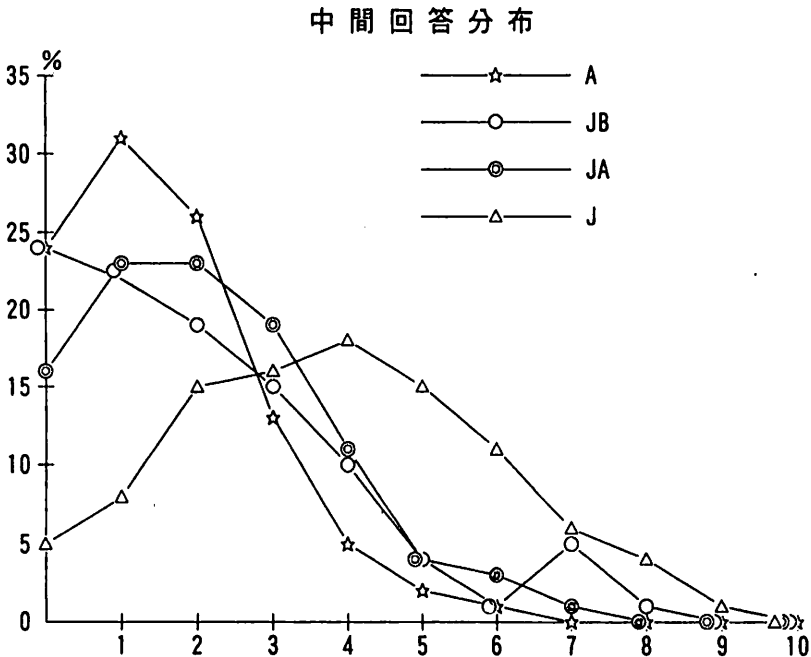
* 1%の差は同順とした。

ランクの和の少ない順（つまり高いランクのもの、即ち人間関係の温かいと見える一日本の立場から一傾向）をみると、日本、ブラジル日系人、ハワイ日系人、ドイツ人、フランス人、ハワイ非日系人、イギリス人、アメリカ人となり、人間関係では日本の温かさ好み、アメリカのドライな好みが両極で日系人（ブラジル、ハワイ）は日本寄りで中間にあり、非日系（ハワイ）もイギリスと共に中間にきている。ドイツは温かい方である。フランスは前三者は温かい方の好みであるが後の二つで異なった反応をしており考えの筋道は明らかに異なる。この点アメリカも少し異なるようであるが、全体的にドライである。

いずれにせよ、人間関係で日系人は日本寄りの鎖を示し、他国との間にある。ハワイの日系人はめんどうをみる課長のみは、アメリカ寄りであるのは注目してよい。ブラジル日系人は、気の合う仲間と働きたいというのは低いが、ハワイの日系人・ブラジルの日系人は総合して似ており、ともに日本寄りでブラジルの方が一層日本寄りである。

5. 中間回答について

日本人に中間回答が多く且つ特徴的であるということは、これまでの調査で大よそ見当がつけられている（林, 「調査の科学」講談社, 1984; 林・鈴木「社会調査と数量化」岩波書店, 1986; 林, 「日本人の心をはかる」朝日新聞社, 1988）。ここでは、国際比較で用いられている質問項目のうち中間回答のある質問が10問あった（Q12、21、22、24、25、26、51の a, b, c, d）ので、この10問中何個中間回答をしているかをスケール値として分布をとってみた。日本人の調査では、中間回答の分布は中高の形をしていることがわかる。日本、ハワイ日系人、アメリカ人、ブラジル日系人の関係は図に示されている。アメリカをみるとはるかに少ない方に寄っている。その中間にハワイ住民がくる（詳しい分析では、日系人がやや日本寄り、非日系人がややアメリカ寄りにあるという興味ある形が出ているのである）。この意味においても、ハワイ、日系人が日本とアメリカの鎖をなしているということが出てきており、ハワイ、日系人というのは、なにがしか日本的雰囲気を持っている。つまり、日米の橋渡しの形になっているということを知るのである。

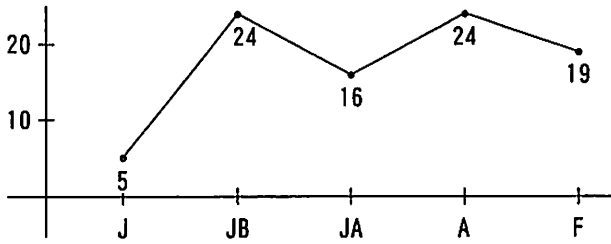


J Bの形は、J Aとも異なり、0の所はAと同じであるが、そのあとは中間回答の多い方に流れるのである。いわゆる0のところと多目のところとの二極の (bipolar) 構造があるのではないかと考えられる。

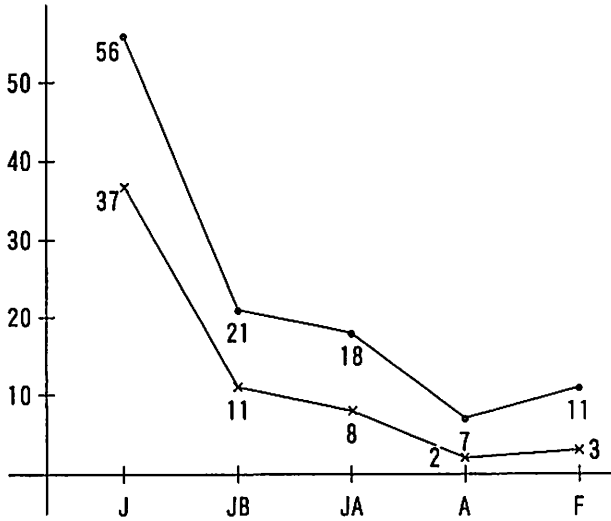
見やすくするためにまとめてみると下の図のようになり、J BはJ Aとよく似ているが、多いところでは僅かであるが日本寄りである。J Bにおいても、中間回答が、人間関係とともにJよりであるところが興味深い。

中間回答

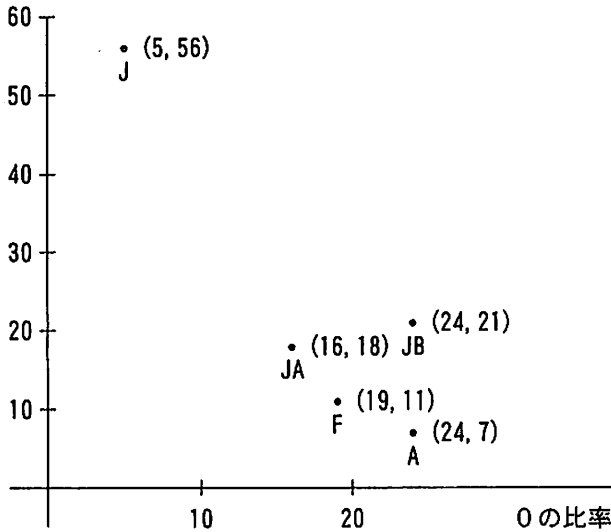
0の比率



4以上の比率 (5以上の比率)



4以上の比率



J Bの中をみると、0のところは男19%、女29%と女がよりはっきり割り切ったものと言うことがわかる。4以上（5以上）は男で26%（14%）、女15%（6%）でやはり男の方に中間回答が多い。女の方がより日本の傾向が薄いことになる。年齢別では0の所は一定の傾向はなく（10才刻みで20%、18%、12%、42%、26%）、4以上で順に20%、28%、11%、19%、28%という形で変動が多く、傾向は見えない。世代別にみると0の所で1世22%、2世29%、3世17%、4以上では37%、12%、25%で2世が一番はっきりものを割り切って言い、次が3世、1世は二つのタイプがあるように見える。2世と3世を加えると0の所は1世22%、2+3世24%と差はないが、4（5）以上は、37%（26%）、17%（7%）となり、0の所の差はないが、中間回答の多いのは1世である。2+3世はすなおに中間回答の少ない方に流れているが1世には前述のように、2つのタイプがあることが知られる。

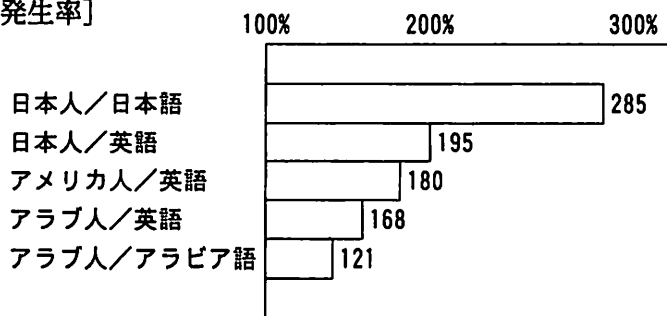
J Bの内部での中間回答のあり方には屈折したものがある—単純に残っていると、同化されているとか言うのではなく、社会適応のあり方の差が見えると言ってよいのかも知れない—が、大きく括って考えるならば、J Aと近い形があり、とりあげた諸外国—残念ながらブラジル非日系人がない—と差があり、日本的な傾向を残すものと言ってよかろう。

なお、中間回答に対して、統計数理研究所の鈴木達三、ハワイ大学政治学部の黒田安昌による興味ある結果が発表されているのでそれを引用しておこう。学生調査によるものであるがなかなか示唆的である。

比較調査の調査質問のうち中間回答（「どちらとも言えない」「場合による」といった回答）の発生率を日本人、アメリカ人、アラブ人についてまとめてみる。集計に用いた質問は「子供に金は最も大切なものと教えるかどうか」「科学技術の発達によって人間らしさが無くなると思うか」「どんなに機械化が進んでも人間の心の豊かさはなくならないと思うか」「先生が悪いことをした、と子供が言ったときそれが事実と知っていても否定するか肯定するか」「自分が正しいと思ったことは世の中のしきたりに反してでも押し通すか」の5問。それぞれの中間回答の単純合計である。

この結果日本人が最も多く、アメリカ人が中間、アラブ人は英語の調査ではやや多いものの、アラビア語での結果では日本人の半分以上と少ない。これを見る限り中間回答好みの日本人、はっきりしたアラブ人という傾向がうかがえる。

[中間回答の発生率]



記号の説明…A/B Aに対してB語の調査で質問した場合をさす。いずれの場合も、大学生調査である。

6. 義理人情という考えの筋道

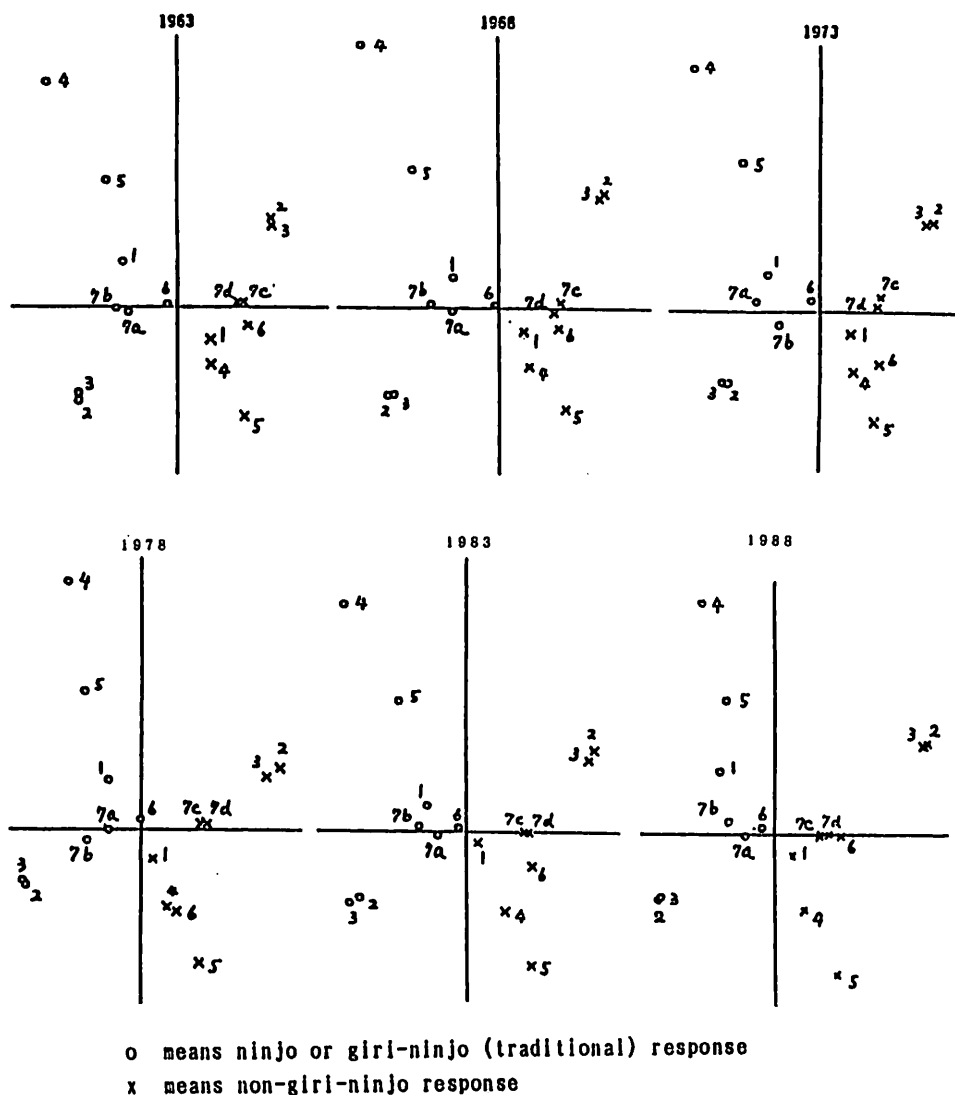
義理人情スケールを作ったときの質問を再びここでとりあげる。つまり、Q30、31、32、38、39、40、35である。これをもとにして、日本人の義理人情的考えの筋道を考察したものがあるので次に引用しよう。図ではQ30→1、Q31→2、Q32→3、Q38→4、Q39→5、Q40→6、Q35→7（a, b, c, d）と書いてある。

各質問別の回答により意見分布を知ることが出来るが、質問群を通しての意見の構造を明らかにすることの重要性は多くの機会でも論じてきたので繰り返さないが、これを「考えの筋道」と名づけ、意見分布を越えた深い意味を我々は与えている。質問群を貫流して見出される「考えの筋道」すなわち「思想」をとらえるために、パタン分類の数量化（数量化Ⅲ類、フランス流に言えば、コレスポンデンス・アナリシス）を用い、そのデータ構造をさぐり出すことになる。データ構造による日本人の集団構造一心の構図一の顕在化ということができる。

日本人における大きな特色と言われている人間関係に関するもののうち義理人情に関するものを取り上げるが、この質問群は上に示す通りである。一つの質問の一つの回答だけ見ると人情的、あるいは義理人情的と思われるものとそうでないものにわかれる。義理人情的と言い切るには、前述したように回答をくみあわせてみる必要がおこってくる。なお、ここでとりあげた質問群は、典型的な義理人情に関する質問ばかりでなく、それに深く関係すると考えられるものも含めてある。ここで一言付加えると、義理と人情とを対比させるのではなく、両者を考えあわせる考え方を見ようとするのであり、義理人情的と義理人情的でないという立場で考えているということである。

とりあげた質問群（注：前掲のもの）に対してパタン分類の数量化を用いてみるのである。数量化の結果の図を以下に示すが、25年間全く安定した構造を示している。第1軸（X軸）で、人間的・義理人情的回答とそうでない回答が左右にきれいにわかれ、こうした考え方の存在の安定性が認められたと言ってよい。第2軸（Y軸）をみると、これは問31、問32および問38、問39の関係で、ともに会社の場面設定の差異であり、この両者の回答をわけることになっている。両場面は、それぞれ第二次的には異なる考え方が働くことを意味しており、人情的・義理人情的（人情的・義理人情的でない）考え方の中での差異ということができる。

このように安定した構造、つまり人情的・義理人情的とそうでないものを対比させて考える考え方の根深さ、根強さが示されているということができる。

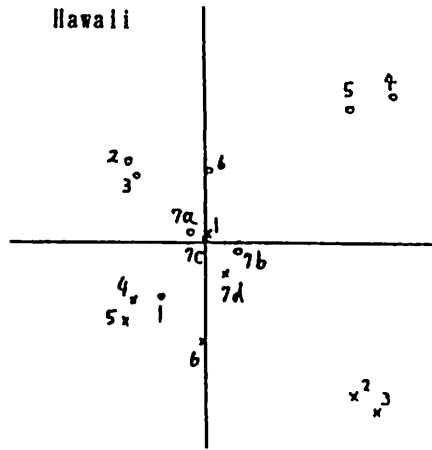


Stability of configuration of giri-ninjo attitude in Japan

これは全体的傾向だけではなく、年令別にみる時、20才台の年令層や他の年令層で、間々90°以内の回転をしている図柄も見られるが、年が経つと（加齢により）通常の形になる。大局的に言えば各年令層で抜本的な差異がないのは注目すべきであり、上に述べた根深さ、根強さを裏書きするものがあると言えよう。第8回国民性調査（1988）について分析した結果においても、同じような形がみられる。このなかで、20才台の前半・後半ともに90°回転した図柄がみられること（1983年も同様）が注目されるが、30才以上では全体と同じ構図である。前述した義理人情スケール値の分布では第7回調査までとくらべて特に違いはないので、従来と同じく一時的とも思われるが、一応注意はしておきたい。

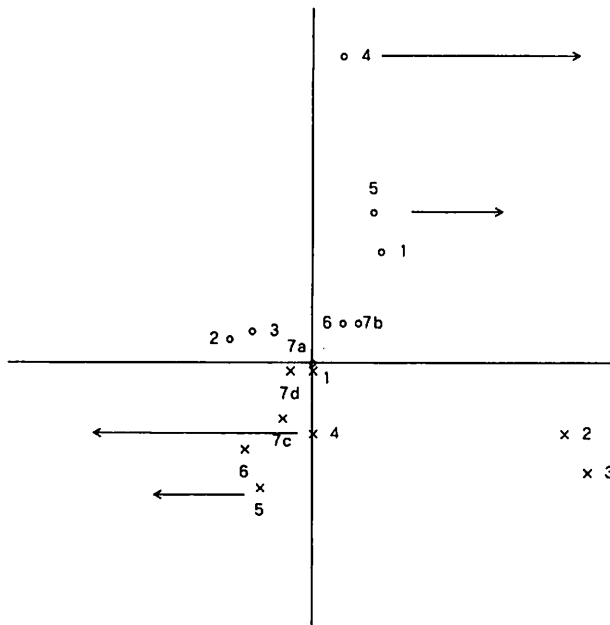
時系列的安定性をみたので、こんどは、空間的な広がり、つまり国際比較の立場も含めてみてみよう。

まずハワイの住民の結果（日系人の標本数が少なく、日系人、非日系人それぞれの分析結果が不安定なため、両者を合わせたものを用いた）を示すと次のように90°回転した図柄が得られる（1988）。



ハワイの日系人は、これまで（1971、1978、1983）、相対的位置はそれほど日本と変わらないが、90°回転した図形の見られることが知られており、1988年調査でも同じような図柄であった（サンプル過少のカテゴリーに特異な位置のものがあったが）。日本の年齢別でもこうした形が時に見られるので、日本とかなり近いということが言える。諸外国では、やや異なった位置が出ている。

J Bについてみると、ブラジル全土においては、ハワイのデータと同様に90°回転した形が得られている。点の相対的位置は（4、5を別にすれば）大体日本の場合に近い（矢印の方に移動すればほぼ同一になる）。



上の点ハワイよりもJに一層似た図柄と言えよう。

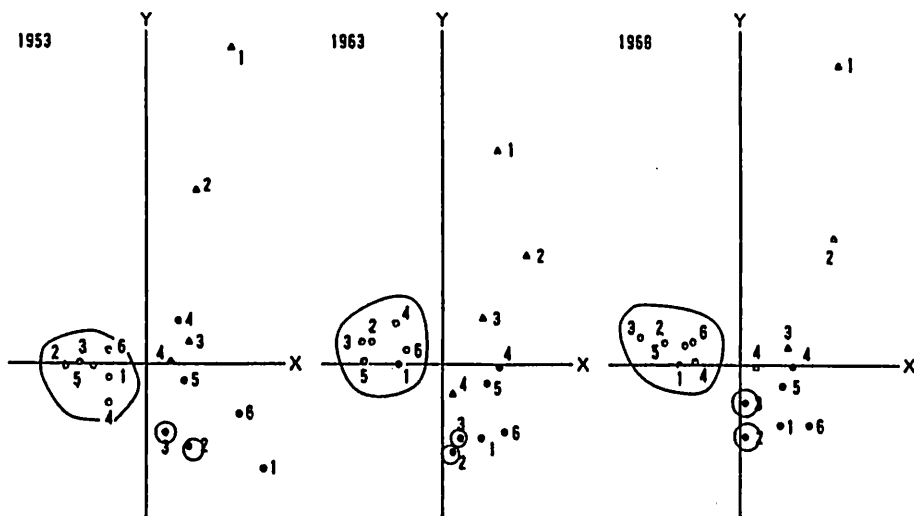
1. の義理人情スケールのところで、スケールの値から議論をしたのであるが、回答の関連性に基づく考えの筋道の分析においても、JAに似ておりまたJにより近いことが示されたのである。

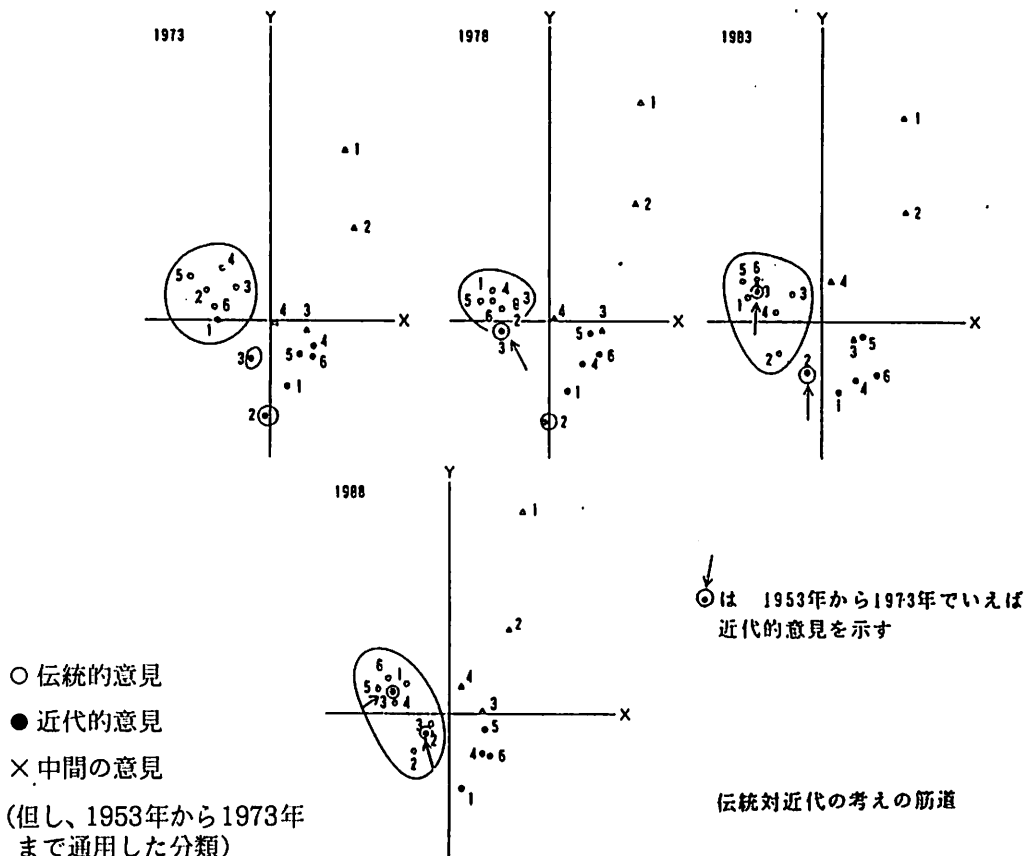
7. 伝統対近代という考えの筋道

ここでとりあげる質問群は、伝統対近代に関するものである。いろいろの領域における伝統的・近代的とみられる回答を含む質問群で、前に述べた人間関係に関するものは除いた一般社会事象、身近な社会事象に関するものである。質問は次の通りである。

- Q12 他人の子供を養子にするか (図中の記号1)
- Q22 金は大切なものの一つか (図中の記号6)
- Q24 政治家にまかせるか (図中の記号5)
- Q25 しきたりに従うか (図中の記号2)
- Q33 自然と人間の関係 (図中の記号3)
- Q34 国と個人の幸福 (図中の記号4)

ここでまず、日本の時系列データに対してパターン分類の数量化を行ってみると次のようになる。





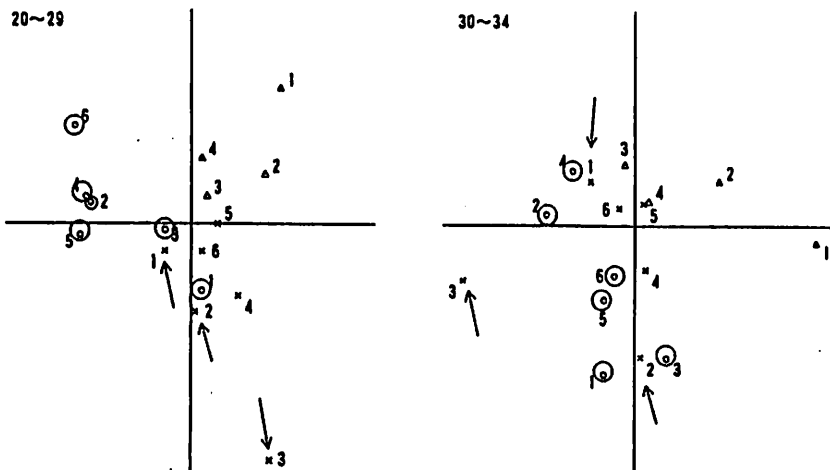
図中の○印がいわゆる伝統的の回答、●印が近代的の回答、△印が中間の回答である。図をよくみると、1953年から1973年の20年間は、伝統的の回答が強固に固まり、右下に近代的の回答が集まり、右上に中間回答が付置されるという構造が読み取れる。ここにとりあげた質問をみたとき、回答の構造からみると、とりあげた質問を貫流して伝統的の回答と近代的の回答を常に対比させる考えの筋道のあることがわかる。根強い考え方の筋道が見出されるのである。しかし、1978年になると近代的な回答とみなされるものが、伝統的の回答群に入りこんできて、考え方の様相に異なるものが現れ始めたのを読み取ることができる。全体におけるこの変化は、大きな兆しを現わしていることがこれから述べる分析でよく解ってくる。

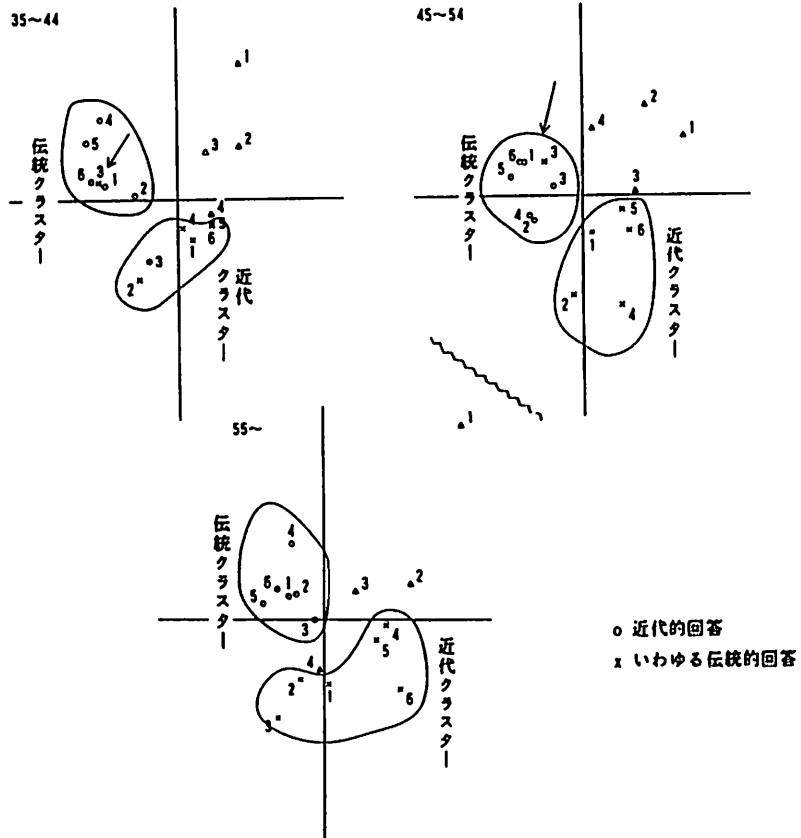
さて、1983年になると一層この傾向が顕著になり、伝統的意見の固まりの範囲が広がり、1988年においても一層この傾向が明確になってきた。1973年の兆候は見のがしてはならないのである。1953年以来データ構造として見出されたいろいろの事象に対して、それらをひっくり返して、伝統と近代を対比させる考え方が、崩壊し始めたのは日本人の心の大きな変化である。1973年以前では、伝統的意見の定義は、高年令層ほど支持することが多い意見、若い年令層ほど支持することの少ない意見というように言うてよかった。一方近代的意見は、若い年令層ほど支持する比率が多く、高年令層ほど支持することが少ない意見というように定義することができた。そして、意見の時系列をみると、変化しないが、変化するとすれば伝統的意見が減り近代的意見が増加するという「近代化」の単純な傾向がみられた。それが1973年で少しくずれ出し、1978年で大きく崩れ、そのような定義が成

立しなくなった。若い年齢層に伝統的な意見が多く支持されるものが出てきたのである。これをみて、若者の保守化、伝統回帰という説明がなされることもあった。しかし、これは見当外れの意見であることが以下の分析で明らかになる。

1978年の段階で、伝統対近代という対比の考えの筋道が崩れ出したので、年齢別に回答パタンの分析を行ってみた。この結果をみると、どの年齢層でも、1973年までは全体と全く同じような、伝統対近代という考えの筋道が強固に現れていた。比率の上における近代化志向の傾向も上述の通りであった。つまり、伝統と近代とを諸事象において対比させて考えた上で一古い、新しいという発想の上に乗って一近代化の方向を辿る、という構図である。これが1978年の20才台の前半、つまり20～24才において崩れ始めたのである。伝統的回答の固りがゆるくなり、近代的回答がその中に入りこんできたのである。この傾向は、1983、1988年と継続して見られる、あれほど強固であった考えの筋道が崩れ出したのである。これと時を同じくして伝統的回答が全体でも若い層でも増えてきたのである。若い層は、単なる回帰ではなく、伝統対近代という考えの筋道が崩れ出し上で伝統的回答が増えたということであって、伝統回帰という旧来の考え方そのものが通用しなくなっているということができる。さらに、20～24才の層が25～29才の層より伝統的回答の比率が高くなる質問が数多く見られるようになってきた。

1988年の年齢別パターン分類の結果を以下の図に示すが、面白い形が出ている。34才までをみるといわゆる伝統と近代との回答が入りまざり、伝統的回答が大きくばらつくことになる。30～34才の層は1978年では、20～24才であり、はじめて、伝統対近代の考えの筋道の崩壊の兆しを見せ始めた層である。35才以上になると伝統対近代の考えの筋道がやはり存在するとみられる。伝統的意見群がかなり狭い範囲に固まっている。しかし、質問33の近代的回答（自然を征服）が伝統的回答の中に入りこんでいるのが一つの特徴となっている。45～54才になると質問33の伝統的・近代的回答が同時に伝統的回答群の中に入りこみ、他の質問回答と無関係な様相を示している。55才以上になると、全く従来と同じく伝統的回答群が狭い範囲に固まり、従来の考えの筋道、伝統的近代を対比して考える考え方がしっかり根を下ろしていることがわかる。ここに、考えの筋道の上での年代のギャップがあらわれているのである。





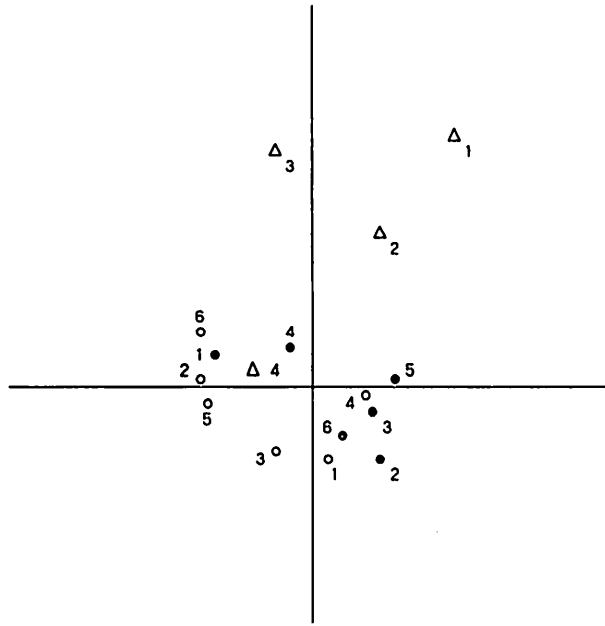
年齢別考えの筋道（1988年）

高年令層が若い年令層をみるときの問題がここにあり、すれ違いの様相を呈する可能性、ピント外れの解釈の可能性を示唆しているといえることができる。

以上、日本における強固な考えの筋道とその前提の様相を示してきたが、このような強固であった伝統対近代の考えの筋道は外国ではどうであろうか。国際比較のデータによれば、ハワイの日系人も含めて、こうした形は全く現れていないのである（1978年、1988年のアメリカ、ハワイの日系・非日系、1987年のイギリス、ドイツ、フランス）。なお、アメリカでは1978年、ハワイでは1971年、1978年、1983年のデータもあるがこれと同様の傾向であった。各質問それぞれにおいて、考え方の上で伝統と近代というわけ方ができたとしても、それらを統轄した形で伝統対近代というものの見方をしていないということである。日本における1つの特種な見方であったといえることができるが、これが崩壊しつつあることに注目する必要がある。

それではJBはどうであろうか。上述の質問を用いパターン分類の数量化を行い、そうした考えの筋道があるものかどうか探ってみた。

ブラジル全体においては、JAと同様に全くそうした考えの筋道を下図に示すように見出すことができなかった。



しかし、今日における日本とブラジルのそうした考えの筋道のないその「なき」の様相は異なっている。日本の場合は、伝統のクラスターの中に、質問25のしきたり、Q33の自然と人間における近代的と見做された回答が入りこんできた形になっている。まず自然と人間の質問で崩れ、次にしきたりの質問が入ってくる形である。ブラジルの場合は、問12養子、問34国と個人の幸福の近代的回答と伝統的回答と見做されるものが入れ換わった形でそうした考えの筋道が見出せないのである。

こうした質問における回答の結び付きの具合が日本とブラジルで大きく異なっていること、つまり、考えの筋道が大変異なっていることが知られる。

こうみてくると、今日は別として、かつて日本に根強く存在した、伝統対近代の考え方は特種なものであったといえることができる。

8. 日本人スケール

この分析はJAについて行ってきたものであるが、今回も行ってみることにする。これは日本・日本語との関連の強さを見るもので、日本人スケールと名づけているものである。

質問は日本との関連をみようとするもので、次のようなものである。日本人であれば殆どすべての質問で日本的というようなものである。

図中の
記号

N F. 1 暗算をする時には、あなたは日本語でしますか、それともポルトガル語でしますか。

1. ポルトガル語です (0)
2. 日本語です (2)
3. ポルトガル語・日本語両方です (あるいは混ぜてする) (1)

O F. 2 あなたは新聞を良く読みますか。

1. 全く読まない (0)
2. ときどき、読む - a. ポルトガル語の新聞をときどき読む (0)
b. 日本語の新聞をときどき読む (1)
3. 定期購買している - a. ポルトガル語の新聞を定期的に読む (0)
- b. 日本語の新聞を定期的に読む (2)

P F. 3 あなたは日本音楽が好きですか、それともブラジル音楽が好きですか。

1. 両方とも好き (1)
2. 日本音楽が好き (2)
3. ブラジル音楽が好き (0)
4. 両方ともきらい (0)

Q F. 4 あなたは日本のビデオを見ますか。

1. いつも見ている (2)
2. ときどき見ている (1)
3. 見ない (0)

R F. 5 あなたの友人関係について、お尋ねします。あなたの友人に関してあてはまるのはつぎのうち、どれですか。

1. 私の友人は大多数が日本人か日系人です (2)
2. 私の友人には日系人も何人かいますし、非日系人の友人も何人かいます (1)
3. 私の友人は大多数が非日系人です (0)
4. 私の友人には日本人・日系人はいません (0)

S F. 6 あなたの職場の人間関係について、お尋ねします。あなたの職場の同僚に関してあてはまるのはつぎのうち、どれですか。

1. 私の職場の同僚は大多数が日本人か日系人です (2)
2. 私の職場の同僚は日系人も何人かいますし、非日系人の同僚も何人かいます (1)
3. 私の職場の同僚は大多数が非日系人です (0)
4. 私の職場の同僚には日本人・日系人はいません (0)

T F. 8 あなたが手紙を書くときには、ポルトガル語で書くほうが簡単ですか、それとも、日本語で書くほうが簡単ですか。

1. 日本語のほうが簡単 (2)
2. ポルトガル語のほうが簡単 (0)
3. 日本語・ポルトガル語で書くのに、大きな違いはありません

U F. 10 あなたは日本語学校に何年通いましたか。

_____年間

{ 行かない (0)
1～5年 (1)
6年以上 (2)

以下は、JICA調査における回答の転記による。

V J 1 世帯としての日系団体加入
1. 加入 (2)
2. なし (0)

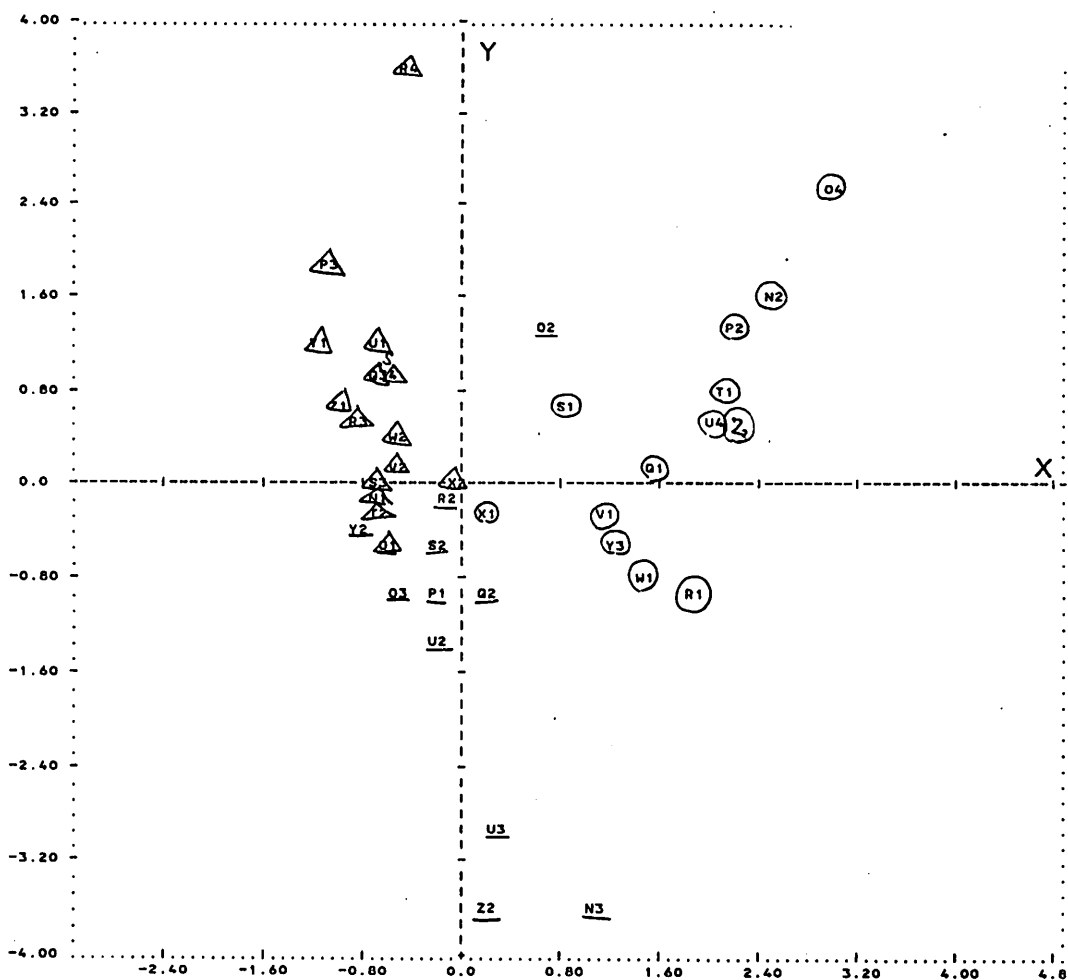
W J 12 個人としての日系団体加入
1. 加入 (2)
2. なし (0)

X J 14 ファーストネームに日本語あるか
1. あり (2)
2. なし (0)

Y J 27 日本語の会話
1. 全くできない (0)
2. 少しできる (1)
3. 十分できる (2)

Z J 28 日本語の読書
1. 全くできない (0)
2. 少しできる (1)
3. 十分できる (2)

以上、13問を用い、スケールができるかどうかをみるために、パタン分類の数量化を行って見たところ下の図のようになった。この図で○印は日本・日本語と関係の深いカテゴリー、アンダーラインは中位、△は関係の少ない方をあらわしている。1次元目の横軸をみると○印が右側、△が左側、アンダーラインが○と△の間に散らばるとい形をしていることがわかる。



このように得られた構図は、とりあげた質問が、日本人スケールをしていることを意味している。そこで、得られた数値を用いてもよいのであるが、解りやすいために、日本・日本語との関連の強い方（○印）に2、少ない方（△印）に0、中間に1という数値を対応するカテゴリーに与え反応したカテゴリーの数値を加算して、日本人スケールを作ることにした。この数値は前記の質問文の回答カテゴリーのあとの括弧の中に示してある。日本人であれば大半の項目で2の数値を持つものであるからこの数値の多いものは日本的な状況にあると言える。

これは0から26まで広がるが、バラックので分布をなかの4分類に区切った。

0～4、5～9、10～16、17以上である。それぞれの比率は32%、33%、22%、13%となる。これを1世、2+3世でどうなるかをみると(%)次の表のようになる。

	0～4	5～9	10～16	17～	合計
1世	0	12	27	61	100
2+3世	39	38	21	2	100

10～16位のところが1世、2+3世で同じ位あり、1世はそれ以上、2+3世はそれ以下が大きな部分を占める。

このほか日本人スケールが、属性でどうなっているかを調べてみると次のようになる。

性	1	2	3	4	計
男	32	29	23	16	100
女	31	39	21	9	100

年齢	1	2	3	4	計
～29	57	35	7	1	100
30～	47	40	13	0	100
40～	42	28	28	2	100
50～	11	41	34	14	100
60～	3	21	29	47	100

年齢との関係も明瞭であるが、世代の方が差は大きい。

9. 日本人スケールによる分析

ここでは、日本人スケールの4段階で質問やスケールの分布がどう異なったものになるかを分析してみよう。

義理人情スケール (%)

	0	1	2	3	4	5	計
1 *	21	48	15	16	0	0	100
2	20	49	27	4	0	0	100
3	15	37	41	6	1	0	100
4	2	35	32	28	3	0	100

*コードの説明

1. 0~4

3. 10~16

2. 5~9

4. 17~26

日本人スケールとの関係は明瞭である。

affectionスケール (人情スケール)

	5未満	5以上	計
1	73	27	100
2	67	33	100
3	62	38	100
4	52	48	100

ここでも、日本人スケールが多くなると、人情スケールでも多くなることが読める。

ここで、イソップ物語りの回答との関係を見よう (問17)。

	追り返す	食べ物を与え 諫める
1	11	88
2	22	74
3	28	68
4	22	77

注：その他、わからないがあるため横計は100にならない。

ここでは素直な関係は見られない。したがって、イソップの回答と人情スケールの関係は、日本人スケールを介してダイレクトに推論されるように単純なものではない。前の節で述べたように、回答の中味に屈折したものを含むことが考えられるのである。

中間回答スケール (%)

	0の比率	4以上の比率	5以上の比率
1	20	21	12
2	31	14	2
3	23	18	9
4	15	47	33

日本人スケールの多いところは中間回答が多く出るが、それ以外の関係は直線的ではなく、別の強い要因（年齢とか学歴とか社会環境とか）が加わっているものと考えてよい。

世代 (%)

	1世	2世	3世
1	0	38	<u>61</u>
2	7	<u>62</u>	31
3	23	<u>64</u>	12
4	<u>90</u>	7	3

注：このほか、「その他」がある

日本人スケール3、4をもつものの中に多くはないが3世が存在している。スケール1は3世、スケール2、3は2世、4は1世というのが特徴的であるがそれからのズレに注目してよい。

国際比較のデータのある各質問別にみて、日本人スケール1と4との間で直線的に大きく差の出るもの（30%以上）のみを拾ってみると次のようになる。

Q22 金は大切なものの一つと教えるか

	賛成	反対	いちがいに いけない
1	18	66	15
2	22	70	6
3	28	56	13
4	29	27	33

日本人スケールの多いところで反対が少なく、いちがいに言えないが多く、日本的である。

Q25 しきたりに従うか

	おし通す	従 う	時と場合による
1	<u>59</u>	31	9
2	<u>46</u>	36	18
3	32	<u>44</u>	21
4	12	30	<u>49</u>

日本人スケールと共に従えがまず増加し、さらに日本人スケールが多くなると時と場合によるがふえるという面白い形である。

Q35b 恩返し

日本人スケールの上昇と共に33%、41%、46%、64%と増大する。

Q26 人間らしさへるか

	賛成 (へらない)	反対 (へる)	いちがいに いえない
1	48	48	2
2	60	27	7
3	46	31	14
4	57	13	28

日本人スケールの多い所で「へる」という回答の所で大きく差が出るし、またいちがいに言えないという回答も多い。これは必ずしも今日の日本に近いとは言えないが（1953年の日本ではへらない58%、へる17%、いちがいにいえない8%）、いちがいに言えないが1953年は少なかったが傾向はそれに似ている。

Q33 自然と人間

	従 う	利 用	征 服
1	3 3	1 2	4 3
2	5 4	9	3 1
3	4 1	1 5	3 9
4	5 8	3 2	9

今日の日本の傾向は、従う37、利用48、征服5となっている。日本人スケールの大きいところの傾向も日本のふるい時代の様相とも同じでないが、征服の少ないところは今日の日本に似ている。

Q35 権利（自由）

同様に41%（43%）、38%（33%）、25%（30%）、17%（9%）となる。

差は20%位であるが日本において特に支持の高いめんどろをみる課長（Q40）の支持をみると、68%、57%、71%、89%という形になっている。

これまで日本スケールの度合による意見をみてきたが詳しくは付録4を参照されたい。通覧するに、日本人スケールの多いところは、日本人の意識に似ているところもあるが、必ずしもすべて今日の日本の意識と同じということはなく、また昔の日本の様相を持っているとも言えない。このグループも、やはり日本人的特色を示しながら、それなりの特色を持っているということができよう。

さらに、日本人スケール4のところの年齢分布と同じ年齢分布をもつ日本人集団を考え（日本の年齢別データを用いて推計を行う）、それらと比較することも興味あることであるが、これは、これからの分析に委ねよう。

10. J B調査の位置付けと意義

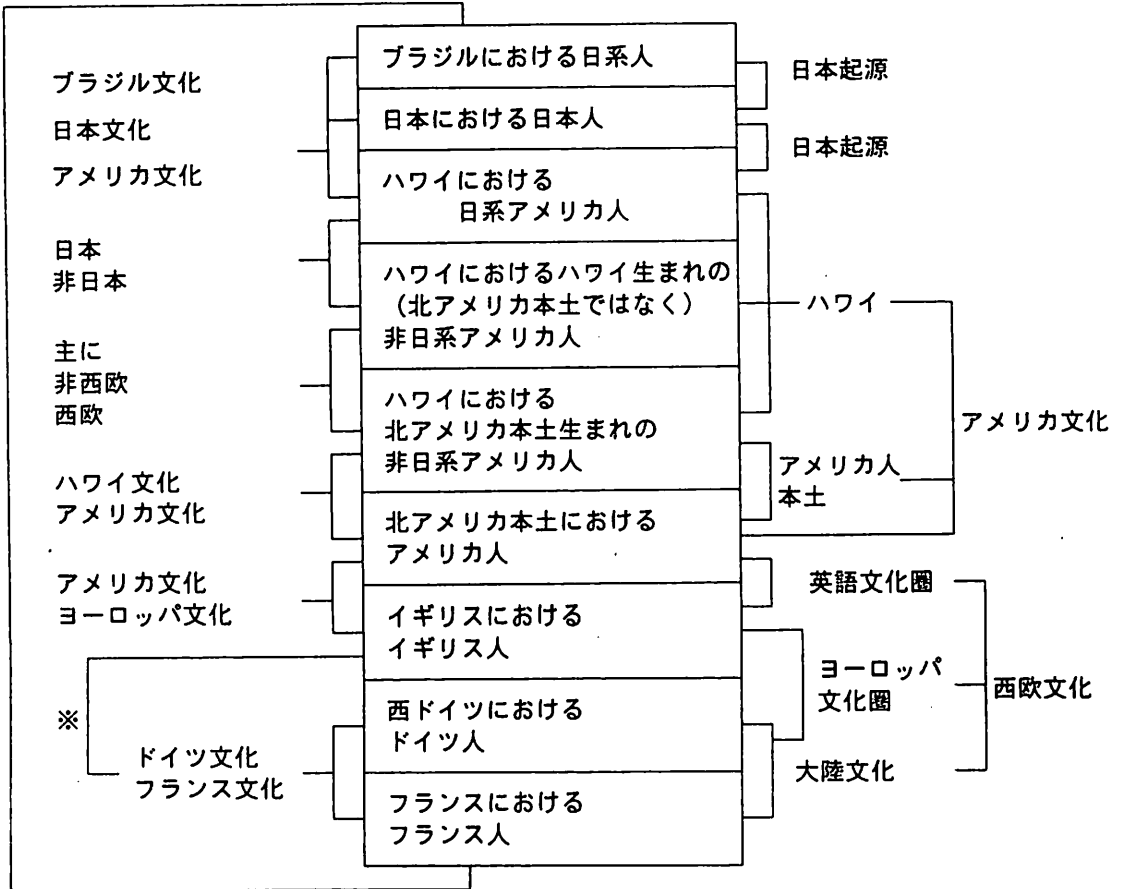
J Bにおける調査は、統計数理研究所のグループ（本研究の日本側研究者が主なメンバーになっており、この他三宅一郎、佐々木正道が加わっている）の行っている意識の国際比較調査の中に位置付けてみることができる。この国際研究は、意識の連鎖的比較調査分析法（Cultural Link Analysis C L Aと略称）という方法で、似たところと異なったところを鎖の環のように繋げて、異なる文化圏に属する人々の意識のあり方を理解、且つ相互理解に結び付けて行こうとするものである。ブラジルの日系人をこれまで行ってきたC L Aの中に位置付けると次のような形になる。

上端のJBと下端のフランスは、ラテン文化の中にあるという点で類似し、日本起源とヨーロッパという点で異なっている。

連鎖

差異

類似



※ 英国文化圏
大陸文化圏

これまで行ってきたデータの分析においてJBの調査はJ、JA、フランス、アメリカといったものに対する鎖を上述のスキームのように形成していることが理解され、相互の似たところと異なったところがこのスキームにそって読み解かれることが解った。

第4章 特種地域トメアスーとマリंगा在住者の意識

調査の実施のところで述べた通り、調査を実施した。両地域とも、日系人の多く在住するところである。

まず、ブラジルのみ質問、問6、問7をみよう。

問6 日本に行ったことがあるか (%)

	はい	いいえ
J B	15	85
トメアスー	41	56
マリंगा	14	84

マリंगाはJ Bと近いがトメアスーは異なっている。

その目的をみると、トメアスーの親戚訪問が22%で、マリंगा6%、J B 6%と異なっている。

問7 日本に行きたいと思うか (%)

	行きたい	いいえ
J B	86	14
トメアスー	84	13
マリंगा	86	11

これについては差はなく、行きたいが極めて多い。

目的では次の通りでトメアスーの親戚訪問が多い (%)。

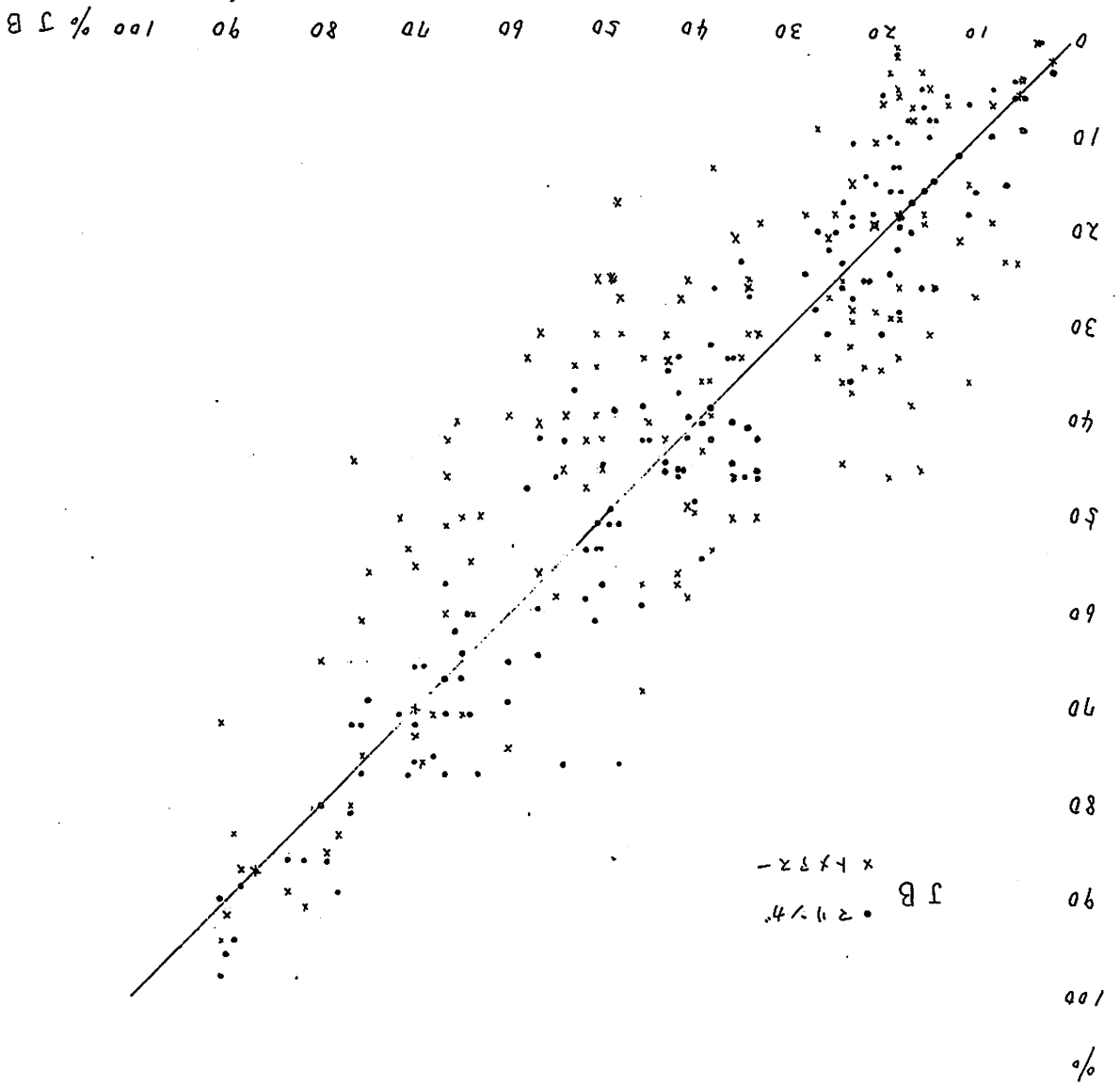
	親元	親戚訪問	留学	出張	仕事
J B	45	16	5	2	14
トメアスー	33	25	5	1	21
マリंगा	49	12	12	3	11

なお、属性構成をみると次のようになり大差はない（％）。

	J B	トメアスー	マリング
男	55	53	51
女	45	47	49
～29	20	16	20
30～	20	21	21
40～	20	22	21
50～	20	17	17
60～	9	13	14
70～	11	11	7

すべての質問結果は付録1に対比して示してあるが、これをまとめてJ B全体との関係を描いたのが次のグラフである。

一見して理解できることは、特種の問題を除けば、マリングの結果はJ B全体に近いことが理解できる。トメアスーは、J B全体とかなりくい違っていると見ることができる。



くい違いの大きい所を拾ってみよう。

トメアスー	マリंगा
問8 で非常にが少なく、ただ満足が多い	問8 JBと同一
問9 少し希望を持つが多い (非常にが少ない)	問9 非常にが多い傾向
問10 非常に感じるが少ない 少しは感じるが多い	問10 あまり差はない(なかにはより不安が 少ないものもある)
問12 場合によるが多い	問12 差はない
問19 自由時間 大 友人・知人 大	問19 差はない
問20 満足少なく、少し満足 大	問20 差なし
問21 賛成少なく いちがいに言えない 大	問21 差なし
問22 金は大切なものの一つと教えるかで 賛成 大、いちがいに言えない 大	問22 差なし
問24 政治家にまかせるか いちがいに言えない 大	問24 差なし
問25 しきたり おし通せ少なく いちがいに言えない 大	問25 いちがいに言えない 大
問26 心の豊かさへるか へらない 小 いちがいに言えない 大	問26 へらない 小、へる 大
問28 離婚 差なし	問28 ひどい場合はよい 大
問29 女の仕事 区別なく 小	問29 差なし
問30 先生が悪いことをした で ほんとうだという 小 否定する 大	問30 差なし

トメアスー	マリンガ
問33 自然を征服 小	問33 差なし
問35 大切な道徳 恩返し 大 自由の尊重 小	問35 差なし
問41 他人の役に立とうとしている 大 自分のことだけ 小	問41 同じ
問42 利用しようとしている 小 そんなことはない 大	問42 差少ない
問43 たいていの人は信頼できる 大	問43 差なし
問44 コンピュータ 望ましくないが避けられぬ 大	問44 差なし
問45 環境保護 非常に重要が少なく重要が大	問45 差なし
問48 カトリック少なく、佛教 大	問48 差なし
F 1 暗算 ポルトガル語 少なく 日本語 大	F 1 差なし
F 2 読む新聞 日本語 大 ポルトガル語 小	F 2 ポルトガル語 大
F 3 日本音楽好き 大	F 3 差なし
F 4 日本のビデオ 時々見る 大 みない 小	F 4 差少ない
F 5 大多数日本人、日系人は大	F 5 差なし
F 8 手紙 日本語の方が簡単 大 ポルトガル語の方が簡単 小	F 8 差なし

以上を通してみると、トメアスーでは、大げさな表現が少なく、控え目な表現がより多いこと、いちがいに言えない・時と場合によるという回答がより多く、この点日本人の反応により近い傾向である。また、それ以外の回答でも差のあるものは、より日本的ということになる。日本のもの、日本語との接触はJ B、マリंगाにくらべて大である。大きくまとめるとマリंगाは大体J B並み、トメアスーはより日本的とみることができる。

第5章 在日日系ブラジル人の意識

前述したように海外日系人協会の名簿、いすずの栃木工場勤務者を対象にした。前者の地域のバラツキは次のようである。

海外日系人協会のサンプルの調査地域

茨城県	5	富山県	1
栃木県	3	岐阜県	6
群馬県	8	静岡県	14
埼玉県	17	愛知県	10
千葉県	16	三重県	10
東京都	14	小計	31
神奈川県	14	計	118
小計	87		

調査法は、ポルトガル語による調査のため面接して依頼し、目の前で自記式で調査（監督のような形で調査）したもので、JBと単純な比較はすべきではなく、傾向的に読む必要がある。また、JBとの比較において年齢差の問題、男女比の問題もあり、注意してみる必要がある。属性構成は次の通りである。

	JB	日系人協会	いすず
男	55	51	100
女	45	49	0
～29	20	60	55
30～	20	31	25
40～	20	8	19
50～	20	1	1
60～	9	0	0
70～	11	0	0

男女比の差異、年齢の若い方に偏っている点からみてJBとの比較はこのままでは無理で、年齢構成をマッチさせて検討する必要があるので、これは後の分析に譲ろう。

まず、海外日系人協会のものといすずのデータを目盛った図を次頁にかかげるがある質問を除く*（*本頁下段参照）とかなりよく一致していることが解り情報が多い。比率の異なる質問はフェースシートのことは別として、

問8の回答の非常に満足と満足との差

問9のF 世界の平和の質問

問20の回答の満足と少しは満足との差

問28の離婚の質問

問29の女の仕事の質問

問40のめんどろをみる課長

問30の先生の悪事では本当のことを言う

問35 大切な道徳の恩返しと自由

問42の人を利用しようとしている

問45の環境保護で非常に重要と重要の差

問48 宗教を信じる

問51 b 資本主義 時と場合による

c 社会主義 時と場合による

d 自由主義 時と場合による

日系人協会の方に控え目な表現、時と場合によるという表現が多い。宗教を信じるは少ない。しかし、離婚では、二人の合意さえあればよいが多い。女の仕事では区別なくが多く、先生の悪事では、本当のことを言うが多く、恩返しは少なく、自由の尊重が多いが、一方、めんどろをみる課長につかわれたいが多く、人は自分を利用しようとしているが少ないという形であって、一概により日本に近いとか遠いとかいうことは困難で、他の要因が介入していると考えた方がよい。

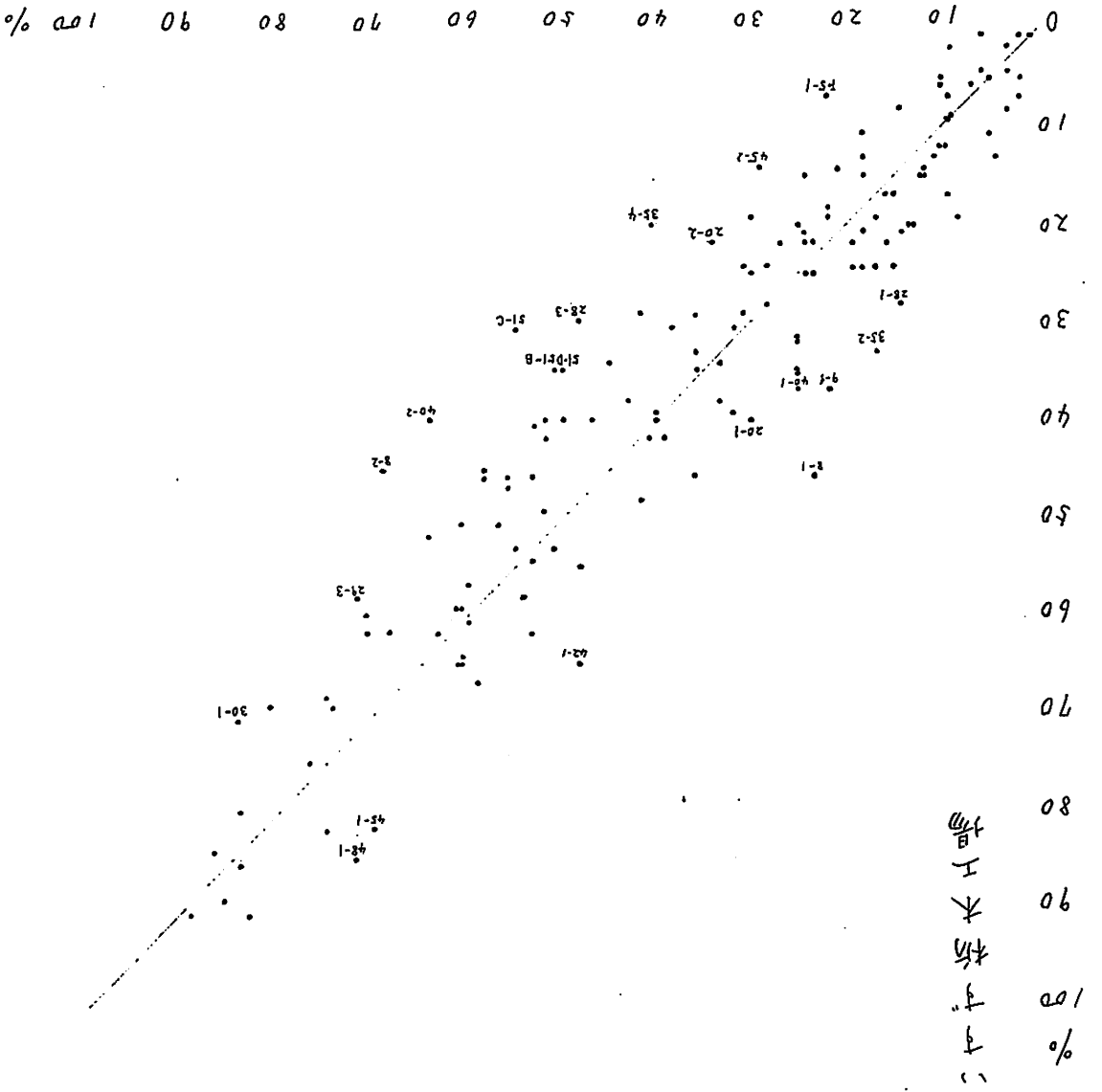
しかし、大局的に、日本にきている日系ブラジル人のこれらグループの間に大きな差はないものと見てよいのではないかと思われる。ブラジル本国の同年令のものにくらべてどうかについては前述したように年令層をそろえて比較することになるので、今後の分析に譲ろう。

*質問番号と回答肢を図中に書いてある

40-2とは質問40の回答肢2を示す

F2-1とはフェースシートの質問F2の回答肢1を示す

海外日系人協会



第 3 部

付 録

1. 調査票（日本語へ翻訳）及び、ウェイトの有無による単純集計、トメアスー・マリンガ・在日日系ブラジル人の意見分布
2. 日本人、ブラジル日系人、ハワイ日系人、アメリカ人（北米）の質問別単純集計比較表
3. 自由回答の内容
4. ブラジル日系人の属性（性、年齢、世代、日本スケールによる）別集計表

付録1 調査票（ポルトガル語原文の日本語オリジナルと問1～8，問9，問10f～i，フェイスシートの和訳）及び、ウエイトの有無による単純集計。
トメアスー・マリンガ・在日日系ブラジル人の意見分布

表の読み方

以下の分類における意見分布（％）

	W 492	S 492	W 486	S 486		HJA	JAPAN	
1	↑ウエイト付き ↑回答カテゴリー	↑ウエイトなし	↑ウエイト付き 10000以上のもの除外	↑ウエイトなし	1	↑回答カテゴリー	1988年	
2					2			日本人
3					3			
4					4			
	B-JB	TOME	MARI	J-JB1	J-JB2			
	ブラジル日系人 W492に同じ	トメアスー 標本数110	マリンガ 標本数205	海外日系人協会 在日ブラジル日系人 118	いすゞ自動車栃木工場 在日ブラジル日系人 85			

問1 ブラジルについて、良いところ、悪いところは何かと思いますか。
(記入)

b. これについてあなたはどのように思いますか。
(記入)

問2 では、日本について、良いところ、悪いところは何かと思いますか。
(記入)

問3 日本との関わりで、あなたは何をしたいと思いますか。
(記入)

問4 日系人として次の世代に何を伝えたいと思いますか。
(記入)

問5 日系人として、ブラジル社会にどんな貢献ができると思いますか。
(記入)

問6 あなたは日本へ行ったことがありますか。

1. はい 2. いいえ 0. 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1.	15.3	16.5	12.7	16.3	1.	-	-	15.3	41.1	13.7	-	-
2.	84.7	83.5	87.3	83.7	2.	-	-	84.7	55.6	83.4	-	-
0.	-	-	-	-	0.	-	-	3.3	2.9	-	-	-

(1. はい と回答した人に) それはどのような目的でしたか。

1. 観光
2. 親戚訪問
3. 留学
4. 出張
5. 仕事 (出張ぎ) 0. 非該当、回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1.	6.2	4.9	4.3	4.7	1.	-	-	6.2	5.3	2.4	-	-
2.	5.8	5.9	4.7	5.8	2.	-	-	5.8	21.9	5.9	-	-
3.	0.7	0.8	0.8	0.8	3.	-	-	0.7	1.3	0.5	-	-
4.	1.0	1.4	1.2	1.4	4.	-	-	1.0	2.0	0.5	-	-
5.	0.3	0.8	0.3	0.8	5.	-	-	0.3	10.6	2.9	-	-
0.	86.0	86.2	88.7	86.4	0.	-	-	86.0	58.9	87.8	-	-

問7 あなたは日本へ行きたいと思いますか。

1. はい 2. いいえ 0. 回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1.	86.2	83.9	84.0	83.7	1.	-	-	86.2	84.1	86.3	-	-
2.	13.8	16.1	16.0	16.3	2.	-	-	13.8	12.6	11.2	-	-
0.	-	-	-	-	0.	-	-	3.3	2.4	-	-	-

(1. はい と回答した人に) それはどのような目的ですか。

1. 観光
2. 親戚訪問
3. 留学
4. 出張
5. 仕事 (出張ぎ) 0. 非該当、回答なし

Brazil												
	W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1.	44.6	48.2	46.5	48.4	1.	-	-	44.6	33.1	48.8	-	-
2.	15.5	10.8	19.0	10.5	2.	-	-	15.5	24.5	11.7	-	-
3.	4.9	4.5	5.7	4.5	3.	-	-	4.9	4.6	12.2	-	-
4.	1.9	2.8	2.2	2.9	4.	-	-	1.9	0.7	2.9	-	-
5.	14.0	9.6	10.4	9.3	5.	-	-	14.0	20.5	10.7	-	-
0.	19.1	24.2	22.1	24.5	0.	-	-	19.1	16.6	13.7	-	-

続いて、意識の国際比較の質問に移ります。

問8 あなたと同じ年の人と比べて、あなたの健康状態はいかがですか。

1. 非常に満足している 5. わからない
2. 満足している その他、回答なし
3. あまり満足していない
4. 満足していない

Brazil												
	W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1.	48.8	43.9	44.8	43.6	1.	37.8	13.6	48.8	24.5	48.8	22.9	45.9
2.	42.0	45.9	44.5	46.1	2.	57.2	57.5	42.0	57.0	45.4	68.6	44.7
3.	7.8	9.3	9.0	9.5	3.	5.0	21.1	7.8	15.9	5.9	5.9	4.7
4.	0.4	0.4	0.5	0.4	4.	-	5.4	0.4	1.3	-	0.8	1.2
5.	1.0	0.4	1.2	0.4	5.	-	2.4	1.0	1.3	-	1.7	3.5

図9 自分自身が将来について期待や希望を持っていることがあると思います。あなたは、次のようなことについてどの程度の期待や希望を持っていますか。

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 非常に希望を持つ | 5. その他 |
| 2. かなり希望を持つ | 6. わからない |
| 3. 少し希望を持つ | 7. 非該当 |
| 4. 全く希望を持たない | 回答なし |

a. 社会的・経済的成功	1	2	3	4	5	6	7
b. 結婚や家庭生活	1	2	3	4	5	6	7
c. 子供の将来	1	2	3	4	5	6	7
d. 世の中がよくなる	1	2	3	4	5	6	7
e. 国の政治・経済	1	2	3	4	5	6	7
f. 世界の平和	1	2	3	4	5	6	7
g. 地球環境の保全	1	2	3	4	5	6	7

a. 「社会的・経済的成功」についての希望

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JBI	J-JB2		
1.	47.5	53.3	50.1	53.5	1.	-	-	47.5	26.5	51.2	55.9	45.9
2.	27.7	26.6	27.9	26.5	2.	-	-	27.7	28.5	30.7	27.1	18.8
3.	16.1	12.8	11.9	12.6	3.	-	-	16.1	31.8	11.7	7.6	1.2
4.	4.6	4.1	5.3	4.1	4.	-	-	4.6	4.0	3.4	0.8	3.5
5.	-	-	-	-	5.	-	-	-	-	1.5	-	2.4
6.	2.3	0.8	2.6	0.8	6.	-	-	2.3	6.6	1.5	1.7	1.2
7.	1.8	0.4	2.1	2.5	7.	-	-	1.9	2.6	-	6.8	27.1

b. 「結婚や家庭生活」についての希望

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JBI	J-JB2		
1.	54.1	63.6	57.7	64.0	1.	-	-	54.1	45.0	75.6	57.6	62.4
2.	23.5	16.9	19.3	16.5	2.	-	-	23.5	21.2	15.6	20.3	4.7
3.	10.1	5.9	8.7	5.8	3.	-	-	10.1	10.6	9.4	3.4	-
4.	2.6	2.2	3.1	2.3	4.	-	-	2.6	6.6	0.5	1.7	-
5.	3.0	2.2	3.4	2.3	5.	-	-	3.0	0.7	2.4	0.8	2.4
6.	2.6	2.4	3.1	2.5	6.	-	-	2.6	6.0	1.5	5.1	1.2
7.	4.0	6.7	4.7	6.8	7.	-	-	4.1	9.9	1.0	11.0	29.4

c. 「子供の将来」についての希望

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JBI	J-JB2		
1.	62.9	66.9	62.1	66.9	1.	-	-	62.9	50.3	77.1	50.8	52.9
2.	17.5	14.4	15.2	14.2	2.	-	-	17.5	21.2	14.1	17.8	10.6
3.	4.7	4.7	5.4	4.7	3.	-	-	4.7	11.9	3.9	5.9	2.4
4.	0.4	0.8	0.4	0.8	4.	-	-	0.4	0.7	0.5	-	-
5.	0.4	0.6	0.4	0.6	5.	-	-	0.4	2.0	-	4.2	1.2
6.	3.9	2.6	4.5	2.7	6.	-	-	3.9	8.6	2.9	5.9	1.2
7.	10.2	10.0	11.9	10.1	7.	-	-	10.2	5.3	1.5	15.3	31.8

d. 「世の中がよくなる」ことについての希望

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JBI	J-JB2		
1.	42.3	39.4	43.1	39.5	1.	-	-	42.3	27.2	36.6	22.9	22.4
2.	28.4	28.9	26.8	28.6	2.	-	-	28.4	27.8	32.7	34.7	25.9
3.	19.8	21.5	19.2	21.6	3.	-	-	19.8	30.5	23.4	17.8	11.8
4.	5.0	5.1	5.8	5.1	4.	-	-	5.0	-	2.9	7.6	2.4
5.	0.1	0.4	0.1	0.4	5.	-	-	0.1	-	0.5	2.5	-
6.	4.0	3.7	4.6	3.7	6.	-	-	4.0	11.3	3.4	4.2	8.2
7.	0.4	1.0	0.4	1.0	7.	-	-	0.4	3.3	0.5	10.2	29.4

e. 「国の政治・経済」についての希望

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JBI	J-JB2		
1.	22.8	20.1	20.5	20.0	1.	-	-	22.8	15.2	10.7	8.5	9.4
2.	26.3	27.8	24.6	27.8	2.	-	-	26.3	21.9	25.4	35.6	21.2
3.	31.7	31.9	32.7	31.9	3.	-	-	31.7	31.8	42.9	25.4	22.4
4.	12.8	12.4	14.8	12.6	4.	-	-	12.8	17.9	17.1	15.3	12.9
5.	0.2	0.6	0.2	0.6	5.	-	-	0.2	-	-	-	-
6.	5.5	5.5	6.4	5.6	6.	-	-	5.5	7.9	2.9	4.2	2.4
7.	0.7	1.6	0.8	1.6	7.	-	-	0.7	5.3	1.0	11.0	31.8

f. 「世界の平和」についての希望

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JBI	J-JB2		
1.	43.0	38.8	43.0	38.9	1.	-	-	43.0	33.1	44.4	22.0	36.5
2.	24.3	28.0	23.1	28.0	2.	-	-	24.3	23.2	29.3	30.5	18.8
3.	21.9	20.9	21.3	20.8	3.	-	-	21.9	24.5	16.1	21.2	7.1
4.	6.2	6.3	7.2	6.4	4.	-	-	6.2	6.0	3.9	5.1	3.5
5.	0.4	0.4	0.4	0.4	5.	-	-	0.4	-	-	0.8	-
6.	3.5	4.3	4.0	4.3	6.	-	-	3.5	9.3	5.9	9.3	7.1
7.	0.8	1.2	0.9	1.2	7.	-	-	0.8	4.0	0.5	11.0	27.1

g. 「地球環境の保全」についての希望

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JBI	J-JB2		
1.	35.9	35.8	35.8	35.8	1.	-	-	35.9	21.2	32.7	14.4	21.2
2.	23.6	30.5	27.4	30.9	2.	-	-	23.6	37.1	28.8	39.8	30.6
3.	26.2	20.1	20.4	19.5	3.	-	-	26.2	19.9	24.4	21.2	8.2
4.	8.7	5.9	10.1	6.0	4.	-	-	8.7	3.3	6.3	7.6	2.4
5.	0.6	1.4	0.7	1.4	5.	-	-	0.6	2.0	-	0.8	-
6.	4.7	5.3	5.5	5.3	6.	-	-	4.7	11.9	5.9	5.9	8.2
7.	0.3	1.0	0.2	1.0	7.	-	-	0.3	4.6	2.0	10.2	29.4

問10 ときどき、自分自身のことや家族のことで不安になることがあると思います。
あなたは次のような危険について不安を感じることがありますか。

1. 非常に感じる
2. かなり感じる
3. 少しは感じる
4. 全く感じない
0. わからない
その他、回答なし

- a. まず、「重い病氣」の不安はどの程度でしょうか。 1 2 3 4 0
 b. では、「交通事故」についてはどうでしょうか。 1 2 3 4 0
 c. では、「失業」についてはどうでしょうか。 1 2 3 4 0
 d. では、「戦争」についてはどうでしょうか。 1 2 3 4 0
 e. では、「原子力施設の事故」についてはどうでしょうか。 1 2 3 4 0
 話題は変わりますが、次のことはどうですか。
 f. まず、「おどし・暴力」についてはどうでしょうか。 1 2 3 4 0
 g. では、「麻薬」についてはどうでしょうか。 1 2 3 4 0
 h. では、「環境問題」についてはどうでしょうか。 1 2 3 4 0
 i. では、「国の政治や経済」についてはどうでしょうか。 1 2 3 4 0

a. 「重い病氣」の不安

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 56.9	55.9	56.8	55.8	1. 37.8	21.9	56.9	40.4	58.5	54.2	57.6	
2. 9.0	11.4	10.4	11.5	2. 32.8	24.9	9.0	15.2	12.2	16.1	10.6	
3. 18.5	18.7	18.5	18.7	3. 17.8	38.7	18.5	33.8	16.1	15.3	11.8	
4. 15.6	13.6	14.2	13.6	4. 10.6	13.6	15.6	8.6	13.2	11.9	9.4	
0. 0.1	0.4	0.1	0.4	0. 1.2	1.0	0.1	2.0	-	2.5	10.6	

b. 「交通事故」の不安

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 51.3	52.8	52.4	52.9	1. 39.4	26.0	51.3	25.2	53.2	33.1	34.1	
2. 13.1	12.4	12.3	12.3	2. 32.8	31.1	13.1	19.2	16.6	20.3	12.9	
3. 20.3	18.3	17.7	18.1	3. 21.1	32.4	20.3	37.1	16.6	27.1	15.3	
4. 12.5	12.8	14.5	13.0	4. 5.6	9.2	12.5	14.6	12.7	12.7	15.3	
0. 2.7	3.7	3.2	3.7	0. 1.1	1.3	2.7	4.0	1.0	6.8	22.4	

c. 「失業」の不安

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 48.0	44.5	44.7	44.2	1. 15.0	8.2	48.0	16.6	37.6	32.2	30.6	
2. 12.5	14.6	14.4	14.8	2. 30.0	14.4	12.5	9.9	11.7	17.8	16.5	
3. 16.1	16.1	13.7	15.8	3. 28.3	30.2	16.1	17.2	21.5	28.0	11.8	
4. 22.8	23.6	26.4	23.9	4. 23.9	41.1	22.8	40.4	28.3	17.8	15.3	
0. 0.6	1.2	0.7	1.2	0. 2.8	5.6	0.6	15.9	1.0	4.2	25.9	

d. 「戦争」の不安

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 56.5	56.7	58.3	56.8	1. 32.8	11.3	56.5	30.5	42.0	22.9	24.7	
2. 8.1	11.2	9.4	11.3	2. 27.8	13.3	8.1	21.9	10.2	13.6	11.8	
3. 14.9	14.2	13.5	14.2	3. 27.8	36.4	14.9	13.9	22.4	25.4	14.1	
4. 18.9	15.0	16.9	14.8	4. 8.9	32.9	18.9	25.8	22.0	23.7	15.3	
0. 1.6	2.8	1.8	2.9	0. 2.8	6.0	1.6	7.9	3.4	14.4	34.1	

e. 「原子力施設の事故」の不安

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 53.8	54.5	57.2	54.7	1. 38.3	18.8	53.8	39.1	42.4	31.4	29.4	
2. 11.9	11.8	10.0	11.7	2. 26.7	24.8	11.9	9.3	12.7	11.9	8.2	
3. 15.9	16.3	14.4	16.0	3. 20.6	34.4	15.9	17.9	18.5	22.0	11.8	
4. 13.9	13.2	16.1	13.4	4. 12.2	15.5	13.9	21.2	21.0	23.7	16.5	
0. 4.5	4.3	2.3	4.1	0. 2.3	6.5	4.5	12.6	5.4	11.0	34.1	

f. 「おどし・暴力」の不安

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 77.0	81.7	80.4	82.1	1. -	-	77.0	43.7	80.5	67.8	62.4	
2. 6.2	7.5	7.1	7.6	2. -	-	6.2	27.2	11.7	13.6	15.3	
3. 7.5	5.3	4.6	4.9	3. -	-	7.5	13.9	4.9	7.6	9.5	
4. 8.4	4.7	6.8	4.5	4. -	-	8.4	12.6	2.9	5.9	3.5	
0. 1.0	0.8	1.1	0.8	0. -	-	1.0	2.6	-	5.1	15.3	

g. 「麻薬」の不安

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 67.3	71.1	69.1	71.4	1. -	-	67.3	45.7	71.2	42.4	48.2	
2. 9.3	10.4	10.8	10.5	2. -	-	9.3	15.2	10.7	14.4	16.5	
3. 10.4	8.5	8.1	8.2	3. -	-	10.4	7.9	7.8	15.3	4.7	
4. 11.2	8.3	10.0	8.2	4. -	-	11.2	23.8	9.3	22.0	12.9	
0. 1.8	1.6	2.1	1.6	0. -	-	1.8	7.3	1.0	5.9	17.6	

h. 「環境問題」の不安

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 48.9	51.2	51.5	51.4	1. -	-	48.9	25.2	52.2	33.1	37.6	
2. 23.9	22.4	21.9	22.2	2. -	-	23.9	27.8	21.5	27.1	25.9	
3. 15.1	17.5	17.6	17.7	3. -	-	15.1	23.2	18.0	28.0	9.4	
4. 10.0	6.7	6.7	6.4	4. -	-	10.0	13.2	7.3	5.9	2.4	
0. 2.1	2.2	2.4	2.3	0. -	-	2.1	10.6	1.0	5.9	24.7	

1. 「国の政治や経済」の不安

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JBI	J-JB2		
W492	S492	W486	S486									
1.	57.0	58.3	59.0	58.4	1.	-	-	57.0	55.6	64.4	60.2	56.5
2.	17.9	16.7	14.9	16.5	2.	-	-	17.9	17.2	18.0	23.7	11.8
3.	16.3	14.6	15.9	14.6	3.	-	-	16.3	13.9	11.7	8.5	7.1
4.	6.5	7.3	7.5	7.4	4.	-	-	6.5	4.6	4.4	3.4	3.5
0.	2.3	3.0	2.7	3.1	0.	-	-	2.3	8.6	1.5	4.2	21.2

問11 あなたはどちらかといえば、普通より先祖を尊ぶ方ですか、それとも普通より尊ばない方ですか。

1. 普通より尊ぶ方
2. 普通より尊ばない方
3. 普通
4. その他(記入)
5. わからない
回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JBI	J-JB2		
W492	S492	W486	S486									
1.	55.3	52.2	52.3	52.1	1.	51.7	47.5	55.3	58.3	45.9	36.4	32.9
2.	6.1	5.7	7.1	5.8	2.	14.4	8.4	6.1	4.6	6.8	10.2	9.4
3.	34.4	40.0	35.6	40.1	3.	31.7	42.5	34.4	31.1	45.9	39.8	40.0
4.	2.1	1.0	2.5	1.0	4.	0.6	0.0	2.1	-	1.0	0.8	2.4
5.	2.1	1.0	2.5	1.0	5.	1.7	1.5	2.1	6.0	0.5	12.7	15.3

問12 子供がないときは、たとえ血のつながりがない他人の子供でも、養子にもらって家をつがせた方がよいと思えますか、それとも、つがせる必要はないと思えますか。

1. つがせた方がよい
2. つがせる必要はない
3. 場合による
4. その他(記入)
5. わからない
回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JBI	J-JB2		
W492	S492	W486	S486									
1.	51.9	51.8	49.4	51.6	1.	52.8	19.1	51.9	41.7	57.6	28.0	23.5
2.	26.7	27.8	28.8	28.0	2.	44.4	42.4	26.7	19.9	21.0	21.2	8.2
3.	12.6	9.1	11.7	9.1	3.	13.3	30.5	12.6	23.2	15.1	30.5	37.6
4.	2.6	4.1	3.0	4.1	4.	4.4	0.2	2.6	2.0	2.0	7.6	8.2
5.	6.1	7.1	7.1	7.2	5.	5.0	7.8	6.2	13.2	4.4	12.7	22.4

問13 もし、一生、楽に生活できるだけのお金がたまったら、あなたはずっと働きますか、それとも働くのをやめますか。

1. ずっと働く
2. 働くのをやめる
3. その他(記入)
4. わからない
回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JBI	J-JB2		
W492	S492	W486	S486									
1.	83.3	84.1	83.6	84.2	1.	49.4	64.1	83.3	89.4	86.3	87.3	83.5
2.	12.1	11.0	11.0	10.9	2.	44.4	24.1	12.1	6.0	10.2	3.4	7.1
3.	3.9	4.1	4.5	4.1	3.	5.0	1.5	3.9	1.3	2.0	5.9	1.2
4.	0.7	0.8	0.8	0.8	4.	1.1	10.4	0.7	3.3	1.5	3.4	8.2

問14 仕事について、次の2つの意見があります。どちらがあなたの意見に近いですか。

1. いくらお金があっても、仕事がないと、人生はつまらない
2. お金があれば、仕事がなくとも、人生がつまらないとは思わない
3. わからない
その他、回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JBI	J-JB2		
W492	S492	W486	S486									
1.	88.0	86.0	86.1	85.8	1.	61.1	72.8	88.0	87.4	88.9	83.9	80.0
2.	9.9	10.8	11.5	10.9	2.	34.4	19.8	9.9	9.3	10.2	3.4	9.4
3.	2.1	3.3	2.5	3.3	3.	4.4	7.4	2.1	3.3	1.5	12.7	10.6

問15 ここに仕事について、ふだん話題になることがあります。あなたは、どれが一番関心がありますか。

1. お金のことを気にしないで済む程よい給料
2. 倒産や失業の恐れがない仕事
3. 気の合った人たちと働くこと
4. やりこめたという感じがもてる仕事
5. その他(記入)
6. わからない
回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JBI	J-JB2		
W492	S492	W486	S486									
1.	16.3	13.2	16.0	13.2	1.	14.4	19.8	16.3	7.9	17.1	12.7	20.0
2.	21.2	22.6	18.6	22.4	2.	16.7	15.4	21.2	18.5	18.0	16.9	18.8
3.	12.2	12.6	11.2	12.6	3.	21.7	29.2	12.2	21.2	12.2	8.5	9.4
4.	40.9	43.5	43.4	43.6	4.	45.6	29.4	40.9	49.0	42.4	44.9	34.1
5.	7.8	6.5	9.0	6.6	5.	1.7	0.5	7.8	2.6	8.3	11.9	9.4
6.	1.7	1.6	1.9	1.6	6.	-	5.7	1.7	0.7	2.0	5.1	8.2

問16 人のくらし方にはいろいろあるでしょうが、つぎにあげるものの中で、どれが一番、あなた自身の気持ちに近いものですか。

1. 一生けんめい働き、金持ちになること
2. まじめに勉強して、名をあげること
3. 金や名誉を考えずに、自分の趣味にあったくらし方をすること
4. その日その日を、のんきにクヨクヨしないでくらすこと
5. 世の中の正しくないことを押しのけて、どこまでも清く正しくくらすこと
6. 自分の一身のことを考えずに、社会のためにすべてを捧げてくらすこと
7. その他(記入)
8. わからない
回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tome	Mari	J-JBI	J-JB2		
W492	S492	W486	S486									
1.	8.0	8.9	9.2	9.1	1.	9.4	13.8	8.0	6.6	9.8	2.5	8.2
2.	4.8	7.5	5.6	7.6	2.	3.9	1.7	4.8	4.0	6.3	10.2	5.9
3.	35.9	31.3	33.6	31.1	3.	29.4	37.3	35.9	49.7	32.7	36.4	35.3
4.	25.5	25.4	27.5	25.5	4.	42.8	32.0	25.5	20.5	30.7	17.8	23.5
5.	19.2	17.5	16.4	17.3	5.	10.6	5.9	19.2	12.6	10.2	11.9	15.3
6.	2.4	2.8	2.8	2.9	6.	2.2	2.9	2.4	2.0	3.4	0.8	1.2
7.	3.4	5.3	4.0	5.3	7.	1.1	1.2	3.4	2.6	5.4	14.4	2.4
8.	0.7	1.2	0.8	1.2	8.	0.6	5.2	0.7	2.0	1.5	5.9	8.2

問17 イソップの童話の中に、怠け者のキリギリスと、働き者のアリの話があります。夏の間歌をうたっていたキリギリスが、冬になって、食べる物がなくなり困ってしまい、夏の間働いていたアリのところにやって来ました。この時のアリの答えには、次のような2つの型があります。

あなたは、このお話のむすびとして、この中のどちらがご自分の気持ちにじっくりしめますか。

1. 夏の間怠けていたのだから、困るのが当然だといって追い返してしまう
2. 怠けていたのはいけないけれども、これからはちゃんと働くのですよ、といきまめで、食べ物をわけてあげる
3. その他
4. わからない
回答なし

Brazil										
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2
1. 19.9	17.5	21.0	17.5	1. 9.4	15.3	19.9	6.6	6.3	5.1	10.6
2. 77.8	79.5	76.3	79.4	2. 90.6	75.0	77.8	82.8	88.8	82.2	75.3
3. 0.9	2.0	1.1	2.1	3. -	0.3	0.9	4.6	2.4	10.2	3.5
4. 1.4	1.0	1.6	1.0	4. -	9.4	1.4	6.0	2.4	2.5	10.6

問18 あなたにとって一番大切と思うものはなんですか。1つだけあげてください。
(記入)

問18-b そのほか、非常に大切と思うものをいくつでもあげてください。
(記入)

問19 次にあげる生活領域のそれぞれについて、あなたが重要だと思う程度に従って、1~7の評価をつけてください。

	重 要 で は な い	1	2	3	4	5	6	7	重 要 な 回 答 な し
a. まず、「家族や子供」についてはどうですか	1	2	3	4	5	6	7	0	
b. では、「職業や仕事」についてはどうですか	1	2	3	4	5	6	7	0	
c. 「自由になる時間とくつろぎ」については	1	2	3	4	5	6	7	0	
d. では、「友人・知人」については	1	2	3	4	5	6	7	0	
e. では、「両親、兄弟、姉妹、親戚」については	1	2	3	4	5	6	7	0	
f. では、「宗教」については	1	2	3	4	5	6	7	0	
g. では、「政治」については	1	2	3	4	5	6	7	0	

a. 「家族や子供」について重要と思う程度

Brazil										
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2
1. 2.3	1.2	2.6	1.2	1. 1.1	0.6	2.3	2.0	0.5	0.8	7.1
2. -	-	-	-	2. -	0.2	-	-	0.5	-	-
3. 0.4	0.8	0.4	0.8	3. 1.1	0.4	0.4	-	-	-	1.2
4. 2.8	1.6	3.3	1.6	4. -	2.6	2.8	2.6	-	0.8	-
5. 2.6	1.8	3.0	1.9	5. 1.1	4.4	2.6	0.7	0.5	5.9	-
6. 1.1	3.9	1.2	3.9	6. 4.4	7.5	1.1	2.6	2.4	5.9	1.2
7. 90.3	90.2	88.8	90.1	7. 89.4	82.6	90.3	92.1	95.6	83.9	85.9
0. 0.6	0.4	0.7	0.4	0. -	1.5	0.6	-	0.5	2.5	4.7

b. 「職業や仕事」について重要と思う程度

Brazil										
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2
1. 2.5	1.0	2.9	1.0	1. 6.1	1.4	2.5	2.6	1.0	0.8	5.9
2. 0.2	0.4	0.2	0.4	2. 0.6	0.9	0.2	0.7	-	-	2.4
3. 0.2	0.2	0.2	0.2	3. 2.8	1.3	0.2	1.3	0.5	-	-
4. 2.1	2.4	2.4	2.5	4. 11.1	8.4	2.1	6.0	-	2.5	1.2
5. 3.5	5.7	4.1	5.8	5. 21.7	12.3	3.5	3.3	3.9	6.8	4.7
6. 12.6	14.4	14.6	14.6	6. 19.4	17.6	12.6	0.7	7.8	16.1	12.9
7. 78.9	75.8	75.6	75.5	7. 32.2	54.6	78.9	84.8	86.3	71.2	60.0
0. -	-	-	-	0. -	3.1	-	0.7	0.5	2.5	12.9

c. 「自由になる時間とくつろぎ」について重要と思う程度

Brazil										
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2
1. 4.1	3.7	4.8	3.7	1. 0.6	0.6	4.1	6.6	1.5	2.5	7.1
2. 2.8	2.6	3.3	2.7	2. 0.6	1.1	2.8	1.3	2.0	-	1.2
3. 8.8	7.7	8.2	7.6	3. 3.9	3.1	8.8	4.6	5.9	4.2	5.9
4. 20.9	19.9	21.3	20.0	4. 16.7	17.0	20.9	16.6	15.6	12.7	10.6
5. 12.6	15.2	11.6	15.2	5. 26.1	24.2	12.6	7.9	16.6	17.8	17.6
6. 17.9	16.5	16.9	16.5	6. 20.6	20.8	17.9	12.6	16.1	21.2	11.8
7. 32.8	33.9	33.8	34.0	7. 31.1	31.2	32.8	49.7	42.0	38.1	30.6
0. 0.1	0.4	0.1	0.4	0. 0.6	2.0	0.1	0.7	0.5	3.4	15.3

d. 「友人・知人」について重要と思う程度

Brazil										
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2
1. 1.9	0.8	2.2	0.8	1. 0.6	0.4	1.9	1.3	1.0	2.5	2.4
2. 1.3	1.2	1.5	1.2	2. 0.6	0.2	1.3	-	-	-	5.9
3. 1.2	1.8	1.4	1.9	3. 0.6	1.5	1.2	1.3	2.0	3.4	-
4. 8.1	8.7	6.4	8.6	4. 10.6	8.7	8.1	5.3	4.9	3.4	4.7
5. 9.4	11.8	10.9	11.9	5. 22.2	20.4	9.4	4.6	7.8	12.7	5.9
6. 18.3	17.1	19.2	17.1	6. 30.0	27.5	18.3	11.9	15.1	16.7	16.5
7. 59.8	58.5	58.4	58.4	7. 35.0	39.4	59.8	74.2	68.8	57.6	45.9
0. -	-	-	-	0. -	1.5	-	1.3	0.5	3.4	18.8

e. 「両親、兄弟、姉妹、親戚」について重要と思う程度

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
1.	1.7	1.0	2.0	1.0	0.6	0.5	1.7	0.7	0.5	-	4.7	
2.	0.6	0.6	0.7	0.6	0.6	0.4	0.6	1.3	0.5	0.8	1.2	
3.	0.2	0.8	0.2	0.8	3.	2.2	1.0	0.2	-	-	1.7	1.2
4.	1.6	2.8	1.9	2.9	4.	0.6	5.1	1.6	1.3	1.5	2.5	-
5.	1.4	4.1	1.7	4.1	5.	9.4	10.6	1.4	1.3	1.0	2.5	5.9
6.	7.4	9.6	8.6	9.7	6.	18.3	22.6	7.4	7.3	9.3	12.7	3.5
7.	86.8	80.9	84.7	80.7	7.	66.1	58.1	86.8	87.4	86.8	75.4	68.2
0.	0.2	0.2	0.3	0.2	0.	-	1.6	0.2	0.7	0.5	4.2	15.3

f. 「宗教」について重要と思う程度

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
1.	5.9	4.7	3.9	4.5	1.	11.1	12.4	5.9	8.6	2.0	10.2	8.2
2.	3.7	3.0	4.3	3.1	2.	3.9	8.7	3.7	-	3.4	8.5	4.7
3.	5.4	6.9	6.2	7.0	3.	6.1	13.1	5.4	3.3	6.3	13.6	4.7
4.	10.9	14.4	12.6	14.6	4.	17.8	24.5	10.9	17.9	10.7	9.3	10.6
5.	9.4	11.4	10.8	11.5	5.	23.3	15.9	9.4	11.9	12.7	14.4	8.2
6.	12.9	15.0	14.9	15.2	6.	13.3	7.8	12.9	8.6	11.7	13.6	9.4
7.	51.9	44.3	47.2	43.8	7.	24.4	13.8	51.9	47.0	53.2	25.4	35.3
0.	0.0	0.2	0.0	0.2	0.	-	3.6	0.0	2.6	-	5.1	18.8

g. 「政治」について重要と思う程度

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
1.	14.2	14.2	12.6	14.2	1.	8.3	2.8	14.2	7.9	14.6	11.0	16.5
2.	10.5	8.9	9.2	8.8	2.	8.3	5.3	10.5	0.7	6.3	5.9	4.7
3.	8.5	9.6	7.8	9.5	3.	13.9	8.9	8.5	3.3	11.2	7.6	3.5
4.	15.5	16.1	17.9	16.3	4.	30.6	24.5	15.5	20.5	14.6	15.3	14.1
5.	12.8	12.4	14.8	12.6	5.	20.6	20.9	12.8	14.6	16.1	11.9	15.3
6.	12.2	12.2	12.1	12.1	6.	11.1	15.0	12.2	14.6	12.2	16.9	8.2
7.	24.2	24.4	22.9	24.3	7.	7.2	18.2	24.2	35.8	22.9	23.7	15.3
0.	2.2	2.2	2.6	2.3	0.	-	4.4	2.2	2.6	2.0	7.6	22.4

問20 あなたの生活についてお伺いします。一口に言ってあなたは今の生活に満足していますか。

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 満足している | 6. その他(記入) |
| 2. 少しは満足している | 7. わからない |
| 3. どちらともいえない | 回答なし |
| 4. 少し不満である | |
| 5. 満足していない(不満) | |

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
1.	65.5	61.0	61.7	60.9	1.	30.0	32.8	65.5	40.4	61.5	29.7	40.0
2.	17.7	18.1	16.5	17.9	2.	57.8	41.4	17.7	32.5	21.5	33.9	22.4
3.	11.0	12.2	12.7	12.3	3.	9.4	13.2	11.0	11.3	7.3	15.3	20.0
4.	6.1	4.3	7.1	4.3	4.	1.7	9.6	6.1	6.6	7.8	12.7	11.8
5.	1.8	4.3	2.1	4.3	5.	0.6	2.7	1.8	7.9	1.5	5.9	4.7
6.	0.0	0.2	0.0	0.2	6.	-	-	0.0	-	0.5	0.8	-
7.	-	-	-	-	7.	0.6	0.3	-	1.3	-	1.7	1.2

問21 こういう意見があります。「世の中は、だんだん科学や技術が発展して、便利になってくるが、それにつれて人間らしさがなくなって行く」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 賛成(人間らしさはへる) | 4. その他(記入) |
| 2. 反対(人間らしさ、不変、ふえる) | 5. わからない |
| 3. いちがいにはいえない | 回答なし |

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
1.	67.3	66.3	66.3	66.3	1.	80.6	44.6	67.3	41.7	57.1	55.9	47.1
2.	15.7	17.1	16.0	17.1	2.	10.6	9.9	15.7	11.3	22.4	19.5	18.8
3.	11.3	12.2	11.1	12.1	3.	6.1	39.3	11.3	35.8	18.0	18.6	23.5
4.	0.8	0.8	1.0	0.8	4.	0.6	0.0	0.8	1.3	-	4.2	1.2
5.	4.8	3.7	5.6	3.7	5.	2.2	6.1	4.8	9.9	2.4	1.7	9.4

問22 小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、つぎのような意見があります。「小さいときから、お金は人にとって、最も大切なものの1つだと教えるのがよい」というのです。あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 賛成 | 4. その他(記入) |
| 2. 反対 | 5. わからない |
| 3. いちがいにはいえない | 回答なし |

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
1.	23.1	24.8	23.8	24.9	1.	20.6	47.8	23.1	31.8	19.0	11.9	14.1
2.	59.9	62.2	59.4	62.1	2.	73.3	18.7	59.9	39.1	64.9	61.0	58.8
3.	13.7	10.6	13.0	10.5	3.	3.3	30.2	13.7	25.8	14.1	22.9	21.2
4.	2.3	1.6	2.7	1.6	4.	2.2	0.1	2.3	2.6	1.5	2.5	1.2
5.	1.0	0.8	1.2	0.8	5.	0.6	2.7	1.0	0.7	0.5	1.7	4.7

問23 それでは、やはり小学校に行っているくらいの子供をそだてるのに、小さいときから、自由の尊さを教えるのと、規律の尊さを教えるのとでは、どちらが大切だと思いますか。

- 1. 自由の尊さを教える
- 2. 規律の尊さを教える
- 3. その他(記入)
- 4. わからない
回答なし

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
1.	21.1	17.3	14.8	16.9	1.	-	-	21.1	11.3	14.6	17.8	12.9
2.	69.3	67.3	74.2	67.5	2.	-	-	69.3	75.5	65.9	61.0	64.7
3.	9.4	15.0	10.9	15.2	3.	-	-	9.4	10.6	18.5	16.1	8.2
4.	0.1	0.4	0.2	0.4	4.	-	-	0.1	2.6	1.0	5.1	14.1

問24 こういう意見があります。「国をよくするためには、すぐれた政治家がでてきたら、国民がたがいに議論をたかかわせるよりはそ人達にまかせる方がよい」というのですが、あなたはこれに賛成ですか、それとも反対ですか。

- 1. 賛成(まかせる)
- 2. 反対(まかせきりはいけない)
- 3. いちがいにはいえない
- 4. その他(記入)
- 5. わからない
回答なし

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
1.	38.4	37.4	39.4	37.4	1.	10.0	13.1	38.4	35.8	31.7	24.6	31.8
2.	51.3	52.6	48.6	52.5	2.	77.2	61.6	51.3	39.1	50.7	52.5	40.0
3.	6.7	6.5	7.8	6.6	3.	11.7	19.0	6.7	22.5	14.6	15.3	16.5
4.	1.8	1.4	2.1	1.4	4.	-	0.1	1.8	-	1.5	5.1	1.2
5.	1.8	2.0	2.1	2.1	5.	1.1	6.2	1.8	2.6	1.5	2.5	10.6

問25 あなたは、自分が正しいと思えば世間の慣習に反しても、それをおし通すべきだと思いますか、それとも世間の慣習に従った方がまちがいないと思いますか。

- 1. おし通せ
- 2. 従え
- 3. 場合による
- 4. その他(記入)
- 5. わからない
回答なし

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
1.	42.8	42.7	43.8	42.8	1.	51.1	19.2	42.8	30.5	44.9	52.5	45.9
2.	35.3	32.9	35.8	32.9	2.	22.2	25.7	35.3	32.5	22.9	7.6	18.8
3.	19.7	22.0	17.9	21.8	3.	25.0	52.0	19.7	34.4	30.7	35.6	29.4
4.	0.7	0.8	0.8	0.8	4.	0.6	0.1	0.7	-	0.5	2.5	1.2
5.	1.5	1.6	1.7	1.6	5.	1.1	3.0	1.5	2.7	1.0	1.7	4.7

問26 こういう意見があります。「どんなに世の中が機械化しても、人の心の豊かさ(人間らしさ)はへりはしない」というのですが、あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

- 1. 賛成(へらない)
- 2. 反対(へる)
- 3. いちがいにはいえない
- 4. その他(記入)
- 5. わからない
回答なし

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
1.	52.7	51.0	51.9	50.8	1.	80.6	29.6	52.7	33.8	36.6	29.7	24.7
2.	32.8	33.7	34.2	34.0	2.	12.2	31.3	32.8	30.5	45.4	46.6	40.0
3.	9.6	11.4	8.2	11.3	3.	5.6	32.4	9.6	27.2	15.6	16.1	22.4
4.	1.6	0.8	1.8	0.8	4.	1.1	0.0	1.6	-	-	1.7	-
5.	3.3	3.0	3.8	3.1	5.	0.6	6.6	3.3	8.6	2.4	5.9	12.9

問27 次のような考え方があります。「家庭は、ここちよく、くつろげる、ただ1つの場所である」というのですが、あなたはそう思いますか、そうは思いませんか。

- 1. そう思う
- 2. そうは思わない
- 3. その他(記入)
- 4. わからない
回答なし

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
1.	76.7	70.9	76.8	70.8	1.	50.6	80.3	76.7	80.1	72.2	55.1	52.9
2.	22.0	26.6	21.6	26.7	2.	48.3	16.3	22.0	13.9	24.4	40.7	41.2
3.	1.2	2.2	1.4	2.3	3.	1.1	0.6	1.2	4.0	3.4	2.5	3.5
4.	0.2	0.2	0.2	0.2	4.	-	2.8	0.2	2.0	-	1.7	2.4

問28 つぎの3つの意見の中で、どれが一番あなたの意見に近いですか。

- 1. 離婚はすべきではない
- 2. ひどい場合には、いつ離婚してもよい
- 3. 二人の合意さえあれば、いつ離婚してもよい
- 4. わからない
その他、回答なし

Brazil												
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
1.	42.8	37.0	39.9	36.9	1.	46.1	35.4	42.8	42.4	33.7	14.4	28.2
2.	22.9	23.0	20.3	22.5	2.	37.8	37.7	22.9	27.8	35.6	28.8	28.2
3.	33.5	37.8	38.8	38.4	3.	19.9	19.5	33.5	25.8	27.3	48.3	30.6
4.	0.8	2.2	1.0	2.3	4.	2.3	7.5	0.8	4.0	3.4	8.5	12.9

問 2 9 家事や子供の世話について、どうお考えですか。

1. すべてが女性の仕事である
 2. いくつかは女性の仕事である
 3. すべての仕事は、男性、女性の区別なくやるべきだ
 4. わからない
- その他、回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 10.9	10.4	12.7	10.5	1. 7.2	13.6	10.9	14.6	7.3	1.7	7.1	
2. 21.5	19.3	22.0	19.3	2. 35.6	53.7	21.5	33.8	25.4	23.7	24.7	
3. 67.0	69.9	64.6	69.8	3. 54.4	28.3	67.0	51.0	67.3	72.0	57.6	
4. 0.6	0.4	0.7	0.4	4. 2.8	4.3	0.6	0.7	-	2.5	10.6	

問 3 0 「先生が何か悪いことをした」というような話を、子供が聞いてきて、親にたずねたとき、親はそれが本当であることを知っている場合、子供には、「そんなことはない」といった方がよいと思いますか、それとも「それはほんとうだ」といった方がよいと思いますか。

1. ほんとうだという
 2. そんなことはないという
 3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 79.9	78.9	76.7	78.6	1. 79.4	55.5	79.9	64.9	80.5	83.9	70.6	
2. 7.6	8.7	8.8	8.8	2. 7.8	24.6	7.6	19.2	4.9	1.7	4.7	
3. 8.9	8.5	10.4	8.6	3. 10.6	3.8	8.9	6.0	6.8	10.2	4.7	
4. 3.6	3.9	4.1	3.9	4. 2.2	16.2	3.6	9.9	7.8	4.2	20.0	

問 3 1 南山さんという人は、小さいときに両親に死に別れ、となりの親切な西木野さんに育てられて、大学まで卒業させられました。そして、南山さんはある会社の社長にまで出世しました。ところが故郷の、育ててくれた、西木野さんが「キトクだからスグカエレ」という電報を受け取ったとき、南山さんの会社がつぶれるか、つぶれないか、ということがきまってしまう大事な会議があります。あなたはつぎのどちらの態度をとるのがよいと思いますか。よいと思う方を1つだけえらんで下さい。

1. 何をあいても、すぐに故郷に帰る
 2. 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
 3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 69.6	67.7	73.6	67.9	1. 60.0	45.7	69.6	55.0	65.9	56.8	50.6	
2. 22.7	20.3	17.4	20.0	2. 33.9	37.7	22.7	28.5	18.0	18.6	22.4	
3. 4.9	6.9	5.7	7.0	3. 5.6	1.3	4.9	6.6	12.2	18.6	14.1	
4. 2.8	5.1	3.2	5.1	4. 0.6	15.4	2.8	9.9	3.9	5.9	12.9	

問 3 2 いまの質問では、恩師が死にそうなときを、うかがいましたが、もしキトクなのが恩人ではなくて、南山さんの親だったら、どうしたらよいと思いますか。どちらかえらんで下さい。

1. 何をあいても、すぐに故郷に帰る
 2. 故郷のことが気になっても、大事な会議に出席する
 3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 76.1	71.7	78.2	71.8	1. 64.4	45.4	76.1	60.9	71.7	63.6	51.8	
2. 18.6	18.3	15.5	18.1	2. 27.2	40.6	18.6	28.5	16.1	16.9	23.5	
3. 2.9	5.7	3.4	5.8	3. 6.7	1.2	2.9	4.0	7.8	15.3	10.6	
4. 2.4	4.3	2.8	4.3	4. 1.7	12.8	2.4	6.6	4.4	4.2	14.1	

問 3 3 自然と人間との関係について、つぎのような意見があります。あなたがこのうち真実に近い(ほんとうのことに近い)と思うものを、1つだけ選んで下さい。

1. 人間が幸福になるためには、自然に従わなくてはならない
 2. 人間が幸福になるためには、自然を利用しなければならない
 3. 人間が幸福になるためには、自然を征服していかなければならない
 4. その他(記入)
 5. わからない
- 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 44.9	39.8	39.0	39.3	1. 50.6	36.6	44.9	40.4	42.0	40.7	42.4	
2. 14.4	15.2	13.7	15.2	2. 38.9	47.9	14.4	23.2	7.8	7.6	15.3	
3. 33.6	35.8	39.0	36.2	3. 6.7	5.9	33.6	24.5	40.5	30.5	23.5	
4. 5.7	7.5	6.6	7.4	4. 1.7	0.7	5.7	5.3	7.3	15.3	10.6	
5. 1.5	1.6	1.7	1.6	5. 2.2	9.5	1.5	6.6	2.4	5.9	8.2	

問 3 4 あなたはつぎの意見の、どちらに賛成ですか、1つだけあげて下さい。

1. 個人が幸福になってはじめて、国全体がよくなる
 2. 国がよくなって、はじめて個人が幸福になる
 3. 国がよくなることも、個人が幸福になることも同じである
 4. その他(記入)
 5. わからない
- 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 17.6	24.2	20.4	24.5	1. 29.4	34.0	17.6	17.9	17.6	15.1	16.5	
2. 49.7	45.5	46.7	45.3	2. 33.3	22.4	49.7	42.4	44.4	35.6	45.9	
3. 26.5	25.0	28.7	25.1	3. 31.7	36.0	26.5	32.5	27.8	21.2	14.1	
4. 1.8	3.3	2.1	3.3	4. 2.8	0.2	1.8	0.7	5.9	15.3	7.1	
5. 4.3	2.0	2.0	1.9	5. 2.8	7.3	4.3	6.6	4.4	11.9	16.5	

問35 つぎのうち、大切なものを2つあげてくれといわれたら、どれにしますか。

- a. 親孝行、親に対する愛情と尊敬
- b. 助けてくれた人に感謝し、必要があれば援助する
- c. 個人の権利を尊重すること
- d. 個人の自由を尊重すること
- e. その他(記入)
0. 回答なし

Brazil												
W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
a.	82.9	83.9	81.5	83.9	a.	78.3	77.7	82.3	91.4	86.3	71.2	62.4
b.	42.4	42.7	39.5	42.6	b.	22.8	56.8	42.4	56.3	45.9	16.9	32.9
c.	33.6	34.1	36.7	34.4	c.	72.2	25.2	33.6	24.5	26.3	43.2	37.6
d.	32.5	34.8	35.7	35.0	d.	25.6	32.8	32.5	18.5	45.6	40.7	20.0
e.	3.2	1.0	1.7	0.8	e.	0.6	-	3.2	-	2.0	0.8	2.4
0.	0.3	0.2	0.4	0.2	0.	1.8	-	0.3	-	2.9	27.1	41.2

問36 つぎのうち、あなたはどちらが人間として望ましいとお考えですか。

1. 他人と仲がよく、なにかと頼りになるが、仕事はあまりできない人
 2. 仕事はよくできるが、他人の事情や心配事には無関心な人
 3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

Brazil												
W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1.	69.5	61.8	67.7	61.5	1.	81.7	61.5	69.5	69.5	71.7	61.0	58.8
2.	14.9	15.7	17.2	15.8	2.	12.8	11.3	14.9	4.6	8.3	4.2	12.9
3.	10.0	15.9	11.6	16.0	3.	5.6	4.3	10.0	9.9	13.7	23.7	8.2
4.	5.6	6.7	3.5	6.6	4.	-	23.0	5.6	15.9	6.3	11.0	20.0

問37 物事を決定する時に「一定の原則に従うこと」に重点をおく人と、「他人との調和をはかること」に重点をおく人では、どちらがあなたの好きな「ひとがら」ですか。

1. 物事を決定するとき一定の原則に従うことに重点をおく人
 2. 物事を決定するとき他人との調和をはかることに重点をおく人
 3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

Brazil												
W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1.	21.3	20.9	22.5	21.0	1.	23.3	20.2	21.3	27.8	19.0	12.7	20.0
2.	67.0	68.5	68.8	68.7	2.	71.7	68.3	67.0	59.6	72.2	61.0	50.6
3.	5.5	5.5	4.4	5.3	3.	2.8	1.3	5.5	1.3	2.0	11.9	1.2
4.	6.3	5.1	4.3	4.9	4.	2.2	10.3	6.3	11.3	6.8	14.4	28.2

問38 あなたが、ある会社の社長だったとします。その会社で、新しく職員を1人採用するために試験をしました。入社試験をまかせておいた課長が、「社長のご親戚の方は2番でした。しかし、私としましては、1番の人でも、ご親戚の方でも、どちらでもよいと思いますがどうでしょうか」と社長のあなたに報告しました。あなたはどちらをとれ(採用しろ)といひますか。

1. 1番の人を採用するよういいう。
 2. 親戚を採用するよういいう
 3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

Brazil												
W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1.	75.6	74.6	73.7	74.5	1.	68.3	60.4	75.6	74.8	77.1	73.7	69.4
2.	16.2	18.9	18.8	19.1	2.	26.7	22.8	16.2	17.9	15.6	11.0	12.9
3.	7.2	4.9	6.3	4.7	3.	3.3	1.0	7.2	2.6	3.9	7.6	4.7
4.	1.1	1.6	1.3	1.6	4.	1.7	15.8	1.1	4.6	3.4	7.6	12.9

問39 それでは、この場合2番になったのがあなたの親戚の子供でなくて、あなたが昔世話になった人の子供だったとしたら、あなたはどうしますか。(どちらをとれといひますか)

1. 1番の人を採用するよういいう。
 2. 昔世話になった人の子供を採用するよういいう
 3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

Brazil												
W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1.	50.3	57.7	53.3	58.1	1.	51.7	40.0	50.3	45.0	56.6	60.2	61.2
2.	42.3	33.9	38.1	33.4	2.	42.2	42.3	42.3	45.0	33.2	22.0	18.8
3.	4.0	5.1	4.7	5.2	3.	3.9	1.2	4.0	3.3	5.4	8.5	5.9
4.	3.4	3.3	4.0	3.3	4.	2.2	15.9	3.4	6.6	4.9	9.3	14.1

問40 ある会社につきのような2人の課長がいます。もしあなたが使われるとしたら、どちらの課長に使われる方がよいと思ひますか。どちらか1つあげて下さい。

1. 規則をまげてまで、無理な仕事をさせることはありませんが、仕事以外のことでは人のめんどうをみません。
 2. 時には規則をまげて、無理な仕事をさせることもありますが、仕事以外でも人のめんどうをよくみます。
 3. その他(記入)
 4. わからない
- 回答なし

Brazil												
W492	S492	W486	S486		H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1.	24.7	30.5	28.7	30.9	1.	40.6	9.0	24.7	17.9	20.0	24.6	36.5
2.	67.5	62.2	65.4	61.9	2.	59.4	80.3	67.5	70.9	74.6	64.4	40.0
3.	3.2	4.3	3.7	4.3	3.	-	0.1	3.2	4.6	1.0	5.1	4.7
4.	4.5	3.0	2.3	2.9	4.	-	10.6	4.5	6.6	4.4	5.9	18.8

問 4 1 たいていの人は、他人の役にたとうとしていると思いますか、それとも自分のことだけ考えていると思いますか。

1. 他人の役にたとうとしている
 2. 自分のことだけ考えている
 3. その他 (記入)
 4. わからない
-)
- 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 40.9	33.0	36.5	32.9	1. 58.3	31.2	40.9	57.6	39.0	32.2	38.8	
2. 50.5	58.9	55.6	58.8	2. 38.3	54.2	50.5	31.1	53.2	57.6	44.7	
3. 5.6	5.3	4.4	5.1	3. 2.8	1.5	5.6	3.3	3.9	5.9	3.5	
4. 3.0	3.0	3.5	3.1	4. 0.6	13.5	3.0	7.9	3.9	4.2	12.9	

問 4 2 他人は、機会があれば、あなたを利用しようとしていると思いますか、それともそんなことはないと思いますか。

1. 他人は機会があれば利用しようとしていると思う
 2. そんなことはないと思う
 3. その他 (記入)
 4. わからない
-)
- 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 57.6	56.5	61.8	56.8	1. 28.3	32.3	57.6	33.1	46.8	48.3	64.7	
2. 35.8	34.3	30.6	34.0	2. 67.8	52.8	35.8	46.4	39.5	25.4	20.0	
3. 2.9	4.9	3.3	4.9	3. 2.8	0.9	2.9	2.6	6.3	9.3	4.7	
4. 3.6	4.3	4.2	4.3	4. 1.1	14.0	3.6	17.9	7.3	16.9	10.6	

問 4 3 たいていの人は信頼できると思いますか、それとも、常に用心した方がよいと思いますか。

1. 信頼できると思う
 2. 常に用心した方がよい
 3. その他 (記入)
 4. わからない
-)
- 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 6.1	10.4	7.1	10.5	1. 60.0	39.1	6.1	22.5	5.9	5.9	1.2	
2. 90.7	85.0	89.3	84.8	2. 38.9	46.0	90.7	72.2	90.2	86.4	89.4	
3. 2.8	4.5	3.3	4.5	3. 1.1	2.9	2.8	1.3	3.4	5.9	1.2	
4. 0.3	0.2	0.4	0.2	4. -	12.1	0.3	4.0	0.5	1.7	8.2	

問 4 4 コンピュータがいろいろなところに使われるようになり、情報社会などということが言われています。このような傾向が進むにつれて、日常生活の上で変わっていく面があると思います。あなたは、このような変化をどう思いますか。

1. 望ましいことである
 2. 望ましいことではないが、避けられないことである
 3. 困ったことであり、危険なことでもある
 4. わからない
-)
- その他、回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 45.5	45.3	44.9	45.3	1. 36.7	30.5	45.5	32.5	42.0	41.5	29.4	
2. 38.3	40.4	39.2	40.5	2. 56.1	52.8	38.3	53.0	41.5	50.0	40.0	
3. 8.5	9.1	9.9	9.3	3. 5.6	6.6	8.5	3.3	6.3	2.5	11.8	
4. 7.7	5.1	5.9	4.9	4. 1.7	10.1	7.7	11.3	10.3	5.9	18.9	

問 4 5 環境の保護は、あなたにとってどのくらい重要な問題ですか。

1. 非常に重要である
 2. 重要である
 3. あまり重要ではない
 4. 重要ではない
 5. わからない
-)
- 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 75.3	72.4	71.4	72.0	1. 70.0	45.6	75.3	56.3	68.8	69.5	82.4	
2. 23.0	24.6	26.7	24.9	2. 27.8	45.7	23.0	37.1	27.3	28.8	14.1	
3. 1.2	2.2	1.4	2.3	3. 1.1	4.7	1.2	4.0	1.5	1.7	2.4	
4. 0.0	0.2	0.0	0.2	4. -	0.2	0.0	-	0.5	-	-	
5. 0.4	0.6	0.5	0.6	5. 1.1	3.8	0.4	2.6	2.0	-	1.2	

問 4 6 ブラジル文化ときいて、まず思い浮かべることは何ですか。
(記入)

問 4 6-b そのほかいくつかもあげて下さい。何かそのほかにありますか。
(記入)

問 4 7 日本文化ときいて、まず思い浮かべることは何ですか。
(記入)

問 4 7-b そのほかいくつかもあげて下さい。何かそのほかにありませんか。
(記入)

問48 宗教についておききしたいのですが、たとえば、あなたは、何か信仰とか信心とかを
もっていますか。

1. もっている (信じている)
2. いいえ (もっていない、信じていない)
0. 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JBI	J-JB2	
1. 89.4	85.0	87.7	84.8	1. 71.1	36.5	89.4	82.8	94.1	72.0	84.7	
2. 10.3	14.8	11.9	15.0	2. 27.8	63.5	10.3	17.2	5.9	26.3	12.9	
0. 0.3	0.2	0.4	0.2	0. 1.1	-	0.3	-	-	1.7	2.4	

(1. もっている と回答した人に) それは何という宗教ですか。

1. 神道
2. 仏教
3. 創価学会 (日蓮正宗)
4. その他の日系宗教 (記入)
5. プロテスタント
6. カトリック
7. その他 (記入)
8. わからない
0. 非該当、回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JBI	J-JB2	
1. 2.6	2.8	3.1	2.9	1. -	2.1	2.6	1.3	2.0	-	-	
2. 17.6	16.3	17.5	16.3	2. 28.3	28.5	17.6	25.8	18.5	5.1	4.7	
3. 2.8	2.4	3.2	2.5	3. -	-	2.8	5.3	0.5	2.5	2.4	
4. 0.6	0.4	0.6	0.4	4. -	-	0.6	5.3	0.5	0.8	2.4	
5. 2.8	2.4	3.2	2.5	5. 25.0	1.2	2.8	2.6	4.4	2.5	4.7	
6. 50.6	48.6	49.5	48.4	6. 7.8	50.6	33.8	60.5	48.3	55.3		
7. 13.9	12.6	12.3	12.6	7. 11.1	3.2	13.9	8.6	7.8	7.6	8.2	
8. 0.0	0.2	0.0	0.2	8. -	1.5	0.0	0.7	-	-	1.2	
0. 9.2	14.2	10.6	14.4	0. -	63.5	9.2	16.6	5.9	33.1	21.2	

問49 それでは、いままでの宗教にはかわりなく、「宗教的な心」というものを、大切に
と思えますか、それとも大切にとは思いませんか。

1. 大切
2. 大切ではない
3. その他 (記入)
4. わからない
回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JBI	J-JB2	
1. 91.0	89.6	89.6	89.5	1. 80.0	75.5	91.0	94.0	97.6	74.6	82.4	
2. 6.0	7.9	7.0	8.0	2. 13.3	11.1	6.0	2.0	2.4	12.7	7.1	
3. 2.5	1.8	2.9	1.9	3. 5.6	1.1	2.5	0.7	-	7.6	1.2	
4. 0.4	0.6	0.5	0.6	4. 1.1	12.4	0.4	3.3	-	5.1	9.4	

問50 宗教について、こんな意見があります。「宗教にはいろいろあり、それぞれ独自の
教えを説いているが、そうした教えは、けっきょくは同じものだ」というのですが、
あなたはこの意見に賛成ですか、それとも反対ですか。

1. 賛成
2. 反対
3. その他 (記入)
4. わからない
回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JBI	J-JB2	
1. 64.6	65.2	64.8	65.2	1. 75.0	63.3	64.6	70.9	64.4	51.7	42.4	
2. 29.6	28.3	28.5	28.2	2. 22.8	16.4	29.6	17.9	25.9	39.0	41.2	
3. 2.2	2.8	2.5	2.9	3. 1.1	0.5	2.2	2.6	5.9	5.1	4.7	
4. 3.6	3.7	4.2	3.7	4. 1.1	19.9	3.6	8.6	3.9	4.2	11.8	

問51-a あなたは『民主主義』について、どう思いますか。
このうち、あなたの意見に一番近いのはどれですか。

1. よい
2. 時と場合による
3. よくない
4. その他 (記入)
5. わからない
回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JBI	J-JB2	
1. 63.9	58.7	58.2	58.2	1. 85.0	52.1	63.9	60.3	60.0	52.5	54.1	
2. 23.6	27.2	27.3	27.6	2. 13.3	37.7	23.6	25.2	26.3	29.7	18.8	
3. 1.3	1.2	1.5	1.2	3. 0.6	1.7	1.3	3.3	5.4	7.6	1.2	
4. 0.3	0.2	0.4	0.2	4. -	0.1	0.3	-	-	-	-	
5. 10.8	12.6	12.6	12.8	5. 1.1	8.4	10.8	11.3	8.3	10.2	25.9	

問51-b では、『資本主義』についてはどうですか。

1. よい
2. 時と場合による
3. よくない
4. その他 (記入)
5. わからない
回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JBI	J-JB2	
1. 26.6	27.4	26.6	27.4	1. 47.2	27.3	26.6	19.2	20.0	22.0	17.6	
2. 40.1	40.2	39.7	40.3	2. 32.8	48.3	40.1	49.0	48.3	50.8	35.3	
3. 8.4	12.0	9.7	12.1	3. 15.0	10.1	8.4	15.2	16.1	14.4	10.6	
4. 3.4	1.6	3.9	1.6	4. -	0.0	3.4	-	-	0.8	-	
5. 21.6	18.7	20.1	18.5	5. 5.0	14.3	21.6	16.5	15.6	11.9	36.5	

問5 1-c では、「社会主義」についてはどうですか。

1. よい
2. 時と場合による
3. よくない
4. その他(記入)
5. わからない
回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 18.4	16.3	19.4	16.3	1. 11.7	6.3	18.4	6.0	15.6	10.2	11.8	
2. 39.3	38.0	36.8	37.9	2. 49.4	54.3	39.3	43.0	39.5	55.1	30.6	
3. 18.1	24.4	20.9	24.7	3. 31.7	20.9	18.1	28.5	28.3	17.8	21.2	
4. 2.9	1.8	3.4	1.9	4. -	0.0	2.9	1.3	1.0	2.5	1.2	
5. 21.2	19.5	19.5	19.3	5. 7.2	18.4	21.2	21.2	15.6	14.4	35.3	

問5 1-d では、「自由主義」についてはどうですか。

1. よい
2. 時と場合による
3. よくない
4. その他(記入)
5. わからない
回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 17.6	18.9	20.4	19.1	1. 17.2	33.5	17.6	17.9	13.2	13.6	8.2	
2. 35.9	36.0	36.6	36.0	2. 51.7	47.1	35.9	45.7	43.9	50.0	35.3	
3. 16.4	17.5	14.9	17.3	3. 21.1	5.5	16.4	15.9	19.0	19.5	20.0	
4. 1.1	1.2	1.3	1.2	4. 1.1	0.0	1.1	1.3	1.5	2.5	-	
5. 29.1	26.4	26.9	26.3	5. 8.9	13.9	29.1	19.2	22.4	14.4	36.5	

問5 2 わが国の方こう10年から15年間の国家目標をどう設定したらよいかについて、最近盛んに議論されています。ここにいろいろな人が最も重視する目標がいくつかあげてあります。あなたはこれらの中で何がもっとも重要だと思いますか。

1. 国家の秩序を維持すること
2. 重要な政策を決めるとき、人々にもっと発言させること
3. 物価の上昇をくいとめること
4. 言論の自由を守ること
5. その他(記入)
6. わからない
回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 38.2	37.8	39.3	37.9	1. 38.3	20.6	38.2	39.1	37.6	39.8	38.8	
2. 28.0	28.9	26.5	28.8	2. 30.6	27.1	28.0	17.9	24.4	27.1	22.4	
3. 21.6	19.5	22.1	19.5	3. 22.2	35.1	21.6	25.2	14.1	10.2	11.8	
4. 5.2	5.9	4.1	5.8	4. 5.6	7.5	5.2	4.0	8.8	5.9	3.5	
5. 5.1	6.1	5.9	6.2	5. 1.7	0.6	5.1	4.0	8.3	12.7	12.9	
6. 1.8	1.8	2.1	1.9	6. 1.7	9.1	1.8	9.9	6.8	4.2	10.6	

フェイス・シート

F. 1 暗算をする時には、あなたは日本語でしますか、それともポルトガル語でしますか。

1. ポルトガル語でする
2. 日本語でする
3. ポルトガル語・日本語両方でする(あるいは混ぜてする)
0. 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 72.3	71.5	72.9	71.5	1. (92.2)	-	72.3	49.7	71.2	89.1	90.6	
2. 19.1	18.5	17.2	18.4	2. 2.2	-	19.1	45.7	23.9	3.4	2.4	
3. 8.0	9.6	9.3	9.7	3. (3.9)	-	8.0	4.6	4.4	13.6	7.1	
0. 0.6	0.4	0.7	0.4	0. 1.7	-	0.6	-	0.5	-	-	

(英語)

F. 2 あなたは新聞をよく読みますか。

1. 全く読まない
2. ときどき、読む
3. 定期購読している
0. 回答なし
- a. ポルトガル語の新聞をときどき読む
b. 日本語の新聞をときどき読む
0. 回答なし
- a. ポルトガル語の新聞を定期的に読む
b. 日本語の新聞を定期的に読む
0. 回答なし

(1, 2, 3) 別

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 12.8	9.1	8.0	8.8	1. -	-	12.8	7.3	5.9	10.2	4.7	
2. 45.7	43.9	51.0	44.2	2. -	-	45.7	57.0	37.6	62.7	62.4	
3. 39.4	46.3	40.6	46.5	3. -	-	39.4	35.8	54.1	25.4	31.8	
0. 2.1	0.6	0.4	0.4	0. -	-	2.1	-	2.4	1.7	1.2	

(a, b) 別

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
a. 47.6	49.6	51.0	49.8	a. -	-	47.6	31.1	76.1	61.0	63.5	
b. 14.8	14.0	14.2	14.0	b. -	-	14.8	31.1	9.8	9.3	2.4	
0. 37.6	36.4	34.8	36.2	0. -	-	37.6	37.7	14.1	29.7	34.1	

F. 3 あなたは日本音楽が好きですか、それともブラジル音楽が好きですか。

1. 両方とも好き
2. 日本音楽が好き
3. ブラジル音楽が好き
4. 両方ともきらい

0. 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 63.5	65.7	62.6	65.6	1.	-	-	63.5	54.3	71.2	80.5	69.4
2. 17.2	18.9	15.0	18.7	2.	-	-	17.2	38.4	20.0	9.3	7.1
3. 16.8	12.8	19.5	19.0	3.	-	-	16.8	7.3	7.8	9.3	16.5
4. 2.2	2.4	2.5	2.5	4.	-	-	2.2	-	1.0	0.8	7.1
0. 0.3	0.2	0.4	0.2	0.	-	-	0.3	-	-	-	-

F. 4 あなたは日本のビデオを見ますか。

1. いつも見ている
2. 時々見ている
3. 見ない

0. 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 15.5	12.2	10.0	11.8	1.	-	-	15.5	18.5	14.6	17.8	10.6
2. 45.9	54.3	51.2	54.8	2.	-	-	45.9	67.5	58.5	58.5	67.1
3. 38.0	33.1	38.1	33.0	3.	-	-	38.0	13.2	26.3	23.7	22.4
0. 0.6	0.4	0.7	0.4	0.	-	-	0.6	0.7	0.5	-	-

F. 5 あなたの友人関係について、お尋ねします。あなたの友人に関してあてはまるのはつぎのうち、どれですか。

1. 私の友人は大多数が日本人か日系人です。
2. 私の友人には日系人も何人かいますし、非日系人の友人も何人かいます。
3. 私の友人は大多数が非日系人です。
4. 私の友人には日本人・日系人はいません。
0. 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 15.7	21.7	18.2	22.0	1.	35.0	-	15.7	45.0	26.3	22.0	7.1
2. 65.0	57.3	59.4	56.8	2.	60.0	-	65.0	50.3	66.8	61.0	64.7
3. 15.6	17.7	18.0	17.9	3.	2.8	-	15.6	3.3	6.8	15.3	23.5
4. 2.7	2.6	3.2	2.7	4.	0.6	-	2.7	-	-	1.7	1.2
0. 1.0	0.6	1.1	0.6	0.	1.7	-	1.0	1.3	-	-	3.5

F. 6 あなたの職場の人間関係について、お尋ねします。あなたの職場の同僚に関してあてはまるのは次のうち、どれですか。

1. 私の職場の同僚は大多数が日本人か日系人です。
2. 私の職場の同僚は日系人も何人かいますし、非日系人の同僚も何人かいます。
3. 私の職場の同僚は大多数が非日系人です。
4. 私の職場の同僚には日本人・日系人はいません。
0. その他、回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 5.6	11.2	6.5	11.3	1.	12.8	-	5.6	6.0	3.9	52.5	41.2
2. 17.6	21.1	18.3	21.2	2.	47.2	-	17.6	2.0	12.7	25.4	35.3
3. 18.0	20.3	20.9	20.6	3.	16.1	-	18.0	4.6	10.7	11.9	15.3
4. 18.2	10.2	13.2	9.7	4.	3.3	-	18.2	1.3	1.5	2.5	3.5
0. 40.6	37.2	41.1	37.2	0.	20.6	-	40.6	86.1	71.2	7.6	4.7

F. 7 食べ切れなかった食べ物を捨てたり、まだ使えるものを捨てたりした時に、あなたは「もったいない」と感じますか。

1. はい、たびたび感じます。
2. はい、ときには感じます。
3. 全く感じません。

0. 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 70.0	72.8	67.4	72.6	1.	-	-	70.0	72.8	76.1	51.7	49.4
2. 25.6	24.2	29.6	24.5	2.	-	-	25.6	26.5	22.4	39.0	42.4
3. 4.1	2.8	2.6	2.7	3.	-	-	4.1	0.7	1.5	8.5	4.7
0. 0.3	0.2	0.4	0.2	0.	-	-	0.3	-	-	0.8	3.5

F. 8 あなたが手紙を書くときには、ポルトガル語で書くほうが簡単ですか、それとも、日本語で書くほうが簡単ですか。

1. 日本語のほうが簡単
2. ポルトガル語のほうが簡単
3. 日本語・ポルトガル語で書くのに、大きな違いはありません。
0. 回答なし

Brazil											
W492	S492	W486	S486	H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2	
1. 23.7	22.6	20.4	22.2	1.	3.3	-	23.7	43.7	17.1	6.8	5.9
2. 70.8	71.7	73.3	72.0	2.	(93.3)	-	70.8	53.0	76.6	89.0	90.6
3. 3.4	4.1	3.9	4.1	3.	(1.7)	-	3.4	3.3	5.4	3.4	2.4
0. 2.0	1.6	2.4	1.6	0.	1.7	-	2.0	-	1.0	0.8	1.2

(英語)

F. 9 (被雇用者の方におたずねします) あなたはシンジケートに入っていますか。

1. 入っています
2. 入っていません
0. 非該当、回答なし

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
W492	S492	W486	S486									
1.	17.5	20.9	20.2	21.2	1.	-	-	17.5	1.3	13.2	6.8	15.3
2.	36.2	39.4	34.0	39.3	2.	-	-	36.2	9.9	15.6	78.8	63.5
3.	0.9	0.4	1.1	0.4	3.	-	-	0.9	-	-	-	-
0.	45.4	39.2	44.7	39.1	0.	-	-	45.4	88.7	71.2	14.4	21.2

F. 10 あなたは日本語学校に何年通いましたか。

年間

日本語学習年数年数

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
W492	S492	W486	S486									
0	48.4	43.1	44.3	42.8	0	-	-	48.4	27.2	27.3	44.9	52.9
1-2	15.9	16.5	18.4	16.7	1-2	-	-	15.9	9.9	29.3	16.1	9.4
3-5	17.6	20.5	18.4	20.6	3-5	-	-	17.6	11.3	27.8	14.4	7.1
6-	17.4	19.7	18.1	19.8	6-	-	-	17.3	7.3	8.3	14.4	5.9
DK	0.8	0.2	0.9	0.2	DK	-	-	0.8	44.4	7.3	10.2	24.7

ありがとうございました。

性別

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
W492	S492	W486	S486									
男	55.3	52.6	52.3	52.5	男	47.2	46.2	55.3	53.0	51.2	50.8	100.0
女	44.7	47.4	47.7	47.5	女	52.8	53.8	44.7	47.0	48.8	49.2	-

年齢

Brazil				H-JA	Japan	B-JB	Tone	Mari	J-JB1	J-JB2		
W492	S492	W486	S486									
-29	19.9	16.1	21.0	16.0	-29	8.3	15.9	19.9	15.9	20.5	60.2	55.3
30-	20.1	24.6	23.3	24.9	30-	14.5	19.4	20.1	21.2	20.5	31.4	24.7
40-	19.8	24.2	19.2	24.3	40-	17.2	21.8	19.8	21.9	21.0	7.6	18.8
50-	19.7	14.6	15.8	14.2	50-	16.2	21.0	19.7	17.2	17.1	0.8	1.2
60-	9.3	11.2	10.7	11.3	60-	24.4	14.4	9.3	12.6	14.1	-	-
70-	11.2	9.3	10.0	9.3	70-	19.4	8.6	11.2	10.6	6.3	-	-
					DK				0.7	0.5		

諸属性についてエニュメレーション調査（JICA調査）から転記するものは次の通りである。

- J 0 1 世帯主としての日系団体加入の有無
- J 0 2 続柄
- J 0 3 性
- J 0 4 生年月日 日
- J 0 5 " 月
- J 0 6 " 年
- J 0 7 婚姻上の地位
- J 0 8 日本生れか否か
- J 0 9 帰化の有無
- J 1 0 個人日系度
- J 1 1 年令
- J 1 2 個人としての日系団体加入
- J 1 3 世代
- J 1 4
- J 1 5 } 名前が、日本名かポルトガル名か
- J 1 6 }
- J 1 7 }
- J 1 8 仕事内容
- J 1 9 専業か否か
- J 2 0 職業
- J 2 1 職業上の地位
- J 2 2 未就学
- J 2 3 ブラジルでの最終学歴
- J 2 4 卒業か中退か在学中か
- J 2 5 日本での最終学歴
- J 2 6 卒業か中退か在学中か
- J 2 7 日本語の会話できるか
- J 2 8 日本語の読み書きできるか
- J 2 9 ポルトガル語の読み書きできるか
- J 3 0 ポルトガル語の読み書きできるか
- J 3 1 出生国
- J 3 2 ブラジル出生者の出生地
- J 3 3 サンパウロ及び大サンパウロ圏居住者の居住年数

なお、特種地域調査地のトメアスー、マリंगाではJICA調査がないため、属性として次のものを付け加えた。

1. 性
2. 年令
3. 婚姻上の地位……………J 0 7
4. 職業……………J 2 0, J 2 1
5. 学歴……………J 2 3, 2 4, 2 5, 2 6
6. 日本語能力……………J 2 7, 2 8
7. ポルトガル語能力…J 2 9, 3 0
8. 宗教
9. 世代……………J 1 3

付録2 日本人・日系ブラジル人・ハワイ日系人・ アメリカ人（北米）の質問別単純集計比較表

数字は%。但し計算の出力の関係上、合計が100にならないこともある。

記号は	J	日本……………	1988
	J B	ブラジル日系人……………	1991
	U S A	アメリカ本土のアメリカ人……	1988
	J A ₄	ホノルルの日系人……………	1988
	J A ₁	ホノルルの日系人……………	1971
	J A ₂	ホノルルの日系人……………	1978
	J A ₃	ホノルルの日系人……………	1983

を示す。J A₁、J A₂、J A₃ については小数点以下の数字が発表されていないので、整数値となっている。

また、一枚目記号の下の数字は調査サンプルの大きさである。

質問	回答	1988 USA	1988 JA4	1991 JB	1988 JAHW	1991 JA1	1978 JA2	1983 JA3
8 健康に満足か	1 非常に満足	46.1	37.8	48.8	13.6	434		
	2 かなり満足	41.0	57.2	42.0	57.5			
	3 かなり不満足	8.4	5.0	7.8	21.1			
	4 非常に不満足	4.3	0.0	0.4	5.4			
	5 わからない	0.2	0.0	1.0	2.4			
10 不安感	a. 重く感じ	32.3	39.8	56.9	21.9			
	2 かなり感じ	33.5	32.8	9.0	24.9			
	3 少しは感じ	22.3	17.8	18.5	38.7			
	4 全く感じない	11.5	10.6	15.6	13.6			
	5 わからない	0.4	0.6	0.1	1.0			
b. 交通手段	1 非常に感じ	21.9	39.4	51.3	26.0			
	2 かなり感じ	29.0	32.8	13.1	31.1			
	3 少しは感じ	28.9	21.1	20.3	32.4			
	4 全く感じない	18.8	5.6	12.5	9.2			
	5 わからない	0.4	0	2.7	1.3			
c. 失業	1 非常に感じ	22.3	15.0	48.0	8.2			
	2 かなり感じ	19.3	30.0	12.5	14.4			
	3 少しは感じ	22.8	28.3	16.1	30.7			
	4 全く感じない	33.9	23.9	22.8	41.1			
	5 わからない	1.7	1.1	0.6	5.6			
d. 競争	1 非常に感じ	21.8	32.8	56.5	11.3			
	2 かなり感じ	25.2	27.8	8.1	13.3			
	3 少しは感じ	27.4	27.8	14.9	36.4			
	4 全く感じない	24.3	8.9	18.9	32.9			
	5 わからない	1.2	1.7	1.6	6.0			
e. 原子力施設事故	1 非常に感じ	25.7	38.3	53.5	18.8			
	2 かなり感じ	24.4	26.7	11.9	24.8			
	3 少しは感じ	24.3	20.6	15.9	34.4			
	4 全く感じない	23.6	12.2	13.9	15.5			
	5 わからない	1.9	0.6	4.5	6.5			

質問	回答	USA	JA4	JB	J	JA1	JA2	JA3
11 先祖を尊ぶか	1 非常に感じる	93.1	51.7	55.3	47.5		61	52
	2 普通	8.1	14.4	6.1	8.4		21	13
	3 その他	17.0	31.7	34.4	42.5		16	34
	4 わからない	0.2	0.6	2.1	0.0		2	0
	5 わからない	1.7	1.7	2.1	1.5			1
12 他人の子供を養子にするか	1 かなり感じる	52.3	32.8	51.9	19.1		49	49
	2 場合による	34.5	44.4	26.7	42.4		40	39
	3 その他	8.2	12.3	12.6	30.5		6	8
	4 わからない	1.8	4.4	2.6	0.2		2	2
	5 わからない	3.1	5.0	6.2	7.8		4	2
13 一生働かぬ	1 ずっと働かぬ	57.8	49.4	83.3	64.1		56	60
	2 その他	30.4	44.4	12.1	24.1		35	34
	3 わからない	8.7	5.0	3.9	1.5		9	5
	4 仕事を辞めたい	3.1	1.1	0.0	10.4		1	1
	5 仕事を辞めたい	3.20	34.4	9.9	19.8			
14 失業条件	1 高い給料	20.9	14.4	16.5	19.8			9
	2 失業の志願がない	21.6	16.7	21.2	15.4			15
	3 急いでの件間	11.3	21.7	12.2	29.2			26
	4 仕事	43.6	45.6	40.0	29.4			47
	5 その他	2.5	1.6	9.4	6.2			3
16 くら仕方	1 金持ち	6.1	9.4	8.0	13.8		18	10
	2 名士	7.2	3.9	4.8	1.7		4	5
	3 趣味	33.2	28.4	35.6	37.3		39	31
	4 のんきに	37.1	42.8	25.5	32.0		23	38
	5 清潔に	11.2	10.6	19.2	5.9		7	10
17 社会に	1 社会に	2.8	2.2	2.4	2.9		2	2
	2 その他	0.8	1.1	3.4	1.2		3	2
	3 わからない	1.5	0.6	0.9	5.2		4	1

質問	回答	USA	JA4	JB	J	JA1	JA2	JA3
19 生活諸領域の重要性	D. 職業や仕事 1 重要ではない 2 3 4 5 6 7 重要 8 何かしら	1.04	6.1	2.5	1.4			
		2.3	0.6	0.2	0.9			
		6.0	2.8	0.2	1.3			
		1.5	1.1	1.8	8.4			
		18.1	2.7	3.5	1.23			
		17.4	1.94	1.26	17.6			
		28.8	3.22	7.89	5.6			
		4.7	3.9	0.2	3.6			
		1.9	0.6	4.1	0.6			
		2.4	0.6	2.8	1.1			
C. 自由な時間 1 重要ではない 2 3 4 5 6 7 重要 8 何かしら	1.9	0.6	4.1	0.6				
	2.4	0.6	2.8	1.1				
	5.7	3.9	8.8	3.1				
	1.5	1.67	2.09	17.0				
	26.6	2.61	1.26	24.2				
	22.5	2.06	1.79	2.8				
	27.0	3.11	3.25	31.2				
	0.8	0.6	0.3	2.0				
	1.6	3.4	1.9	1.53				
	25.1	9.6	77.6	75.0				
0.6	0.0	0.9	0.3					
2.7	0.0	1.6	9.4					
0.6	1.1	2.3	0.6					
0.0	0.0	0.0	0.2					
0.4	1.1	0.6	0.4					
0.9	0.0	2.8	2.6					
2.0	1.1	2.6	4.4					
3.9	4.4	1.1	9.5					
91.6	8.94	9.01	8.26					
0.6	2.8	0.6	1.7					

質問	回答	USA	JA4	JB	J	JA1	JA2	JA3
19 生活諸領域の重要性	E. 両親、兄弟、姉妹、親戚 1 重要ではない 2 3 4 5 6 7 重要 8 何かしら	1.2	0.6	1.7	0.5			
		0.8	0.6	0.6	0.4			
		2.4	2.2	0.2	1.0			
		4.2	0.6	1.6	5.1			
		9.5	3.4	1.4	1.6			
		18.0	18.3	7.4	22.6			
		62.3	66.1	86.0	58.1			
		1.6	1.9	0.2	1.6			
		5.7	11.1	5.9	1.24			
		4.2	3.9	3.7	8.7			
F. 宗教 1 重要ではない 2 3 4 5 6 7 重要 8 何かしら	5.3	6.1	5.4	1.31				
	8.8	19.8	1.09	24.5				
	13.5	23.3	9.4	1.59				
	15.0	13.3	1.29	9.8				
	47.2	24.4	5.16	13.8				
	0.3	0.0	0.2	3.8				
	1.5	8.3	4.2	2.8				
	8.0	8.3	10.5	5.3				
	1.22	1.39	8.5	7.9				
	2.19	3.06	1.55	24.5				
G. 政治 1 重要ではない 2 3 4 5 6 7 重要 8 何かしら	1.5	8.3	4.2	2.8				
	8.0	8.3	10.5	5.3				
	1.22	1.39	8.5	7.9				
	2.19	3.06	1.55	24.5				
	2.12	2.06	1.22	1.50				
	1.23	1.11	1.22	1.50				
	1.22	7.2	2.42	18.2				
	0.7	0.0	2.2	4.5				
	1.1	0.6	1.3	0.7				
	4.0	0.6	1.2	1.5				
1.94	1.06	8.1	8.7					
2.00	2.22	9.2	2.04					
26.6	30.0	18.3	22.5					
36.0	35.0	49.8	38.4					
0.3	0.6	0.2	1.5					

質問	回答	USA	JA4	JB	J	JA1	JA2	JA3
20 生活に満足か	1 非常に満足	37.2	30.0	65.5	32.8		39	22
	2 かなり満足	48.6	57.8	17.9	47.4		36	66
	3 どちらでもない	12.3	9.4	14.0	13.2		23	9
	4 かなり不満足	6.7	1.7	6.1	9.6		2	3
	5 非常に不満足	0.8	0.6	1.8	2.7		0	0
21 人間生活に へんか	1 賛成(へん)	68.0	80.6	67.3	44.6	63		71
	2 反対(ほとんど)	24.2	10.6	15.7	9.9	29		23
	3 どちらでもない	5.6	6.1	11.3	38.3	0		3
	4 賛成にかたがたい	1.2	2.9	5.6	6.1	8		3
	5 反対にかたがたい	0.6	0.6	0.0	0.3			0
22 金に大金を とることに 反対か	1 賛成	16.6	20.6	23.1	47.8			
	2 反対	74.8	73.3	59.9	18.7			
	3 どちらでもない	4.1	3.3	13.9	30.7			
	4 賛成にかたがたい	0.3	2.2	2.3	0.1			
	5 反対にかたがたい	0.6	0.6	1.0	2.7			
24 政治家に 反対か	1 賛成	7.4	10.0	38.4	13.1	13	16	8
	2 反対	88.2	79.2	51.3	61.6	70	81	90
	3 どちらでもない	3.0	11.7	6.9	19.0	2	1	1
	4 賛成にかたがたい	1.5	1.1	3.6	6.3	3	2	2
	5 反対にかたがたい	0.6	0.6	0.0	0.0			
25 テレビに 賛成か	1 反対	69.9	51.1	42.8	19.2	55	58	60
	2 賛成	19.4	22.2	35.3	25.7	14	25	14
	3 どちらでもない	9.5	25.0	19.7	52.0	28	13	24
	4 賛成にかたがたい	0.2	0.6	0.9	0.1	0	1	1
	5 反対にかたがたい	1.0	1.1	1.5	3.0	3	3	1
26 心算では へんか	1 賛成(へん)	76.1	80.6	52.9	29.6	63		77
	2 反対(へん)	19.0	12.2	32.8	31.3	22		16
	3 どちらでもない	3.5	5.6	9.6	32.4	7		5
	4 賛成にかたがたい	1.4	1.6	4.9	6.6	7		2
	5 反対にかたがたい	0.7	0.7	0.2	0.6			0
27 家庭に唯一 の楽しみ 場所か	1 賛成	44.8	59.6	76.7	80.3			56
	2 反対	54.4	48.3	22.0	16.3			42
	3 どちらでもない	0.1	0.0	1.2	0.6			2
	4 賛成にかたがたい	0.7	0.0	0.2	0.8			0
	5 反対にかたがたい	0.7	0.0	0.2	0.8			0

質問	回答	USA	JA4	JB	J	JA1	JA2	JA3
28 趣味 に満足か	1 とても満足	45.2	46.1	42.8	35.4			36
	2 かなり満足	47.3	37.8	22.9	37.7			46
	3 どちらでもない	1.22	1.39	33.5	19.5			17
	4 かなり不満足	1.3	2.2	0.9	7.5			1
	5 非常に不満足	0.0	0.0	0.0	0.0			0
29 女性尊重	1 とても尊重	6.3	7.2	10.9	13.6			9
	2 かなり尊重	33.1	35.6	21.5	53.7			28
	3 どちらでもない	59.1	54.4	67.0	28.3			60
	4 女性を尊重しない	0.0	2.8	0.6	0.8			2
	5 女性を尊重しない	1.5	0.0	0.0	3.5			0
30 先世が愛しい 尊を 守った	1 非常に愛しい	90.3	78.4	79.9	55.5	76	72	84
	2 かなり愛しい	3.7	7.8	7.6	24.6	8	8	9
	3 どちらでもない	3.8	10.6	8.9	3.8	10	15	5
	4 愛しいにかたがたい	3.1	2.2	3.2	16.2	6	5	2
	5 愛しいにかたがたい	0.6	0.6	0.6	0.6			0
31 故郷の味 を 守る	1 故郷への味	66.3	60.0	69.6	45.7	50	67	57
	2 味を失う	24.4	33.9	22.7	37.7	36	27	34
	3 どちらでもない	5.0	5.6	4.7	1.3	7	3	7
	4 味を守りたい	4.4	5.6	3.8	15.4	7	3	2
	5 味を守りたい	0.6	0.6	0.6	0.6			0
32 故郷の味 を 守る	1 故郷への味	64.4	64.4	76.1	15.4	62	72	69
	2 味を失う	25.7	27.2	18.6	40.6	27	23	26
	3 どちらでもない	4.7	6.7	2.9	1.2	5	3	4
	4 味を守りたい	5.2	7.7	3.4	12.8	6	2	2
	5 味を守りたい	0.6	0.6	0.6	0.6			0
33 自然人間 との関係	1 自然に還元	25.5	50.6	44.9	36.6	21	28	27
	2 自然を利用	66.2	38.9	14.4	47.9	68	62	68
	3 自然を征服	4.5	6.7	33.6	5.3	6	4	4
	4 自然を尊重	1.0	1.7	5.7	0.7	1	3	1
	5 自然を尊重	2.8	2.2	1.5	9.5	4	4	0
34 個人 の幸福	1 個人→個人	27.1	29.4	17.6	34.0	32	26	37
	2 個人→個人	28.3	33.3	49.7	22.4	26	30	27
	3 個人→個人	36.7	31.7	26.5	36.0	36	37	29
	4 個人→個人	7.9	6.6	6.1	7.5	6	8	6
	5 個人→個人	0.6	0.6	0.6	0.6			0

質問	回答	USA	JA ₁	JB	J	JA ₁	JA ₂	JA ₃
35 大切程度	1 親孝行	69.4	78.3	82.3	77.7	53	60	60
	2 恩返し	27.6	22.8	42.4	56.8	27	16	19
	3 権利尊重	62.3	72.2	33.6	25.2	65	77	78
	4 自由尊重	33.1	25.6	32.5	32.8	51	43	41
	5 その他	0.5	0.6	3.2	0.0			
	6 わからない	0.0		0.6	0.0			
36 他人の仲か仕事か	1 他人の仲かよい	78.6	81.7	67.5	61.5		71	71
	2 仕事かよくなる	15.2	12.8	14.9	11.3		18	16
	3 その他わからない	6.0	5.5	15.6	23.0		11	12
37 スジか まろくか	1 スジを通す	47.6	23.3	21.3	20.2		22	25
	2 まろくおさめる	47.1	71.7	67.0	68.3		73	68
	3 その他わからない	5.3	5.0	11.8	11.6		5	7
38 入社試験: 1番親戚	1 一番の人	65.9	67.3	75.6	60.4	68	62	64
	2 親戚の人	27.5	26.7	16.2	22.8	26	34	32
	3 その他	1.7	5.3	7.2	1.0	2	3	3
	4 わからない	2.9	1.7	1.1	15.8	3	2	1
39 入社試験: 1番恩人 の子	1 一番の人	64.9	51.7	50.3	40.6	53	55	56
	2 恩人の子	30.4	42.2	42.3	42.3	39	40	39
	3 その他	1.5	3.9	4.0	1.2	2	2	4
	4 わからない	3.3	2.2	3.1	15.9	6	3	2
40 めんどうを みる 採長	1 めんどうをみない	44.9	40.6	24.7	9.0	39	35	40
	2 めんどうをみる	51.4	57.4	67.5	80.3	58	63	58
	3 その他わからない	3.7	0.0	7.7	10.7	4	3	3
41 他人のためか 自分のためか	1 他人のためか	53.6	58.3	40.9	31.2		48	54
	2 自分のためか	43.6	38.3	50.5	54.2		47	41
	3 その他	1.1	2.8	5.6	1.5		3	5
	4 わからない	1.7	0.6	3.0	13.2		2	0
42 スギがふれ 利用される か	1 利用はよいという	40.4	28.3	57.6	32.3		27	27
	2 せんごにはない	56.0	67.8	35.8	52.8		66	70
	3 その他	1.2	2.8	2.9	0.9		5	3
	4 わからない	2.4	1.1	3.6	14.0		2	0

質問	回答	USA	JA ₁	JB	J	JA ₁	JA ₂	JA ₃	
43 人の信頼 できるか	1 信頼できる	42.4	60.0	6.1	37.1		55	59	
	2 用心した方がよい	54.5	38.9	90.7	46.0		41	40	
	3 その他	1.3	1.1	2.8	2.8		4	1	
	4 わからない	7.8	0.0	0.3	12.1		0	0	
44 コンピュー 化	1 望ましい	33.6	36.7	45.5	30.5				
	2 避けられたい	51.4	56.1	38.3	52.8				
	3 困ったことだ	11.6	5.6	8.5	6.6				
	4 その他わからない	3.5	1.6	7.7	10.1				
45 環境保護	1 非常に重要	84.2	70.0	75.3	45.6				
	2 重要	14.7	27.8	23.0	45.7				
	3 あまり重要でない	0.6	1.1	1.2	4.7				
	4 重要でない	0.2	0.0	0.0	0.2				
	5 その他わからない	0.3	1.2	0.4	3.8				
48 宗教を 信じるか	a 信じるか	1 信じている	85.3	71.1	87.4	36.5			
		2 信じていない	13.9	27.8	10.3	63.5			
		3 わからない	0.8	0.0	0.3	0.0			
	b 宗派	1 プロテスタント	54.8	25.0	2.8	0.0			
		2 カソリック	24.4	7.8	50.6	0.0			
		3 エンゲル	1.2	0.0	0.0	0.0			
		4 併教	0.0	28.3	20.4	28.5			
		5 回教	0.0	0.0	0.0	0.0			
		6 神道	0.0	0.0	2.6	2.1			
		7 クリスマン	0.0	0.0	0.0	1.2			
8 その他	2.5	11.1	13.3	3.2					
9 わからない	2.5	0.0	0.0	1.5					
10 非該当	14.7	27.8	10.3	63.5					
49 宗教的関心 は大切か	1 大切	87.3	80.0	91.0	75.5				
	2 大切でない	10.4	13.3	6.0	11.1				
	3 その他	1.0	5.6	2.5	1.1				
	4 わからない	1.3	1.1	0.4	12.4				

質問	回答	USA	JA ₁	JIB	J	JA ₁	JA ₂	JA ₃		
50 宗教の対 等と同様	1 賛成	56.5	74.0	64.6	63.3					
	2 反対	37.9	22.8	29.6	16.4					
	3 その他	1.0	1.1	2.2	0.5					
	4 知らない	2.7	1.1	3.6	1.9					
	51 民主主義	1 正しい	83.6	85.0	63.9	52.1	74	88	84	
		2 時々場合による	11.2	13.3	23.6	37.7	21	10	13	
		3 正しくない	2.9	0.6	1.3	1.7	0	0	1	
		4 知らない	2.3	1.1	1.1	8.5	5	2	2	
		52 資本主義	1 正しい	41.5	49.2	26.6	27.3	29	41	43
			2 時々場合による	30.9	32.8	40.1	48.3	41	25	35
			3 正しくない	20.9	15.0	8.4	10.1	18	22	16
			4 知らない	6.8	5.0	25.0	14.3	13	12	5
53 社会主義			1 正しい	10.9	11.7	18.4	6.3	11	20	13
			2 時々場合による	32.2	49.4	37.3	54.3	42	30	44
			3 正しくない	48.5	34.7	18.1	20.9	30	40	32
			4 知らない	7.5	7.2	24.1	18.4	18	11	11
	54 自由主義		1 正しい	16.9	17.2	17.6	33.5	20	35	23
			2 時々場合による	43.6	51.7	35.9	47.1	47	31	53
			3 正しくない	29.4	21.1	16.4	5.5	1.3	22	17
			4 知らない	10.1	10.0	30.1	13.9	20	13	7
		52 国家目標	1 秩序の維持	28.4	38.3	38.2	20.6			41
			2 発言の自由	33.1	30.6	28.0	27.1			30
			3 物価上昇の阻止	22.6	22.2	21.0	35.1			13
			4 言論の自由	10.9	5.6	5.2	7.5			13
5 その他			2.2	1.7	4.1	4.6			1	
6 知らない			1.7	1.7	1.8	9.1			1	

付録3 自由回答について

- 問1 ブラジルのよい点・悪い点
- 問2 日本のよい点・悪い点
- 問4 日系人として次の世代に伝えたいこと
- 問5 日系人としてブラジル社会に貢献したいこと
- 問18 大切なもの
- 問46 ブラジル文化のイメージ
- 問47 日本文化のイメージ

問1 ブラジルの良い点・悪い点

=良い点=

1 国民の性格

- 1 0 1 明るく愉快なところ (alegria)
- 1 0 2 創造性が豊かなところ (livre iniciativa)
- 1 0 3 自発的である (espontaneidade)
- 1 0 4 人間的な暖かさがある (calor humano)
- 1 0 5 人間関係が型に嵌まっていない (relacionamento informal) 関係を作るのが簡単である (relacionamento facil)
- 1 0 6 自由なところ (liberal/liberdade)
- 1 0 7 国民がいい意味で楽天的なところ (optimismo)
- 1 0 8 純真な国民である (simplicidade de povo)
- 1 0 9 国民性一般 (povo bom)

2 社会・文化・国家の性格

- 2 0 1 民主的な社会である (democratico/igualdade entre todos)
- 2 0 2 均等な機会が与えられている (oportunidade)
- 2 0 3 人間の連帯性が強い (solidario)
- 2 0 4 平穏な社会・国家である (tranquilidade/calmo/vida sossegada)
- 2 0 5 期待が持てる国 (perspectiva)
- 2 0 6 多民族国家である (multi-ethnia/varias ethnias)
- 2 0 7 若く未来の国である (pais jovem/pais do futuro)
- 2 0 8 住みやすい国である (boa para morar/viver, paraíso, vida mais folgada)
- 2 0 9 移民・外国人が受け入れられやすい国である (povo receptivo aos imigrantes/recebe bem o estrangeiro)
- 2 1 0 人口密度がそれほど高くない (baixa densidade populacional)
- 2 1 1 時間的な自由さ (nao tem horario rigid)
- 2 1 2 生活スタイルが良い (estilo de vida/modo de vida/lazer)
- 2 1 3 祖国であるから (nasci aqui)
- 2 1 4 平和な国である (paz/pacifico/sossego) 戦争がない (nao tem guerra)
- 2 1 5 文化が良い (cultura)
- 2 1 6
- 2 1 7 生活上昇が容易である、働くことでなんでも獲得しうる。飢えることはない (facilidade de subir na vida/conseguiu-se tudo com trabalho)
- 2 1 8 自給自足的な経済 (auto-suficiencia)
- 2 1 9 生産力が高い (produtividade)
- 2 2 0 モルドミアがある (mordomia)
- 2 2 1 労働がより楽である (trabalho mais leve)

- 2 2 2 選挙制度が良い (sistema de eleicao)
- 2 2 3 人種的偏見・差別がない (nao tem discriminacao racial)
- 2 2 4 豊かな食糧・多様な食べ物 (alimentacao/comida)
- 2 2 5 友情 (amizade/colegismo)
- 2 2 6 住宅事情が良い (moradia/casa)
- 2 2 7 開かれた国 (pais livre/aberto)
- 2 2 8 良い資本主義を持つ (capitalismo)
- 2 2 9 教育が良い (educacao)
- 2 3 0 習慣がよい (costume)
- 2 3 1 現代的である (moderna)
- 2 3 2 社会的な共存性を有する (convivio social)
- 2 3 3 混血・文化の混ざり (miscigenacao/mistura cultural)
- 2 3 4 就業機会に恵まれている (chance para trabalhar)

3 自然の性格

- 3 0 1 国土が大きい (pais extenso/espacos)
- 3 0 2 豊かな国土 (terra boa/terra fertil/fertura)
- 3 0 3 地質が良い (nao tem terrasoto)
- 3 0 4 自然・気候が良い (natureza/clima)
- 3 0 5 国の位置が良い (geografia)
- 3 0 6 景勝地が多い (pontos turisticas)

4 その他

- 4 0 1 すべて良い。いい所だ (tudo/lugar bom)
- 4 0 2 良いところがない (nada)

無解答 000

わからない 999

問1 ブラジルの良い点・悪い点

-悪い点-

1 国民の性格

- 1 0 1 やる気のなさ、ご都合主義 (acosuadacao/condisismo)
- 1 0 2 無責任 (irresponsabilidade/nao cumprir compromisso)
- 1 0 3 楽観的すぎる (excesso de otimismo)
- 1 0 4 尊敬の念の欠如 (falta de respeito/falta de respeito com os velhos)
- 1 0 5 信用がない (falta de confianca)
- 1 0 6 正直さに欠ける (povo desonesto)
- 1 0 7 無知である (povo ignorante)
- 1 0 8 怠け者である (povo preguiçosa)
- 1 0 9 働くのが嫌いな国民である (povo nao gosta de trabalhar)
- 1 1 0 悪いメンタリティーを持つ (mentalidade de povo)
- 1 1 1 遅れた国民である (atraso de povo)
- 1 1 2 愛国心が足りない (falta patriotismo)
- 1 1 3 価値観の喪失 (decedencia de valores)
- 1 1 4 固有の見方の欠如 (falta perspectiva)

2 社会・国家の性格

- 2 0 1 人権が尊重されていない (despeito humano)
- 2 0 2 悪習がある (costumes ruins) jeitinho brasileiro
- 2 0 3 自由が在りすぎる (muita liberdade/excesso liberdade)
- 2 0 4 社会的な不平等 (desigualdade social) 社会的格差 (diferença social)
- 2 0 5 社会的な問題一般 (problema social/situacao geral)
- 2 0 6 安全性が欠如している (falta de segurança social)
- 2 0 7 泥棒が多い (ladrao)
- 2 0 8 暴力 (violencia)、アサルト (assalto)
- 2 0 9 麻薬 (drogas)
- 2 1 0 汚職がある (corrupcao)
- 2 1 1 悪者が罰せられない (impunidade)
- 2 1 2 生活状態が悪い (condicoes de vida da populacao)
- 2 1 3 混血した民族である (mistura etnica)
- 2 1 4 国内移動。東北部移民 (migracao/migracao nordestina)
- 2 1 5 貧民窟の存在 (favela)
- 2 1 6 人口過剰 (super-populacao)
- 2 1 7 住宅不足 (falta de moradia/habitacao)
- 2 1 8 法律を守らない (falta de respeito aos leis)
- 2 1 9 生存競争が激しい (luta pela sobrevivencia)

- 2 2 0 貧困である (pobreza)
- 2 2 1 文盲が多い (analfabetismo)
- 2 2 2 健康、医師不足、汚染 (saude, medico, poluicao)

3 政治・経済

- 3 0 1 法律規定が良くない (nao forçacao de leis)
- 3 0 2 政府が悪い。政府が無責任である。目的が欠如している。
governante, governo Collor, politicagem de governo, irresponsabilidade de governo, falta de objetivos
- 3 0 3 政治家が悪い。政治家のモラル。
falta de bons politicos, politicagem, falsidade dos politicos, falta de moralidade dos politicos.
- 3 0 4 官僚主義。公共サービスが良くない。
burocracia, servicos publicos
- 3 0 5 行政が悪い (administracao)
- 3 0 6 組織一般が悪い (falta de organizacao/organizacao)
- 3 0 7 国民の協力の欠如 (falta de colocacao de povo)
- 3 0 8 経済一般 (economia/crise economica)
- 3 0 9 経済政策が悪い (politica economica)
- 3 1 0
- 3 1 1 安い給料 (salario)
- 3 1 2 インフレーション (inflacao)
- 3 1 3 価格コントロールの欠如 (falta de controle de precos)
- 3 1 4 生活費が高い (custo de vida) 高価格 (precos altos)
- 3 1 5 少ない就業機会 (mercado de trabalho, pouca oportunidade de emprego, pouco trabalho) 会社が少ない (falta firma)
- 3 1 6 失業 (desemprego)
- 3 1 7 財政状態が悪い (situacao financeira)
- 3 1 8 土地が非効率的にしか利用されていない (mal aproveitamento territorial)
- 3 1 9 ストライキがある (greve)
- 3 2 0 第三世界 (terceiro mundo)
- 3 2 1 依存経済 (economia dependente)
- 3 2 2 土地の生産性が低い (terras improdutivoas)
- 3 2 3 所得の再分配が悪い (distribucão de renda)
- 3 2 4 重労働性 (muito trabalhos para viver)
- 3 2 5 インフラ・ストラクチャーの遅れ (infraestrutura)
- 3 2 6 技術の欠如 (falta de tecnologia)
- 3 2 7 農業分野が悪い (agricultura)

3 2 8 対外債務 (dívida externa)

4. 教育・文化・生活

- 4 0 1 高等教育への機会が制限されている (dificuldade de atingir univ.)
- 4 0 2 良質の教育の欠如。教育が弱固である。(falta de acesso ao bom ensino
falta de educação, educação fraca)
- 4 0 3 子供のしつけをしない (não sabe educar o filho)
- 4 0 4 人生に期待がない
- 4 0 5 文化の欠如。伝統の欠如。 falta de cultura/tradicao
- 4 0 6 教育・健康に対する投資が少ない (pouco investimento na educação e na
saúde)
- 4 0 7 家庭関係が良くない (relacionamento familiar)

5 自然その他

- 5 0 1 自然を尊重しない (desrespeito a natureza)
- 5 0 2 自然の利用法を知らない (não sabe aproveitar a natureza)
- 5 0 3 干ばつ (seca)

問2 日本の良い点・悪い点

-良い点-

1 国民の性格

- 1 0 1 抑圧正しい国民である (disciplinam)
- 1 0 2 誠実な国民である (sinceridade)
- 1 0 3 正直な国民である (sinceridade/honestades)
- 1 0 4 謙遜な国民である (humildade)
- 1 0 5 辛抱強い国民である (perseverancia)
- 1 0 6 忠誠心が強い (lealdade)
- 1 0 7 誇り高い国民 (orgulho)
- 1 0 8 尊敬の念をもつ (respeito)
- 1 0 9 法則を遵守する (cumprir leis)
- 1 1 0 ter palavra
- 1 1 1 人間性を尊重する国民 (valorizacao de ser humano)
- 1 1 2 時間を守る国民 (pontualidade)
- 1 1 3 平和な国民 (tranquilidade)
- 1 1 4 国家のために頑固な国民である (obstinacao do povo em prol do país)
- 1 1 5 決断力をもつ国民 (dedicacao)
- 1 1 6 自信をもった国民 (consciencia do povo)
- 1 1 7 知的な国民 (povo inteligente)
- 1 1 8 協調性を持った国民である
- 1 1 9 忍耐強い国民である (pacífico)
- 1 2 0 責任感が強い国民 (responsavel)
- 1 2 1 文明化された国民 (povo civilizado)
- 1 2 2 国民性が良い (povo bom)

2 社会の性格

- 2 0 1 安全である (seguranca)
- 2 0 2 暴力の取得がきちんとしている (policiamento)
- 2 0 3 刑事免責がない (não tem impunidade)
- 2 0 4 社会的に平等である (não tem desigualdade/sociedade igualitaria)
- 2 0 5 階級間に差がない (não tem tensao entre as classes)
- 2 0 6 良く働く (trabalhador)
- 2 0 7 貧困がない (não tem pobreza)金持ち (rico)
- 2 0 8 遊蕩性が強固である (uniao de povo)
- 2 0 9 英雄的な英雄が良い (gratificacao)
- 2 1 0 人的資源が豊富である (riqueza populacional)

- 2 1 1 厳格な社会である (rigoroso)
- 2 1 2 valorizacao do que se tem
- 2 1 3 良く組織化されている (organizacao)
- 2 1 4 清潔である (limpeza)
- 2 1 5 食糧事情が良い (alimentacao)
- 2 1 6 国際化している (internacionalizacao)

3 政治・行政

- 3 0 1 誠実な政治 seriedade governamental
- 3 0 2 良く統治されている bem governado
- 3 0 3 行政 (administracao)
- 3 0 4 効果的な法・検察制度 (judiciario e policia eficientes)
- 3 0 5 社会福祉 (servico Social do governo)
- 3 0 6 多様なサービス (servicos)
- 3 0 7 世界的なリーダーシップを持つ (lideranca mundial)
- 3 0 8 天皇制 (imperador)

4 経済

- 4 0 1 労働水準が高い (determinacao de nivel do trabalho)
- 4 0 2 就業機会が多い。労働市場が整っている。
- 4 0 3 労働システムが良い boa sistema de trabalho
- 4 0 4 安定した生活水準。padrao de vida estavel/situacao financeira do povo
- 4 0 5 給与が高い ganha bom salario
- 4 0 6 進歩した技術や産業を有する avanco tecnologico/industria electronica
- 4 0 7 安定した経済 (economia estavel)
- 4 0 8 インフレがない (nao tem inflacao)
- 4 0 9 所得の分配が旨い (distribuicao de renda)
- 4 1 0 価格が安定している (estabilidade de preco)
- 4 1 1 購買能力が高い (vontade de vender)
- 4 1 2 インフラ・ストラクチャーが整備されている (infra-estrutura)
- 4 1 3 生産性が高い (maior produtividade)
- 4 1 4 協同組合主義 (corperativismo)
- 4 1 5 日系人へ就業チャンスを与える (emprego para descendentes)
- 4 1 6 経済政策が良い (politica economica)
- 4 1 7 経済発展している (desenvolvimento)
- 4 1 8 大きな可能性を持っている (grande potencia)

5 教育

- 5 0 1 先生への尊敬 (valorizacao dos prof.)
- 5 0 2 進歩した科学 (ciencia avancada)
- 5 0 3 教育一般が良い (educacao)
- 5 0 4 東洋的な教育 (educacao oriental)

6 生活・文化

- 6 0 1 生活の予測が立てやすい
- 6 0 2 生活しやすい (boa para viver)
- 6 0 3 生活が楽しい (vida mais agradavel)
- 6 0 4 生活の質が高い (qualidade da vida)
- 6 0 5 文化一般が良い (cultura/cultura do povo/desenvolvimento cultural)
- 6 0 6 文化的遺産 (heranca cultural)
- 6 0 7 伝統・習慣がよい
- 6 0 8 健康 (saude)

7 自然その他

- 7 0 1 観光地 (turismo)観光 (paisear)
- 7 0 2 春 (primavera)
- 7 0 3 自然
- 7 0 4 その他

8 その他

- 8 0 1 すべてがよい
- 8 0 2 よいところはない

問2日本の良い点・悪い点

=悪い点=

1 国民の性格

- 1 0 1 自由すぎる
- 1 0 2 偏見を持っている
- 1 0 3 自由がない・規律にしばられすぎる
- 1 0 4 エゴイストである
- 1 0 5 貧弱である (mesquinhez)
- 1 0 6 プライドが高すぎる
- 1 0 7 日本人としてのアイデンティティに欠ける
- 1 0 8 人間らしさに欠ける
- 1 0 9 人間的な暖かさに欠ける
- 1 1 0 ブラジル人への優しさに欠ける
- 1 1 1 放漫である
- 1 1 2 弱者に対するいたわりに欠ける
- 1 1 3 思い上がっている
- 1 1 4 厳格すぎる
- 1 1 5 極端な形式主義
- 1 1 6 極端な物質主義
- 1 1 7 感情を表に出さない
- 1 1 8 ユーモアを解さない
- 1 1 9 柔軟性に欠ける
- 1 2 0 心が狭い
- 1 2 1 細かすぎる
- 1 2 2 大衆化されすぎている

2 社会の性格

- 2 0 1 男性優先主義
- 2 0 2 女性蔑視
- 2 0 3 人権主義・人権偏見がある
- 2 0 4 社会的な競争が激しい
- 2 0 5 『出稼ぎ』に対して偏見がある
- 2 0 6 pouco caso com pessoas que vao do Brasil
- 2 0 7 人間が機械化されている
- 2 0 8 個人が孤立している
- 2 0 9 共存性が欠如している
- 2 1 0 冷たい人間関係

- 2 1 1 社会的環境が悪い
- 2 1 2 娯楽が多すぎる
- 2 1 3 外国人が溶け込むのが大変である
- 2 1 4 汚職がある
- 2 1 5 ヤクザがいる
- 2 1 6 vagabundagemの増加
- 2 1 7 住宅不足
- 2 1 8 社会的な不平等
- 2 1 9 プライバシーの欠如
- 2 2 0 人口が過剰である
- 2 2 1 公害・汚染
- 2 2 2 アメリカの影響が強すぎる
- 2 2 3 生活するのに良くない
- 2 2 4 若者に自由がない
- 2 2 5 ストレスや緊張が高い
- 2 2 6 自殺やアルコール依存症
- 2 2 7 仕返しが怖い
- 2 2 8 対局的である
- 2 2 9 その他

3 政治・経済

- 3 0 1 官僚主義である
- 3 0 2 地球環境の保全に無頓着である
- 3 0 3 仕事のし過ぎ
- 3 0 4 仕事上の競争が激しい
- 3 0 5 仕事の奴隷になっている
- 3 0 6 昇進システムが厳しい
- 3 0 7 生活費が高い
- 3 0 8 過剰投資
- 3 0 9 輸出への依存度が高い
- 3 1 0 第一次産品への依存
- 3 1 1 天然資源の欠如・石油がない
- 3 1 2 食料品が高い
- 3 1 3 資本主義経済
- 3 1 4 発展途上国への援助の欠如

4 家庭

- 4 0 1 父権主義

4 0 2 家族の結束に欠ける

5 宗教

- 5 0 1 宗教が多すぎる

6 教育

- 6 0 1 学校教育が厳しすぎる
- 6 0 2 教育の偏重
- 6 0 3 教育が衰退している

7 生活

- 7 0 1 生活スタイルが良くない
- 7 0 2 都市生活のリズムがはやすぎる
- 7 0 3 休日がない
- 7 0 4 料理のヴァリエーションがない
- 7 0 5 人工的な食品が多い
- 7 0 6 風呂・トイレ

8 文化

- 8 0 1 伝統に縛られている
- 8 0 2 伝統を喪失している

9 自然その他

- 9 0 1 災害が多い・地震・津波がある
- 9 0 2 気候が良くない 寒い
- 9 0 3 国土が狭い。領土が小さい
- 9 0 4 すべてが悪い
- 9 0 5 悪い所はない。

問4 次の世代に伝えたいもの

1 価値・精神・性格

- 101 日本的価値一般
- 102 正直さ
- 103 謙虚さ
- 104 誠実さ
- 105 忠誠心
- 106 自由
- 107 従順さ
- 108 信用
- 109 決断力
- 110 年長者・隣人への尊敬の念
- 111 自信
- 112 明るさ・愉快さ
- 113 真面目さ
- 114 勇気
- 115 意志の力
- 116 献身ということ
- 117 道徳心
- 118 考えることの大切さ
- 119 物質主義への批判
- 120 責任感・義務・責任
- 121 規律を守ること
- 122 尊敬一般

2 行動・行動の様式・他人との関係

- 201 他人との適合性
- 202 協調性
- 203 プラジルのなりズムへの適応
- 204 良いプラジル人になること
- 205 プラジルのメンタリティー
- 206 良い行動様式
- 207 親が持っていた行動様式
- 208 日系人と接触すること
- 209 日本の習慣に従わないこと
- 210 団結心

3 社会

- 301 良い社会を伝える
- 302 あらゆることへの貢献
- 303 人権主義を無くす・人権主義者にならない
- 304 良いことをする
- 305 闘うこと
- 306 愛国心を持つこと

4 家族・生活・健康

- 401 家族の団結
- 402 良い将来
- 403 プラジル・日本・世界を知ることの大切さ
- 404 良い人生を送る
- 405 生き方
- 406 健康
- 407 バランスの採れた娯楽を楽しむこと

5 経済・仕事・財産

- 501 財産
- 502 食糧
- 503 技術
- 504 勇気
- 505 進歩
- 506 貧困にならないこと
- 507 仕事・忍耐強く仕事をする事
- 508 成功

6 宗教・平和・愛・物の考え方

- 601 宗教
- 602 エスピリチズム
- 603 東洋的な思想
- 604 愛
- 605 平和
- 606 平和

7 教育・文化・勉強

- 701 勉強すること
- 702 勉強・研究への興味

- 703 厳しい教育
- 704 知識・知性
- 705 日本文化一般
- 706 日本人としてのルーツ
- 707 日本的伝統
- 708 日本文化の維持
- 709 日本の良い面
- 710 日本語

8 自然

- 801 自然を大切にすること

問5 日本人としてのどのような貢献ができるか

1 フラジルの価値・精神・性格の要素への貢献

- 101 協同性・連帯性を教える
- 102 誠実さ
- 103 日本の文化・マナーを教える
- 104 決断力
- 105 意志力
- 106 闘争精神
- 107 正直さ
- 108 献身の心
- 109 創造性
- 110 尊敬の心
- 111 忍耐さ
- 112 責任感
- 113 辛抱強さ・粘り強さ
- 114 誇りという意志
- 115 合理性
- 116 愛国心
- 117 謙遜さ
- 118 耐えること
- 119 組織力
- 120 知性

2 社会・国家・政治の側面への貢献

- 201 団結の大切さ
- 202 社会的経済的文化的領域での集団に寄与する
- 203 社会・政治・経済生活への参入
- 204 政治参加
- 205 汚職の撲滅
- 206 政府を援助する
- 207 政治家に良い例を示す
- 208 政府と国民の繋がりを作る
- 209 日本と同じ様にする事を考える
- 210 行政を良くする
- 211 何らかの行動を起こす
- 212 法律を遵守する

問18 人生で大切なもの

3 家族

- 301 家族の価値を教える

4 経済・仕事

- 401 「働くこと」の精神・大切さを教える
- 402 企業の中で出世する
- 403 技術移転
- 404 労働システムを教える
- 405 フラジルの企業への投資をする
- 406 仕事への責任感を教える
- 407 農業分野で貢献する
- 408 工機分野で貢献する
- 409 節約の精神を教える
- 410 労働力を提供する
- 411 生産性を高める

5 教育・文化

- 501 国民を再教育する
- 502 研究・学問分野で貢献する
- 503 職業教育
- 504 東洋的な教育を行うことで貢献する
- 505 日本国教育を行う
- 506 二つの文化の融合しをする
- 507 日本の伝統・習慣を伝える
- 508 日本で教育を受け、それをいかに
- 509 同僚から受け継いだ知識で貢献する
- 510 芸術面での貢献
- 511 文化的な貢献
- 512 国に多くの貢献をした

1 価値・性格・精神

- 101 道徳
- 102 体面
- 103 誠実さ
- 104 正直さ・謙遜さ
- 105 懐疑さ・喜び
- 106 信用
- 107 自由
- 108 幸せ・幸福
- 109 意志
- 110 辛抱強さ
- 111 忠誠心
- 112 やさしき・暖かさ
- 113 意志の力
- 114 大志
- 115 自分が信じていないこと

2 人との交わり・関係

- 201 協同性
- 202 他人との良い関係
- 203 友情
- 204 忍耐
- 205 他人を感服すること
- 206 年長者を敬うこと
- 207 約束を守ること

3 社会・国家・政治

- 301 社会・社会参加
- 302 正義
- 303 時間厳守
- 304 フラジルが良い状態にあること
- 305 治安の良さ

4 家族

- 401 夫婦・夫・妻
- 402 兄弟・姉妹

403 子育て
 404 家族
 405 子供・子供の教育・子供の教育・子供の近くに住む
 406 家庭円満・家族の団和・家族の幸福
 407 家族員の良い関係・団結
 408 家族に対する尊敬
 409 孫
 410 結婚
 411 家族と一緒に生きる
 412 親
 413 先祖
 414 家族の健康

5 経済・仕事・財産
 501 職業
 502 専門職・職業的な成功
 503 良い仕事
 504 金
 505 ブラジルの経済状態
 506 働くこと
 507 物質的な豊かさ
 508 自動車・車
 509 成功・繁栄
 510 自分の住宅・家
 511 安定した財政状態

6 宗教・信仰
 601 信仰
 602 神
 603 精神生活
 604 宗教

7 健康・命
 701 健康
 702 病気を治す
 703 事故を起こさない
 704 平穏な死
 705 生命・自己

706 自分を知ること
 707 食べること・おいしい食べ物
 708 自己の成長

8 平和・愛情
 801 世界の平和
 802 自分の平和
 803 平和
 804 平和に生きること
 805 愛情・愛
 806 平穏さ・静けさ
 807 愛されること
 808 自分を愛すること
 809 心
 810 満足

9 人生・生活
 901 安定した生活
 902 生きること
 903 世界をすること
 904 レジャー・スポーツ・娯楽
 905 生きる喜び
 906 しっかり生きること
 907 教育
 908 期待・希望
 909 勉強・子供の勉強
 910 コミュニティの中で生きること
 911 夢を実現すること・夢をみること
 912 精神的な人生
 913 将来
 914 自立すること
 915 個人的満足
 916 人生の質
 917 自然
 918 サンパウロに移ること

問46 ブラジル文化

01 性格・気質・精神

0101 大志がない
 0102 怠慢である
 0103 尊敬の念の欠如
 0104 センチメンタル
 0105 価値観の欠如
 0106 コスモポリタン
 0107 友好的な国民
 0108 調停和解の精神に富む
 0109 始めが早い
 0110 復讐心がつよい
 0111 良く教育された国民
 0112 あまり教育されていない
 0113 価値観を喪失してしまった国民
 0114 連帯性に富んだ国民
 0115 人間的な暖かさを持つ
 0116 文明化されていない
 0117 フランクな関係
 0118 社会的共存性に富む
 0119 個人間で幾つも異質な行動パターンをもつ
 0120 友情
 0121 チャッカリした性格
 0122 無能
 0123 無責任
 0124 愛国心に欠ける
 0125 自由
 0126 無知
 0127 開けっ広げ

02 社会・国家・政治

0201 混血
 0202 規則に従う
 0203 多様性
 0204 オリジナリティを持つ
 0205 文化的記念物を祖末にする
 0206 組織的ではない

0207	貧民窟	0502	アフローインテオ系の儀式	0819	オレンジ
0208	貧困	0503	宗教的シンクレチズム	0820	フェイジョアード
0209	放棄された国民	0504	信心深い人々	0821	インデオ
0210	国民の形成過程にある	0505	信仰が欠如している	0822	文学・ジョルジュ・アマード
0211	原罪・原則が欠如している	0506	カトリック	0823	糞
0212	国際化している			0824	マランドラージュン
0213	大きな社会的不平等・社会経済的格差が大きい	0.6.健康・生活		0825	気晴らし
0214	愚習がある	0601	健康の欠如	0826	文化行事のやり方が良くない
0215	汚職が多い	0602	良い生活	0827	文化への投資
0216	人間偏見がある	0603	好きなように生きられる	0828	テレビ・映画・劇場
0217	文盲が多い	0604	ロンバダ(車のスピードを落とすために町の出入り口や道路に作られた障害物)の使用	0829	良い文化・豊かな文化、伝統
0218	能力のある指導者がいない			0830	大豆
0219	政府が無能力である	0605	平穏な生活ができる	0831	ブドウ
0220	豊かな歴史を持つ				
0221	治安が悪い	0.7.平和・愛情		0.9.自然	
		0701	平和	0901	豊かな自然・自然
0.3.経済・仕事・生活		0702	平穏・安心	0902	アマゾン
0301	豊穡	0703	戦争がない	0903	太陽が輝く海岸・観光地
0302	豊富な食糧			0904	自然破壊
0303	大きな投資	0.8.文化			
0304	仕事をさえすれば世界最高のところ	0801	独自の文化の欠如	1.0.その他-進歩・遅れ、期待・不安など	
0305	労働者	0802	形成途中の文化である	1001	最悪・悪い
0306	金	0803	低い水準の文化	1002	貧弱
0307	金持ち・恵まれている国	0804	文化への投資が少ない	1003	良くなる期待・期待
		0805	放棄された文化	1004	あまり期待ばもてない
0.4.教育		0806	カーニヴァル	1005	進歩・発展
0401	教育が悪い・教育水準が低い・	0807	サンバ	1006	遅れ・低い・否定的
0402	高等教育のレベルが低く、しかも教育費が高い	0808	ポピュラー音楽・音楽	1007	不十分・無能力
0403	学校数が足りない	0809	民俗・ダンス・民芸品・カポエイラ・フリーヴォ・ランバダ	1008	発展途上
0404	進歩発展するための教育	0810	サッカー	1009	その他
0405	教育一般	0811	バイア女性	1010	なにもない
0406	教育や文化を変える必要がある	0812	ムラッタ(褐色の女性)		
0407	子育てに問題がある	0813	美しい女性		
0408	娘の子に対する愛情が不足している	0814	芸術		
0409	日本語学校と教育が欠如している	0815	食べ物・料理		
		0816	内料理		
0.5.宗教		0817	コーヒー		
0501	宗教	0818	バナナ		

関4 7 日本文化

1 性格・気質・精神

- 101 誇り・国に対する誇り
- 102 両親・年長者などに対する尊敬の念
- 103 正直
- 104 誠実さ
- 105 忍耐強さ
- 106 保守的
- 107 名誉を重んずる
- 108 厳格さ・厳格な行動様式
- 109 確実さ・忠実さ
- 110 細密さ・特徴が細かい
- 111 努力
- 112 知的・知的な国民
- 113 強い意志の力
- 114 責任感が強い
- 115 国民性一般がよい
- 116 飽力
- 117 献身の精神
- 118 団結精神・団結
- 119 創造性が押さえ付けられている
- 120 教育が良く施されていない
- 121 原理・原則的
- 122 忍耐強い
- 123 質素・
- 124 賞賛される・
- 125 愛国心に富む
- 126 狭み深い

2 社会・国家・政治

- 201 天皇に対する尊敬・天皇誕生日
- 202 人種的偏見・差別
- 203 汚職
- 204 組織化された社会・国民
- 205 個人的自由の欠如
- 206 階級的な構造
- 207 社会の中で国民がロボット化している

- 208 同化・受動的な社会
- 209 進歩・現代的
- 210 清潔・きれいな社会
- 211 行政
- 212 低い文盲率
- 213 政府が国民のために働く
- 214 優秀さ
- 215 原則論で動く社会
- 216 中央集権的な構造
- 217 組織化がよくない
- 218 秩序と献身
- 219 その他
- 220 住宅事情が悪い

3 経済・仕事・技術

- 301 高い技術水準・技術・技術的發展
- 302 発展・進んだ工業・最高に発展した産業
- 303 奴隷のような労働・たくさん働く
- 304 良く働く国民
- 305 仕事
- 306 商業
- 307 大きな投資
- 308 経済一般(良い意味)
- 309 低い給与
- 310 所得の配分がうまくいっている
- 311 輸送手段が整備されている

4 家庭・生活

- 401 多くの子持である・子供が多い
- 402 家族の伝統
- 403 誇り物が多い
- 404 生活スタイル
- 405 床にすわり、箸を使って食べる
- 406 両親を尊敬する

5 教育

- 501 教育・勉強
- 502 専門教育

- 503 子供の教育
- 504 東洋的な教育
- 505 低い水準の教育

6 宗教

- 601 宗教
- 602 宗教性・信心深い
- 603 魂・内面的な平和
- 604 宗教寺院・教会
- 605 仏教
- 606 葬送儀礼

7 文化

- 701 古い文化
- 702 文化的に進んでいる・良い文化
- 703 単一文化・機械的な文化・フォーマルな文化
- 704 食べ物・野菜・米・料理
- 705 伝統的祭り・春祭り・民俗的祭り・お正月
- 706 踊り・民謡・カラオケ・伝統音楽
- 707 演劇・歌舞伎
- 708 俳句・短歌・宮い伝え
- 709 野球・相撲・マージナルアーツ
- 710 茶道・生け花
- 711 絵画・書道・芸術
- 712 典型的な衣装
- 713 伝統・歴史
- 714 最高・良い
- 715 文化への投資
- 716 伝統的な儀礼・儀式
- 718 侍
- 720 琴・三味線
- 721 果物・リンゴ・ブドウ
- 720 習慣

8 自然その他

- 801 遠い国(物理的)
- 802 良い例
- 803 良く保存された自然
- 804 健康に良い

付録4 ブラジル日系人の属性（性，年令，世代，日本人スケールによる）別集計表

表の読み方

Q・・・， 質問・・・

Total 全体の集計

(SEX) 性別集計

(AGE) 年令別集計

(GENERATION) 世代別集計

1	1世
2	2世
3	3世以上
DK	不明

(J SCALE) 日本人スケール別集計

LOW	0～4
ML	5～9
MH	10～16
HIGH	17～

表頭の整数……質問の回答カテゴリー（質問文の回答肢と同一）
又はスケール値

(Q 8)	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	48.8	42.0	7.8	0.4	1.0	100.0
(SEX)						
MALE	53.7	36.8	7.5	0.1	1.9	100.0
FEMA	42.7	48.3	8.1	0.9	0.0	100.0
(AGE)						
-29	28.3	69.0	2.3	0.0	0.3	100.0
30-	42.4	47.1	10.3	0.2	0.0	100.0
40-	60.4	29.6	5.1	0.0	4.9	100.0
50-	58.9	34.2	6.9	0.0	0.0	100.0
60	53.9	30.2	14.1	1.9	0.0	100.0
(GENERATION)						
1	60.8	26.5	12.3	0.0	0.3	100.0
2	52.2	39.3	5.7	0.8	2.0	100.0
3	36.0	55.5	8.4	0.1	0.0	100.0
DK	88.6	11.4	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)						
LOW	44.3	49.7	5.9	0.1	0.0	100.0
ML	47.6	45.5	4.0	0.0	2.9	100.0
MH	50.8	33.5	13.6	1.7	0.3	100.0
HIGH	59.3	28.5	12.2	0.0	0.0	100.0

(Q 9 B)	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL
TOTAL	54.1	23.5	10.1	2.6	3.0	2.6	4.0	100.0
(SEX)								
MALE	54.8	24.3	9.8	1.0	1.9	4.4	3.8	100.0
FEMA	53.2	22.5	10.4	4.6	4.3	0.5	4.4	100.0
(AGE)								
-29	52.7	21.1	15.4	0.0	1.4	7.4	2.0	100.0
30-	74.0	21.0	1.6	1.6	0.3	0.3	1.2	100.0
40-	52.5	23.1	7.4	1.2	11.5	0.4	3.8	100.0
50-	53.9	31.2	7.0	0.0	1.6	1.3	4.9	100.0
60	37.7	21.3	18.8	10.1	0.1	3.7	8.3	100.0
(GENERATION)								
1	41.7	23.2	17.4	8.3	1.8	1.7	5.9	100.0
2	57.1	24.8	6.0	1.1	4.9	1.8	4.3	100.0
3	57.1	22.1	12.0	1.0	0.9	4.3	2.6	100.0
DK	46.1	9.5	0.0	33.1	0.0	11.4	0.0	100.0
(JSCALE)								
LOW	50.0	27.1	10.6	0.8	4.2	4.7	2.6	100.0
ML	61.6	24.9	3.4	1.1	3.9	2.3	2.8	100.0
MH	63.7	15.0	10.3	2.6	1.6	0.5	6.4	100.0
HIGH	28.2	26.0	25.7	11.2	0.0	1.9	6.9	100.0

(Q 9 A)	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL
TOTAL	47.5	27.7	16.1	4.6	0.0	2.3	1.8	100.0
(SEX)								
MALE	46.7	26.4	20.6	2.0	0.0	3.2	1.1	100.0
FEMA	48.5	29.3	10.6	7.8	0.0	1.1	2.7	100.0
(AGE)								
-29	62.8	21.8	1.9	7.1	0.0	6.4	0.0	100.0
30-	53.5	35.7	9.1	1.4	0.0	0.0	0.3	100.0
40-	43.5	30.0	23.9	2.6	0.0	0.0	0.0	100.0
50-	44.8	35.6	16.8	0.4	0.0	0.0	2.4	100.0
60	33.3	15.6	28.6	11.2	0.0	5.0	6.3	100.0
(GENERATION)								
1	27.8	22.1	31.5	10.8	0.0	2.7	5.1	100.0
2	52.7	25.6	17.6	2.1	0.0	1.1	0.9	100.0
3	50.7	34.3	5.2	4.7	0.0	3.9	1.2	100.0
DK	92.1	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)								
LOW	45.0	34.6	14.5	5.9	0.0	0.0	0.0	100.0
ML	55.9	29.1	6.8	2.4	0.0	5.4	0.4	100.0
MH	55.9	19.0	18.5	2.2	0.0	0.0	4.5	100.0
HIGH	17.7	22.0	39.9	11.0	0.0	4.0	5.4	100.0

(Q 9 C)	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL
TOTAL	62.9	17.5	4.7	0.4	0.4	3.9	10.2	100.0
(SEX)								
MALE	62.6	18.0	5.0	0.4	0.6	6.1	7.3	100.0
FEMA	63.3	16.9	4.3	0.3	0.1	1.1	13.9	100.0
(AGE)								
-29	50.6	11.0	3.7	0.0	1.4	14.1	19.2	100.0
30-	56.0	19.5	11.1	0.3	0.0	0.6	12.5	100.0
40-	68.2	12.9	2.6	0.4	0.0	0.8	15.1	100.0
50-	80.1	12.4	2.5	0.4	0.0	0.0	4.6	100.0
60	59.9	31.4	3.6	0.7	0.5	3.8	0.0	100.0
(GENERATION)								
1	57.8	33.0	4.6	1.2	0.6	1.5	1.2	100.0
2	74.0	14.2	2.3	0.0	0.0	1.2	8.3	100.0
3	49.4	13.8	8.3	0.5	0.9	9.3	17.9	100.0
DK	66.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.1	100.0
(JSCALE)								
LOW	61.3	10.7	5.4	0.5	0.9	4.4	16.9	100.0
ML	62.9	15.1	4.8	0.0	0.2	6.3	10.8	100.0
MH	66.7	23.5	2.9	0.4	0.2	0.5	5.8	100.0
HIGH	60.4	30.5	5.8	1.2	0.0	2.1	0.0	100.0

(Q 9 D	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL
TOTAL	42.3	28.4	19.8	5.0	0.1	4.0	0.4	100.0

(SEX								
MALE	39.4	26.4	21.9	6.0	0.0	6.0	0.3	100.0
FEMA	45.8	31.0	17.2	3.8	0.2	1.6	0.4	100.0

(AGE								
-29	30.3	37.8	18.4	5.8	0.0	7.0	0.7	100.0
30-	41.2	22.9	21.9	10.0	0.2	3.0	0.3	100.0
40-	46.3	20.3	30.5	1.7	0.0	1.0	0.1	100.0
50-	47.7	39.4	10.3	1.2	0.4	0.3	0.7	100.0
60	45.7	22.2	17.9	6.2	0.0	8.1	0.0	100.0

(GENERATION)

1	40.7	29.7	19.6	5.0	0.0	5.6	0.5	100.0
2	50.2	25.2	19.4	1.8	0.2	2.8	0.4	100.0
3	31.5	35.4	20.7	9.2	0.0	5.0	0.3	100.0
DK	43.3	12.2	11.4	33.1	0.0	0.0	0.0	100.0

(JSCALE								
LOW	33.2	24.2	29.0	7.3	0.1	6.0	0.3	100.0
HL	44.4	32.2	14.8	5.0	0.2	2.8	0.6	100.0
MH	54.4	29.4	13.7	3.8	0.0	2.4	0.3	100.0
HIGH	38.2	34.7	20.5	1.4	0.0	5.0	0.2	100.0

(Q 9 F	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL
TOTAL	43.0	24.3	21.9	6.2	0.4	3.5	0.8	100.0

(SEX								
MALE	41.3	27.2	22.3	5.0	0.6	3.3	0.3	100.0
FEMA	45.0	20.8	21.3	7.7	0.1	3.6	1.5	100.0

(AGE								
-29	38.4	27.8	27.7	3.6	0.0	0.4	2.0	100.0
30-	45.3	22.1	16.8	12.3	0.0	3.1	0.3	100.0
40-	58.9	15.3	21.8	2.6	0.2	0.8	0.3	100.0
50-	42.0	23.0	26.3	3.4	0.0	5.1	0.3	100.0
60	30.5	33.1	17.0	8.9	1.6	7.9	1.1	100.0

(GENERATION)

1	27.0	35.7	22.1	10.9	0.0	2.9	1.5	100.0
2	50.1	18.2	23.1	3.0	0.7	4.7	0.3	100.0
3	41.7	26.5	20.3	8.3	0.0	1.9	1.2	100.0
DK	43.3	41.0	4.3	0.0	0.0	11.4	0.0	100.0

(JSCALE								
LOW	51.3	22.4	14.4	7.5	1.0	1.9	1.5	100.0
HL	43.7	21.0	24.8	3.8	0.1	3.8	0.8	100.0
MH	43.0	23.4	24.0	3.2	0.0	6.2	0.3	100.0
HIGH	20.2	39.4	24.0	14.3	0.0	1.9	0.2	100.0

(Q 9 E	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL
TOTAL	22.8	26.3	31.7	12.8	0.2	5.5	0.7	100.0

(SEX								
MALE	24.1	26.7	30.6	13.5	0.2	3.9	1.1	100.0
FEMA	21.1	25.9	33.0	11.9	0.2	7.5	0.2	100.0

(AGE								
-29	7.5	25.6	47.8	18.7	0.0	0.4	0.0	100.0
30-	18.7	25.5	34.8	19.0	0.0	1.3	0.8	100.0
40-	24.8	40.3	17.6	14.6	0.2	1.9	0.7	100.0
50-	29.5	24.0	37.9	2.8	0.8	4.6	0.4	100.0
60	33.3	16.6	20.6	8.7	0.0	19.2	1.6	100.0

(GENERATION)

1	34.9	20.3	22.4	9.8	0.0	11.6	1.1	100.0
2	26.2	27.7	30.7	9.3	0.2	5.0	0.9	100.0
3	10.9	27.5	39.1	19.5	0.3	2.5	0.1	100.0
DK	17.3	41.0	0.0	11.4	0.0	26.1	4.3	100.0

(JSCALE								
LOW	11.6	35.1	30.9	19.3	0.3	1.8	1.2	100.0
HL	28.4	25.6	32.5	8.6	0.3	4.1	0.4	100.0
MH	27.6	20.8	31.9	9.6	0.0	9.3	0.8	100.0
HIGH	28.0	15.8	31.1	12.7	0.0	12.1	0.2	100.0

(Q 9 G	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL
TOTAL	35.9	23.6	26.2	8.7	0.6	4.7	0.3	100.0

(SEX								
MALE	33.9	23.4	25.8	11.0	0.9	4.7	0.3	100.0
FEMA	38.4	23.9	26.6	5.8	0.2	4.8	0.2	100.0

(AGE								
-29	30.5	25.4	31.7	12.4	0.0	0.0	0.0	100.0
30-	32.5	38.2	24.5	2.8	0.3	1.2	0.5	100.0
40-	31.6	26.0	27.9	12.1	0.1	2.2	0.1	100.0
50-	42.0	12.4	33.3	4.3	0.8	6.9	0.3	100.0
60	43.1	16.1	13.8	11.9	1.7	13.1	0.3	100.0

(GENERATION)

1	37.9	14.7	19.9	14.3	0.1	12.7	0.3	100.0
2	38.8	18.3	30.2	6.9	1.0	4.4	0.4	100.0
3	30.3	36.7	24.2	8.3	0.3	0.2	0.0	100.0
DK	50.3	15.7	7.9	0.0	0.0	26.1	0.0	100.0

(JSCALE								
LOW	37.8	29.4	25.0	6.1	1.5	0.0	0.2	100.0
HL	31.9	22.8	33.3	7.9	0.2	3.6	0.2	100.0
MH	37.0	22.2	23.8	9.9	0.0	6.6	0.6	100.0
HIGH	40.0	14.0	15.0	15.0	0.2	15.9	0.0	100.0

(Q 10 A)

TOTAL	56.9	9.0	18.5	15.6	0.1	100.0
-------	------	-----	------	------	-----	-------

(SEX)

MALE	49.7	10.2	19.3	20.6	0.1	100.0
FEMA	65.7	7.5	17.4	9.3	0.2	100.0

(AGE)

-29	60.2	12.7	18.8	8.2	0.0	100.0
30-	47.8	8.7	17.6	5.9	0.0	100.0
40-	45.0	10.0	15.8	29.2	0.0	100.0
50-	73.0	8.3	9.6	8.7	0.4	100.0
60	39.0	5.2	30.1	25.5	0.2	100.0

(GENERATION)

1	43.6	4.3	28.3	23.7	0.2	100.0
2	58.0	9.5	14.6	17.7	0.2	100.0
3	63.4	11.1	18.7	6.7	0.0	100.0
DK	33.0	0.0	0.0	67.0	0.0	100.0

(JSCALE)

LOW	58.5	6.6	14.5	20.4	0.0	100.0
ML	63.7	12.8	15.2	8.0	0.2	100.0
MH	50.9	9.6	21.4	18.1	0.0	100.0
HIGH	45.5	4.1	31.7	18.4	0.3	100.0

(Q 10 B)

TOTAL	51.3	13.1	20.3	12.5	2.7	100.0
-------	------	------	------	------	-----	-------

(SEX)

MALE	37.1	16.3	30.1	13.9	2.6	100.0
FEMA	68.9	9.2	8.3	10.7	2.9	100.0

(AGE)

-29	43.7	18.7	23.6	11.6	2.4	100.0
30-	58.8	17.5	9.7	12.4	1.6	100.0
40-	42.4	4.3	41.0	9.0	3.3	100.0
50-	69.8	8.1	17.1	3.5	1.6	100.0
60	42.2	16.9	10.7	25.4	4.8	100.0

(GENERATION)

1	39.2	20.8	22.7	13.6	3.7	100.0
2	58.2	6.4	20.2	13.3	1.9	100.0
3	48.3	18.8	19.3	10.1	3.5	100.0
DK	47.7	0.0	11.4	41.0	0.0	100.0

(JSCALE)

LOW	49.5	14.5	22.4	12.0	1.7	100.0
ML	60.7	8.7	17.3	11.1	2.3	100.0
MH	52.3	10.0	19.3	16.9	1.5	100.0
HIGH	30.4	26.5	24.7	9.8	8.6	100.0

(Q 10 C)

TOTAL	48.0	12.5	16.1	22.8	0.6	100.0
-------	------	------	------	------	-----	-------

(SEX)

MALE	41.4	10.3	18.2	29.8	0.3	100.0
FEMA	56.3	15.1	13.5	14.2	1.0	100.0

(AGE)

-29	30.4	28.2	14.3	27.1	0.0	100.0
30-	48.8	16.6	18.2	14.8	1.6	100.0
40-	62.6	4.4	10.5	21.0	1.5	100.0
50-	65.1	4.2	16.7	14.0	0.0	100.0
60	33.8	8.9	20.6	36.7	0.1	100.0

(GENERATION)

1	28.0	5.8	34.0	30.6	1.6	100.0
2	63.8	8.5	7.5	20.2	0.0	100.0
3	36.8	22.4	18.6	21.2	1.0	100.0
DK	33.0	0.0	0.0	67.0	0.0	100.0

(JSCALE)

LOW	47.9	15.0	15.3	21.8	0.0	100.0
ML	60.0	10.6	9.3	19.2	1.0	100.0
MH	46.4	13.0	11.2	28.5	0.9	100.0
HIGH	20.6	10.0	43.9	24.6	0.9	100.0

(Q 10 D)

TOTAL	56.5	8.1	14.9	18.9	1.6	100.0
-------	------	-----	------	------	-----	-------

(SEX)

MALE	47.3	7.6	18.2	24.3	2.6	100.0
FEMA	67.9	8.8	10.8	12.2	0.3	100.0

(AGE)

-29	54.3	15.8	9.0	18.6	2.3	100.0
30-	50.2	8.5	25.2	15.8	0.3	100.0
40-	56.3	6.4	24.6	12.2	0.5	100.0
50-	69.2	4.6	6.1	19.4	0.7	100.0
60	52.9	5.4	9.6	28.0	4.2	100.0

(GENERATION)

1	46.8	7.5	12.2	28.5	5.0	100.0
2	65.4	5.8	13.8	14.1	0.9	100.0
3	49.1	12.0	18.4	19.8	0.7	100.0
DK	54.7	0.0	0.0	45.3	0.0	100.0

(JSCALE)

LOW	50.8	10.7	23.4	15.0	0.1	100.0
ML	65.4	4.7	9.4	18.8	1.6	100.0
MH	63.6	9.5	13.3	12.8	0.8	100.0
HIGH	35.4	8.3	10.6	39.1	6.7	100.0

(Q 10 E)						
	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	53.8	11.9	15.9	13.9	4.5	100.0
(SEX)						
MALE	45.8	13.5	17.0	17.1	6.6	100.0
FEMA	63.7	10.0	14.5	9.9	2.0	100.0
(AGE)						
-29	48.9	16.0	16.2	18.2	0.7	100.0
30-	54.2	16.0	22.3	7.5	0.0	100.0
40-	51.7	21.6	9.8	15.2	1.7	100.0
50-	67.4	2.5	20.4	7.8	1.8	100.0
60	46.9	3.7	10.8	20.6	18.0	100.0
(GENERATION)						
1	41.2	7.1	22.0	12.7	17.0	100.0
2	58.3	10.6	15.1	13.5	2.4	100.0
3	54.7	16.9	13.5	14.6	0.4	100.0
DK	43.3	0.0	11.4	45.3	0.0	100.0
(JSCALE)						
LOW	56.1	25.2	9.3	9.0	0.4	100.0
ML	58.7	4.2	19.5	15.0	2.6	100.0
MH	54.5	9.6	13.6	19.1	3.2	100.0
HIGH	34.0	2.9	27.0	14.3	21.8	100.0

(Q 10 F)						
	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	77.0	6.2	7.5	8.4	1.0	100.0
(SEX)						
MALE	73.9	7.7	7.6	9.8	1.0	100.0
FEMA	80.9	4.3	7.3	6.6	0.9	100.0
(AGE)						
-29	69.1	13.6	8.8	8.6	0.0	100.0
30-	84.8	4.3	8.2	2.7	0.0	100.0
40-	85.2	5.3	2.7	6.8	0.0	100.0
50-	85.3	3.8	10.4	0.6	0.0	100.0
60	61.2	3.8	7.3	23.0	4.7	100.0
(GENERATION)						
1	56.2	3.6	18.9	20.9	0.3	100.0
2	85.0	3.0	5.8	5.2	1.1	100.0
3	77.8	12.3	3.4	5.2	1.2	100.0
DK	59.0	0.0	0.0	41.0	0.0	100.0
(JSCALE)						
LOW	86.2	5.7	2.5	5.6	0.0	100.0
ML	75.8	8.1	10.2	4.4	1.5	100.0
MH	83.1	4.8	1.7	10.3	0.1	100.0
HIGH	46.8	4.6	22.6	22.4	3.5	100.0

(Q 10 G)						
	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	67.3	9.3	10.4	11.2	1.8	100.0
(SEX)						
MALE	64.1	10.1	9.5	15.4	1.0	100.0
FEMA	71.3	8.4	11.5	6.0	2.8	100.0
(AGE)						
-29	46.4	20.8	16.7	16.2	0.0	100.0
30-	74.4	4.8	14.0	5.6	1.3	100.0
40-	75.7	7.4	6.1	10.3	0.4	100.0
50-	80.7	5.3	12.1	1.7	0.2	100.0
60	59.6	8.3	3.5	21.8	6.9	100.0
(GENERATION)						
1	47.0	10.1	14.4	25.5	3.1	100.0
2	79.7	5.3	8.8	5.1	1.1	100.0
3	61.2	14.8	10.8	11.2	2.0	100.0
DK	54.7	4.3	0.0	41.0	0.0	100.0
(JSCALE)						
LOW	70.4	7.8	12.0	9.8	0.0	100.0
ML	68.7	12.3	9.0	7.5	2.4	100.0
MH	79.0	4.2	5.8	9.5	1.5	100.0
HIGH	35.8	14.2	18.1	26.9	5.1	100.0

(Q 10 H)						
	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	48.9	23.9	15.1	10.0	2.1	100.0
(SEX)						
MALE	44.4	29.0	13.5	11.4	1.7	100.0
FEMA	54.5	17.6	17.2	8.2	2.5	100.0
(AGE)						
-29	40.1	28.3	12.7	18.9	0.0	100.0
30-	47.8	20.3	29.5	1.8	0.7	100.0
40-	43.5	39.8	11.8	4.9	0.0	100.0
50-	69.2	16.2	6.9	2.8	4.8	100.0
60	44.1	15.1	14.6	21.5	4.8	100.0
(GENERATION)						
1	44.6	17.8	14.1	20.0	3.6	100.0
2	52.9	24.3	11.6	8.3	2.9	100.0
3	45.6	26.9	21.2	6.2	0.0	100.0
DK	45.2	13.8	0.0	41.0	0.0	100.0
(JSCALE)						
LOW	51.8	22.9	16.6	8.0	0.8	100.0
ML	52.7	26.2	12.3	7.8	1.0	100.0
MH	48.8	21.8	17.8	6.7	4.9	100.0
HIGH	32.3	23.9	14.3	26.4	3.1	100.0

(Q 10 I)						
	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	57.0	17.9	16.3	6.5	2.3	100.0
(SEX)						
MALE	52.5	23.0	16.7	6.7	1.1	100.0
FEMA	62.7	11.6	15.8	6.2	3.8	100.0
(AGE)						
-29	55.3	17.1	21.8	5.2	0.6	100.0
30-	58.5	18.1	21.2	2.2	0.0	100.0
40-	61.4	22.0	6.2	10.1	0.2	100.0
50-	66.5	14.7	10.7	5.9	2.1	100.0
60	43.9	17.5	21.2	8.8	8.6	100.0
(GENERATION)						
1	37.6	25.0	24.9	6.9	5.5	100.0
2	67.1	15.9	7.8	7.9	1.2	100.0
3	54.5	16.8	23.2	3.9	1.6	100.0
DK	7.8	9.5	44.4	12.2	26.1	100.0
(JSCALE)						
LOW	53.5	21.5	21.9	2.8	0.4	100.0
ML	69.0	13.3	11.3	5.8	0.7	100.0
MH	53.8	16.7	10.3	13.3	5.9	100.0
HIGH	41.0	22.8	25.6	5.3	5.3	100.0

(Q 11)						
	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	55.3	6.1	34.4	2.1	2.1	100.0
(SEX)						
MALE	65.3	5.6	22.8	3.6	2.7	100.0
FEMA	42.9	6.7	48.7	0.3	1.4	100.0
(AGE)						
-29	38.1	9.8	45.7	0.0	6.4	100.0
30-	46.8	9.7	41.3	0.4	1.8	100.0
40-	57.3	9.6	28.2	4.9	0.0	100.0
50-	73.2	0.0	26.5	0.4	0.0	100.0
60	61.0	1.6	30.1	4.9	2.4	100.0
(GENERATION)						
1	68.7	1.1	25.0	2.6	2.6	100.0
2	58.8	4.6	33.1	3.2	0.2	100.0
3	41.8	11.1	42.1	0.3	4.7	100.0
DK	84.3	11.4	4.3	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)						
LOW	51.0	15.4	29.1	0.3	4.3	100.0
ML	45.1	1.9	47.6	4.5	0.8	100.0
MH	66.2	2.0	29.3	2.5	0.0	100.0
HIGH	73.0	1.0	22.1	0.0	3.9	100.0

(Q 12)						
	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	51.9	26.7	12.6	2.6	6.1	100.0
(SEX)						
MALE	52.3	24.7	15.7	1.8	5.6	100.0
FEMA	51.5	29.3	8.8	3.6	6.8	100.0
(AGE)						
-29	56.4	21.7	17.6	2.7	1.6	100.0
30-	45.1	29.4	13.6	6.0	5.8	100.0
40-	58.3	20.9	11.1	0.6	9.1	100.0
50-	57.9	30.5	5.0	0.2	6.4	100.0
60	42.3	30.9	15.6	3.5	7.6	100.0
(GENERATION)						
1	50.3	25.4	17.2	3.5	3.6	100.0
2	55.7	26.1	8.0	1.3	8.9	100.0
3	46.8	28.6	16.8	4.1	3.6	100.0
DK	80.7	19.3	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)						
LOW	56.6	25.3	13.5	2.7	1.9	100.0
ML	57.3	24.6	9.0	3.0	6.1	100.0
MH	37.5	39.8	10.3	1.2	11.2	100.0
HIGH	51.2	13.1	23.6	4.0	8.1	100.0

(Q 13)						
	1	2	3	4	TOTAL	
TOTAL	83.3	12.1	3.9	0.7	100.0	
(SEX)						
MALE	85.0	11.0	2.9	1.1	100.0	
FEMA	81.3	13.4	5.1	0.2	100.0	
(AGE)						
-29	94.4	2.9	2.4	0.3	100.0	
30-	84.3	9.5	6.3	0.0	100.0	
40-	90.0	6.7	2.7	0.6	100.0	
50-	86.0	8.8	5.2	0.0	100.0	
60	62.6	31.9	3.0	2.5	100.0	
(GENERATION)						
1	72.2	24.0	3.4	0.5	100.0	
2	83.4	11.2	4.1	1.3	100.0	
3	89.5	6.5	4.1	0.0	100.0	
DK	92.2	7.8	0.0	0.0	100.0	
(JSCALE)						
LOW	86.3	8.5	5.1	0.0	100.0	
ML	87.7	7.9	2.6	1.8	100.0	
MH	79.9	13.8	6.0	0.3	100.0	
HIGH	70.5	28.5	0.8	0.2	100.0	

(Q 14)
 TOTAL 88.0 9.9 2.1 100.0

(SEX)
 MALE 85.7 12.3 2.0 100.0
 FEMA 90.8 7.0 2.3 100.0

(AGE)
 -29 87.7 10.4 1.9 100.0
 30- 94.5 2.9 2.5 100.0
 40- 91.7 5.0 3.3 100.0
 50- 89.1 9.1 1.8 100.0
 60 77.1 21.9 1.0 100.0

(GENERATION)
 1 78.2 21.1 0.7 100.0
 2 90.0 7.3 2.7 100.0
 3 91.0 6.9 2.1 100.0
 DK 66.9 33.1 0.0 100.0

(JSCALE)
 LOW 90.8 7.5 1.7 100.0
 ML 94.6 4.5 0.9 100.0
 MH 80.8 14.9 4.4 100.0
 HIGH 76.5 21.3 2.2 100.0

(Q 15)
 TOTAL 16.3 21.2 12.2 40.9 7.8 1.7 100.0

(SEX)
 MALE 18.6 20.4 15.5 37.1 7.3 1.2 100.0
 FEMA 13.5 22.2 8.0 45.6 8.4 2.3 100.0

(AGE)
 -29 8.7 11.4 10.0 60.7 8.2 1.0 100.0
 30- 26.4 7.8 3.6 55.8 5.9 0.5 100.0
 40- 4.2 34.1 8.7 39.1 13.8 0.0 100.0
 50- 13.4 33.9 22.2 29.9 0.7 0.0 100.0
 60 28.4 19.0 16.5 19.4 10.1 6.7 100.0

(GENERATION)
 1 26.7 16.4 15.4 29.8 9.8 1.9 100.0
 2 10.9 30.5 14.6 35.9 6.0 2.2 100.0
 3 18.6 9.8 6.8 55.4 8.7 0.8 100.0
 DK 0.0 45.2 13.8 7.9 33.1 0.0 100.0

(JSCALE)
 LOW 15.0 21.4 7.9 44.2 11.2 0.3 100.0
 ML 12.3 28.1 12.9 40.9 3.6 2.1 100.0
 MH 11.8 18.5 16.6 43.5 7.4 2.3 100.0
 HIGH 37.6 7.6 13.5 28.2 10.5 2.7 100.0

(Q 16)
 TOTAL 8.0 4.8 35.9 25.5 19.2 2.4 3.4 0.7 100.0

(SEX)
 MALE 6.7 4.8 40.9 18.1 23.3 1.1 4.0 1.0 100.0
 FEMA 9.5 4.8 29.6 34.6 14.2 4.1 2.7 0.4 100.0

(AGE)
 -29 1.3 7.8 50.0 20.6 10.0 5.9 4.3 0.0 100.0
 30- 23.8 2.5 24.9 19.0 23.0 1.6 4.8 0.2 100.0
 40- 5.7 3.5 47.1 26.5 12.2 0.9 3.1 1.1 100.0
 50- 1.5 6.4 35.8 25.4 26.9 1.5 2.5 2.5 100.0
 60 7.3 3.9 22.1 35.8 24.0 2.2 2.5 2.3 100.0

(GENERATION)
 1 4.8 3.8 32.8 26.8 25.2 3.5 1.2 1.9 100.0
 2 5.8 4.6 34.2 32.1 18.3 0.5 3.7 0.8 100.0
 3 12.6 5.3 40.7 15.4 17.1 4.6 4.4 0.0 100.0
 DK 33.1 35.6 0.0 7.9 19.2 4.3 0.0 0.0 100.0

(JSCALE)
 LOW 12.6 3.2 44.3 15.7 16.9 4.8 1.3 1.1 100.0
 ML 5.8 6.6 33.0 27.4 23.0 1.3 3.0 0.0 100.0
 MH 6.0 6.9 33.3 32.2 10.4 1.3 8.3 1.5 100.0
 HIGH 5.6 0.8 26.6 33.6 30.5 1.4 1.5 0.2 100.0

(Q 17)
 TOTAL 19.9 77.8 0.9 1.4 100.0

(SEX)
 MALE 18.3 80.5 1.0 0.2 100.0
 FEMA 21.8 74.5 0.8 2.8 100.0

(AGE)
 -29 25.1 74.5 0.4 0.0 100.0
 30- 15.4 82.1 2.5 0.0 100.0
 40- 9.7 88.8 0.6 1.0 100.0
 50- 19.6 79.0 0.7 0.7 100.0
 60 29.4 65.0 0.4 5.2 100.0

(GENERATION)
 1 21.1 77.8 0.9 0.1 100.0
 2 21.0 76.1 0.4 2.4 100.0
 3 17.5 80.8 1.6 0.0 100.0
 DK 20.9 46.1 0.0 33.1 100.0

(JSCALE)
 LOW 11.4 87.6 0.5 0.6 100.0
 ML 21.7 74.9 0.6 2.8 100.0
 MH 28.2 68.4 2.2 1.2 100.0
 HIGH 21.9 77.4 0.6 0.0 100.0

(Q 19 A)

TOTAL	2.3	0.0	0.4	2.8	2.6	1.1	90.3	0.6	100.0
(SEX)									
MALE	0.6	0.0	0.6	2.5	3.4	1.1	90.7	1.0	100.0
FEMALE	4.3	0.0	0.0	3.1	1.6	1.0	89.9	0.0	100.0

(AGE)

-29	0.1	0.0	1.0	0.0	8.4	0.2	90.2	0.0	100.0
30-	3.2	0.0	0.1	0.0	3.4	1.0	92.5	0.0	100.0
40-	0.0	0.0	0.7	1.3	0.0	1.6	96.4	0.0	100.0
50-	0.0	0.0	0.0	5.1	0.4	1.1	93.1	0.4	100.0
60	7.8	0.0	0.1	7.6	0.7	1.5	80.0	2.4	100.0

(GENERATION)

1	6.7	0.0	0.1	0.2	0.1	1.0	89.5	2.6	100.0
2	0.7	0.0	0.7	5.8	1.3	1.2	90.3	0.0	100.0
3	2.0	0.0	0.0	2.0	0.8	0.9	91.0	0.3	100.0
DK	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	90.5	0.0	100.0

(JSCALE)

LOW	3.1	0.0	0.0	0.7	2.4	1.3	92.2	0.3	100.0
HL	0.0	0.0	1.1	6.4	4.8	1.4	86.3	0.0	100.0
MH	0.0	0.0	0.0	2.0	0.9	0.9	93.9	2.2	100.0
HIGH	10.0	0.0	0.1	0.3	0.0	0.0	89.7	0.0	100.0

(Q 19 C)

TOTAL	4.1	2.8	8.8	20.9	12.6	17.9	32.8	0.1	100.0
(SEX)									
MALE	2.6	2.7	8.6	22.6	12.6	19.6	31.0	0.1	100.0
FEMALE	5.9	3.0	9.1	18.8	12.5	15.7	34.9	0.1	100.0

(AGE)

-29	1.0	3.8	20.2	23.9	9.1	23.3	18.7	0.0	100.0
30-	5.4	3.1	3.6	13.4	12.2	21.9	40.0	0.4	100.0
40-	0.0	0.4	8.1	35.3	8.4	21.3	25.9	0.2	100.0
50-	1.7	1.3	9.7	22.9	8.7	12.8	42.9	0.0	100.0
60	11.9	5.5	2.7	9.5	24.1	10.3	36.1	0.0	100.0

(GENERATION)

1	9.5	3.7	1.3	9.8	27.1	6.8	42.0	0.0	100.0
2	2.9	1.1	11.4	24.0	7.3	20.5	32.7	0.2	100.0
3	2.9	5.0	9.3	22.7	12.2	20.8	27.2	0.0	100.0
DK	0.0	0.0	11.4	30.4	0.0	0.0	50.5	7.8	100.0

(JSCALE)

LOW	3.5	1.6	6.7	18.4	10.9	28.7	30.0	0.1	100.0
HL	3.6	3.8	12.3	27.9	10.7	12.9	28.5	0.2	100.0
MH	1.7	2.2	11.4	22.6	10.1	17.5	34.5	0.0	100.0
HIGH	10.9	4.4	0.5	6.2	26.0	4.4	47.6	0.0	100.0

(Q 19 B)

TOTAL	2.5	0.2	0.2	2.1	3.5	12.6	78.9	0.0	100.0
(SEX)									
MALE	1.1	0.2	0.4	1.8	4.9	13.3	78.4	0.0	100.0
FEMALE	4.3	0.1	0.0	2.4	1.9	11.8	79.5	0.0	100.0

(AGE)

-29	0.0	0.0	1.0	3.0	7.0	18.4	70.5	0.0	100.0
30-	3.2	0.0	0.0	0.5	5.4	16.9	74.0	0.0	100.0
40-	0.0	0.7	0.0	2.6	3.4	7.8	84.5	0.0	100.0
50-	0.0	0.0	0.0	2.9	10.7	10.7	85.7	0.0	100.0
60	9.0	0.2	0.0	1.3	1.2	9.3	79.0	0.0	100.0

(GENERATION)

1	9.6	0.3	0.0	0.3	1.9	8.7	79.3	0.0	100.0
2	0.0	0.3	0.4	2.8	1.3	10.9	84.3	0.0	100.0
3	2.0	0.0	0.0	2.0	7.6	17.4	70.9	0.0	100.0
DK	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	12.1	78.4	0.0	100.0

(JSCALE)

LOW	2.0	0.0	0.0	1.9	4.8	8.7	82.6	0.0	100.0
HL	0.0	0.4	0.6	2.4	3.1	19.0	74.5	0.0	100.0
MH	2.6	0.0	0.0	2.6	4.0	9.8	80.9	0.0	100.0
HIGH	9.7	0.4	0.0	0.4	0.7	11.0	77.8	0.0	100.0

(Q 19 D)

TOTAL	1.9	1.3	1.2	8.1	9.4	18.3	59.8	0.0	100.0
(SEX)									
MALE	0.3	0.9	0.4	10.2	8.8	17.8	61.5	0.0	100.0
FEMALE	3.9	1.7	2.2	5.5	10.1	18.9	57.7	0.0	100.0

(AGE)

-29	0.9	1.8	0.0	3.7	11.3	42.1	40.3	0.0	100.0
30-	0.4	0.9	0.7	3.2	14.8	16.4	63.5	0.0	100.0
40-	0.0	0.2	4.3	5.5	9.6	15.8	64.6	0.0	100.0
50-	0.0	0.0	2.3	16.0	2.4	9.2	70.1	0.0	100.0
60	8.1	1.2	1.2	12.0	8.6	8.2	60.7	0.0	100.0

(GENERATION)

1	6.4	1.5	0.7	6.5	5.2	9.2	70.4	0.0	100.0
2	0.4	1.1	0.8	11.9	9.6	15.3	60.9	0.0	100.0
3	1.5	1.4	2.2	3.4	11.5	28.2	51.9	0.0	100.0
DK	0.0	0.0	0.0	7.9	13.8	0.0	78.3	0.0	100.0

(JSCALE)

LOW	0.8	1.1	2.5	2.8	3.7	23.9	65.3	0.0	100.0
HL	0.0	0.7	0.9	15.9	14.8	23.1	44.7	0.0	100.0
MH	0.0	3.1	0.6	4.6	14.0	10.8	65.0	0.0	100.0
HIGH	12.8	0.0	0.0	3.8	1.8	5.2	76.3	0.0	100.0

(Q 19 E)	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
TOTAL	1.7	0.6	0.2	1.6	1.4	7.4	86.8	0.2	100.0
(SEX)									
MALE	0.7	0.2	0.3	1.5	1.2	8.1	89.1	0.0	100.0
FEMA	3.0	1.0	0.1	1.8	1.7	6.5	85.2	0.5	100.0
(AGE)									
-29	0.0	0.5	0.0	1.5	0.4	6.0	91.6	0.0	100.0
30-	0.5	0.0	0.3	0.9	1.2	12.9	84.2	0.0	100.0
40-	0.0	0.1	0.7	1.6	2.0	10.8	84.8	0.0	100.0
50-	0.0	2.3	0.0	1.6	1.5	4.0	90.7	0.0	100.0
60	8.0	0.0	0.1	2.6	1.9	3.4	82.9	1.2	100.0
(GENERATION)									
1	7.0	0.6	0.1	4.4	1.4	3.2	82.2	1.3	100.0
2	0.7	1.0	0.3	1.1	2.1	7.8	87.1	0.0	100.0
3	0.3	0.0	0.2	0.8	0.3	9.3	89.2	0.0	100.0
DK	0.0	0.0	0.0	0.0	11.4	13.8	74.8	0.0	100.0
(JSCALE)									
LOW	1.3	0.1	0.0	1.2	1.9	5.2	90.4	0.0	100.0
ML	0.1	0.0	0.5	1.6	1.4	11.7	86.8	0.0	100.0
MH	0.0	2.0	0.0	0.3	1.1	7.1	88.4	1.1	100.0
HIGH	10.3	0.8	0.1	5.0	1.0	2.5	80.3	0.0	100.0
(Q 19 F)	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
TOTAL	5.9	3.7	5.4	10.9	9.4	12.9	51.9	0.0	100.0
(SEX)									
MALE	7.4	4.9	4.5	12.3	8.8	13.4	48.6	0.0	100.0
FEMA	4.0	2.2	6.5	9.1	10.0	12.2	55.9	0.0	100.0
(AGE)									
-29	4.7	6.4	4.5	20.4	12.2	16.3	35.4	0.0	100.0
30-	2.0	2.2	8.5	9.8	11.4	20.3	45.7	0.0	100.0
40-	2.7	0.2	5.9	15.9	11.7	7.8	55.8	0.0	100.0
50-	0.3	5.6	2.4	4.5	4.5	12.6	69.4	0.0	100.0
60	19.2	4.1	5.5	3.2	6.9	7.4	53.2	0.1	100.0
(GENERATION)									
1	22.2	5.3	6.7	5.8	7.0	4.6	48.3	0.1	100.0
2	1.1	2.0	4.6	10.0	8.5	13.3	60.5	0.0	100.0
3	3.3	5.4	5.9	15.2	12.1	17.3	40.9	0.0	100.0
DK	11.4	0.0	0.0	4.3	9.5	0.0	74.8	0.0	100.0
(JSCALE)									
LOW	3.0	4.3	4.7	14.4	11.3	9.4	52.8	0.0	100.0
ML	2.4	1.5	6.1	9.9	6.8	18.0	55.3	0.0	100.0
MH	0.4	6.4	7.0	11.0	11.2	13.9	50.1	0.1	100.0
HIGH	31.4	3.5	2.4	4.4	8.0	6.6	43.8	0.0	100.0
(Q 19 G)	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
TOTAL	14.2	10.5	8.5	15.5	12.8	12.2	24.2	2.2	100.0
(SEX)									
MALE	14.8	14.6	11.8	14.5	11.2	8.8	22.5	1.8	100.0
FEMA	13.4	5.5	4.4	16.7	14.8	16.3	26.2	2.7	100.0
(AGE)									
-29	12.8	4.3	9.6	14.7	25.1	26.6	6.9	0.0	100.0
30-	7.4	8.2	5.9	21.3	15.9	11.2	30.2	0.0	100.0
40-	27.9	11.3	6.8	17.8	4.9	10.5	20.8	0.0	100.0
50-	9.1	9.8	17.8	13.4	6.2	36.4	0.7	100.0	
60	13.8	18.5	2.7	10.1	11.8	6.6	26.6	10.2	100.0
(GENERATION)									
1	11.7	19.0	11.9	8.1	7.1	7.1	29.0	6.1	100.0
2	17.2	11.1	6.6	13.7	10.4	13.1	26.4	1.3	100.0
3	10.6	4.5	9.4	22.0	19.9	13.9	18.6	1.2	100.0
DK	45.2	12.2	0.0	33.1	0.0	9.5	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)									
LOW	21.7	9.3	6.1	16.9	17.1	13.1	15.8	0.0	100.0
ML	4.7	9.1	7.9	14.9	15.6	17.0	28.0	2.7	100.0
MH	16.1	6.8	9.4	18.9	8.1	6.7	31.7	2.5	100.0
HIGH	16.5	23.3	14.3	7.3	3.2	7.3	22.3	5.9	100.0
(Q 20)	1	2	3	4	5	6	7	TOTAL	
TOTAL	63.5	17.7	11.0	6.1	1.8	0.0	0.0	100.0	
(SEX)									
MALE	65.3	16.5	10.7	5.8	1.6	0.0	0.0	100.0	
FEMA	61.1	19.1	11.3	6.4	2.0	0.0	0.0	100.0	
(AGE)									
-29	40.5	31.2	21.4	5.9	1.0	0.0	0.0	100.0	
30-	51.2	13.8	19.6	12.3	3.1	0.1	0.0	100.0	
40-	66.5	17.6	7.5	7.8	0.5	0.0	0.0	100.0	
50-	75.9	15.5	4.3	0.6	3.8	0.0	0.0	100.0	
60	82.8	10.6	2.1	3.8	0.6	0.0	0.0	100.0	
(GENERATION)									
1	70.5	19.3	3.4	4.2	2.5	0.0	0.0	100.0	
2	74.2	15.0	5.6	4.3	0.8	0.0	0.0	100.0	
3	43.1	21.0	23.4	9.9	2.5	0.1	0.0	100.0	
DK	84.3	0.0	0.0	0.0	15.7	0.0	0.0	100.0	
(JSCALE)									
LOW	48.0	19.0	16.8	15.1	1.1	0.1	0.0	100.0	
ML	72.8	15.5	7.8	0.7	3.3	0.0	0.0	100.0	
MH	69.9	15.8	12.7	1.5	0.3	0.0	0.0	100.0	
HIGH	66.5	23.5	1.6	6.1	2.3	0.0	0.0	100.0	

(Q 21)
 TOTAL 67.3 15.7 11.3 0.8 4.8 100.0

(SEX)
 MALE 62.5 16.5 14.8 1.4 4.8 100.0
 FEMA 73.3 14.7 7.0 0.2 4.8 100.0

(AGE)
 -29 72.2 9.5 11.5 0.0 6.9 100.0
 30- 73.7 12.5 12.5 1.3 0.0 100.0
 40- 69.5 20.9 9.5 0.0 0.0 100.0
 50- 57.9 24.6 11.9 0.4 5.2 100.0
 60 63.4 11.1 11.0 2.5 12.0 100.0

(GENERATION)
 1 60.1 10.1 21.8 0.0 7.9 100.0
 2 68.8 20.3 5.8 1.2 3.9 100.0
 3 70.5 11.2 13.1 0.8 4.5 100.0
 DK 7.9 71.2 20.9 0.0 0.0 100.0

(USCALE)
 LOW 75.6 14.8 4.8 0.0 4.7 100.0
 ML 69.7 16.0 10.0 1.0 3.3 100.0
 MH 56.9 22.6 13.7 2.4 4.4 100.0
 HIGH 58.7 5.1 26.4 0.0 9.8 100.0

(Q 23)
 TOTAL 21.1 69.3 9.4 0.1 100.0

(SEX)
 MALE 30.5 62.8 6.4 0.2 100.0
 FEMA 9.5 77.4 13.0 0.0 100.0

(AGE)
 -29 19.6 69.7 10.1 0.7 100.0
 30- 7.3 71.7 21.0 0.0 100.0
 40- 24.9 70.0 5.1 0.0 100.0
 50- 26.2 67.6 6.3 0.0 100.0
 60 27.7 67.8 4.5 0.1 100.0

(GENERATION)
 1 23.2 73.4 3.4 0.1 100.0
 2 23.2 66.9 7.9 0.0 100.0
 3 14.1 70.4 15.1 0.4 100.0
 DK 13.8 78.3 7.9 0.0 100.0

(USCALE)
 LOW 25.0 67.4 7.6 0.0 100.0
 ML 19.8 68.2 11.6 0.4 100.0
 MH 16.1 71.9 12.0 0.1 100.0
 HIGH 23.7 72.7 3.7 0.0 100.0

(Q 22)
 TOTAL 23.1 59.9 13.7 2.3 1.0 100.0

(SEX)
 MALE 23.9 59.7 14.9 0.4 1.1 100.0
 FEMA 22.1 60.1 12.3 4.7 0.9 100.0

(AGE)
 -29 2.2 85.1 11.5 1.1 0.0 100.0
 30- 27.3 64.5 7.9 0.2 0.0 100.0
 40- 12.3 73.9 13.8 0.0 0.0 100.0
 50- 39.4 51.0 6.4 2.5 0.4 100.0
 60 33.7 25.9 28.5 7.5 4.5 100.0

(GENERATION)
 1 33.2 34.1 24.7 8.0 0.0 100.0
 2 26.3 63.5 9.2 1.1 1.9 100.0
 3 15.3 69.5 14.3 0.7 0.3 100.0
 DK 33.9 66.1 0.0 0.0 0.0 100.0

(USCALE)
 LOW 18.1 66.3 15.0 0.4 0.3 100.0
 ML 22.3 69.5 6.0 0.6 1.5 100.0
 MH 27.9 55.7 12.5 2.0 1.8 100.0
 HIGH 29.2 26.5 32.5 11.9 0.0 100.0

(Q 24)
 TOTAL 38.4 51.3 6.7 1.8 1.8 100.0

(SEX)
 MALE 35.0 52.7 8.7 1.6 1.9 100.0
 FEMA 42.6 49.4 4.3 2.1 1.6 100.0

(AGE)
 -29 26.2 63.1 10.2 0.5 0.0 100.0
 30- 32.3 55.0 7.9 4.6 0.2 100.0
 40- 34.4 62.9 2.4 0.0 0.3 100.0
 50- 56.7 33.2 6.3 0.0 3.8 100.0
 60 42.5 42.2 6.8 3.9 4.6 100.0

(GENERATION)
 1 39.5 51.1 5.8 2.4 1.3 100.0
 2 39.1 51.1 5.5 1.1 3.2 100.0
 3 37.1 51.1 9.2 2.6 0.0 100.0
 DK 20.9 79.1 0.0 0.0 0.0 100.0

(USCALE)
 LOW 37.5 53.2 6.7 1.8 0.8 100.0
 ML 38.9 52.0 4.8 1.1 3.3 100.0
 MH 38.5 47.9 9.4 2.3 1.9 100.0
 HIGH 39.4 50.2 7.0 3.0 0.4 100.0

(Q 25)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 42.8 35.3 19.7 0.7 1.5 100.0

(SEX)
 MALE 40.1 35.9 21.9 0.5 1.6 100.0
 FEMALE 46.2 34.6 17.0 0.8 1.3 100.0

(AGE)
 -29 75.0 16.4 8.3 0.3 0.0 100.0
 30- 48.9 29.6 20.0 1.5 0.0 100.0
 40- 55.1 27.4 16.1 1.1 0.3 100.0
 50- 20.9 55.0 23.3 0.4 0.4 100.0
 60 14.7 46.1 30.7 0.0 6.5 100.0

(GENERATION)
 1 18.7 34.0 39.8 0.3 7.1 100.0
 2 39.2 42.7 16.7 1.2 0.2 100.0
 3 62.3 25.4 12.3 0.0 0.9 100.0
 DK 28.8 30.4 33.1 0.0 7.8 100.0

(JSCALE)
 LOW 59.2 30.8 9.1 0.7 0.1 100.0
 ML 45.9 35.8 18.0 0.0 0.2 100.0
 MH 32.4 43.9 20.8 2.0 0.9 100.0
 HIGH 12.2 30.4 48.7 0.0 8.8 100.0

(Q 27)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 76.7 22.0 1.2 0.2 100.0

(SEX)
 MALE 74.1 24.7 1.2 0.0 100.0
 FEMALE 79.9 18.6 1.1 0.4 100.0

(AGE)
 -29 74.4 23.6 2.0 0.0 100.0
 30- 75.5 22.8 1.7 0.0 100.0
 40- 56.8 42.4 0.7 0.0 100.0
 50- 83.8 14.8 1.4 0.0 100.0
 60 92.5 6.5 0.1 0.8 100.0

(GENERATION)
 1 90.5 8.5 0.1 0.9 100.0
 2 72.0 26.8 1.3 0.0 100.0
 3 76.4 21.9 1.7 0.0 100.0
 DK 29.5 70.5 0.0 0.0 100.0

(JSCALE)
 LOW 66.3 33.3 0.4 0.0 100.0
 ML 78.3 19.1 2.6 0.0 100.0
 MH 77.0 21.4 0.9 0.7 100.0
 HIGH 97.8 2.2 0.0 0.0 100.0

(Q 26)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 52.7 32.8 9.6 1.6 3.3 100.0

(SEX)
 MALE 53.6 30.7 10.9 1.5 3.4 100.0
 FEMALE 51.6 35.4 8.1 1.7 3.2 100.0

(AGE)
 -29 53.0 36.8 6.6 1.6 2.0 100.0
 30- 51.4 40.1 4.7 1.5 2.3 100.0
 40- 45.1 47.4 6.8 0.0 0.7 100.0
 50- 68.3 23.0 3.0 2.3 3.5 100.0
 60 46.0 17.2 25.5 2.5 7.9 100.0

(GENERATION)
 1 53.5 16.6 25.4 0.0 4.5 100.0
 2 52.4 35.1 5.4 2.6 4.5 100.0
 3 52.8 38.8 6.5 1.0 0.9 100.0
 DK 43.3 37.4 19.3 0.0 0.0 100.0

(JSCALE)
 LOW 47.5 48.2 2.1 1.0 1.2 100.0
 ML 60.4 27.0 6.6 0.0 6.1 100.0
 MH 46.3 31.2 14.1 5.6 2.8 100.0
 HIGH 56.8 12.6 28.1 0.0 2.5 100.0

(Q 28)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 42.8 22.9 33.5 0.8 100.0

(SEX)
 MALE 51.5 17.4 30.5 0.6 100.0
 FEMALE 32.1 29.6 37.1 1.2 100.0

(AGE)
 -29 11.6 34.4 51.9 2.1 100.0
 30- 33.0 18.5 47.7 0.8 100.0
 40- 54.9 16.1 28.7 0.3 100.0
 50- 52.7 27.7 18.7 0.8 100.0
 60 61.5 17.8 20.4 0.2 100.0

(GENERATION)
 1 56.8 23.9 18.6 0.6 100.0
 2 50.7 19.0 29.7 0.6 100.0
 3 22.5 28.0 48.1 1.4 100.0
 DK 80.7 11.4 7.9 0.0 100.0

(JSCALE)
 LOW 34.6 18.3 45.6 1.5 100.0
 ML 41.5 30.1 27.9 0.5 100.0
 MH 50.0 8.2 41.0 0.8 100.0
 HIGH 54.4 40.9 4.7 0.0 100.0

(Q 29	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	10.9	21.5	67.0	0.6	100.0
(SEX)				
MALE	9.9	25.0	64.1	0.9	100.0
FEMA	12.2	17.2	70.5	0.2	100.0
(AGE)				
-29	1.3	25.4	73.3	0.0	100.0
30-	9.2	27.4	63.4	0.0	100.0
40-	1.5	21.0	77.5	0.0	100.0
50-	4.9	14.6	78.2	0.4	100.0
60	35.2	19.1	43.3	2.5	100.0
(GENERATION)				
1	28.1	25.5	43.7	2.7	100.0
2	6.5	16.7	76.7	0.2	100.0
3	7.3	26.5	66.2	0.0	100.0
DK	26.1	4.3	69.6	0.0	100.0
(JSCALE)				
LOW	8.1	20.1	71.7	0.0	100.0
ML	4.2	25.0	70.8	0.0	100.0
MH	11.0	18.7	67.7	2.6	100.0
HIGH	35.2	20.8	44.0	0.0	100.0
(Q 30	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	79.9	7.6	8.9	3.6	100.0
(SEX)				
MALE	77.7	8.3	9.7	4.3	100.0
FEMA	82.7	6.7	8.0	2.6	100.0
(AGE)				
-29	80.5	4.5	8.4	6.7	100.0
30-	82.6	4.0	9.9	3.5	100.0
40-	86.3	7.2	6.0	0.5	100.0
50-	89.8	5.1	4.8	0.3	100.0
60	61.0	16.8	15.4	6.8	100.0
(GENERATION)				
1	64.5	15.4	14.4	5.6	100.0
2	86.0	6.1	5.6	2.3	100.0
3	79.6	5.3	10.9	4.3	100.0
DK	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)				
LOW	80.4	5.6	8.6	5.4	100.0
ML	87.7	3.7	6.1	2.5	100.0
MH	78.8	11.2	8.9	1.1	100.0
HIGH	60.7	16.1	17.3	5.9	100.0
(Q 31	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	69.6	22.7	4.9	2.8	100.0
(SEX)				
MALE	65.2	29.5	3.9	1.4	100.0
FEMA	75.0	14.3	6.2	4.5	100.0
(AGE)				
-29	75.7	15.0	7.4	1.9	100.0
30-	78.9	16.1	3.8	1.2	100.0
40-	58.9	34.6	4.6	2.0	100.0
50-	74.8	20.3	2.7	2.2	100.0
60	59.7	27.5	6.1	6.6	100.0
(GENERATION)				
1	52.4	31.1	9.5	7.0	100.0
2	71.3	24.3	2.5	1.9	100.0
3	77.1	15.2	5.9	1.7	100.0
DK	64.4	35.6	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)				
LOW	71.0	24.6	3.3	1.2	100.0
ML	73.1	19.6	4.7	2.6	100.0
MH	72.1	21.1	4.4	2.4	100.0
HIGH	52.7	28.9	10.5	7.9	100.0
(Q 32	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	76.1	18.6	2.9	2.4	100.0
(SEX)				
MALE	73.2	22.2	2.9	1.7	100.0
FEMA	79.6	14.1	3.0	3.4	100.0
(AGE)				
-29	76.6	16.4	5.2	1.7	100.0
30-	80.1	14.7	3.8	1.5	100.0
40-	66.5	28.4	3.5	1.5	100.0
50-	79.0	17.2	2.3	1.5	100.0
60	78.0	16.2	0.0	5.8	100.0
(GENERATION)				
1	70.3	22.9	1.3	5.6	100.0
2	79.1	17.1	2.2	1.6	100.0
3	75.1	17.9	5.1	1.8	100.0
DK	64.4	35.6	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)				
LOW	70.4	25.7	2.4	1.5	100.0
ML	78.4	15.2	4.3	2.1	100.0
MH	78.6	15.3	3.5	2.6	100.0
HIGH	79.7	14.9	0.0	5.5	100.0

(Q 33)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 44.9 14.4 33.6 5.7 1.5 100.0

(SEX)
 MALE 49.2 16.1 26.8 6.2 1.7 100.0
 FEMA 39.6 12.2 42.0 5.1 1.2 100.0

(AGE)
 -29 49.5 8.6 25.9 15.6 0.5 100.0
 30- 22.6 18.4 50.2 7.5 1.2 100.0
 40- 44.2 5.8 43.8 5.2 1.0 100.0
 50- 56.5 9.5 33.8 0.2 0.0 100.0
 60 51.7 28.9 14.6 0.2 4.6 100.0

(GENERATION)
 1 51.3 27.2 16.4 1.7 3.4 100.0
 2 49.5 8.7 37.9 2.3 1.5 100.0
 3 34.8 15.3 36.6 13.1 0.3 100.0
 DK 15.7 9.5 74.8 0.0 0.0 100.0

(JSCALE)
 LOW 33.4 11.9 42.9 10.2 1.7 100.0
 ML 53.6 9.2 31.1 5.8 0.4 100.0
 MH 40.6 15.3 38.6 1.9 3.5 100.0
 HIGH 58.4 31.9 8.6 0.8 0.3 100.0

(Q35)
 1 2 3 4 TOTAL
 TOTAL 82.3 42.4 33.6 32.5 190.8

(SEX)
 MALE 79.5 47.9 30.0 29.1 186.6
 FEMA 85.7 35.7 38.0 36.7 196.1

(AGE)
 -29 74.7 26.9 49.7 48.4 199.7
 30- 83.5 25.4 45.8 43.4 198.2
 40- 86.5 44.7 28.6 39.7 199.5
 50- 81.0 46.5 25.1 19.2 171.8
 60 85.5 68.3 18.8 12.3 185.0

(GENERATION)
 1 77.7 65.9 18.1 12.1 173.7
 2 86.4 41.7 28.2 34.1 192.4
 3 75.6 29.2 50.9 42.6 198.3
 DK 100.0 84.3 11.4 4.3 200.0

(JSCALE)
 LOW 80.4 32.7 41.1 45.3 197.5
 ML 85.6 41.2 38.3 32.6 197.7
 MH 84.0 44.1 25.1 30.2 185.4
 HIGH 75.7 63.6 17.4 9.4 166.1

(Q 34)
 1 2 3 4 5 TOTAL
 TOTAL 17.6 49.7 26.5 1.8 4.3 100.0

(SEX)
 MALE 18.9 45.0 26.2 2.4 7.5 100.0
 FEMA 16.1 55.6 27.0 1.0 0.3 100.0

(AGE)
 -29 12.3 60.6 24.3 2.7 0.0 100.0
 30- 23.7 50.2 25.1 0.5 0.6 100.0
 40- 14.7 60.3 23.6 0.8 0.6 100.0
 50- 13.9 35.8 28.3 3.5 18.5 100.0
 60 23.2 42.0 31.4 1.4 2.1 100.0

(GENERATION)
 1 22.4 38.2 36.2 2.5 0.7 100.0
 2 17.1 46.9 25.9 1.5 8.5 100.0
 3 15.4 60.2 22.4 1.8 0.4 100.0
 DK 26.1 73.9 0.0 0.0 0.0 100.0

(JSCALE)
 LOW 12.3 64.2 20.7 1.7 1.2 100.0
 ML 15.1 49.8 22.7 0.6 11.8 100.0
 MH 28.4 33.5 34.4 3.5 0.2 100.0
 HIGH 18.7 41.7 37.5 2.2 0.0 100.0

(Q 36)
 1 2 3 4 5 6 TOTAL
 TOTAL 69.5 14.9 10.0 5.6 100.0

(SEX)
 MALE 66.1 16.4 8.9 8.6 100.0
 FEMA 73.7 13.0 11.5 1.8 100.0

(AGE)
 -29 80.9 6.5 12.6 0.0 100.0
 30- 63.9 21.1 10.9 4.1 100.0
 40- 77.8 7.2 12.9 2.2 100.0
 50- 58.8 21.3 5.8 14.1 100.0
 60 66.3 18.1 8.1 7.5 100.0

(GENERATION)
 1 70.2 12.3 9.8 7.6 100.0
 2 66.2 16.4 8.8 8.6 100.0
 3 74.2 14.1 11.5 0.1 100.0
 DK 53.9 12.1 34.0 0.0 100.0

(JSCALE)
 LOW 82.2 12.4 3.3 2.1 100.0
 ML 64.5 11.7 13.3 10.5 100.0
 MH 57.4 21.6 15.7 5.2 100.0
 HIGH 71.8 17.1 8.6 2.4 100.0

(Q 37	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	21.3	67.0	5.5	6.3	100.0
(SEX					
MALE	17.1	71.9	2.2	8.9	100.0
FEMA	26.5	60.8	9.6	3.1	100.0
(AGE					
-29	24.1	61.9	13.9	0.0	100.0
30-	12.1	74.7	9.2	3.9	100.0
40-	18.0	76.5	3.3	2.2	100.0
50-	25.2	58.8	1.2	14.8	100.0
60	26.8	62.7	0.0	10.4	100.0
(GENERATION					
1	18.8	74.9	1.9	4.4	100.0
2	23.6	60.7	6.5	9.1	100.0
3	19.2	71.5	6.2	3.2	100.0
DK	25.2	67.0	0.0	7.8	100.0
(JSCALE					
LOW	18.2	72.9	5.3	3.7	100.0
ML	25.2	55.1	7.9	11.7	100.0
MH	20.8	70.5	5.4	3.3	100.0
HIGH	19.5	76.5	0.0	4.0	100.0

(Q 39	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	50.3	42.3	4.0	3.4	100.0
(SEX					
MALE	50.8	43.4	2.4	3.3	100.0
FEMA	49.6	40.8	6.1	3.6	100.0
(AGE					
-29	50.3	40.8	7.3	1.7	100.0
30-	59.0	38.7	1.2	2.2	100.0
40-	54.0	35.2	9.6	1.2	100.0
50-	46.9	48.1	2.2	2.8	100.0
60	42.4	48.5	0.0	9.1	100.0
(GENERATION					
1	56.1	38.4	2.6	2.9	100.0
2	42.8	46.7	4.9	5.6	100.0
3	57.7	37.9	3.6	0.7	100.0
DK	56.7	43.3	0.0	0.0	100.0
(JSCALE					
LOW	49.3	42.9	5.4	2.4	100.0
ML	47.1	42.6	5.2	5.1	100.0
MH	56.9	37.6	2.5	3.0	100.0
HIGH	49.2	47.9	0.2	2.7	100.0

(Q 38	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	75.6	16.2	7.2	1.1	100.0
(SEX					
MALE	76.8	16.5	5.3	1.5	100.0
FEMA	74.1	15.8	9.5	0.6	100.0
(AGE					
-29	58.6	22.6	16.9	1.9	100.0
30-	74.6	15.2	9.4	0.7	100.0
40-	85.7	4.7	9.7	0.0	100.0
50-	85.0	15.0	0.0	0.0	100.0
60	73.9	23.2	0.0	2.8	100.0
(GENERATION					
1	83.7	14.3	0.5	1.4	100.0
2	76.4	14.2	8.2	1.1	100.0
3	49.5	20.1	9.6	0.8	100.0
DK	73.9	26.1	0.0	0.0	100.0
(JSCALE					
LOW	70.6	17.0	11.3	1.1	100.0
ML	76.2	13.7	8.6	1.4	100.0
MH	80.1	16.9	3.0	0.0	100.0
HIGH	78.1	19.3	0.5	2.0	100.0

(Q 40	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	24.7	67.5	3.2	4.5	100.0
(SEX					
MALE	24.0	67.5	2.5	6.0	100.0
FEMA	25.6	67.6	4.1	2.7	100.0
(AGE					
-29	30.3	62.5	6.9	0.2	100.0
30-	38.4	56.9	4.1	0.6	100.0
40-	22.9	71.0	5.1	1.0	100.0
50-	17.2	66.8	0.0	16.0	100.0
60	14.9	80.3	0.0	4.8	100.0
(GENERATION					
1	15.5	80.3	0.3	3.9	100.0
2	22.6	68.0	1.6	7.8	100.0
3	35.3	59.3	7.4	0.0	100.0
DK	20.9	79.1	0.0	0.0	100.0
(JSCALE					
LOW	28.7	67.5	2.3	1.6	100.0
ML	26.5	57.2	6.9	9.4	100.0
MH	26.2	70.5	1.0	2.3	100.0
HIGH	8.0	89.1	0.0	2.9	100.0

(Q 41)
 TOTAL 40.9 50.5 5.6 3.0 TOTAL 100.0

(SEX)
 MALE 43.7 45.6 6.5 4.2 100.0
 FEMALE 37.5 56.5 4.4 1.6 100.0

(AGE)
 -29 35.8 57.0 7.2 0.0 100.0
 30- 29.4 66.4 4.1 0.1 100.0
 40- 37.6 58.4 3.9 0.1 100.0
 50- 43.6 22.9 10.0 3.5 100.0
 60 38.4 47.5 2.8 11.3 100.0

(GENERATION)
 1 38.6 41.0 13.9 6.5 100.0
 2 51.0 43.0 2.3 3.7 100.0
 3 27.7 66.6 5.6 0.1 100.0
 DK 25.2 74.8 0.0 0.0 100.0

(USCALE)
 LOW 38.8 59.1 0.3 1.8 100.0
 ML 42.5 47.4 6.8 3.3 100.0
 MH 49.0 43.5 6.5 1.1 100.0
 HIGH 28.0 49.1 14.1 8.8 100.0

(Q 42)
 TOTAL 57.6 35.8 2.9 3.6 TOTAL 100.0

(SEX)
 MALE 54.7 39.9 2.8 2.7 100.0
 FEMALE 61.3 30.9 3.0 4.9 100.0

(AGE)
 -29 65.7 24.3 3.7 6.2 100.0
 30- 77.3 17.1 3.5 2.2 100.0
 40- 66.8 30.7 2.4 0.2 100.0
 50- 29.9 65.3 0.2 4.6 100.0
 60 48.3 42.1 4.5 5.1 100.0

(GENERATION)
 1 44.1 49.1 2.5 4.3 100.0
 2 51.6 43.0 2.3 3.1 100.0
 3 74.5 17.4 4.0 2.2 100.0
 DK 48.7 51.3 0.0 0.0 100.0

(USCALE)
 LOW 66.2 26.0 2.4 5.4 100.0
 ML 57.4 37.5 2.7 2.4 100.0
 MH 53.3 40.2 4.2 2.2 100.0
 HIGH 44.3 48.4 2.4 4.9 100.0

(Q 43)
 TOTAL 6.1 90.7 2.8 0.3 TOTAL 100.0

(SEX)
 MALE 5.8 90.0 3.7 0.6 100.0
 FEMALE 6.5 91.7 1.8 0.0 100.0

(AGE)
 -29 4.9 91.0 4.0 0.0 100.0
 30- 3.9 92.7 3.4 0.0 100.0
 40- 4.1 93.5 2.4 0.0 100.0
 50- 4.5 92.5 1.0 0.0 100.0
 60 11.0 84.2 3.2 1.6 100.0

(GENERATION)
 1 16.1 80.0 3.9 0.0 100.0
 2 2.7 94.2 2.5 0.7 100.0
 3 5.2 92.0 2.8 0.0 100.0
 DK 13.8 86.2 0.0 0.0 100.0

(USCALE)
 LOW 4.0 94.5 0.5 1.0 100.0
 ML 3.7 92.9 3.4 0.0 100.0
 MH 7.6 86.4 6.0 0.0 100.0
 HIGH 15.3 83.3 1.4 0.0 100.0

(Q 44)
 TOTAL 45.5 38.3 8.5 7.7 TOTAL 100.0

(SEX)
 MALE 54.0 32.8 7.0 6.2 100.0
 FEMALE 35.1 45.0 10.4 9.5 100.0

(AGE)
 -29 53.6 38.8 4.1 3.4 100.0
 30- 43.7 42.6 13.5 0.2 100.0
 40- 47.7 45.3 4.0 3.0 100.0
 50- 46.2 28.4 8.7 16.7 100.0
 60 36.7 36.1 12.2 15.0 100.0

(GENERATION)
 1 43.4 39.2 8.2 9.3 100.0
 2 46.3 33.3 9.3 11.1 100.0
 3 45.6 44.9 7.6 1.9 100.0
 DK 50.5 41.8 7.8 0.0 100.0

(USCALE)
 LOW 48.9 39.8 9.3 2.0 100.0
 ML 39.9 38.9 10.6 10.6 100.0
 MH 51.8 30.7 9.0 8.4 100.0
 HIGH 40.7 45.8 0.6 13.0 100.0

(Q 45	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	75.3	23.0	1.2	0.0	0.4	100.0
(SEX						
MALE	78.7	20.1	0.6	0.0	0.6	100.0
FEMA	71.1	26.7	2.0	0.0	0.2	100.0
(AGE						
-29	83.9	16.1	0.0	0.0	0.0	100.0
30-	66.4	33.2	0.4	0.1	0.0	100.0
40-	79.7	18.8	1.5	0.0	0.0	100.0
50-	80.1	18.8	0.8	0.0	0.4	100.0
60	67.0	27.9	3.5	0.0	1.6	100.0
(GENERATION						
1	72.4	24.1	3.4	0.0	0.1	100.0
2	76.9	21.2	1.1	0.0	0.8	100.0
3	76.4	25.3	0.3	0.0	0.0	100.0
DK	92.2	7.8	0.0	0.0	0.0	100.0
(USCALE						
LOW	80.4	18.4	0.3	0.0	1.0	100.0
ML	75.3	23.5	1.1	0.0	0.0	100.0
MH	71.2	26.2	2.3	0.0	0.3	100.0
HIGH	69.9	27.8	2.2	0.0	0.1	100.0

(Q 49	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	91.0	6.0	2.5	0.4	100.0
(SEX					
MALE	88.7	8.4	2.2	0.6	100.0
FEMA	93.9	3.1	2.9	0.1	100.0
(AGE					
-29	88.9	10.7	0.4	0.0	100.0
30-	86.0	8.9	4.8	0.3	100.0
40-	94.6	4.5	0.7	0.2	100.0
50-	94.1	3.0	2.9	0.0	100.0
60	91.6	3.2	3.7	1.6	100.0
(GENERATION					
1	91.3	4.2	4.0	0.5	100.0
2	94.0	3.5	1.8	0.7	100.0
3	86.6	10.6	2.8	0.0	100.0
DK	84.3	15.7	0.0	0.0	100.0
(USCALE					
LOW	88.1	8.8	2.1	1.0	100.0
ML	92.8	5.4	1.6	0.2	100.0
MH	92.5	4.8	2.7	0.0	100.0
HIGH	91.0	2.8	5.9	0.3	100.0

(Q 48	1	2	3	TOTAL
TOTAL	89.4	10.3	0.3	100.0
(SEX				
MALE	90.2	9.3	0.6	100.0
FEMA	88.5	11.5	0.0	100.0
(AGE				
-29	92.1	7.9	0.0	100.0
30-	83.2	16.8	0.0	100.0
40-	87.4	12.6	0.0	100.0
50-	92.3	7.7	0.0	100.0
60	92.0	6.4	1.6	100.0
(GENERATION				
1	91.7	8.3	0.0	100.0
2	87.7	11.7	0.7	100.0
3	90.6	9.4	0.0	100.0
DK	88.6	11.4	0.0	100.0
(USCALE				
LOW	92.3	6.7	1.0	100.0
ML	88.8	11.2	0.0	100.0
MH	84.9	15.1	0.0	100.0
HIGH	91.7	8.3	0.0	100.0

(Q 50	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	64.6	29.6	2.2	3.6	100.0
(SEX					
MALE	61.9	32.1	2.0	4.0	100.0
FEMA	67.9	26.5	2.5	3.1	100.0
(AGE					
-29	61.5	35.6	1.6	1.3	100.0
30-	47.4	42.7	7.1	2.9	100.0
40-	69.7	26.8	1.0	2.5	100.0
50-	72.7	23.1	0.3	3.9	100.0
60	71.8	19.9	1.0	7.3	100.0
(GENERATION					
1	65.0	28.5	1.8	4.7	100.0
2	75.0	21.4	0.5	5.1	100.0
3	51.6	42.6	5.0	0.8	100.0
DK	88.6	11.4	0.0	0.0	100.0
(USCALE					
LOW	53.1	42.9	0.6	3.4	100.0
ML	72.0	21.5	4.1	2.3	100.0
MH	68.1	22.4	2.8	6.6	100.0
HIGH	68.0	29.7	0.1	2.1	100.0

(Q 51 A)						
	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	63.9	23.6	1.3	0.3	10.8	100.0
(SEX)						
MALE	70.9	19.3	0.7	0.0	9.0	100.0
FEMA	55.2	28.8	2.0	0.8	13.1	100.0
(AGE)						
-29	55.6	36.4	3.1	0.0	4.8	100.0
30-	59.5	34.0	0.4	0.0	6.1	100.0
40-	72.8	15.6	0.0	0.0	11.6	100.0
50-	75.7	7.2	1.9	0.0	15.2	100.0
60	56.3	24.4	1.2	1.7	16.5	100.0
(GENERATION)						
1	72.0	15.0	1.3	1.8	9.9	100.0
2	66.8	17.2	0.9	0.0	15.1	100.0
3	55.8	37.5	1.9	0.0	4.8	100.0
DK	17.4	48.7	0.0	0.0	33.9	100.0
(JSCALE)						
LOW	62.2	31.3	2.3	0.0	4.2	100.0
ML	65.4	20.8	0.9	0.0	12.9	100.0
MH	59.6	19.4	1.2	1.6	18.2	100.0
HIGH	71.8	18.8	0.0	0.0	9.3	100.0

(Q 51 B)						
	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	26.6	40.1	8.4	3.4	21.6	100.0
(SEX)						
MALE	27.0	45.2	9.4	3.2	15.2	100.0
FEMA	26.0	33.7	7.1	3.7	29.6	100.0
(AGE)						
-29	26.8	39.3	8.4	12.3	13.1	100.0
30-	40.7	41.0	4.3	2.6	11.4	100.0
40-	21.9	51.5	9.4	2.1	15.0	100.0
50-	25.9	31.5	11.3	0.0	31.3	100.0
60	17.5	37.0	8.4	0.0	37.0	100.0
(GENERATION)						
1	24.8	42.0	11.2	1.1	21.0	100.0
2	22.7	36.4	9.3	1.6	30.0	100.0
3	33.6	43.9	5.6	7.5	9.4	100.0
DK	0.0	66.1	0.0	0.0	33.9	100.0
(JSCALE)						
LOW	25.1	54.3	6.1	5.8	8.7	100.0
ML	28.9	27.6	6.7	4.1	32.8	100.0
MH	23.2	34.2	18.5	0.9	23.2	100.0
HIGH	30.0	46.8	0.8	0.0	22.4	100.0

(Q 51 C)						
	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	18.4	39.3	18.1	2.9	21.2	100.0
(SEX)						
MALE	14.3	50.0	17.6	0.4	17.7	100.0
FEMA	23.6	26.2	18.6	6.0	25.6	100.0
(AGE)						
-29	21.5	46.3	18.3	6.4	7.5	100.0
30-	28.6	36.7	22.3	5.1	7.4	100.0
40-	20.6	40.0	14.9	1.1	23.5	100.0
50-	11.2	33.1	16.7	1.9	37.2	100.0
60	10.5	40.7	18.0	0.3	30.5	100.0
(GENERATION)						
1	6.6	54.8	17.0	0.3	21.4	100.0
2	23.1	30.2	16.3	2.1	28.2	100.0
3	18.7	43.5	21.5	5.6	10.7	100.0
DK	4.3	53.9	7.9	0.0	33.9	100.0
(JSCALE)						
LOW	22.8	39.6	18.5	8.0	11.1	100.0
ML	24.5	32.0	13.3	0.5	29.7	100.0
MH	12.9	36.4	26.4	1.0	23.3	100.0
HIGH	1.8	62.5	14.7	0.0	21.0	100.0

(Q 51 D)						
	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	17.6	35.9	16.4	1.1	29.1	100.0
(SEX)						
MALE	18.7	40.9	13.2	0.6	26.5	100.0
FEMA	16.2	29.6	20.4	1.6	32.2	100.0
(AGE)						
-29	22.7	50.6	18.5	0.5	7.6	100.0
30-	19.0	45.2	15.0	3.5	17.3	100.0
40-	16.0	25.3	12.2	0.3	46.1	100.0
50-	24.7	22.6	21.3	1.1	30.3	100.0
60	5.9	35.4	15.1	0.0	43.6	100.0
(GENERATION)						
1	12.8	45.7	14.0	0.0	27.5	100.0
2	18.0	22.1	19.7	1.5	38.7	100.0
3	20.1	49.9	13.2	1.1	15.7	100.0
DK	4.3	53.9	7.9	0.0	33.9	100.0
(JSCALE)						
LOW	26.1	34.3	12.6	1.4	25.6	100.0
ML	12.2	34.0	19.7	1.3	32.8	100.0
MH	18.0	29.6	19.6	1.0	31.7	100.0
HIGH	9.5	55.2	11.9	0.0	23.4	100.0

(Q 52)	1	2	3	4	5	6	TOTAL
TOTAL	38.2	28.0	21.6	5.2	5.1	1.8	100.0
(SEX)							
MALE	38.1	29.2	15.9	7.8	7.3	1.6	100.0
FEMA	38.3	26.6	28.6	2.1	2.4	2.1	100.0
(AGE)							
-29	31.7	41.9	9.6	8.6	8.2	0.0	100.0
30-	36.7	28.0	28.0	3.8	3.5	0.0	100.0
40-	44.2	35.0	16.4	2.4	2.0	0.0	100.0
50-	30.3	23.7	28.6	11.3	3.3	2.8	100.0
60	47.7	12.0	25.2	0.4	8.4	6.3	100.0
(GENERATION)							
1	43.4	15.7	19.5	12.5	7.0	2.0	100.0
2	40.3	25.3	25.1	3.1	3.1	3.1	100.0
3	32.4	38.9	17.4	4.3	7.1	0.0	100.0
DK	19.3	39.9	40.8	0.0	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)							
LOW	33.1	34.6	20.2	6.3	4.8	1.0	100.0
ML	37.6	30.9	25.1	2.0	2.7	1.7	100.0
MH	39.9	24.1	21.6	3.4	6.8	4.2	100.0
HIGH	49.2	10.9	15.9	14.3	9.4	0.4	100.0

(AGE)	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	19.9	20.1	19.8	19.7	20.4	100.0
(SEX)						
MALE	19.8	16.0	20.7	22.3	21.2	100.0
FEMA	19.9	25.2	18.8	16.6	19.5	100.0
(AGE)						
-29	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
30-	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
40-	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
50-	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
60	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
(GENERATION)						
1	0.9	3.0	7.9	17.0	71.2	100.0
2	7.3	13.8	32.0	33.6	13.2	100.0
3	49.6	39.5	8.5	0.9	1.5	100.0
DK	0.0	11.4	40.8	30.4	17.4	100.0
(JSCALE)						
LOW	35.4	29.8	26.0	6.7	2.1	100.0
ML	21.2	24.5	16.8	24.5	13.0	100.0
MH	6.5	11.3	25.0	30.3	26.8	100.0
HIGH	0.8	0.0	3.4	21.8	74.0	100.0

(GENERATION)	1	2	3	4	TOTAL
TOTAL	19.0	47.8	32.6	0.6	100.0

(SEX)	1	2	3	4	TOTAL
MALE	23.5	46.1	30.1	0.3	100.0
FEMA	13.4	50.0	35.8	0.9	100.0

(AGE)	1	2	3	4	5	TOTAL
-29	0.9	17.7	81.5	0.0	0.0	100.0
30-	2.8	33.8	64.0	0.3	0.0	100.0
40-	7.6	77.3	13.9	1.2	0.0	100.0
50-	16.3	81.4	1.5	0.9	0.0	100.0
60	66.1	31.0	2.5	0.5	0.0	100.0

(GENERATION)	1	2	3	4	5	TOTAL
1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
3	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
DK	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0

(JSCALE)	1	2	3	4	5	TOTAL
LOW	0.0	38.1	60.8	1.1	0.0	100.0
ML	7.1	62.3	30.5	0.1	0.0	100.0
MH	22.7	64.1	12.3	0.9	0.0	100.0
HIGH	90.0	6.8	3.1	0.0	0.0	100.0

中間回答スケール

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
TOTAL	23.6	21.8	18.9	14.5	10.3	3.8	0.9	5.3	0.8	100.0
(SEX)										
MALE	19.1	22.0	19.6	12.9	12.0	3.8	0.8	8.3	1.5	100.0
FEMA	29.3	21.5	18.1	16.5	8.3	3.8	1.0	1.5	0.0	100.0
(AGE)										
-29	20.4	16.1	22.9	20.4	6.0	3.1	1.5	9.5	0.0	100.0
30-	18.4	19.6	16.6	17.9	21.3	5.6	0.3	0.3	0.0	100.0
40-	11.6	31.6	33.3	12.5	2.5	6.2	0.8	1.3	0.2	100.0
50-	42.1	18.4	11.2	9.2	15.9	2.1	0.0	0.0	1.0	100.0
60	25.8	23.1	10.7	12.5	6.0	2.2	1.9	15.0	3.0	100.0
(GENERATION)										
1	22.0	20.7	10.1	10.5	10.4	3.1	2.4	17.9	2.8	100.0
2	28.9	26.5	21.1	11.5	9.0	2.2	0.3	0.0	0.6	100.0
3	16.8	15.9	20.9	21.5	12.3	6.2	0.7	5.8	0.0	100.0
DK	33.9	0.0	12.2	0.0	9.5	33.1	11.4	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)										
LOW	19.9	23.0	27.4	9.1	8.4	6.6	0.2	5.4	0.0	100.0
ML	31.2	17.9	19.0	17.8	11.7	1.8	0.4	0.2	0.0	100.0
MH	22.7	28.8	11.5	19.4	9.0	2.2	2.9	1.9	1.6	100.0
HIGH	15.3	16.6	10.2	11.1	13.9	5.0	0.3	24.0	3.7	100.0

日本人スケール

	1	2	3	4	TOTAL	
TOTAL	31.9	33.0	22.3	12.9	100.0	648891.
(SEX)						
MALE	32.3	28.6	23.4	15.7	100.0	358580.
FEMA	31.4	38.4	20.9	9.4	100.0	290311.
(AGE)						
-29	57.0	35.2	7.2	0.5	100.0	128851.
30-	47.3	40.2	12.5	0.0	100.0	130567.
40-	41.8	27.9	28.1	2.2	100.0	128712.
50-	10.7	40.8	34.2	14.2	100.0	128143.
60	3.3	20.9	29.2	46.6	100.0	132621.
(GENERATION)						
1	0.0	12.4	26.6	61.0	100.0	123081.
2	25.4	42.9	29.8	1.8	100.0	310468.
3	59.5	30.8	8.4	1.2	100.0	211642.
DK	60.1	4.3	35.6	0.0	100.0	3702.
(JSCALE)						
LOW	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	207102.
ML	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	213922.
MH	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	144401.
HIGH	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	83469.

義理人情スケール

	0	1	2	3	4	5	TOTAL
TOTAL	16.6	44.3	27.0	11.3	0.7	0.0	100.0
(SEX)							
MALE	13.6	47.6	24.7	14.1	0.0	0.0	100.0
FEMA	20.3	40.2	29.9	8.0	1.6	0.0	100.0
(AGE)							
-29	29.4	53.8	16.6	0.2	0.0	0.0	100.0
30-	27.6	50.0	12.7	9.7	0.0	0.0	100.0
40-	14.4	43.2	20.9	20.3	1.1	0.0	100.0
50-	7.4	47.2	37.4	5.4	2.6	0.0	100.0
60	4.3	27.8	47.0	20.8	0.0	0.0	100.0
(GENERATION)							
1	4.6	37.0	33.4	22.7	2.3	0.0	100.0
2	11.5	46.2	30.4	11.2	0.6	0.0	100.0
3	31.1	46.5	17.4	5.0	0.0	0.0	100.0
DK	11.4	4.3	76.5	7.8	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)							
LOW	20.8	48.5	15.2	15.6	0.0	0.0	100.0
ML	19.6	48.8	26.9	4.5	0.2	0.0	100.0
MH	14.5	37.2	41.4	6.0	1.0	0.0	100.0
HIGH	2.3	35.0	31.7	27.6	3.4	0.0	100.0

人情スケール

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	TOTAL
TOTAL	0.9	2.7	8.1	22.2	31.7	19.8	9.9	4.4	0.3	100.0
(SEX)										
MALE	1.1	2.5	6.0	22.2	36.6	18.8	9.6	2.8	0.4	100.0
FEMA	0.6	3.0	10.7	22.1	25.7	21.1	10.2	6.4	0.3	100.0
(AGE)										
-29	0.0	4.5	12.1	27.4	23.6	18.4	11.0	3.0	0.0	100.0
30-	1.3	1.6	14.1	19.8	35.6	15.2	11.5	0.9	0.0	100.0
40-	0.3	6.4	6.9	22.5	39.5	18.7	4.6	1.1	0.0	100.0
50-	0.0	1.2	3.0	30.2	35.3	11.8	11.8	6.0	0.7	100.0
60	2.7	0.0	4.4	11.4	25.0	34.6	10.4	10.7	1.0	100.0
(GENERATION)										
1	1.2	1.8	6.9	23.2	25.2	26.8	9.4	4.9	0.4	100.0
2	0.8	3.1	4.6	19.6	36.6	20.3	9.6	5.0	0.5	100.0
3	0.8	2.8	14.1	25.4	28.8	14.2	10.6	3.2	0.0	100.0
DK	0.0	0.0	0.0	20.9	4.3	67.0	7.8	0.0	0.0	100.0
(JSCALE)										
LOW	2.0	1.3	10.3	20.7	38.3	15.7	10.6	1.2	0.0	100.0
ML	0.0	5.0	7.0	27.1	27.9	18.6	11.0	3.1	0.4	100.0
MH	0.0	2.5	10.2	17.9	31.2	21.7	8.6	7.3	0.5	100.0
HIGH	1.8	0.8	2.0	20.7	26.2	30.0	7.5	10.3	0.6	100.0